

第42回 市政世論調査

(平成27年度)



まちなかを走る 連節バス「ツインくる」

新 潟 市

< 目 次 >

I 調査概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の項目	3
3. 調査の設計	3
4. 集計・分析にあたって	3
5. 回収結果	4
6. 区（行政区）の範囲	4
7. 回答者の特性	6
8. 回答者の特性（地区別集計）	8
II 調査結果	13
1. 地域の防犯について	15
（1）新潟市の治安状況に対する認識	15
（2）犯罪に遭うことへの不安感	17
（3）防犯に関する新潟市からの広報について	20
（4）「防犯カメラ」の設置についての考え	23
（5）地域の安全のために必要と思われる防犯対策	26
（6）地域の安全を守るために特に力を入れてほしい市の取り組み	29
（7）地域の安全を守るための防犯活動への参加意向	32
（8）参加している・参加したい防犯活動	35
2. こころの健康について	39
（1）日常生活の充実度	39
（2）最近1か月間で悩みやストレスを感じたことの有無	41
（3）悩みやストレスの原因	44
（4）不安や悩みを抱えたときの相談相手	47
（5）相談しない・だれに相談したらよいかわからない理由	51
（6）認知している不安や悩みの相談機関	54
（7）望まれる相談の機会	60
3. 地域生活について	64
（1）現住所の住み心地	64
（2）現住所についての感想	67
（3）住み心地に対して特に重要視すること	81
（4）現住所での居住継続意向	85
（5）希望する転居先・転出先	87
（6）居住地の選択の際に重視したいこと【立地条件・住環境】	89

(7) 居住地の選択の際に重視したいこと【ライフスタイル】	93
4. 市政全般と区政について	97
(1) 新潟市として良くなっているもの	97
(2) 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの	101
(3) 区として良くなっているもの	105
(4) 区として今後もっと力を入れてほしいもの	110
5. 市の取り組みに対する感想・満足度	115
(1) 市の取り組みに対する感想	115
(2) 市の取り組みに対する満足度	137
Ⅲ 調査票様式	159

I 調 査 概 要

1. 調査の目的

この調査は、市民生活の現状、市民の市政に対する要望、意識、関心度などを把握し、今後の市政運営の基礎資料を得る目的で実施する。

2. 調査の項目

(1) 対象者属性	本質問 7 問	補助質問 1 問
(2) 地域の防犯について	本質問 7 問	補助質問 1 問
(3) こころの健康について	本質問 5 問	補助質問 2 問
(4) 地域生活について	本質問 5 問	補助質問 1 問
(5) 市政全般と区政について	本質問 1 問	
(6) 市の取り組みに対する感想	本質問 1 問	

3. 調査の設計

- (1) 調査地域：新潟市全域
- (2) 調査対象：平成 27 年 6 月末現在の住民基本台帳に登録されている 20 歳以上の市民
- (3) 標本数：4,000 人
- (4) 抽出方法：層化二段系統抽出法（電子計算機マスターファイルからの等間隔抽出）
- (5) 調査方法：郵送法（調査票の配付、回収とも）
- (6) 調査期間：平成 27 年 7 月 17 日～8 月 3 日

4. 集計・分析にあたって

- (1) 図表中の「n」とは回答者総数（または該当者質問での該当者数）のことで、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- (2) 数値（%）は単位未満を四捨五入してあるので、総数と内訳の計が一致しないこともある。
- (3) 本文及び図表中、意味をそこなわない範囲で簡略化した選択肢がある。

5. 回収結果

(1) 区（行政区）について

新潟市は平成19年4月の政令指定都市移行にともない8つの区（行政区）を設置している。

今回の調査では、対象者の居住地を8つの「区（行政区）」（次頁区分図参照）に分け、集計・分析を行った。

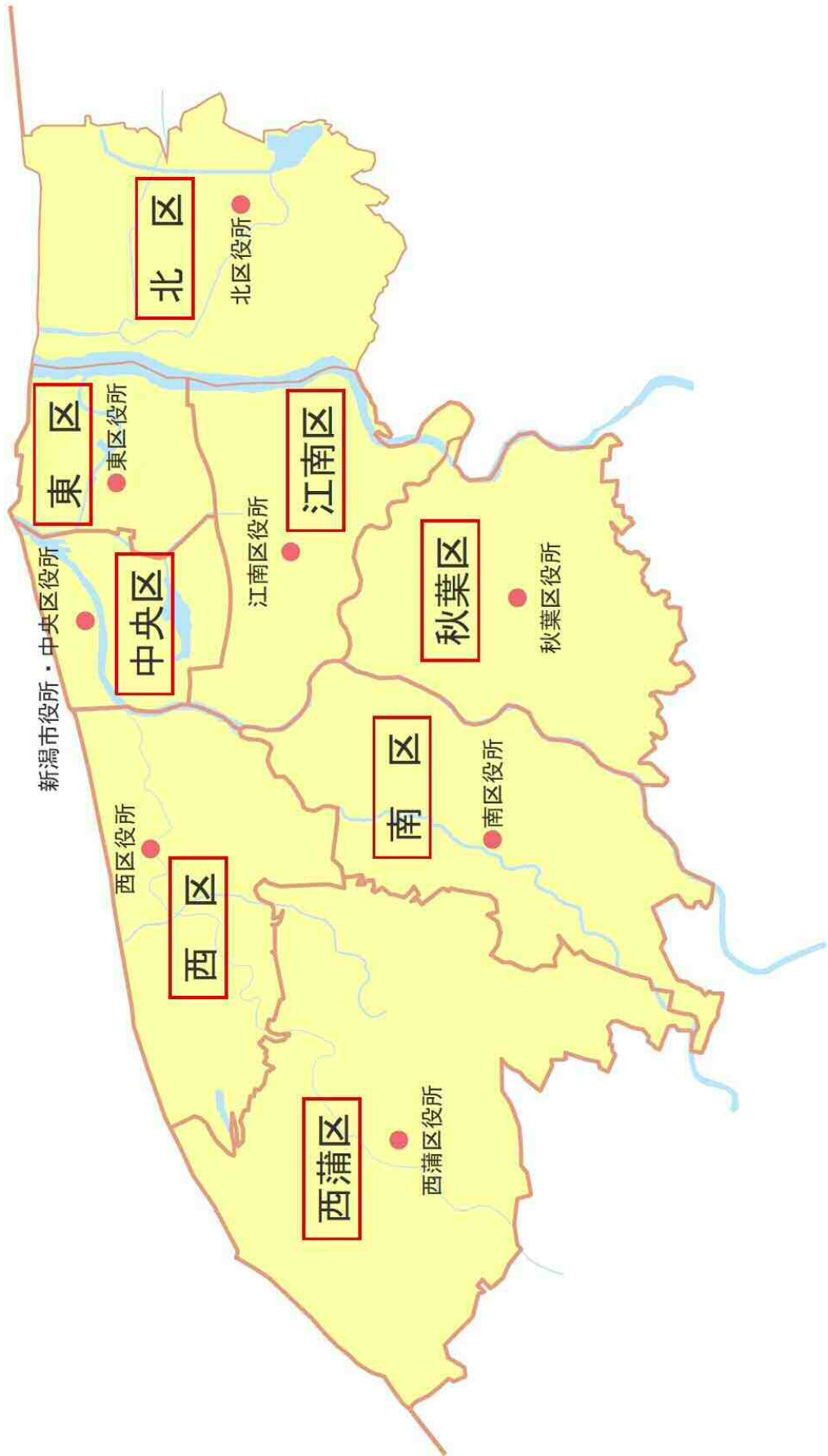
(2) 回収結果

	母集団 (人)	母集団 構成比	標本数 (人)	有効 回収数	有効 回収率
市全体	661,191	100.0%	4,000	2,098	52.5%
北区	62,363	9.4%	377	197	52.5%
東区	113,863	17.2%	689	353	51.2%
中央区	146,662	22.2%	887	490	55.2%
江南区	56,597	8.6%	342	181	52.9%
秋葉区	64,271	9.7%	389	213	54.8%
南区	38,406	5.8%	232	103	44.4%
西区	129,201	19.5%	782	402	51.4%
西蒲区	49,828	7.5%	302	146	48.3%
区名無回答					

6. 区（行政区）の範囲

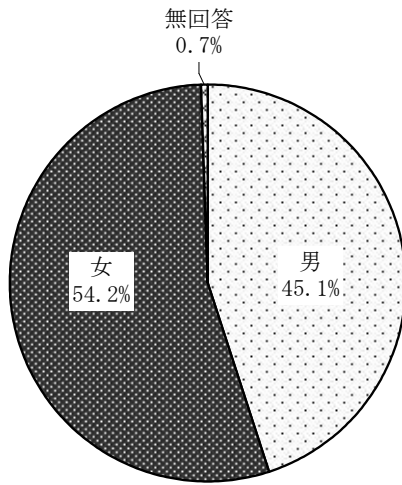
次頁区分図参照。

<区分图>

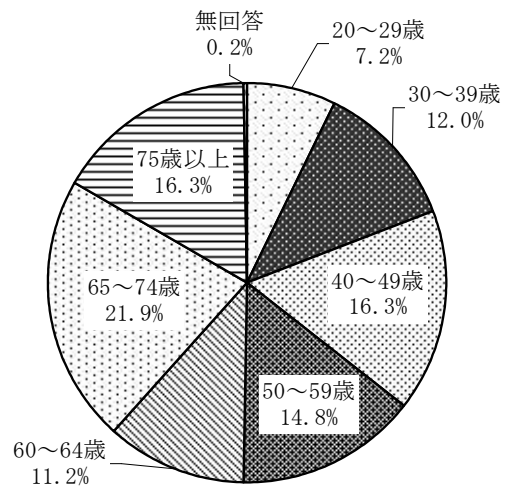


7. 回答者の特性

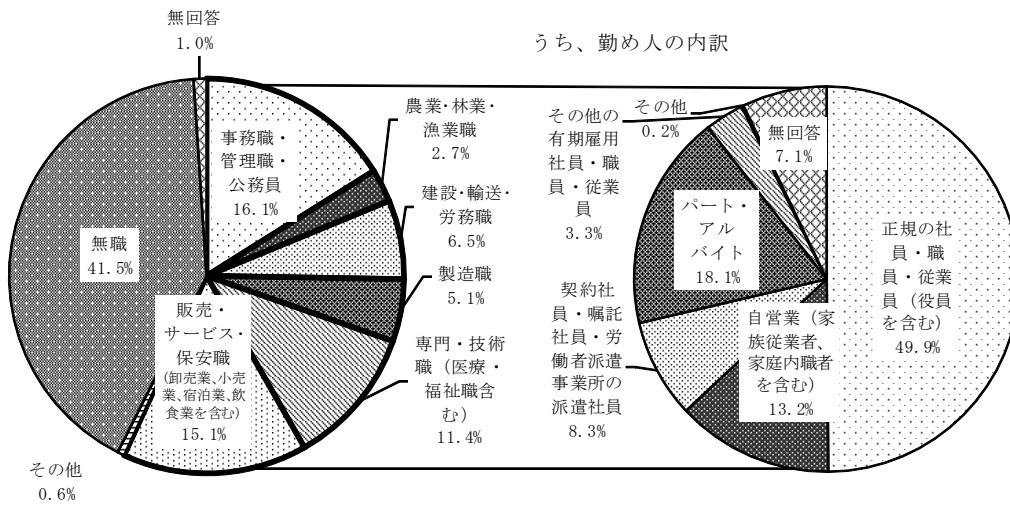
◆性別



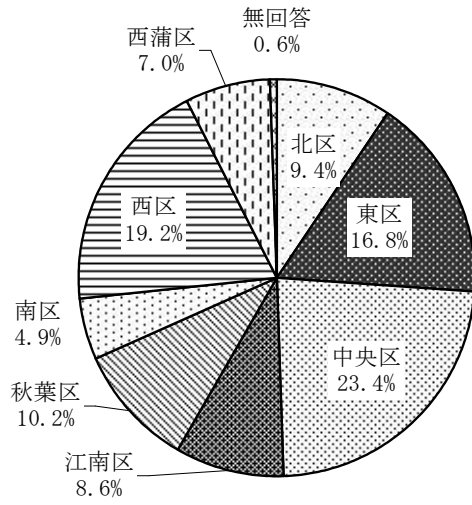
◆年齢別



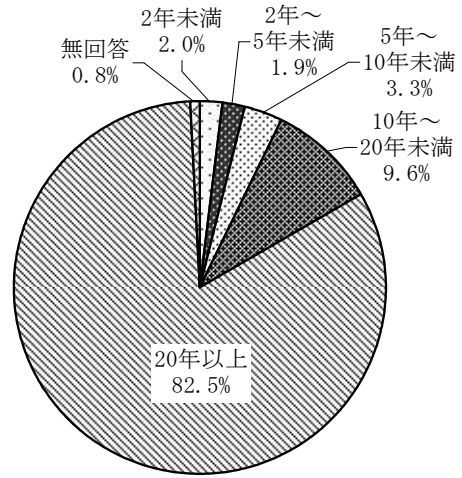
◆職業別



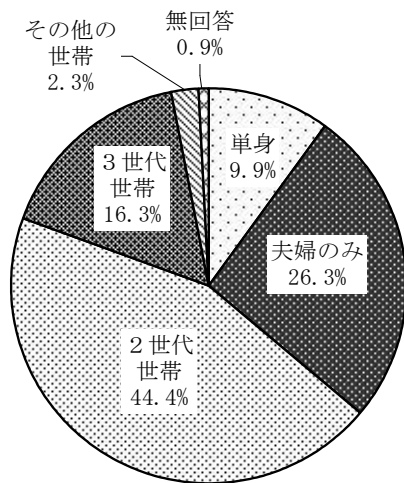
◆地区別



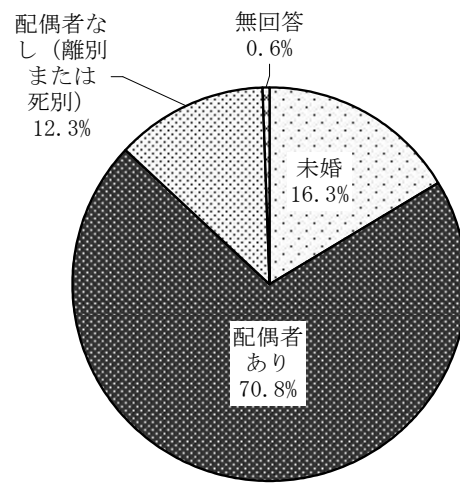
◆居住年数別



◆世帯構成別

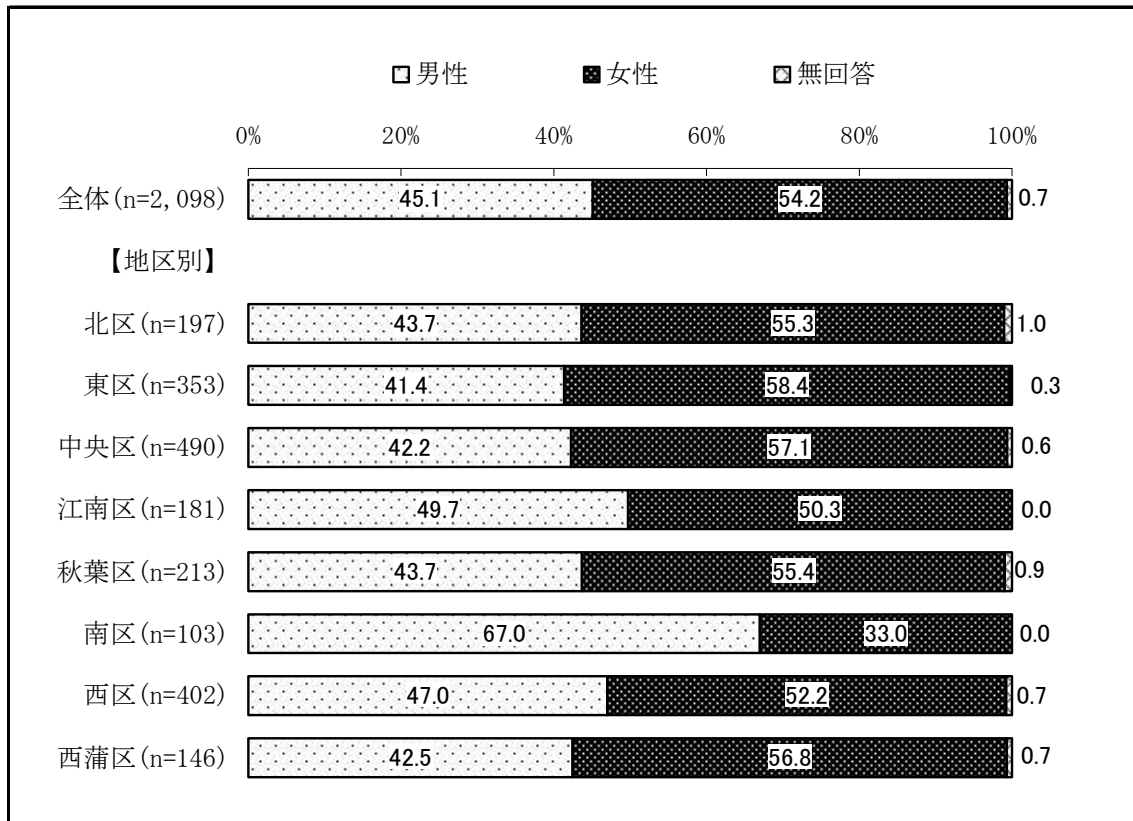


◆婚姻状況別

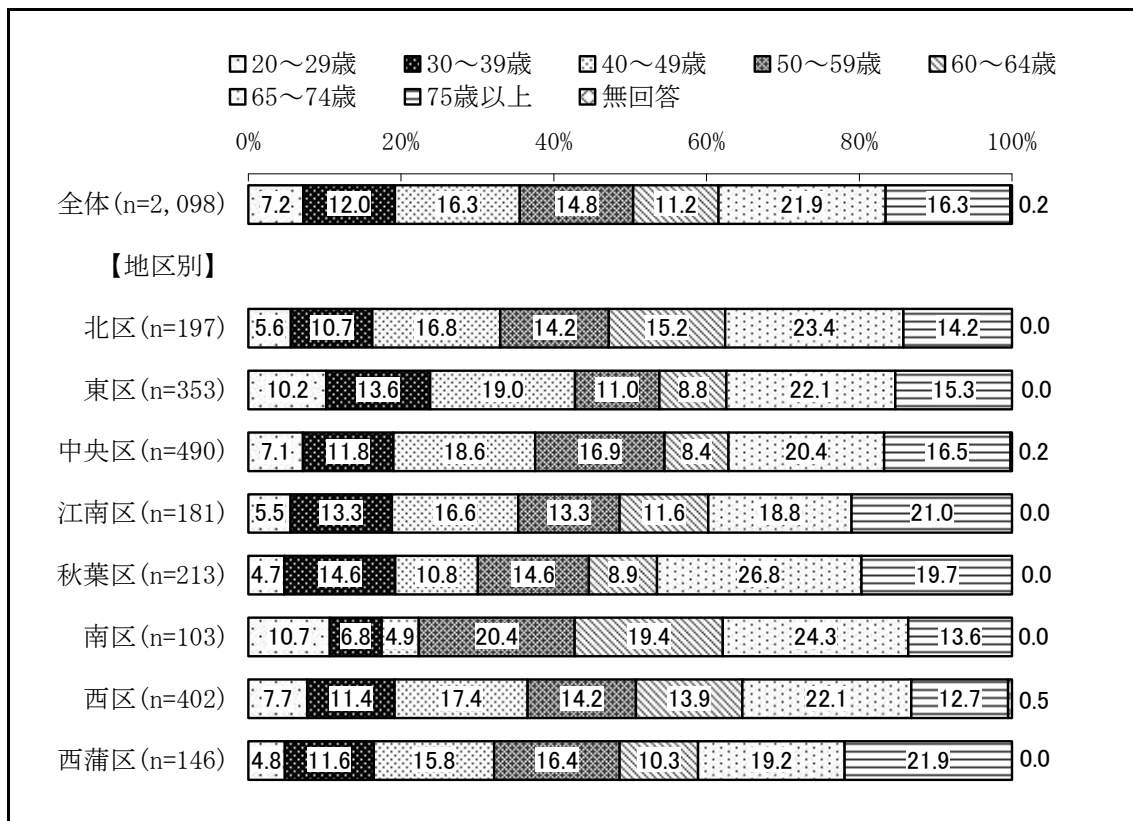


8. 回答者の特性（地区別集計）

【性別】

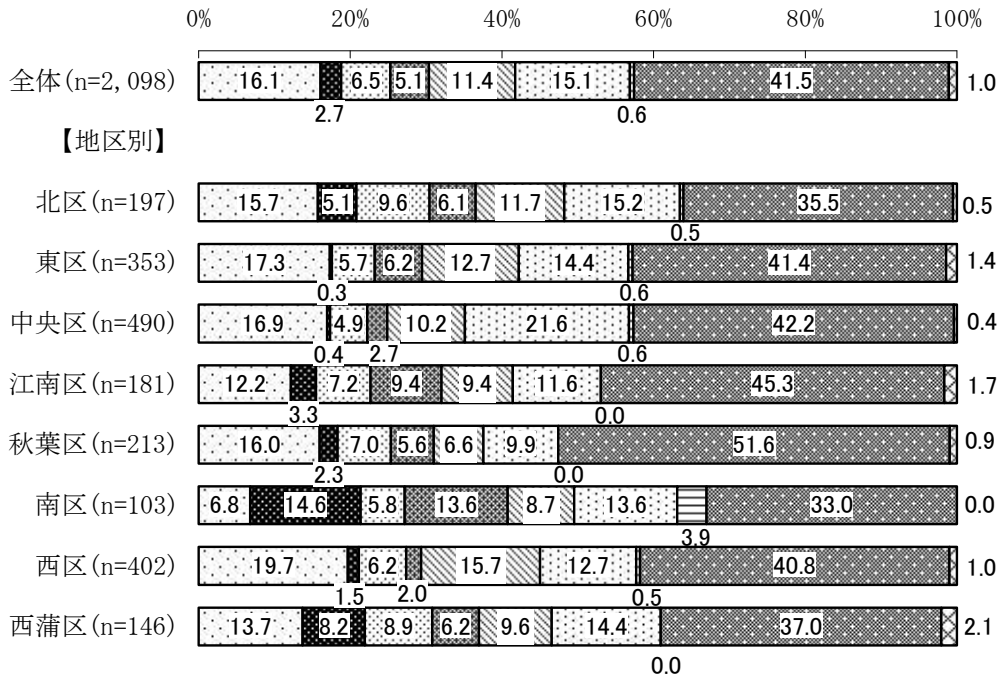


【年齢別】

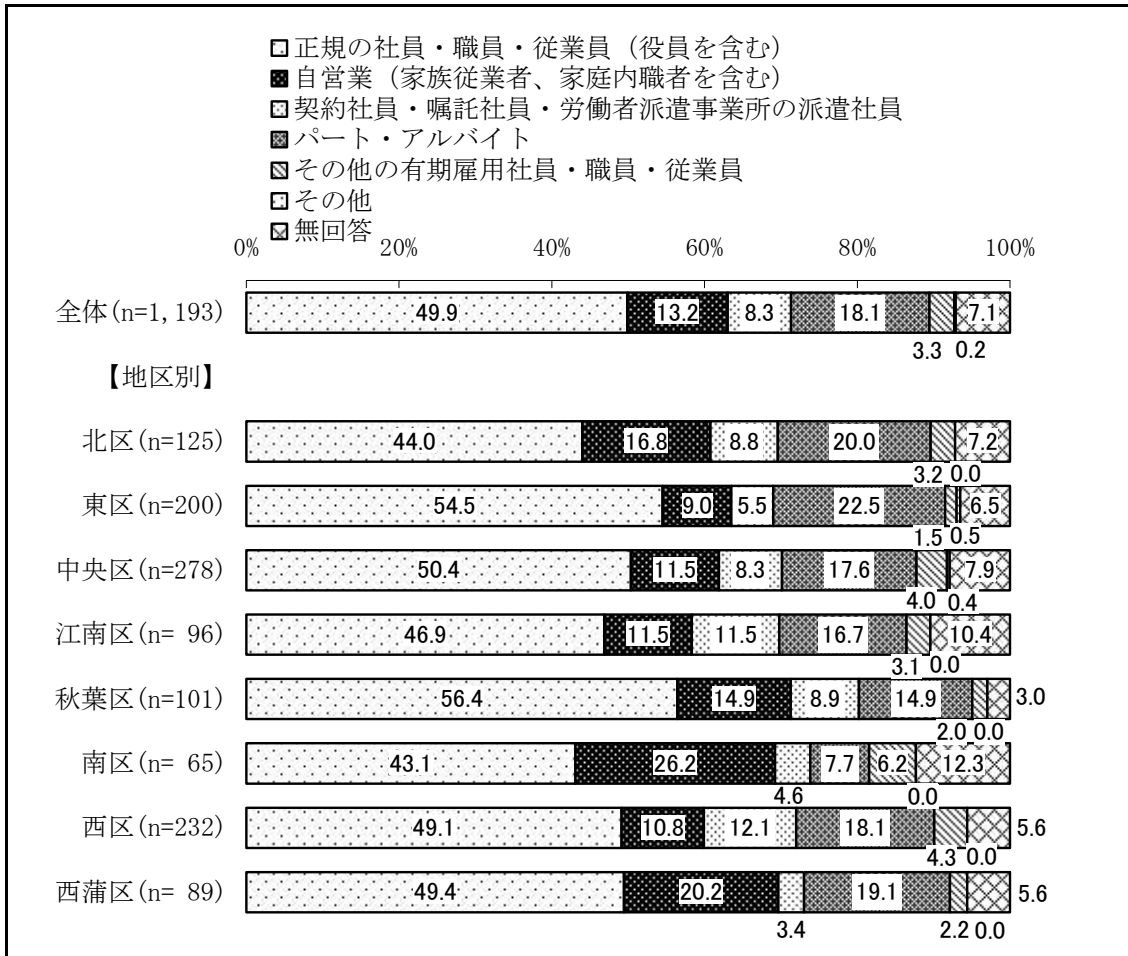


【職業別】

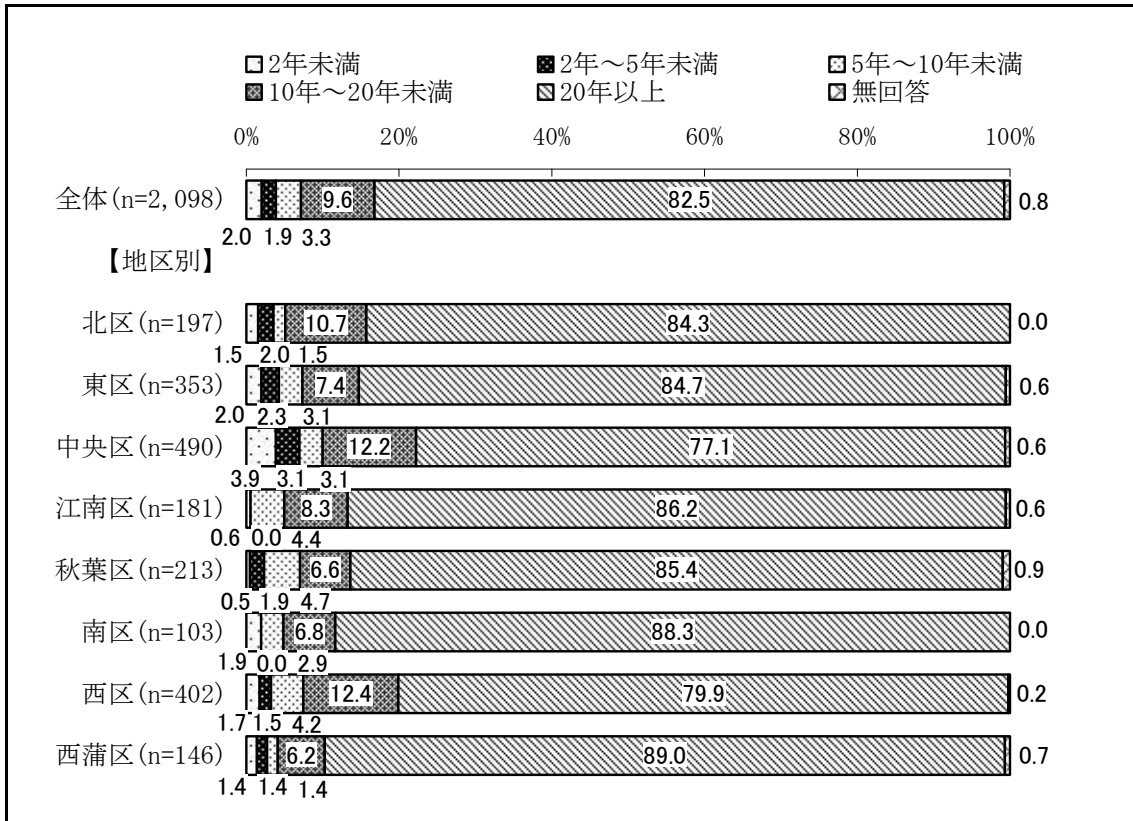
- 事務職・管理職・公務員
- 農業・林業・漁業職
- ▨ 建設・輸送・労務職
- ▩ 製造職
- ▧ 専門・技術職（医療・福祉職含む）
- ▦ 販売・サービス・保安職（卸売業、小売業、宿泊業、飲食業を含む）
- ▤ その他
- ▣ 無職
- ▢ 無回答



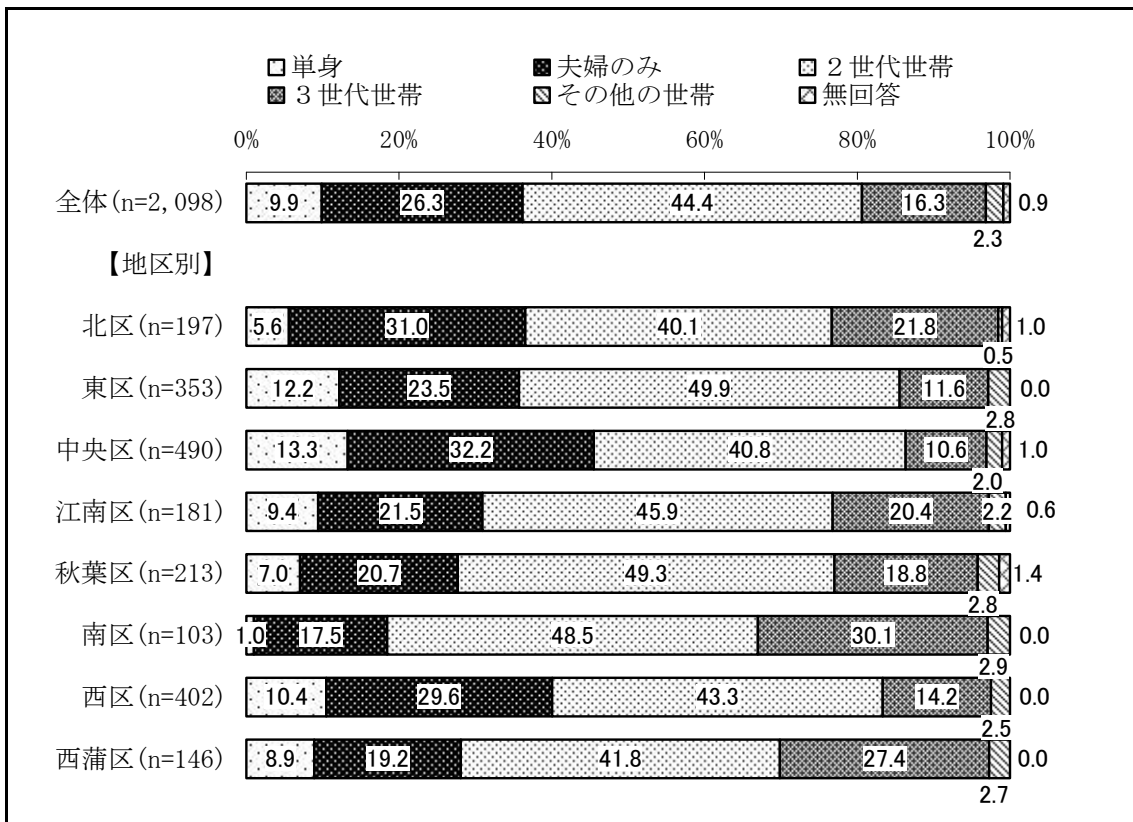
【雇用形態別】



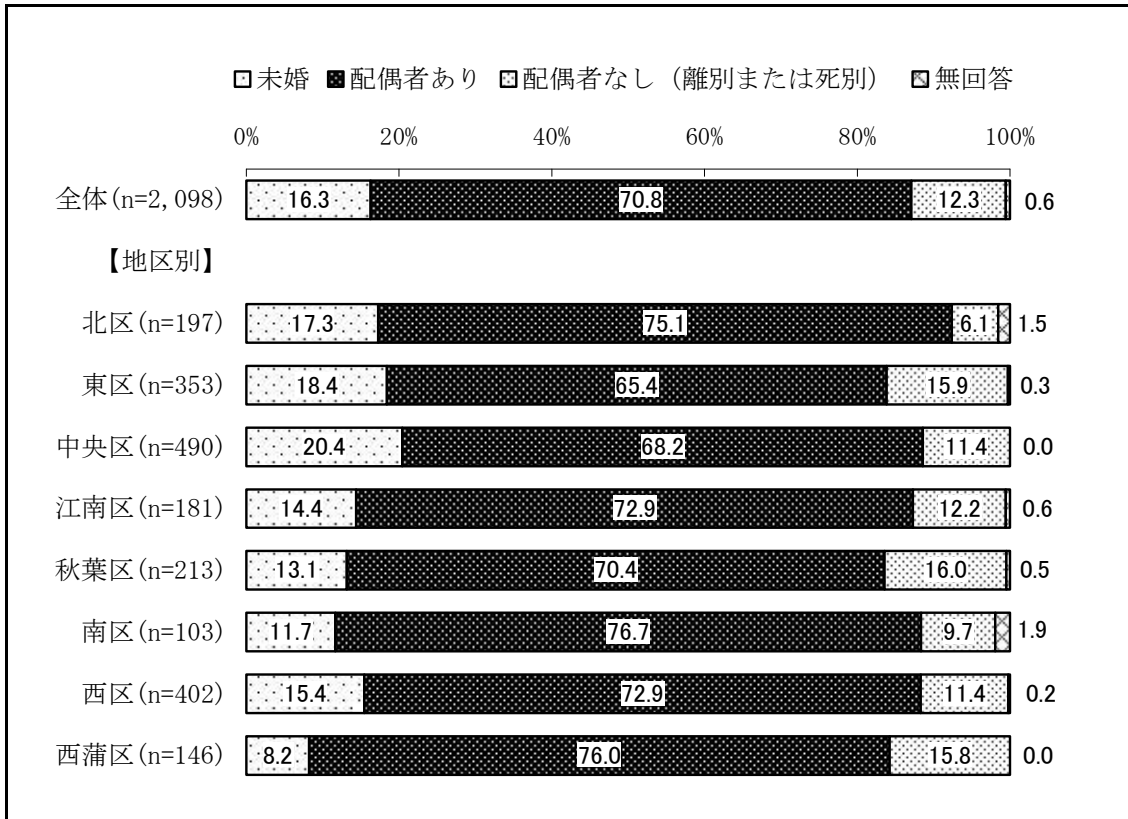
【居住年数別】



【世帯構成別】



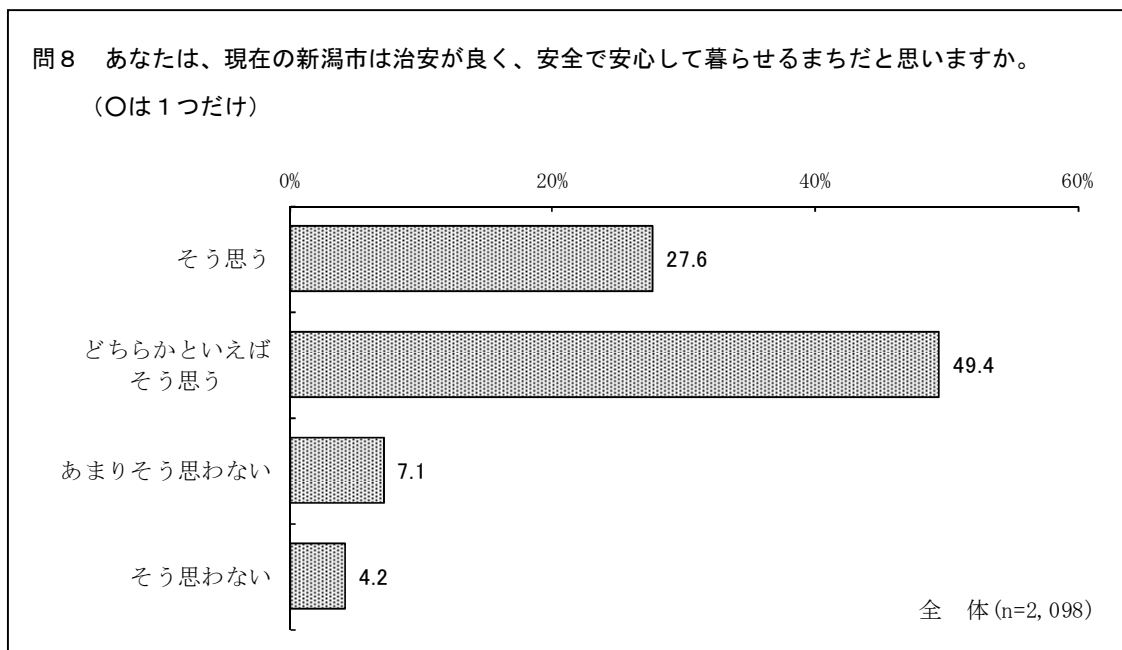
【婚姻状況別】



II 調 査 結 果

1. 地域の防犯について

(1) 新潟市の治安状況に対する認識



—— 8割近くが新潟市を治安が良く、安全・安心なまちと認識 ——

【全体結果】

現在の新潟市が、治安が良く、安全で安心して暮らせるまちであるかどうかについては「そう思う」(27.8%)、「どちらかといえばそう思う」(49.4%)で両者を合計した「そう思う」計(77.0%)が8割弱を占める。一方、「あまりそう思わない」(7.1%)と「そう思わない」(4.1%)を合計した「思わない」計は1割強(11.3%)となっている。

【属性別結果】(図 1-1 参照)

① 区別

「そう思う」の割合は、西蒲区(32.9%)、西区(32.8%)で高く、「そう思う」計でも西区(82.8%)が最も高くなっている。また、「そう思う」計は、南区(82.5%)、西蒲区(80.2%)も8割強と高くなっている。

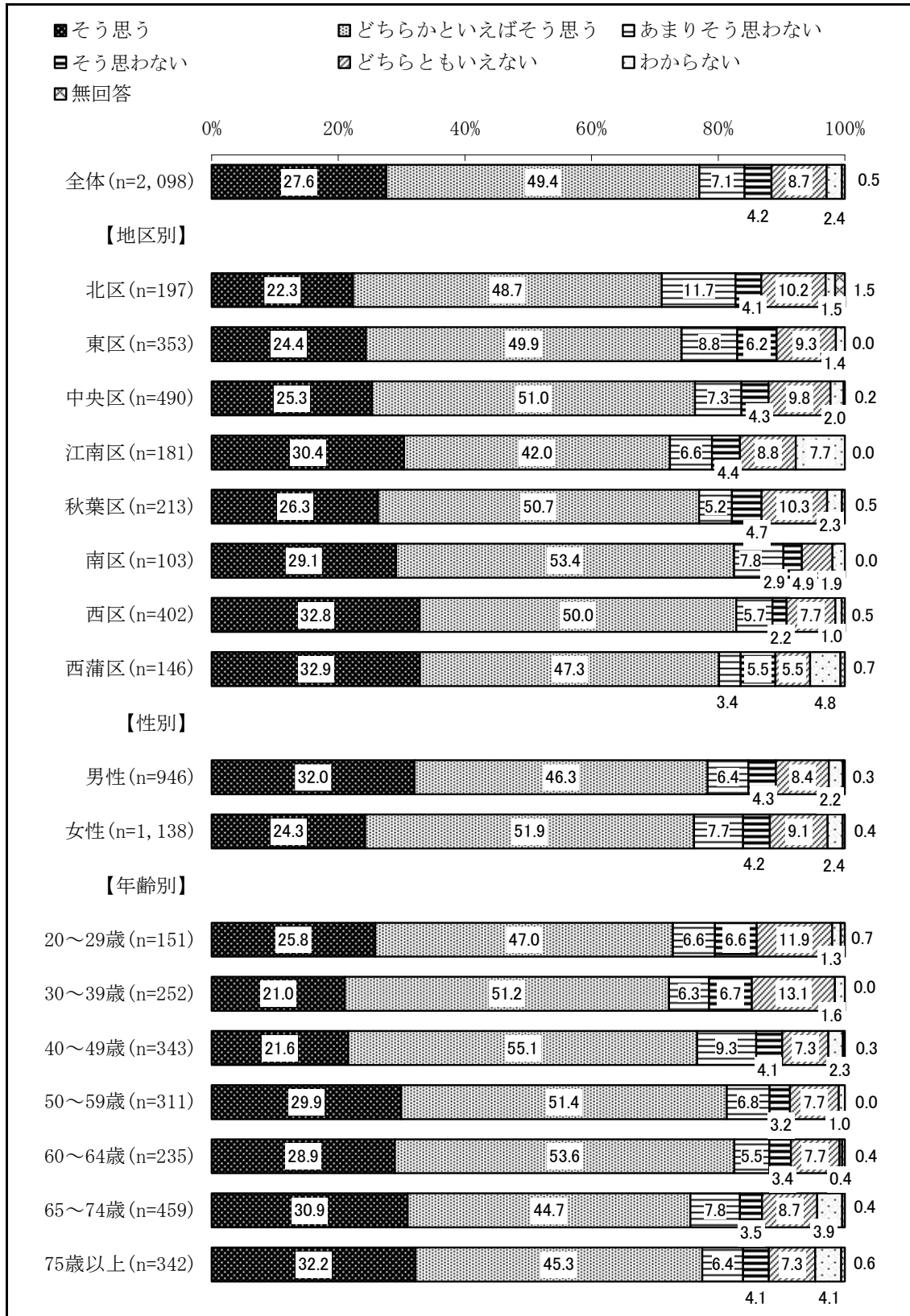
② 性別

「そう思う」の割合は、男性(32.0%)の方が女性(24.3%)よりも高くなっている。

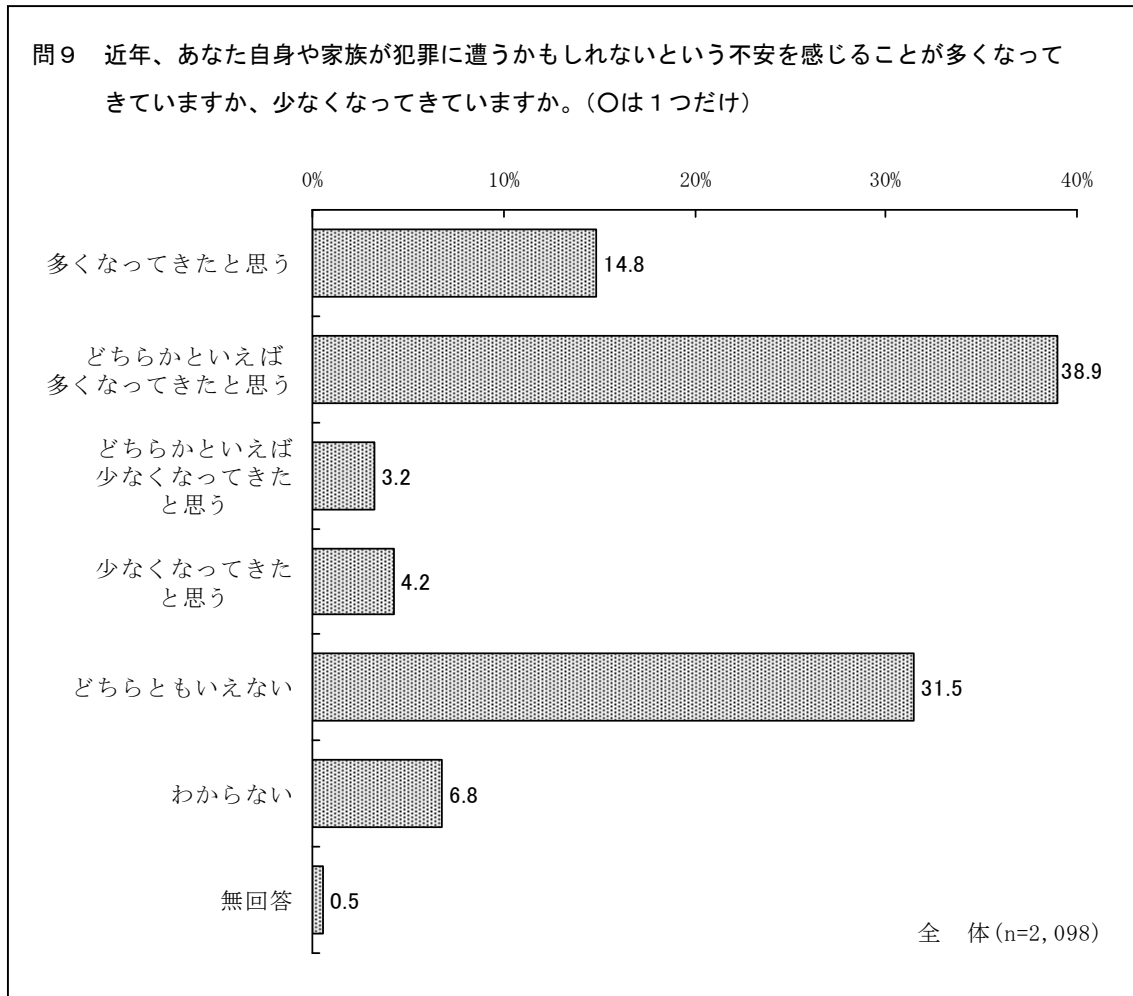
③ 年齢別

「そう思う」計の割合は、50代(81.3%)と60代(82.5%)で高くなっている。

図 1 - 1 新潟市の治安状況に対する認識（地区別／性別／年齢別）



(2) 犯罪に遭うことへの不安感



— 犯罪に遭う不安を感じるものが「多くなってきたと思う」が5割強 —

【全体結果】

近年、自分が犯罪に遭うかもしれないという不安については、「多くなってきたと思う」(14.8%)、「どちらかといえば多くなってきたと思う」(38.9%)で両者を合計した「多くなってきたと思う」計が5割強(53.7%)である。一方、「どちらかといえば少なくなってきたと思う」(3.2%)と「少なくなってきたと思う」(4.2%)を合計した「少なくなってきたと思う」計は1割弱(7.%)となっている。

3割強(31.5%)が「どちらともいえない」と回答し、「わからない」は6.8%となっている。

【属性別結果】（図 1-2 参照）

①地区別

「多くなってきたと思う」計は、南区（42.7%）で低く、4割程度にとどまっている。

②性別

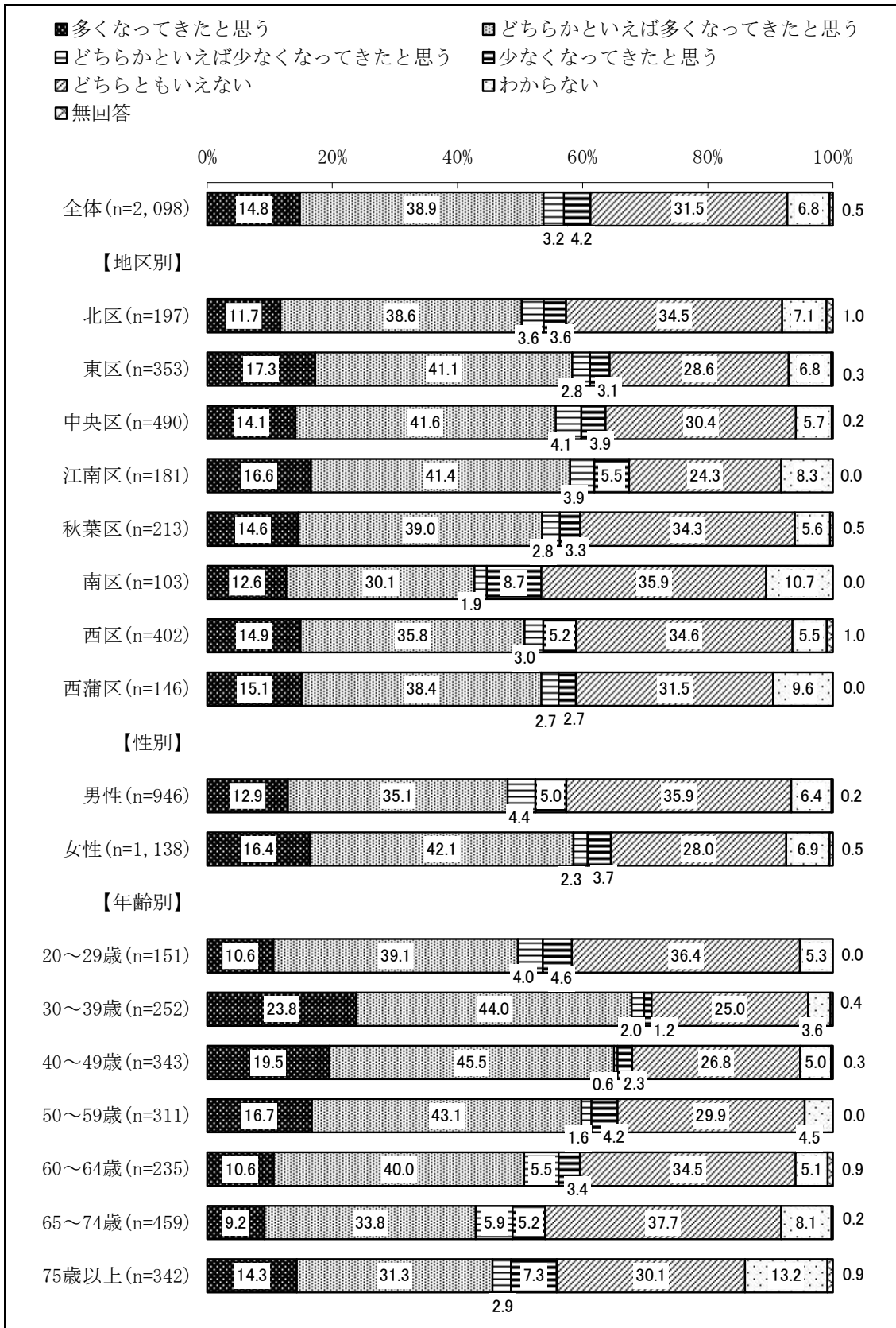
「多くなってきたと思う」の割合は、女性（58.5%）の方が男性（48.0%）よりも高くなっている。

③年齢別

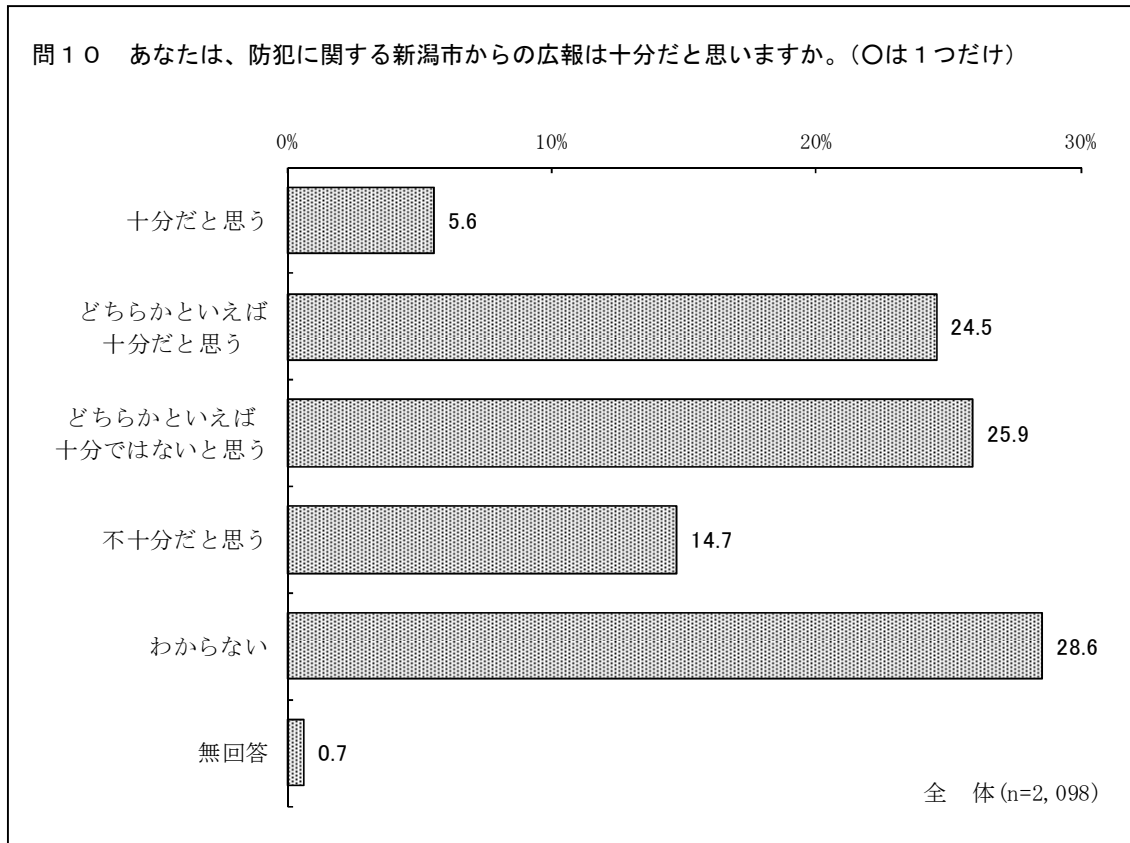
「多くなってきたと思う」計の割合は、30代（67.8%）、40代（65.0%）で高く、6割を超えている。

「わからない」の割合は、75歳以上（13.2%）が最も高くなっている。

図1-2 犯罪に遭う可能性に対する不安（地区別／性別／年齢別）



(3) 防犯に関する新潟市からの広報について



—— 4割が「十分ではないと思う」、3割が「十分だと思う」と回答 ——

【全体結果】

犯罪に関する新潟市からの広報については、「十分だと思う」(5.6%)、「どちらかといえば十分だと思う」(24.5%)で両者を合計した「十分だと思う」計が3割(30.1%)である。一方、「どちらかといえば十分ではないと思う」(25.9%)と「不十分だと思う」(14.7%)を合計した「十分ではないと思う」計は4割(40.6%)となっている。

また、「わからない」が3割弱(28.6%)となっている。

【属性別結果】（図 1-3 参照）

① 区別

「十分ではないと思う」計は、北区（45.1%）でやや高くなっている。

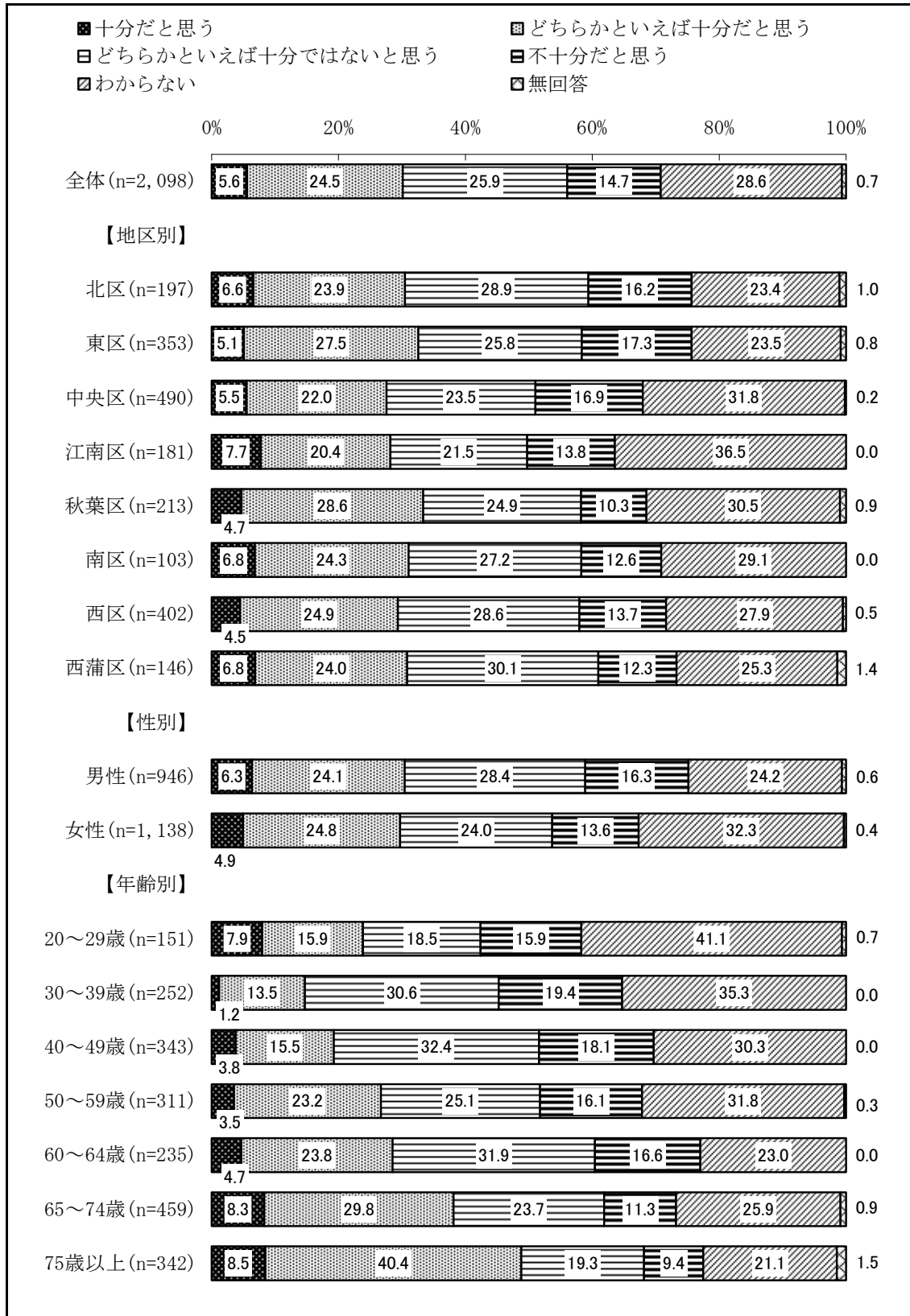
②性別

「十分ではないと思う」の割合は、男性（44.7%）の方が女性（37.6%）よりも高くなっている。

③年齢別

「十分だと思う」計の割合は、65歳以上で高く、75歳以上（48.9%）では半数弱を占めている。一方、「十分ではないと思う」の割合は、30代（50.0%）、40代（50.5%）で高く、半数程度になっている。

図1-3 防犯に関する新潟市からの広報について（地区別／性別／年齢別）

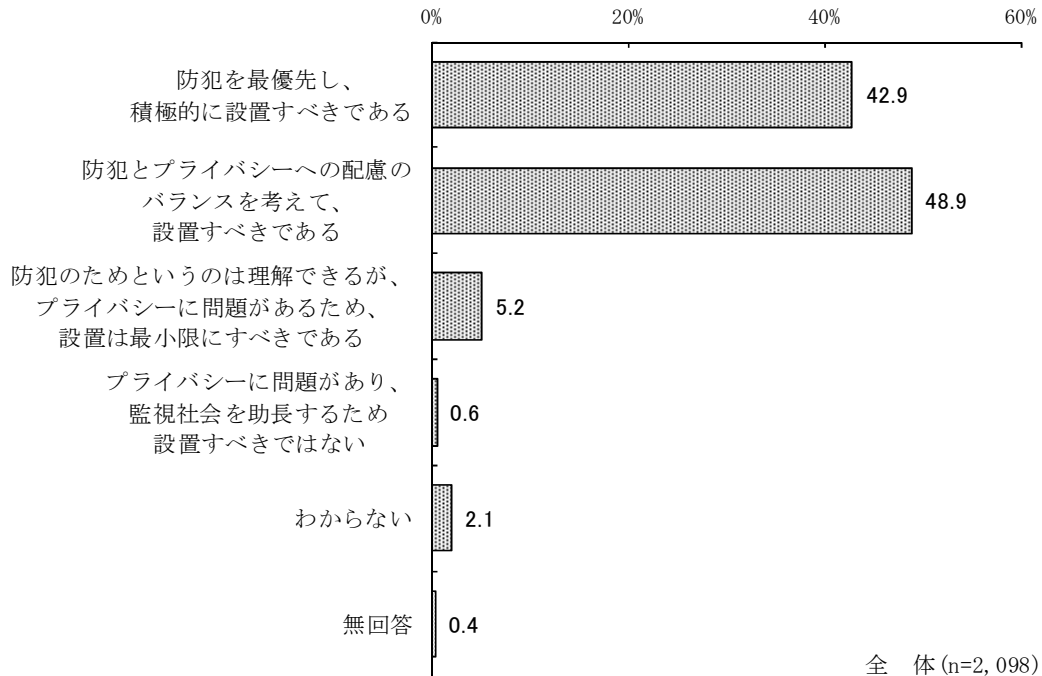


(4) 「防犯カメラ」の設置についての考え

問11 「防犯カメラ」の設置について、あなたはどのように思いますか。

※特に道路、駅、広場などの街頭に、防犯を目的として設置するもの

(○は1つだけ)



—— 防犯カメラの設置に前向きな考えへの賛成意見が多数を占める ——

【全体結果】

「防犯カメラの設置」については、「防犯とプライバシーへの配慮のバランスを考えて、設置すべきである」が5割弱（48.9%）で最も高く、これに「防犯を最優先し、積極的に設置すべきである」が4割強（42.9%）で続いている。

一方、「防犯のためというの理解できるが、プライバシーに問題があるため、設置は最小限にすべきである」（5.2%）は少なく、「プライバシーに問題があり、監視社会を助長するため設置すべきではない」（0.6%）はきわめて少ない。

【属性別結果】（図 1-4 参照）

①地区別

全体結果で最も割合の高かった「防犯とプライバシーへの配慮のバランスを考えて、設置すべきである」については、西区（51.7%）の割合が最も高く、中央区（46.9%）の割合が最も低くなっている。

「防犯を最優先し、積極的に設置すべきである」の割合は、中央区（46.3%）が最も高く、西蒲区（34.9%）が最も低くなっている。

②性別

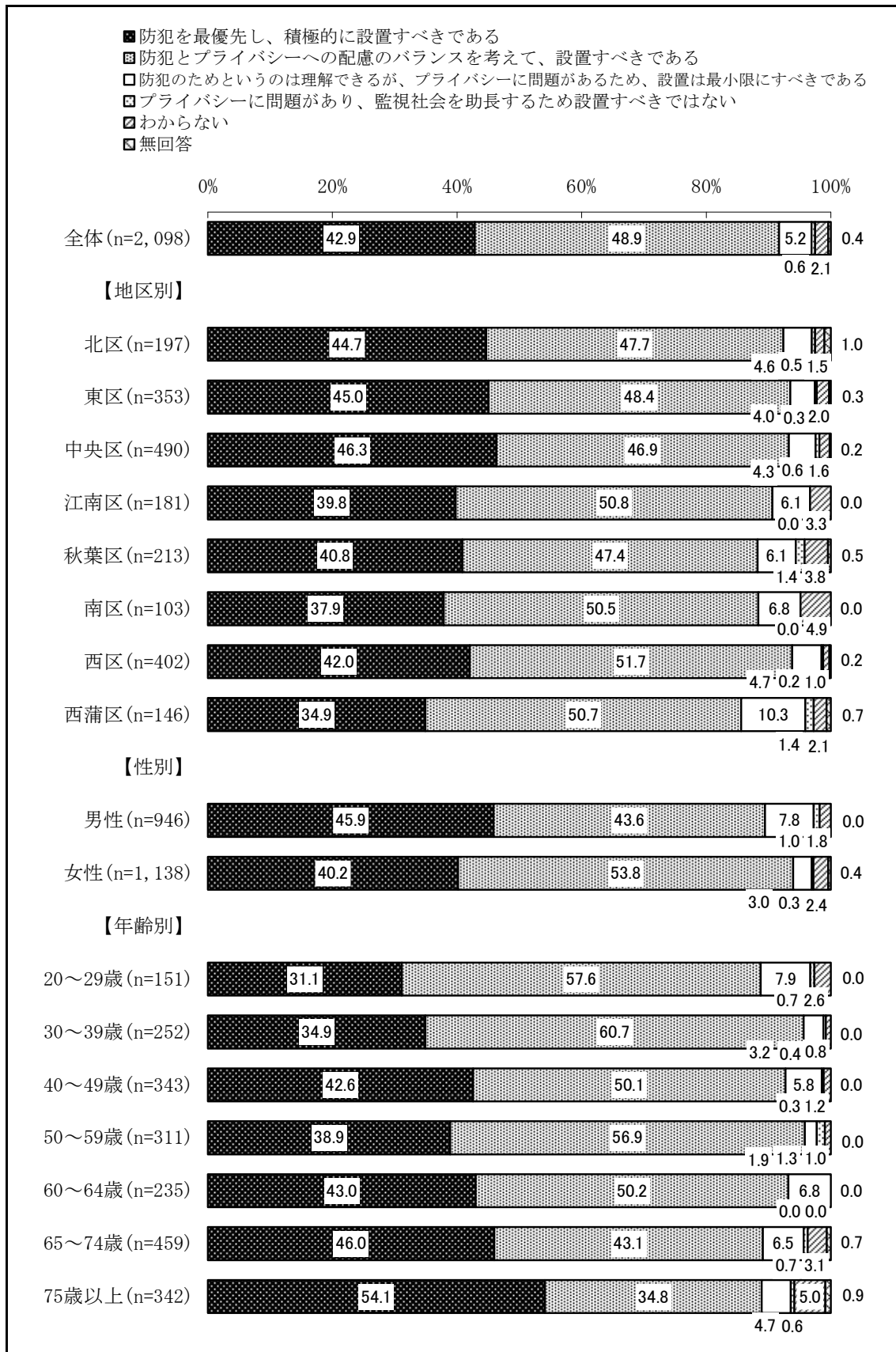
「防犯とプライバシーへの配慮のバランスを考えて、設置すべきである」の割合は、女性（53.8%）の方が男性（43.6%）よりも高く、「防犯を最優先し、積極的に設置すべきである」の割合は、男性（45.9%）の方が女性（40.2%）よりも高くなっている。

③年齢別

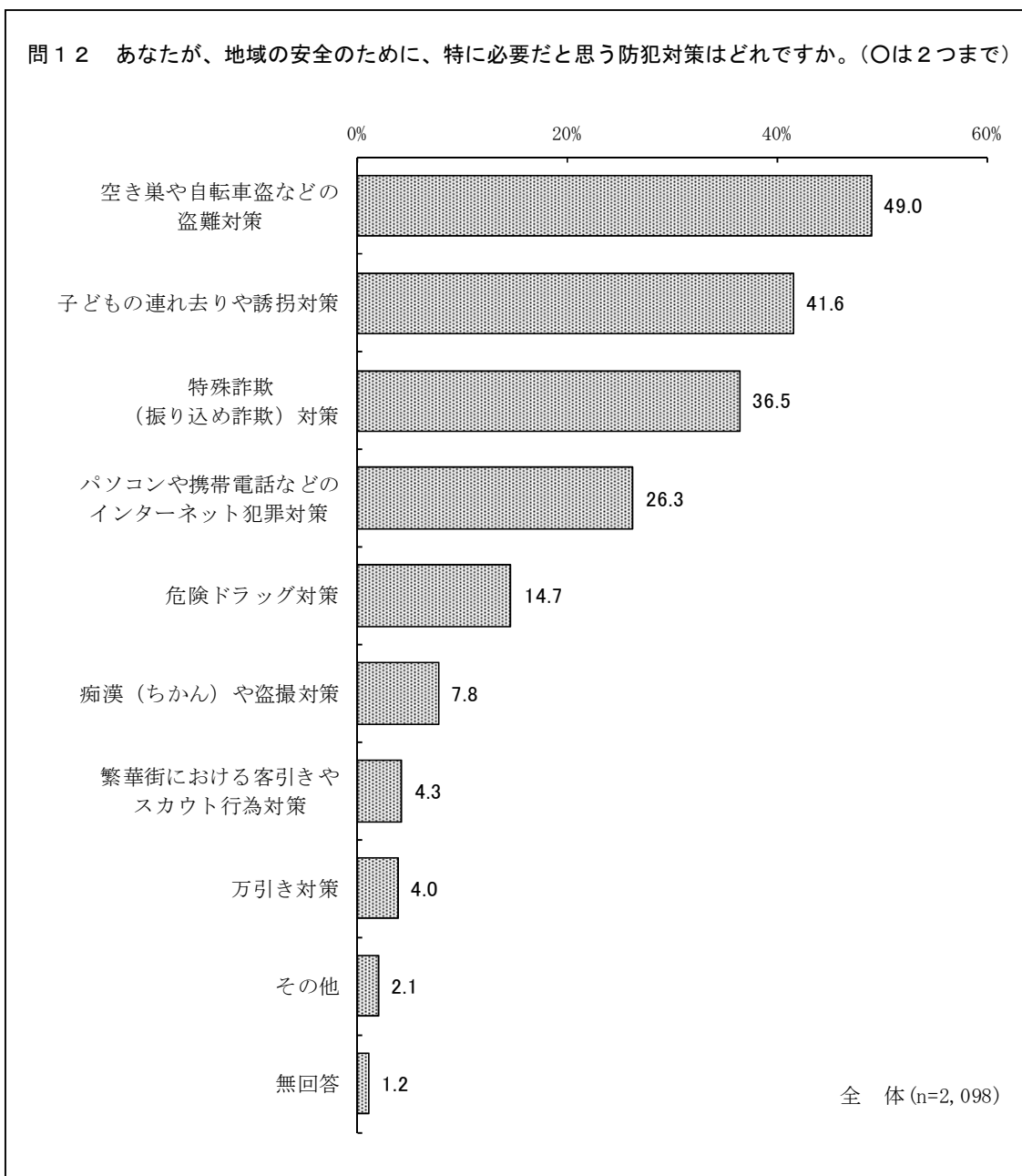
「防犯とプライバシーへの配慮のバランスを考えて、設置すべきである」の割合は、30代以下で6割前後と高く、75歳以上（34.8%）で低くなっている。

「防犯を最優先し、積極的に設置すべきである」の割合は、75歳以上（54.1%）が目立って高く、30代以下では3割程度にとどまっている。

図1-4 「防犯カメラ」の設置についての考え



(5) 地域の安全のために必要と思われる防犯対策



「空き巣や自転車盗などの盗難対策」が半数弱

【全体結果】

地域の安全のために必要と思われる防犯対策（複数回答）については、「空き巣や自転車盗などの盗難対策」(49.0%)の割合が最も高く、「子どもの連れ去りや誘拐対策」(41.6%)が次いで高い。以下、「特殊詐欺（振り込め詐欺）対策」(36.5%)、「パソコンや携帯電話などのインターネット犯罪対策」(26.3%)、「危険ドラッグ対策」(14.7%)が続いている。

【属性別結果】（図 1-5 参照）

①地区別

全体結果で最も割合の高かった「空き巣や自転車盗などの盗難対策」については、北区（54.8%）と西蒲区（58.2%）の割合が高くなっている。

②性別

「子どもの連れ去りや誘拐対策」の割合は、女性（45.3%）の方が男性（37.7%）よりも高くなっている。

③年齢別

「痴漢（ちかん）や盗撮対策」、「繁華街における客引きやスカウト行為対策」は20代（それぞれ13.2%、9.3%）が、「子どもの連れ去りや誘拐対策」は30代（73.4%）が、「空き巣や自転車盗などの盗難対策」「パソコンや携帯電話などのインターネット犯罪対策」は50代（それぞれ55.0%、33.1%）が、「特殊詐欺（振り込め詐欺）対策」は75歳以上（53.5%）の割合が、それぞれ高くなっている。

図 1-5 地域の安全のために必要と思われる防犯対策 1/2

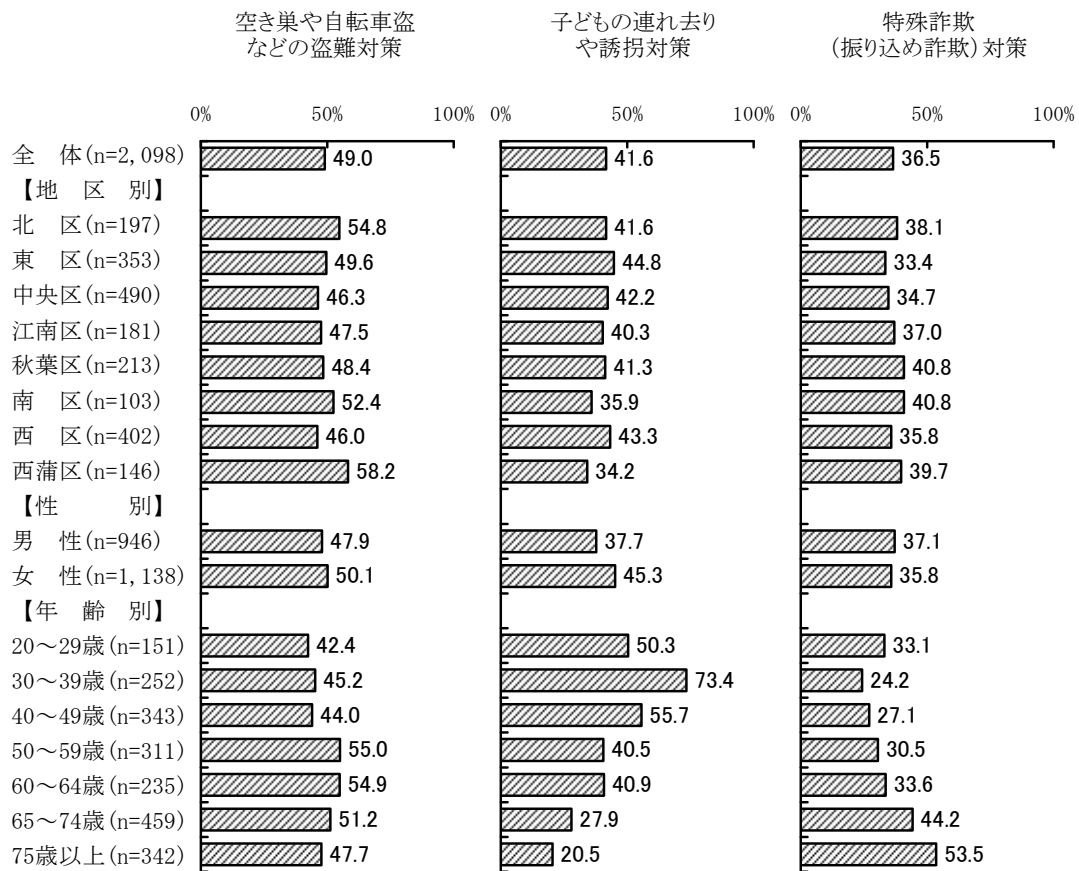
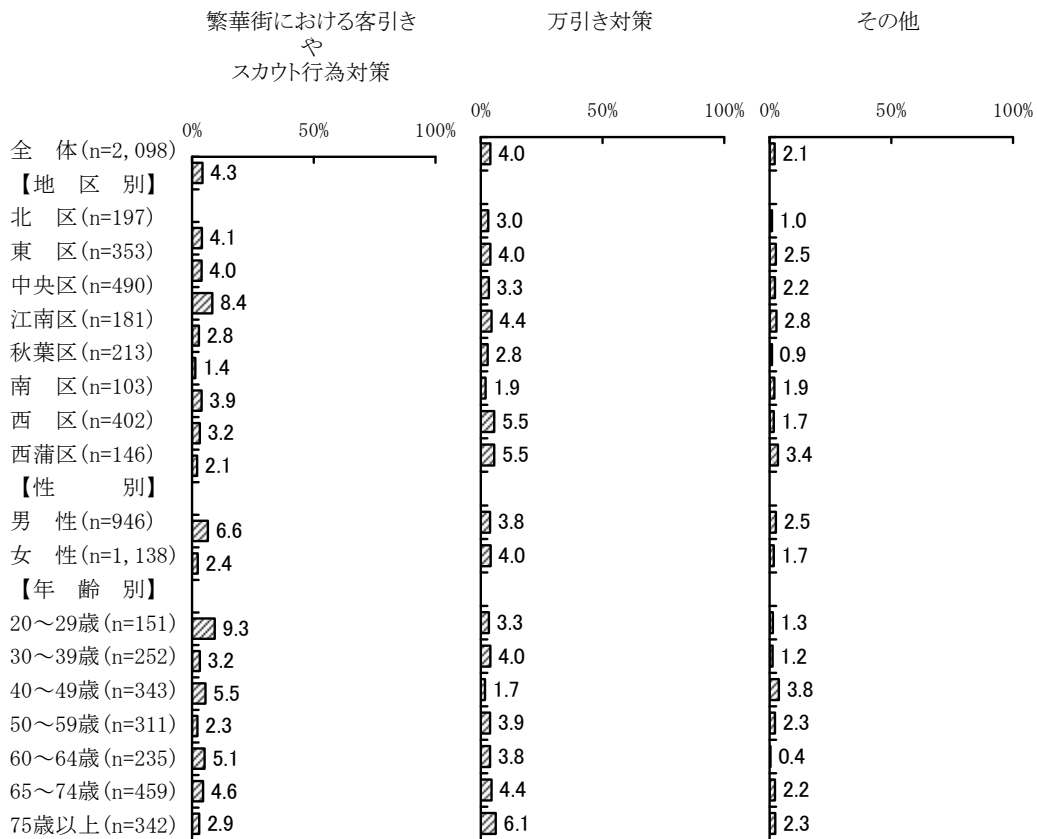
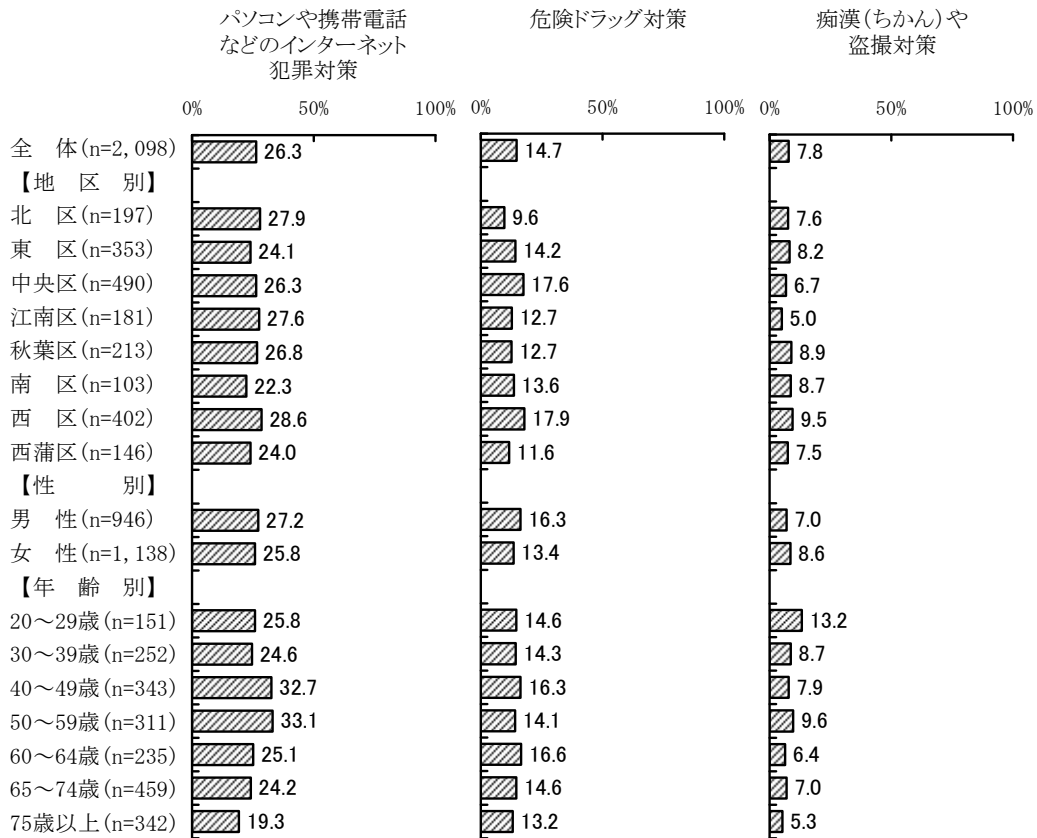
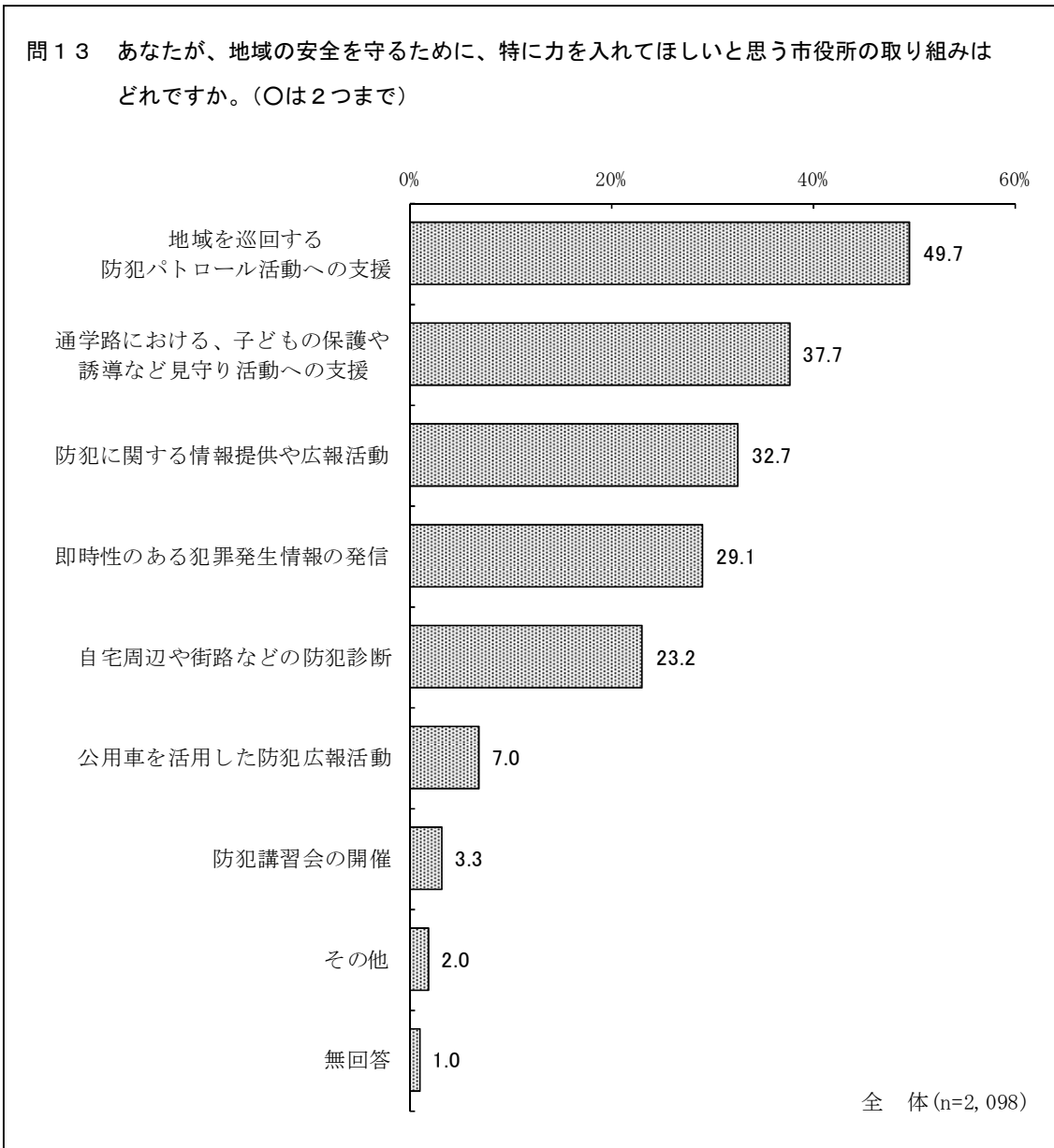


図1-5 地域の安全のために必要と思われる防犯対策 2/2



(6) 地域の安全を守るために特に力を入れてほしい市の取り組み



——— 「地域を巡回する防犯パトロール活動への支援」が5割弱 ———

【全体結果】

地域の安全を守るために特に力を入れてほしい市の取り組み(複数回答)については、「地域を巡回する防犯パトロール活動への支援」(49.7%)が最も高くなっている。以下、「通学路における、子どもの保護や誘導など見守り活動への支援」(37.7%)と「防犯に関する情報提供や広報活動」(32.7%)が3割台、「即時性のある犯罪発生情報の発信」(29.1%)と「自宅周辺や街路などの防犯診断」(23.2%)が2割台で続いている。

【属性別結果】（図 1-6 参照）

①地区別

全体結果で最も割合の高かった「地域を巡回する防犯パトロール活動への支援」については、中央区（53.7%）の割合が高くなっている。

②性別

「防犯に関する情報提供や広報活動」の割合は、男性（36.6%）の方が女性（29.6%）よりも高くなっている。

③年齢別

「通学路における、子どもの保護や誘導などの見守り活動への支援」は30代（57.1%）が、「即時性のある犯罪発生情報の発信」は40代（34.7%）が、「自宅周辺や街路などの防犯診断」は75歳以上（29.5%）の割合が、それぞれ高くなっている。

図 1-6 地域の安全を守るために特に力を入れてほしい市の取り組み 1/2

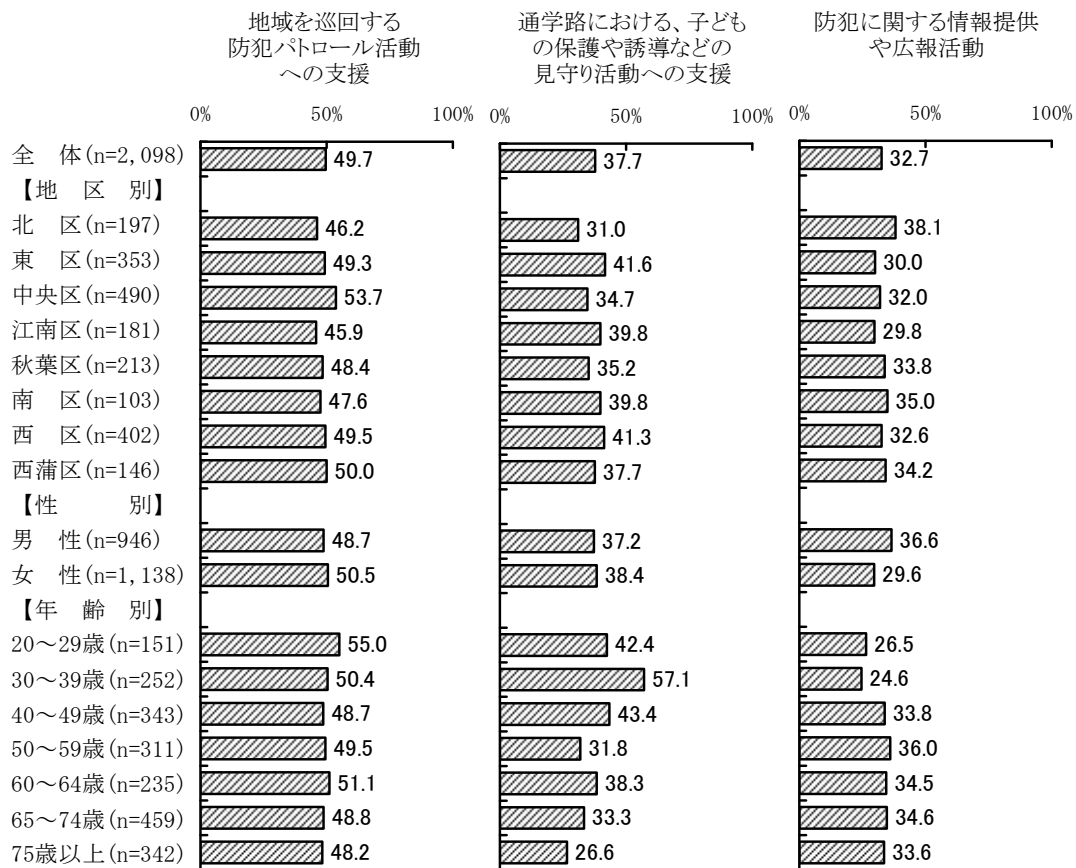
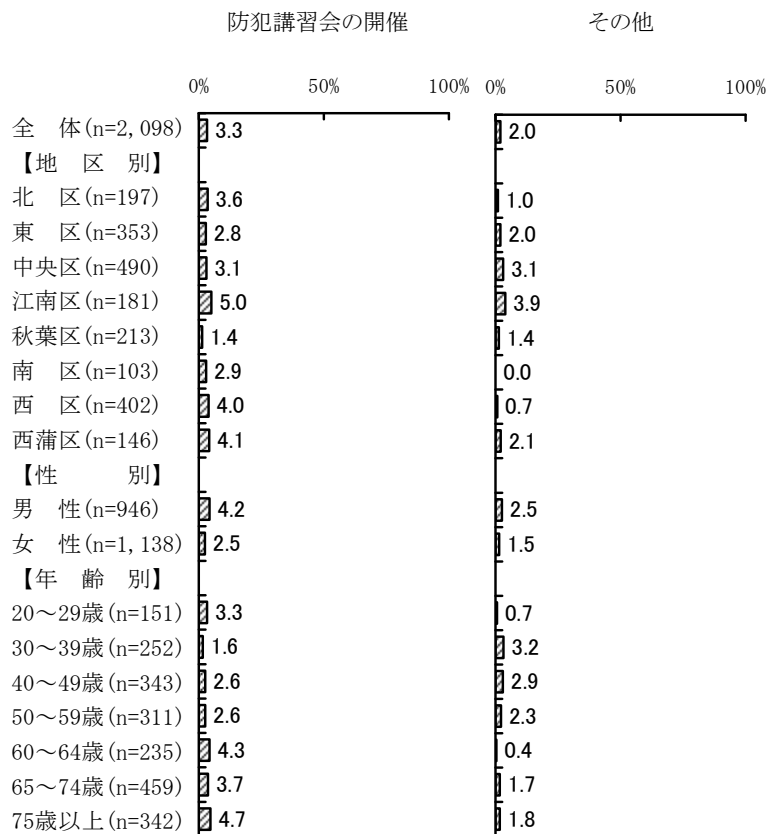
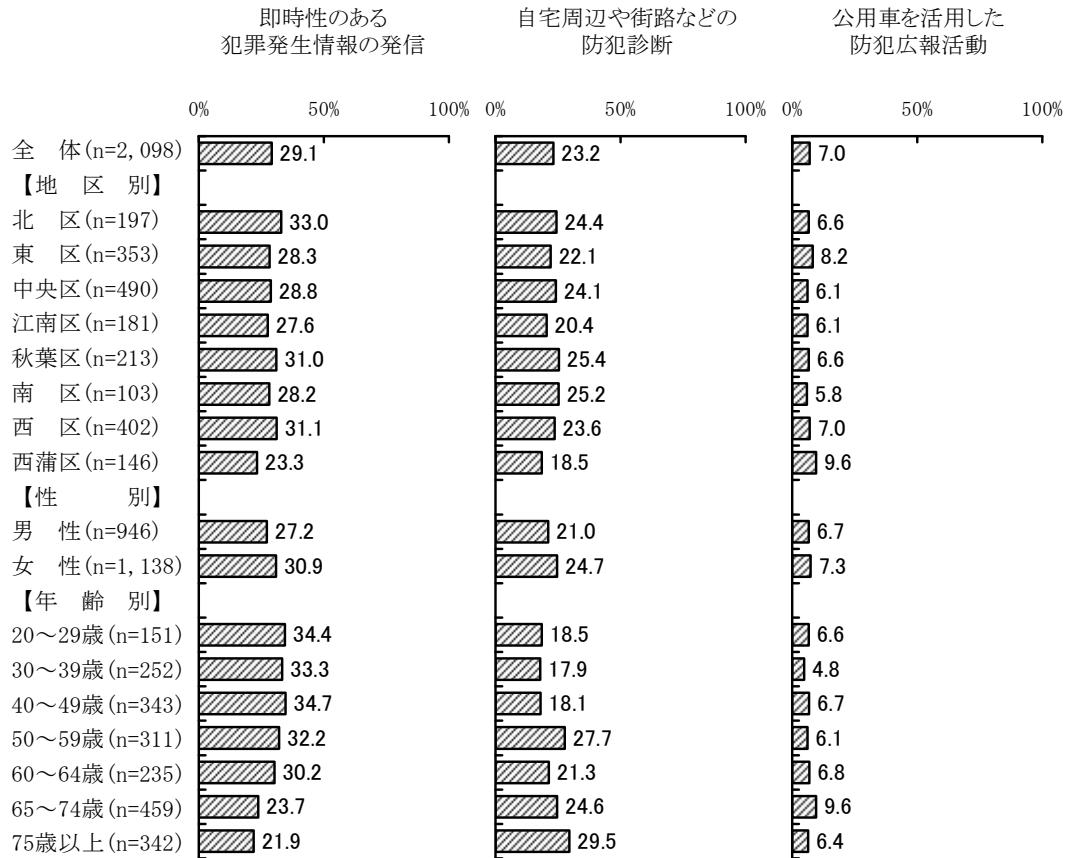
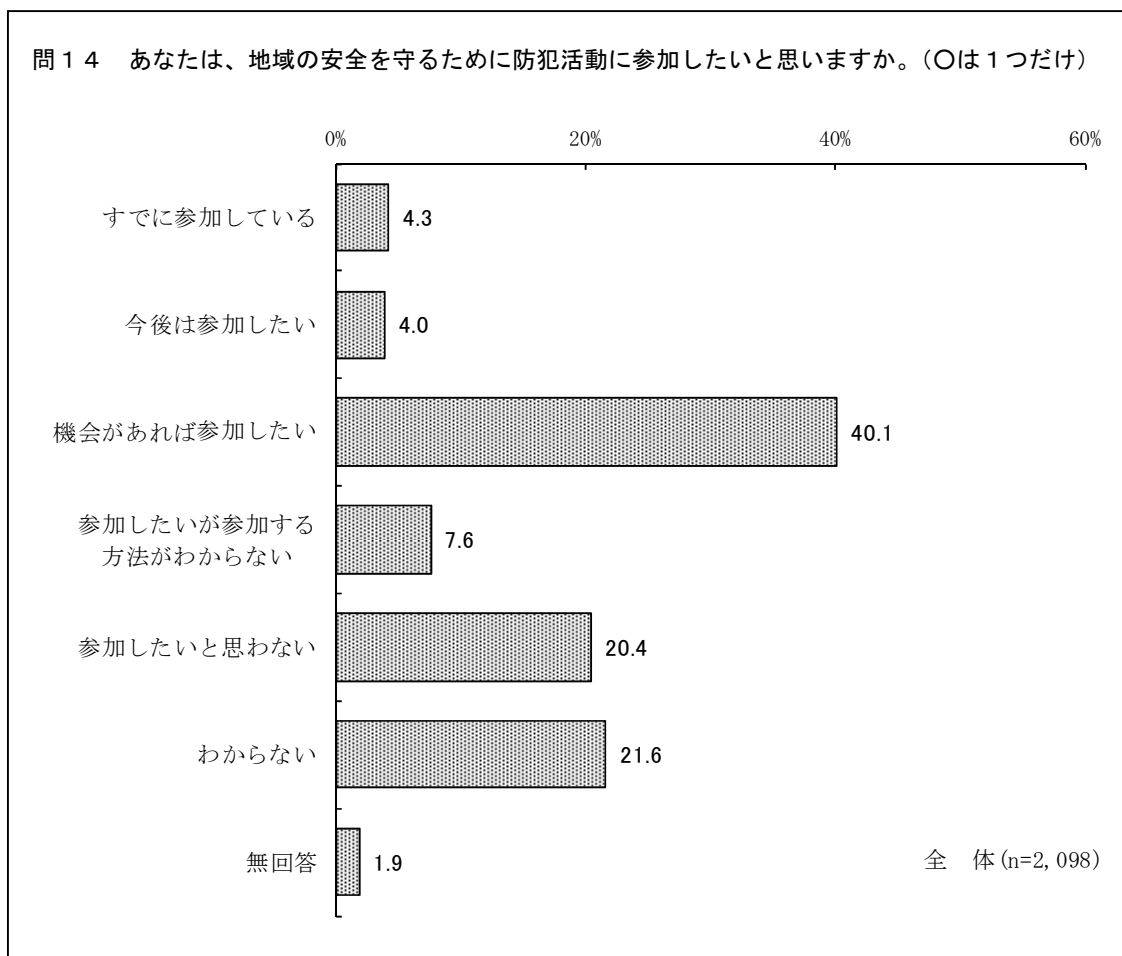


図1-6 地域の安全を守るために特に力を入れてほしい市の取り組み 2/2



(7) 地域の安全を守るための防犯活動への参加意向



地域の防犯活動へ「参加している・参加したい」は5割強

【全体結果】

地域の安全を守るための防犯活動への参加意向については、「すでに参加している」が4.3%、「今後は参加したい」が4.0%、「機会があれば参加したい」が最も高く4割(40.1%)を占め、「参加したいが参加する方法がわからない」が7.6%である。これらの「参加している・参加したい」計で5割強(56.0%)を占めている。

一方で、「参加したいとは思わない」はおおよそ5人に1人の割合(20.4%)でみられる。また、参加したいかどうかについて「わからない」が2割強(21.6%)となっている。

【属性別結果】（図 1-7 参照）

①地区別

「今後は参加したい」では、南区（9.7%）の割合が高く、「参加している・参加したい」計でも南区（59.2%）が6割弱を占めている。

②性別

「参加している・参加したい」計の割合は、男性（62.0%）の方が女性（51.3%）よりも高くなっている。

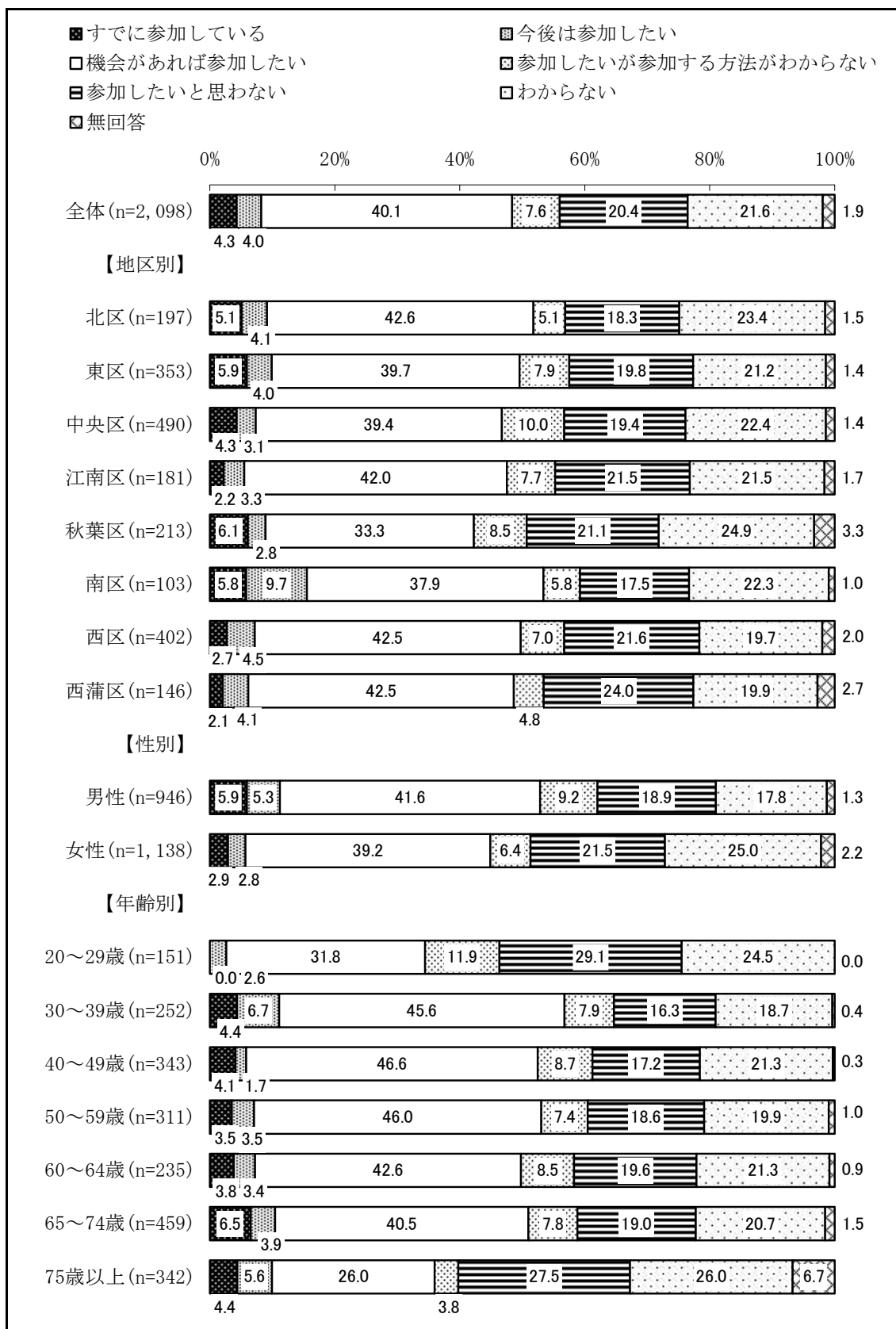
「わからない」の割合は、女性（25.0%）の方が男性（17.8%）よりも高くなっている。

③年齢別

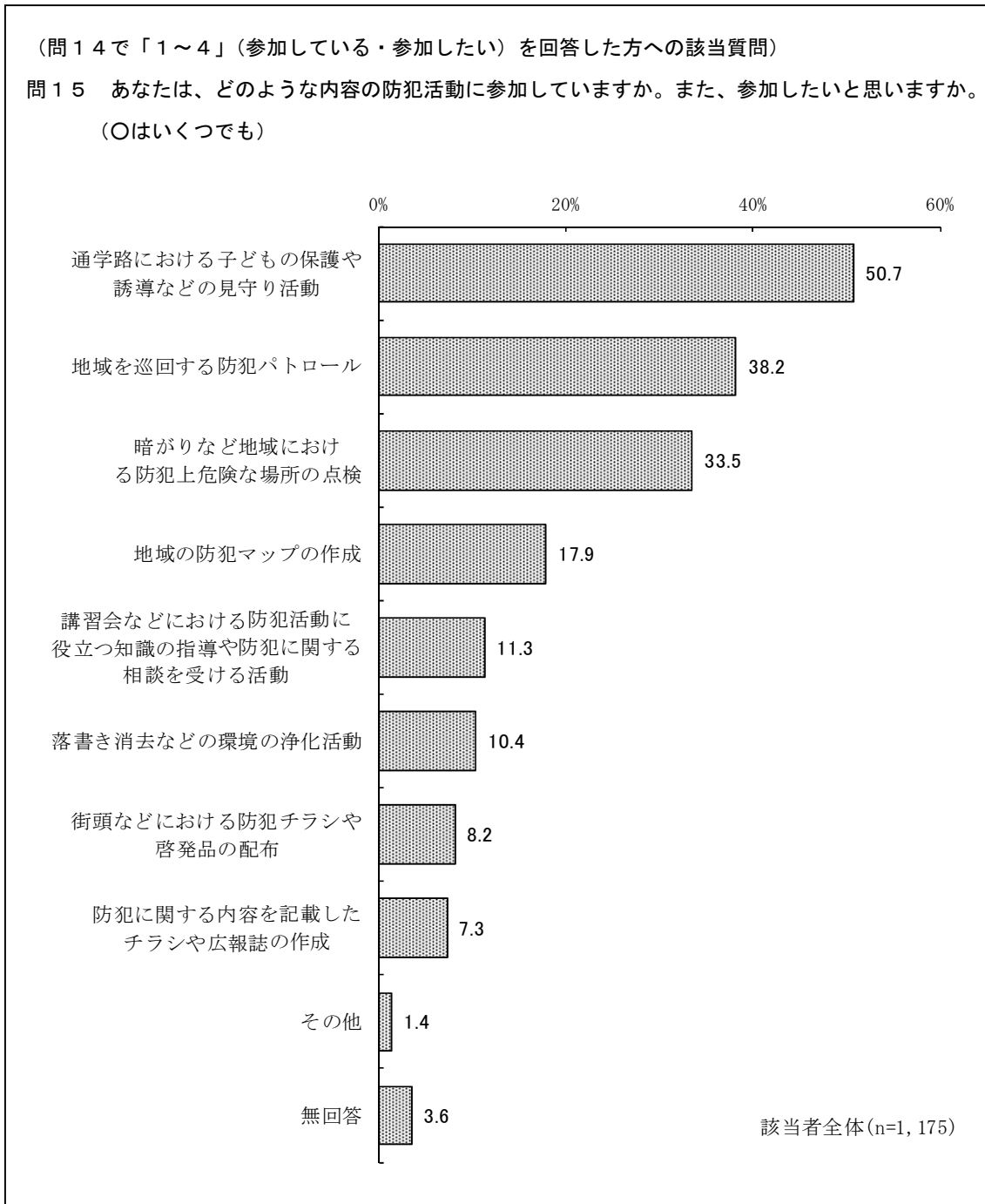
「機会があれば参加したい」の割合は、30代（45.6%）、40代（46.6%）、50代（46.0%）で高く、「参加している・参加したい」計の割合でも6割を超えている。

一方、「参加したいと思わない」の割合は、20代（29.1%）と75歳以上（27.5%）が高く、3割弱を占めている。

図1-7 地域の安全を守るための防犯活動への参加意向（地区別／性別／年齢別）



(8) 参加している・参加したい防犯活動



— 「通学路における子供の保護や誘導などの見守り活動」が最も多い —

問14で、「1~4」(参加している・参加したい)を回答した1,175人に対する質問である。

【全体結果】

参加している、または参加したいと思う地域の防犯活動(複数回答)については、「通学

路における子どもの保護や誘導などの見守り活動」(50.7%)の割合が最も高い。以下、「地域を巡回する防犯パトロール」(38.2%)、「暗がりなど地域における防犯上危険な場所の点検」(33.5%)が3割台で続き、上位を構成している。

【属性別結果】(図 1-8 参照)

①地区別

全体結果で最も割合の高かった「通学路における子どもの保護や誘導などの見守り活動」については、北区(56.3%)が最も高く6割弱となっている。

「地域を巡回する防犯パトロール」と「街頭などにおける防犯チラシや啓発品の配布」は南区(それぞれ44.3%、14.8%)で、「暗がりなど地域における防犯上危険な場所の点検」と「講習会などにおける防犯活動に役立つ知識の指導や防犯に関する相談を受ける活動」は江南区(それぞれ42.0%、20.0%)で最も割合が高くなっている。

②性別

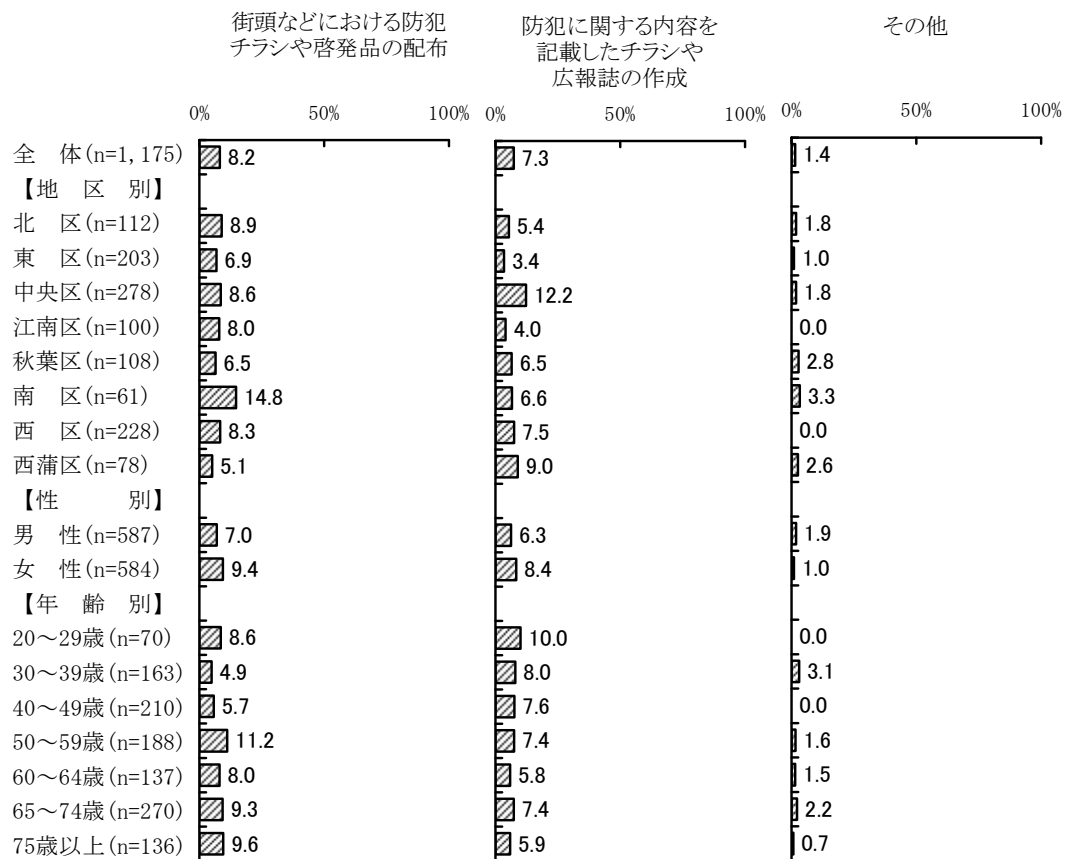
「通学路における子どもの保護や誘導などの見守り活動」の割合は、女性(55.1%)の方が男性(46.7%)よりも高く、「地域を巡回する防犯パトロール」の割合は、男性(47.9%)の方が女性(28.4%)よりも高くなっている。

③年齢別

「通学路における子どもの保護や誘導などの見守り活動」の割合は、30代(63.8%)で、「地域を巡回する防犯パトロール」の割合は60~64歳(48.9%)が高くなっている。

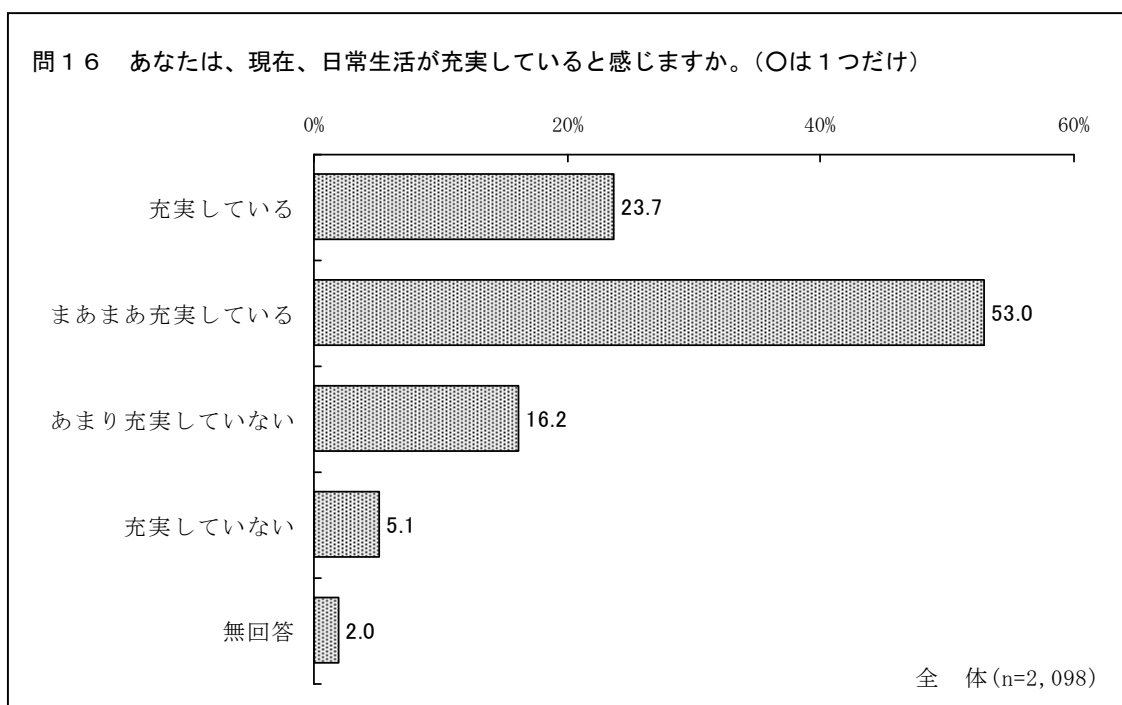
また、20代では「地域の防犯マップの作成」(24.3%)と「講習会などにおける防犯活動に役立つ知識の指導や防犯に関する相談を受ける活動」「落書き消去などの環境の浄化活動」(いずれも17.1%)の割合が高くなっている。

図1-8 参加している・参加したい防犯活動（地区別／性別／年齢別） 2/2



2. こころの健康について

(1) 日常生活の充実度



5割強は日常生活が「まあまあ充実している」

【全体結果】

日常生活の充実度については、「まあまあ充実している」(53.0%)の割合が最も高く、「充実している」(23.7%)と合計した「充実している」計(76.6%)は8割弱を占める。一方、「あまり充実していない」(16.2%)と「充実していない」(5.1%)を合計した「充実していない」計は2割強(21.4%)となっている。

【属性別結果】(図2-1参照)

① 区別

全体結果で最も割合の高かった「まあまあ充実している」については、北区(57.4%)の割合が最も高くなっている。また、「充実している」計の割合は南区(80.5%)で高く、8割強を占めている。

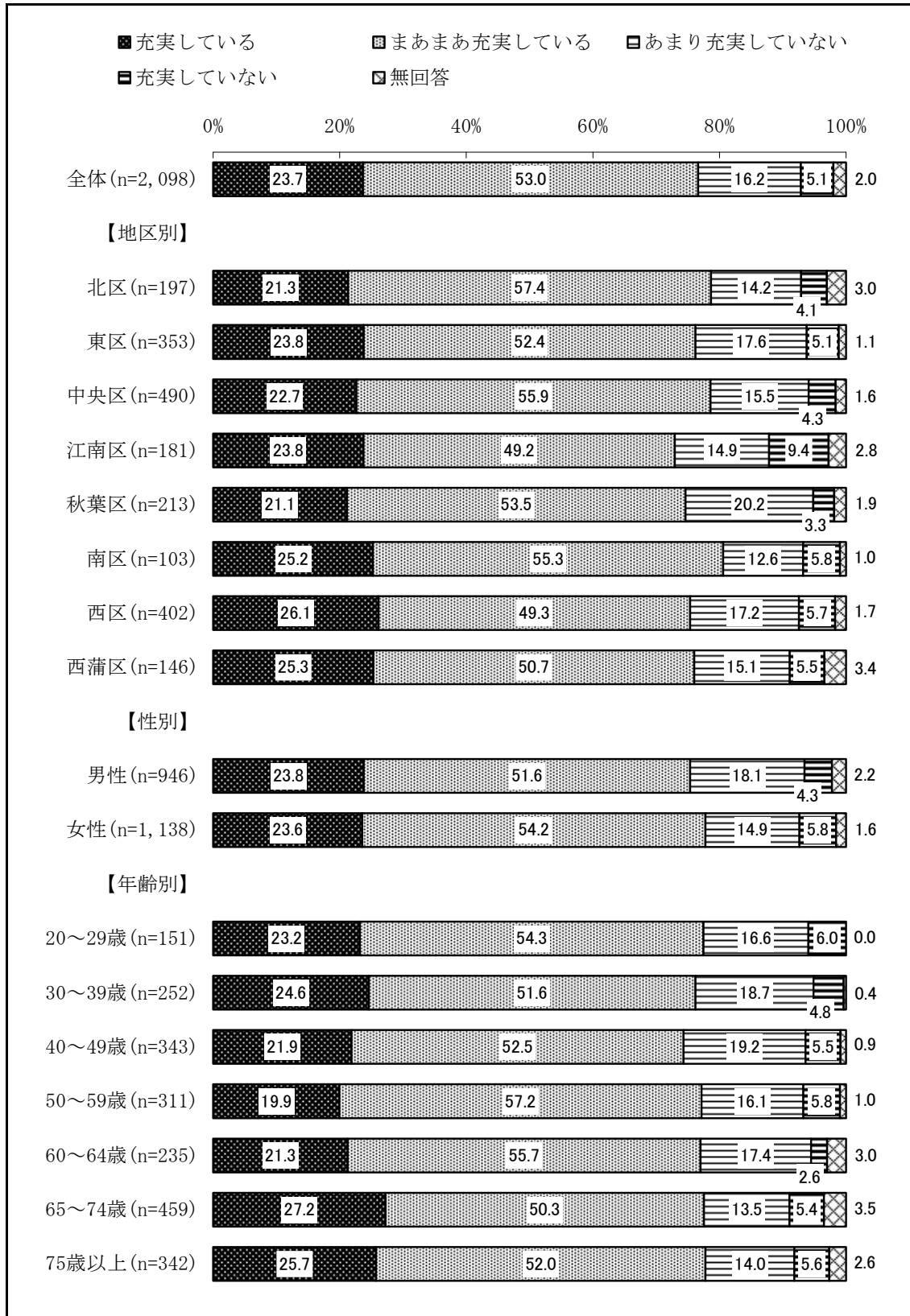
② 性別

性別では、大きな差はみられない。

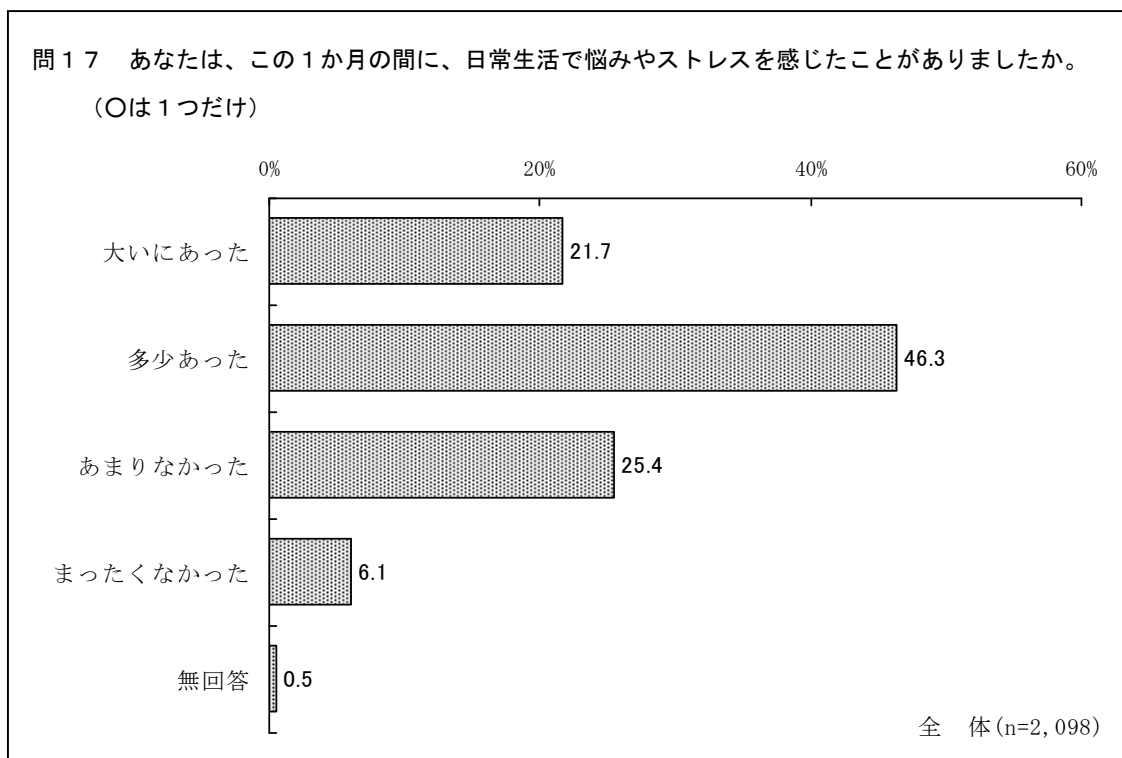
③ 年齢別

「充実している」の割合は、65~74歳(27.2%)が、「まあまあ充実している」の割合は50代(57.2%)がやや高くなっている。

図2-1 日常生活の充実度（地区別／性別／年齢別）



(2) 最近1か月間で悩みやストレスを感じたことの有無



——— 悩みやストレスは「多少あった」が4割強で最も多い ———

【全体結果】

最近1か月間で悩みやストレスを感じたことの有無については、「大いにあった」が2割強 (21.7%)、「多少あった」が4割強 (46.3%) で「悩み・ストレスがあった」計は7割弱 (68.0%) となっている。一方、「あまりなかった」はおよそ4人に1人の割合 (25.4%) でみられ、「まったくなかった」 (6.1%) は少ない。

【属性別結果】（図 2-2 参照）

①地区別

全体結果で最も割合の高かった「多少あった」については、秋葉区（54.0%）の割合が最も高くなっている。また、「悩み・ストレスがあった」計の割合も秋葉区（71.8%）で高く、7割強を占めている。

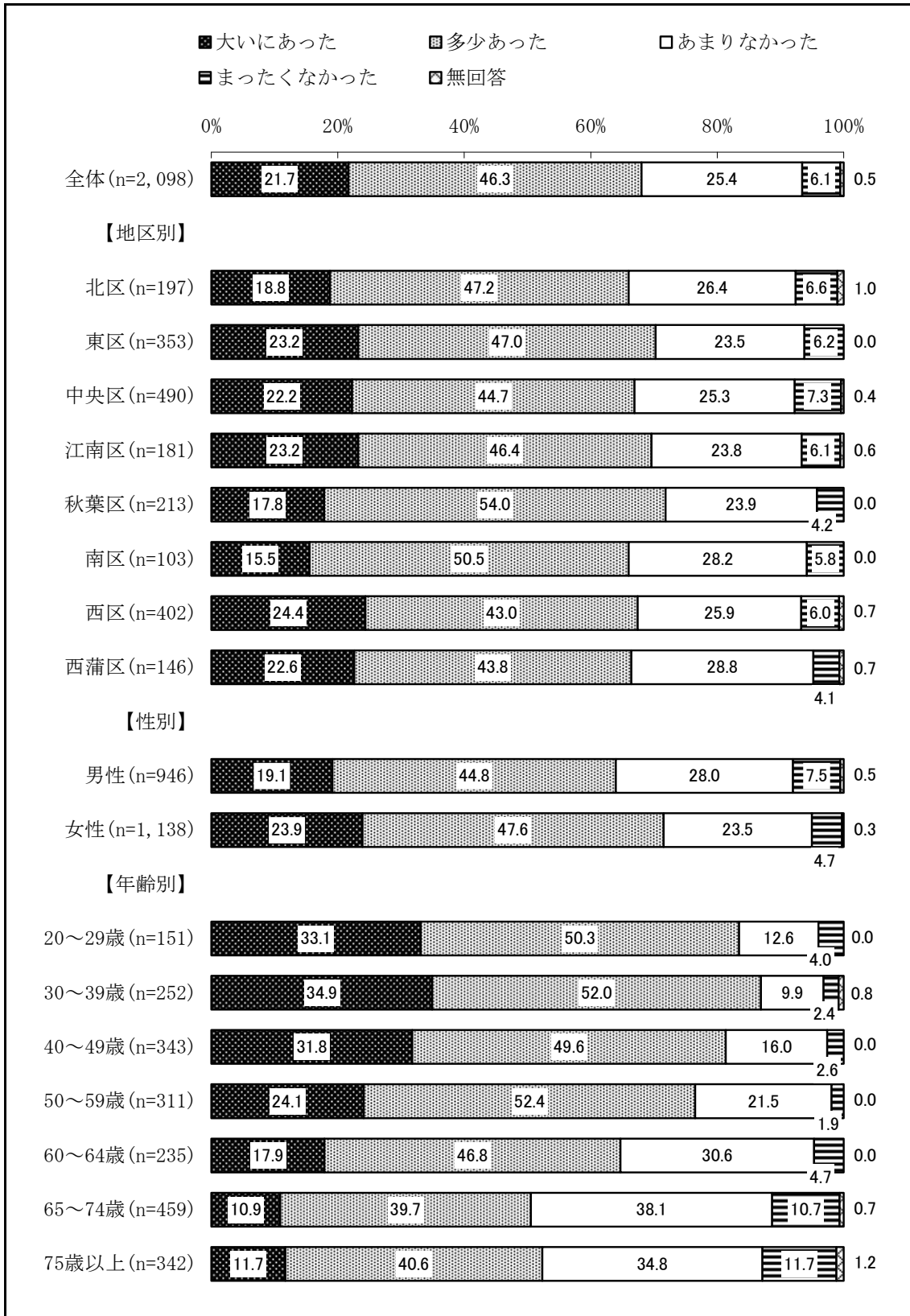
②性別

「悩み・ストレスがあった」計の割合は、女性（71.5%）の方が男性（63.9%）よりも高くなっている。一方、「悩み・ストレスがなかった」計の割合は、男性（35.5%）の方が女性（28.2%）よりも高くなっている。

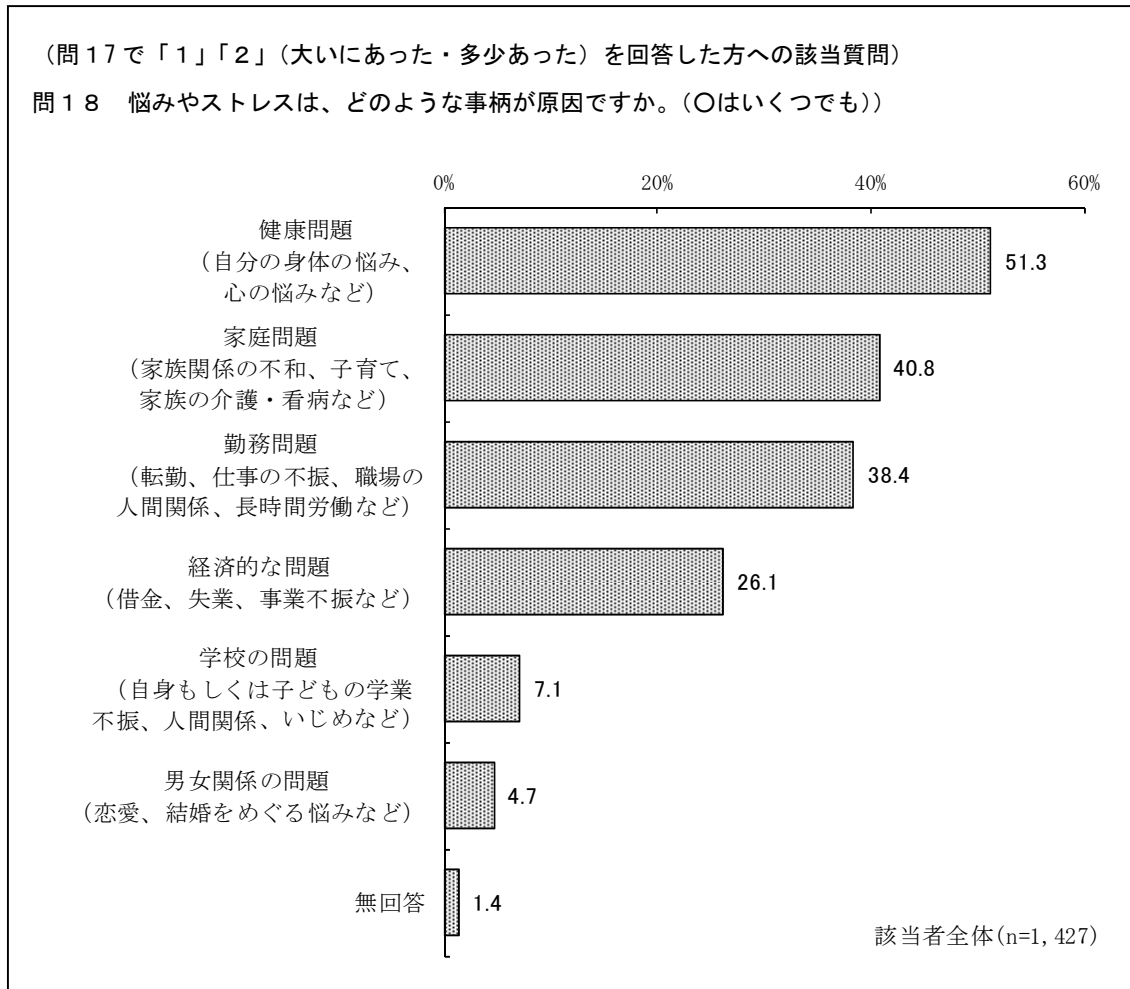
③年齢別

「大いにあった」の割合は、40代以下での割合がそれぞれ3割強で高くなっている。また、「悩み・ストレスがあった」計の割合も40代以下で高く、それぞれ8割を超えている。一方、「悩み・ストレスがなかった」計の割合は、65歳以上で高く、それぞれ5割弱を占めている。

図2-2 最近1か月間で悩みやストレスを感じたことの有無（地区別／性別／年齢別）



(3) 悩みやストレスの原因



—— 5割強が悩みやストレスの原因として「健康問題」を回答 ——

問17で、「1～4」(大いにあった・多少あった)を回答した1,427人に対する質問である。

【全体結果】

悩みやストレスの原因(複数回答)については、「健康問題(自分の身体の悩み、心の悩みなど)」(51.3%)の割合が最も高くなっている。以下、「家庭問題(家族関係の不和、子育て、家族の介護・看病など)」(40.8%)と「勤務問題(転勤、仕事の不振、職場の人間関係、長時間労働など)」(38.4%)がそれぞれ4割前後で、「経済的な問題(借金、失業、事業不振など)」(26.1%)が2割台で続く。

「学校の問題(自身もしくは子どもの学業不振、人間関係、いじめなど)」(7.1%)や「男女関係の問題(恋愛、結婚をめぐる悩みなど)」(4.7%)は少ない。

【属性別結果】（図 2-3 参照）

①地区別

全体結果で最も割合の高かった「健康問題（自分の身体の悩み、心の悩みなど）」については、秋葉区（57.5％）の割合が最も高くなっている。

「家庭問題（家族関係の不和、子育て、家族の介護・看病など）」の割合は北区（48.5％）で、「勤務問題（転勤、仕事の不振、職場の人間関係、長時間労働など）」の割合は西区（44.3％）で高くなっている。

②性別

「健康問題（自分の身体おの悩み、心の悩みなど）」と「家庭問題（家族関係の不和、子育て、家族の介護・看病など）」の割合は、女性の方が男性よりも高く、「勤務問題（転勤、仕事の不振、職場の人間関係、長時間労働など）」と「経済的な問題（借金、失業、事業不振など）」の割合は、男性の方が女性よりも高くなっている。

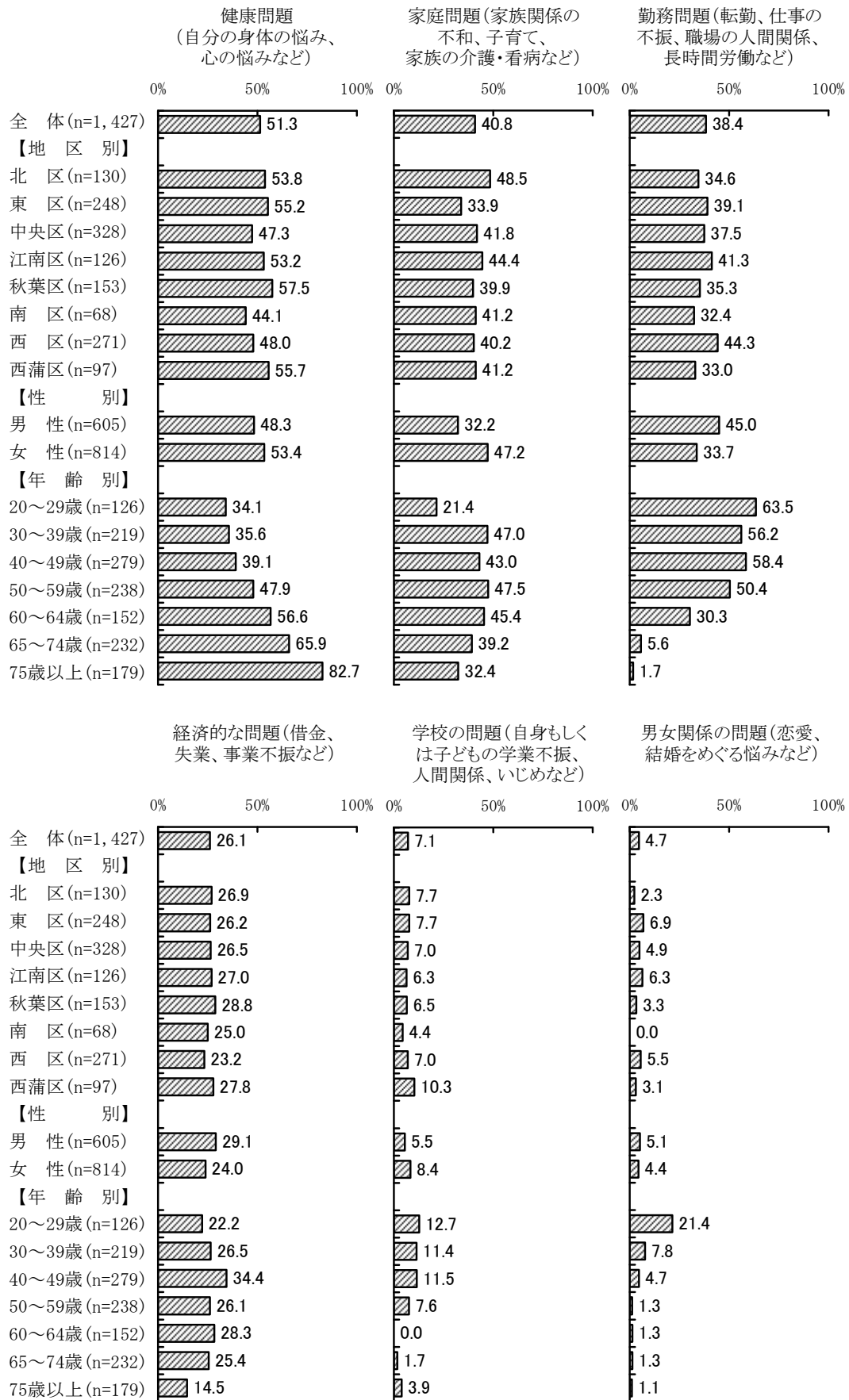
③年齢別

「健康問題（自分の身体おの悩み、心の悩みなど）」の割合は、年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられ、75歳以上（82.7％）では8割強にのぼる。

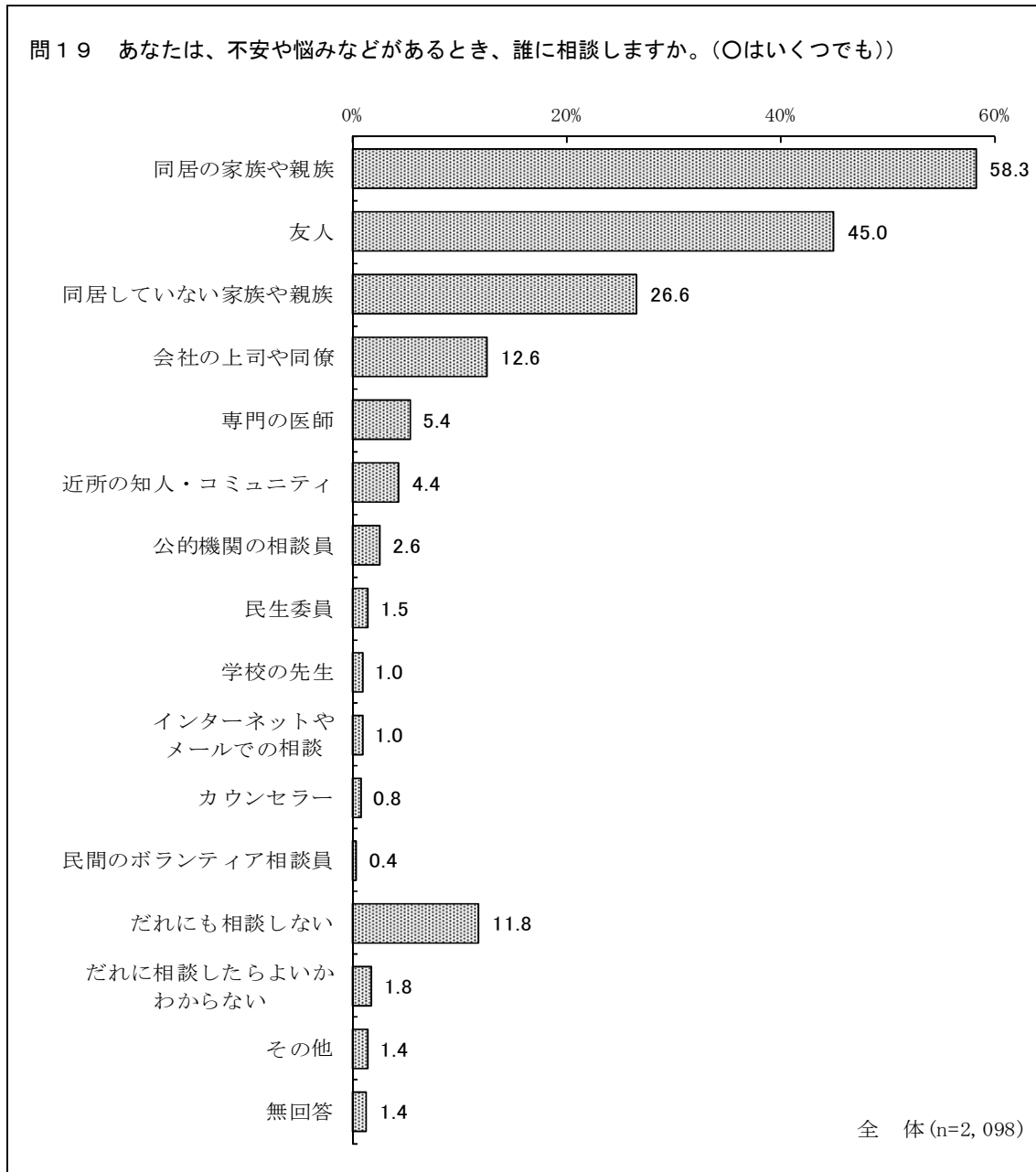
一方、「勤務問題（転勤、仕事の不振、職場の人間関係、長時間労働など）」では50代以下で割合が高く、20代（63.5％）では6割を超えている。また、20代では「学校の問題（自身もしくは子どもの学業不振、人間関係、いじめなど）」（12.7％）、「男女関係の問題（恋愛、結婚をめぐる悩みなど）」（21.4％）の割合も高くなっている。

「家庭問題（家族関係の不和、子育て、家族の介護・看病など）」の割合は50代（47.5％）、「経済的な問題（借金、失業、事業不振など）」の割合は40代（34.4％）で高くなっている。

図2-3 悩みやストレスの原因（地区別／性別／年齢別）



(4) 不安や悩みを抱えたときの相談相手



6割弱が「同居の家族や親族」に相談している

【全体結果】

不安や悩みを抱えたときの相談相手（複数回答）については、「同居の家族や親族」の割合が最も高く 58.3%、「友人」（45.0%）が次いで高い。以下、「同居していない家族や親族」が2割台（26.6%）、「会社の上司や同僚」が1割台（12.6%）が続く。

また、「誰にも相談しない」は1割強（11.8%）みられ、「だれに相談したらよいかわからない」（1.8%）はきわめて少ない

【属性別結果】（図 2-4 参照）

①地区別

全体結果で最も割合の高かった「同居の家族や親族」については、南区（62.1%）の割合が最も高くなっている。

②性別

「友人」と「同居していない家族や親族」の割合は、女性が男性を大きく上回っている。

③年齢別

「友人」の割合は、年齢が下がるにつれて高くなる傾向がみられ、20代では7割弱（67.5%）にのぼる。また、「会社の上司や同僚」の割合も50代以下で高く、30代（26.2%）では3割弱となっている。

一方、「同居していない家族や親族」では75歳以上（33.9%）の割合が高く、3割を超えている。

図 2-4 不安や悩みを抱えたときの相談相手（地区別／性別／年齢別） 1/3

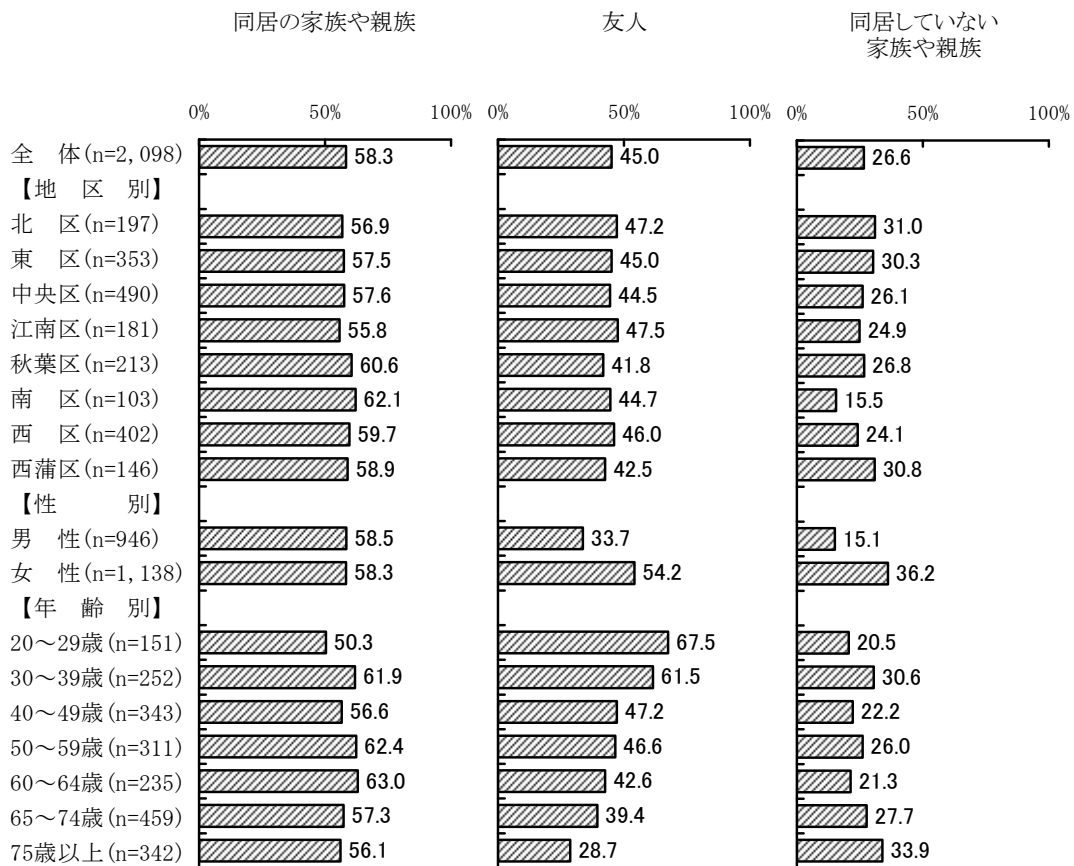
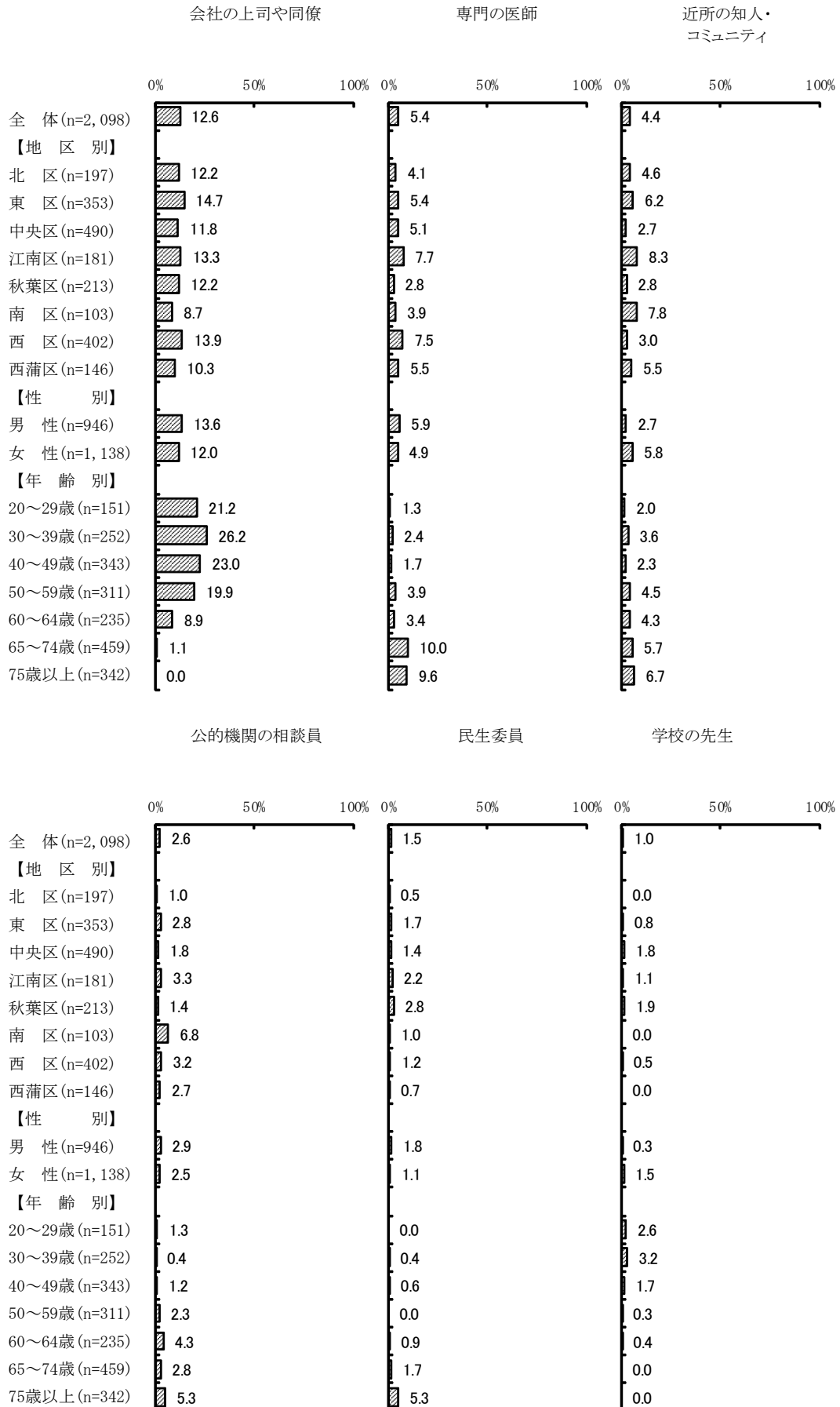
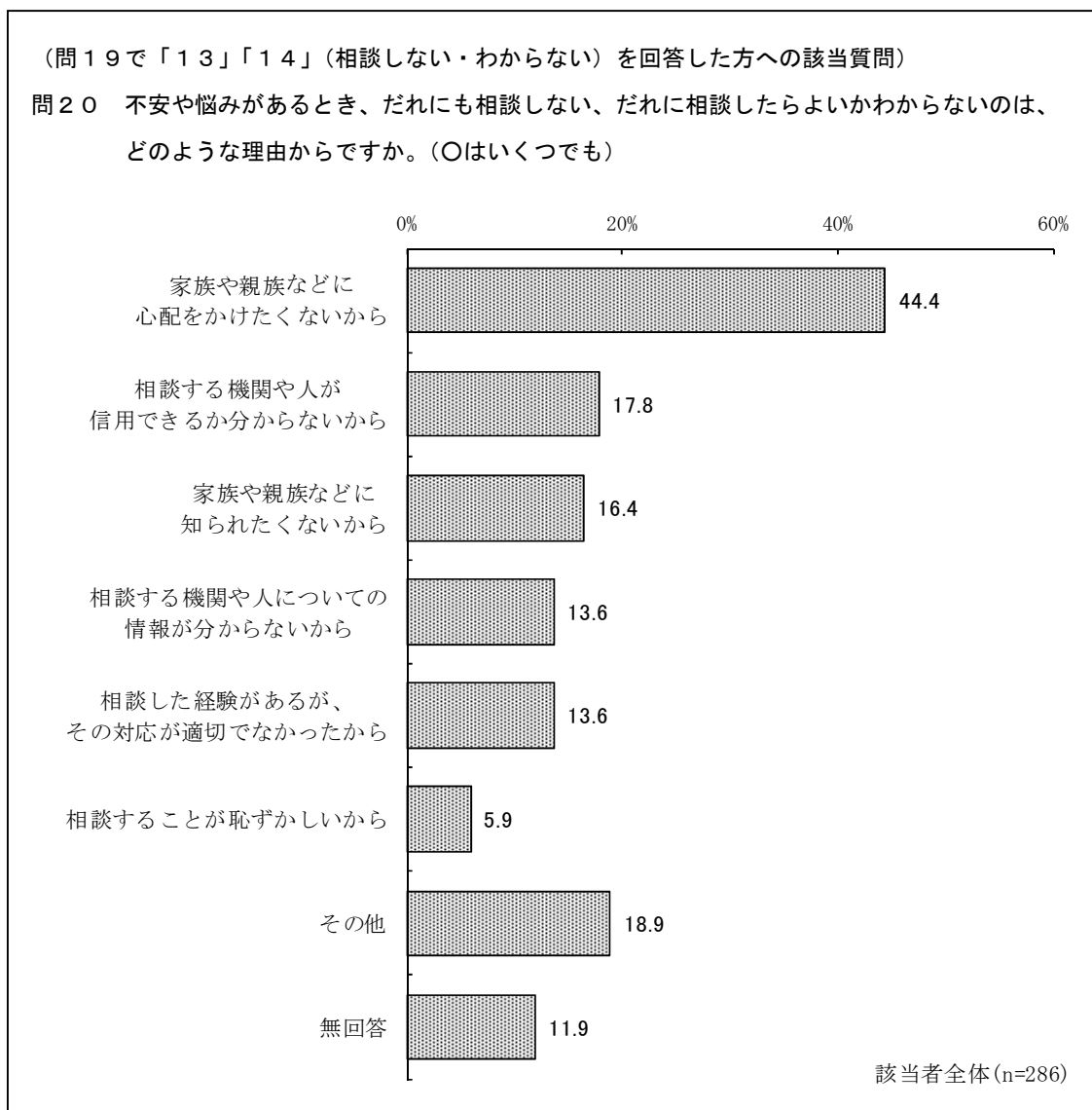


図2-4 不安や悩みを抱えたときの相談相手（地区別／性別／年齢別） 2/3



(5) 相談しない・だれに相談したらよいかわからない理由



—— 「家族や親族などに心配をかけたくないから」が4割強 ——

問19で「13」「14」(相談しない・わからない)を回答した286人への質問である。

【全体結果】

不安や悩みがあるとき、だれにも相談しない、だれに相談したらよいかわからない理由(複数回答)は、「家族や親族などに心配をかけたくないから」(44.4%)の割合が最も高くなっている。以下、「相談する機関や人が信用できるか分からないから」(17.8%)、「家族や親族などに知られたくないから」(16.4%)、「相談する機関や人についての情報が分からないから」(13.6%)、「相談した経験があるが、その対応が適切でなかったから」(13.6%)がそれぞれ1割台で続いている。

【属性別結果】（図 2-5 参照）

回答者数が少ないため、コメントは差し控えました。

図 2-5 相談しない・だれに相談したらよいかわからない理由

（地区別／性別／年齢別） 1/2

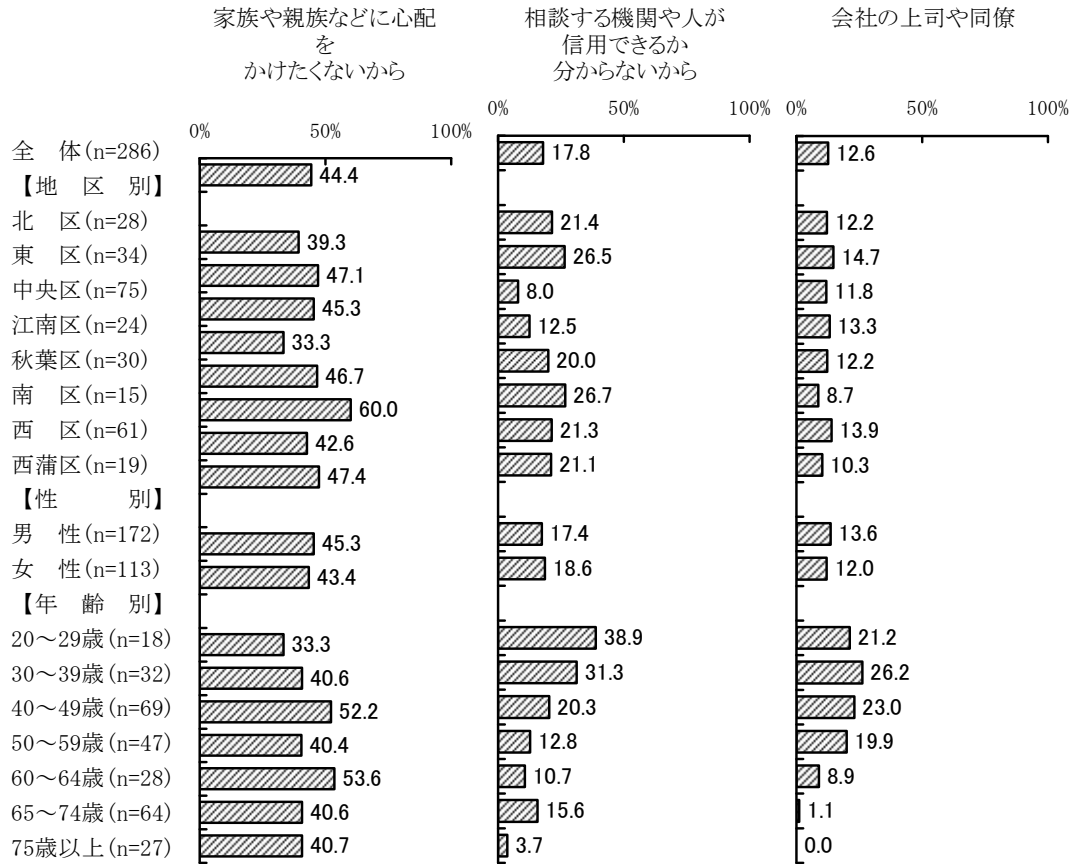
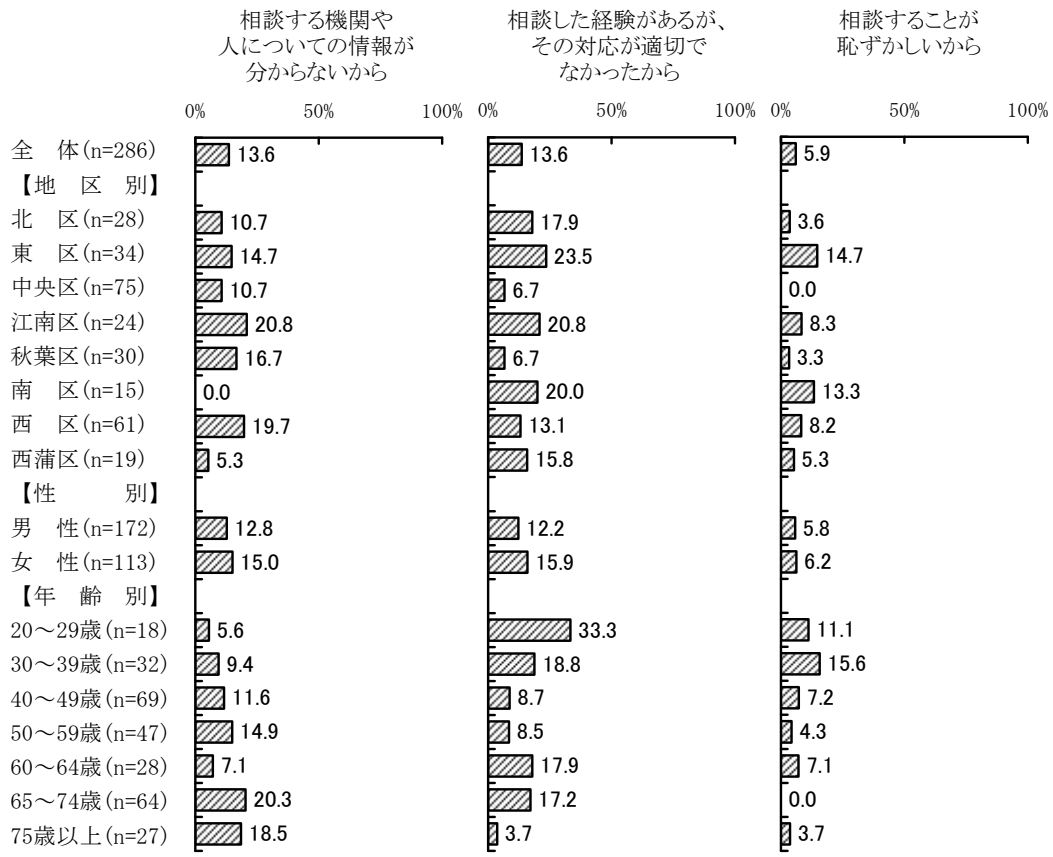
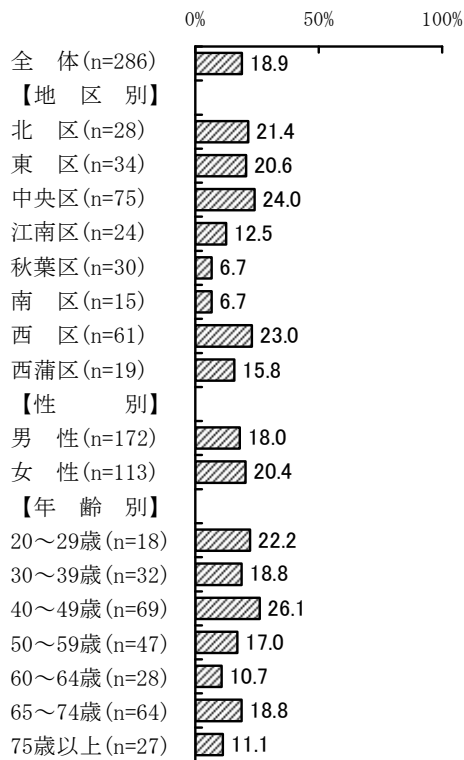


図2-5 相談しない・だれに相談したらよいかわからない理由

(地区別／性別／年齢別) 1/2



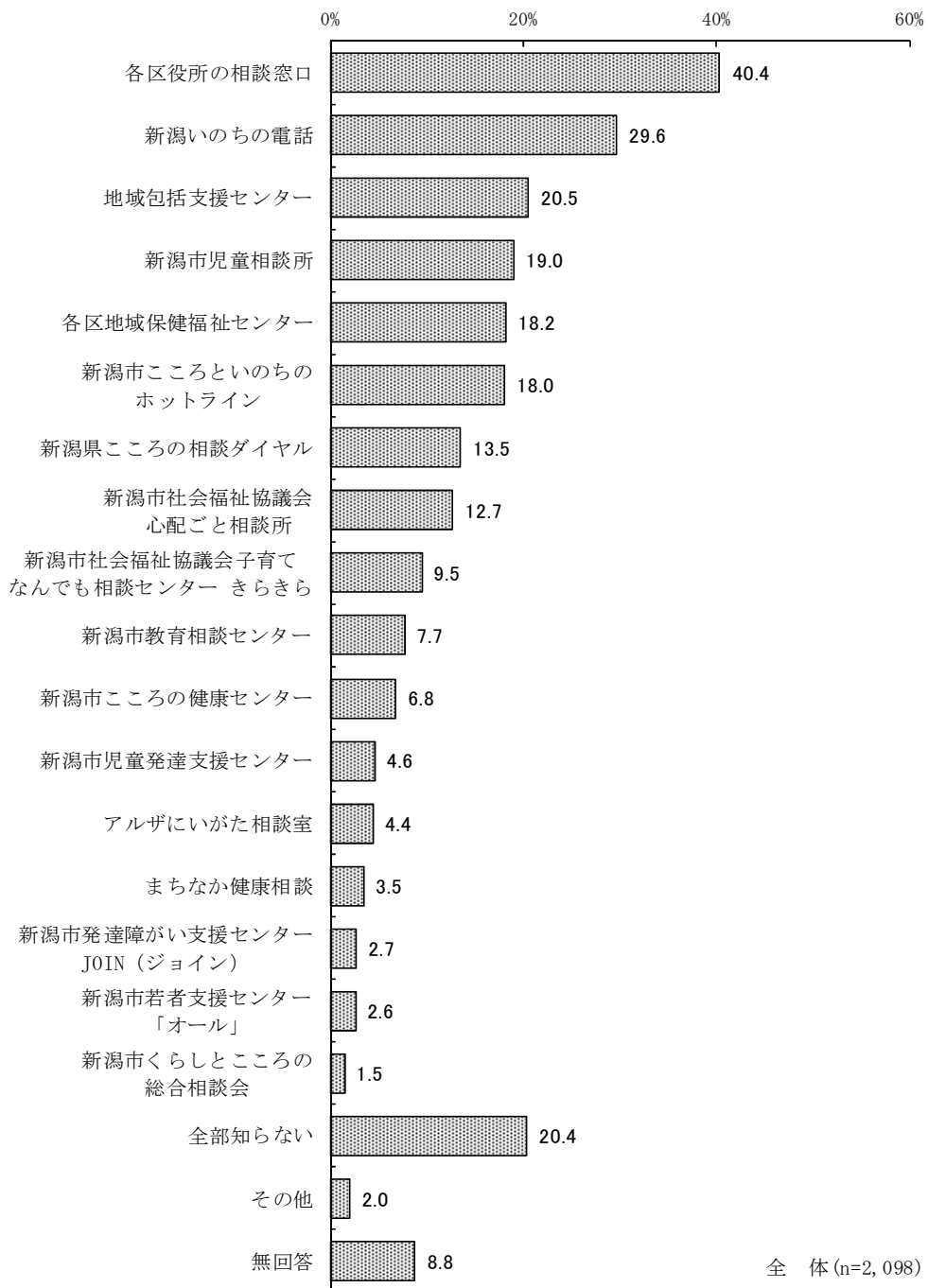
その他



(6) 認知している不安や悩みの相談機関

問21 あなたは、不安や悩みの相談機関などを知っていますか。

あなたの知っている相談機関を教えてください。(〇はいくつでも)



「各区役所の相談窓口」が4割強

【全体結果】

認知している不安や悩みの相談機関（複数回答）については、「各区役所の相談窓口」（40.4%）の割合が最も高い。これに「新潟いのちの電話」（29.6%）と「地域包括支援センター」（20.5%）が2割台で続いている。以下、「新潟市児童相談所」（19.0%）、「各区地域保健福祉センター」（18.2%）、「新潟市ころといのちのホットライン」（18.0%）、「新潟県ころの相談ダイヤル」（13.5%）、「新潟市社会福祉協議会心配ごと相談所」（12.7%）が1割台で続く。

また、「全然知らない」は20.4%、およそ5人に1人の割合でみられる。

【属性別結果】（図 2-6 参照）

① 区別

全体結果で最も割合の高かった「各区役所の相談窓口」については、秋葉区（47.9%）の割合が最も高くなっている。また、秋葉区では「地域包括支援センター」（26.8%）の割合も他地区に比べて高く、3割弱となっている。

② 性別

「新潟いのちの電話」「地域包括支援センター」「新潟市児童相談所」「各区地域保健福祉センター」「新潟市ころといのちのホットライン」では男女差がみられ、いずれも女性が男性を上回っている。

③ 年齢別

20代では「新潟市ころといのちのホットライン」（26.5%）と「新潟県ころの相談ダイヤル」（22.5%）、40代では「新潟市児童相談所」（25.1%）と「新潟市教育相談センター」（12.8%）、50代では「新潟いのちの電話」（42.4%）、60～64歳では「地域包括支援センター」（27.2%）、65～74歳では「各区役所の相談窓口」（51.0%）と「各区地域保健福祉センター」（26.1%）、75歳以上では「新潟市社会福祉協議会心配ごと相談所」（22.5%）が、それぞれ最も高くなっている。

一方、「全部知らない」では30代（32.5%）の割合が高く、3割を超えている。

図2-6 認知している不安や悩みの相談先（地区別／性別／年齢別） 1/4

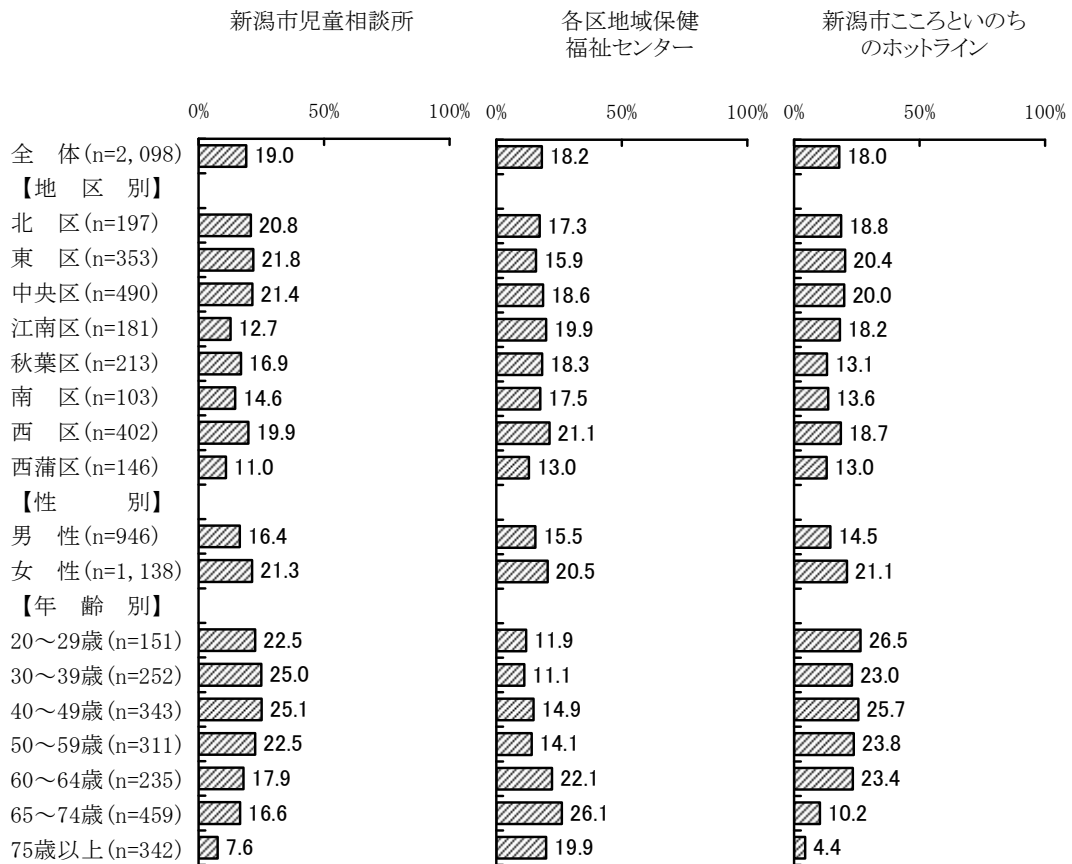
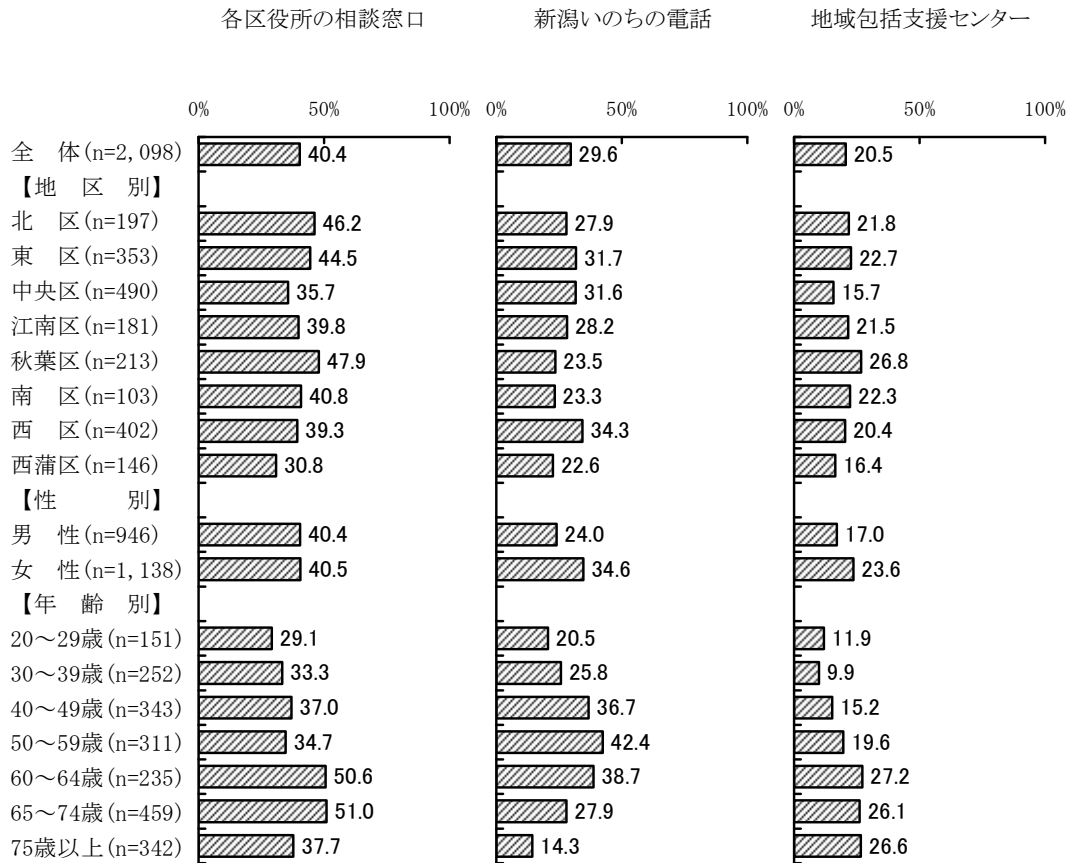


図2-6 認知している不安や悩みの相談先（地区別／性別／年齢別） 2/4

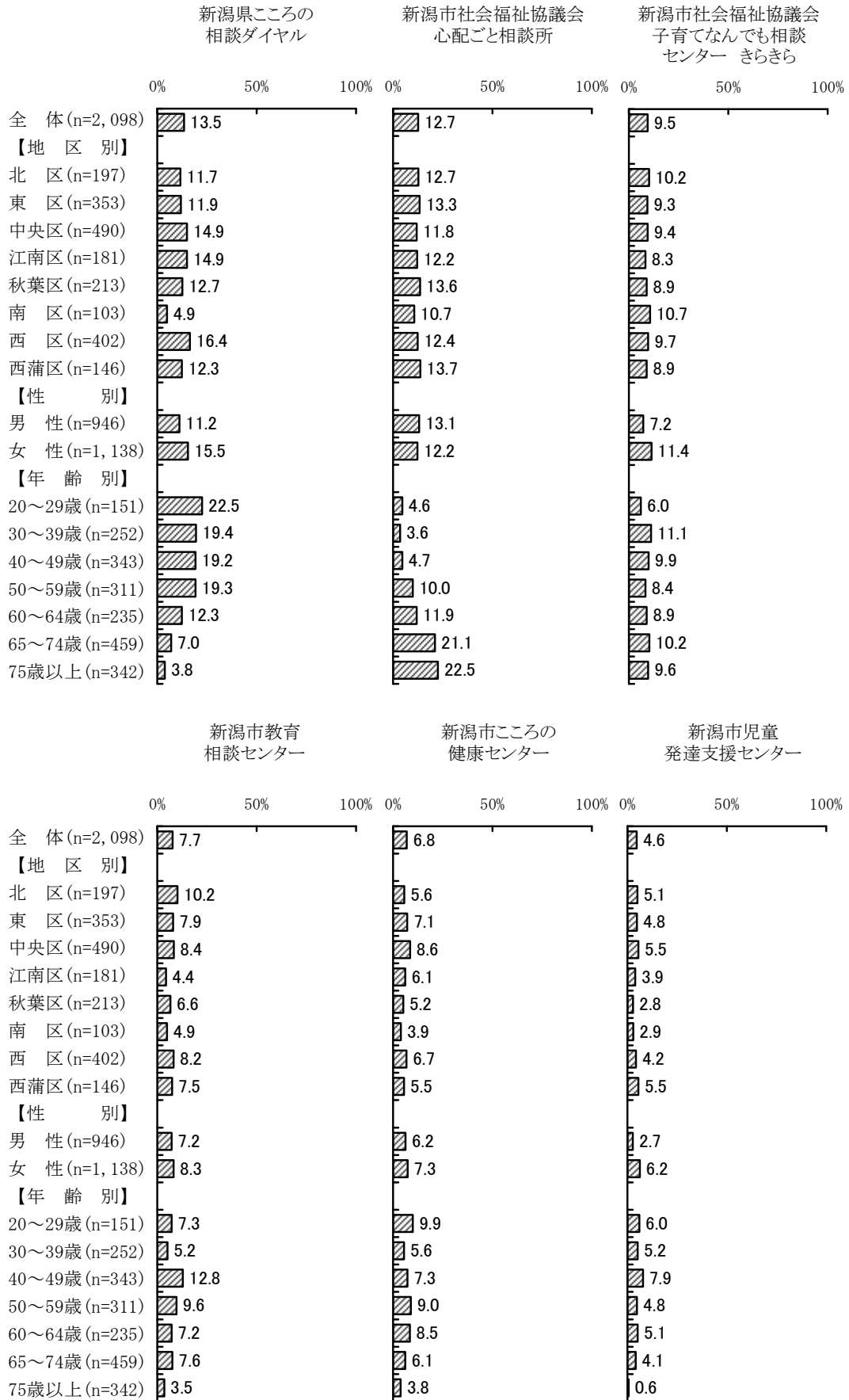


図2-6 認知している不安や悩みの相談先（地区別／性別／年齢別） 3/4

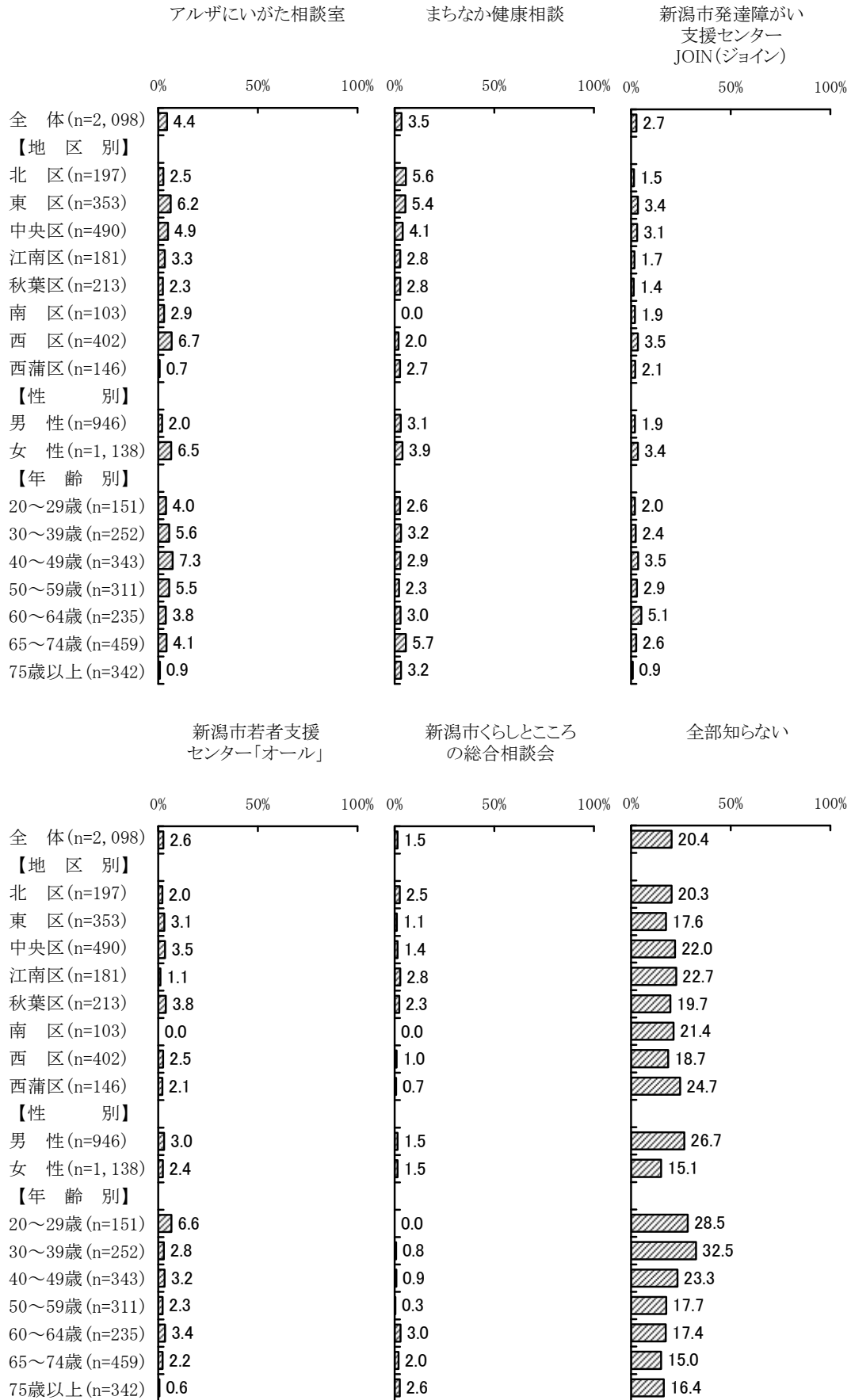
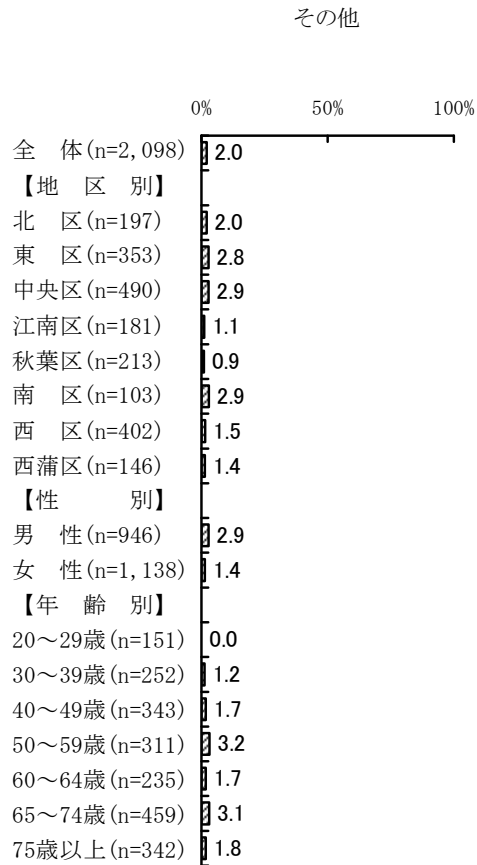
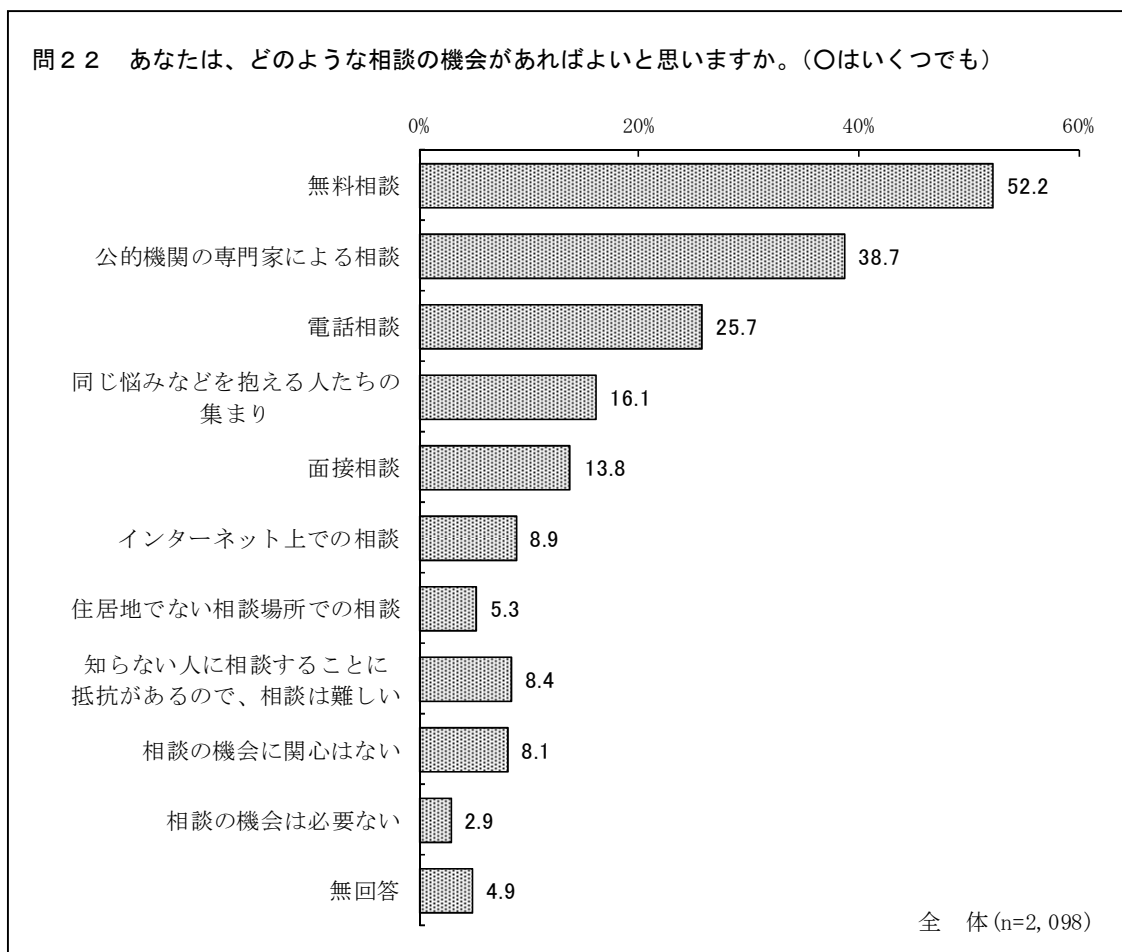


図2-6 認知している不安や悩みの相談先（地区別／性別／年齢別） 4/4



(7) 望まれる相談の機会



半数強が「無料相談」と回答

【全体結果】

どのような相談の機会があればよいか（複数回答）については、「無料相談」（52.2%）の割合が最も高くなっている。以下、「公的機関の専門家による相談」（38.7%）、「電話相談」（25.7%）、「同じ悩みなどを抱える人たちの集まり」（16.1%）、「面接相談」（13.8%）が続いている。

【属性別結果】（図 2-7 参照）

①地区別

全体結果で最も割合の高かった「無料相談」については、東区（55.8%）の割合が最も高くなっている。「公的機関の専門家による相談」では北区（44.2%）の割合が高く、4割強となっている。

②性別

「同じ悩みなどを抱える人たちの集まり」では、女性（20.7%）の方が男性（10.6%）よりも高く、「面接相談」では、男性（16.9%）の方が女性（11.3%）よりも高くなっている。

③年齢別

20代では「インターネット上での相談」（21.2%）、50代では「無料相談」（57.2%）、60～64歳では「電話相談」（31.1%）と「面接相談」（20.0%）が、それぞれ最も高くなっている。

図2-7 望まれる相談の機会（地区別／性別／年齢別） 1/2

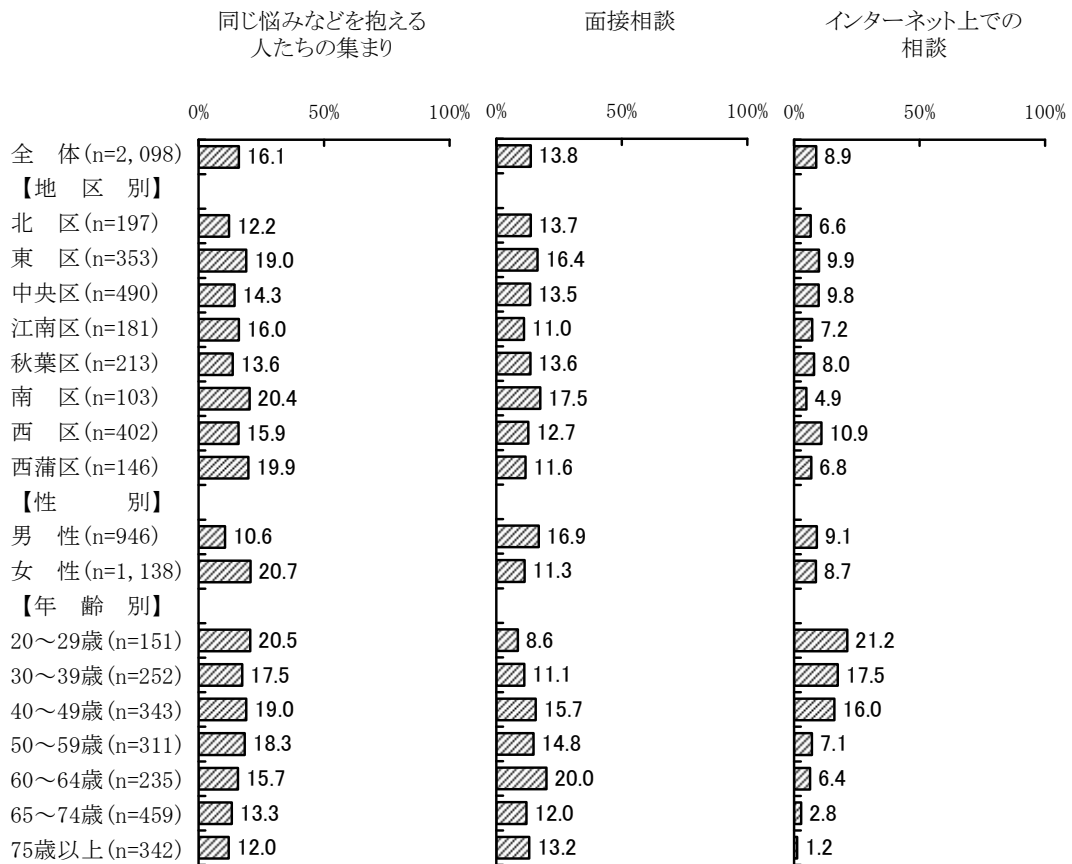
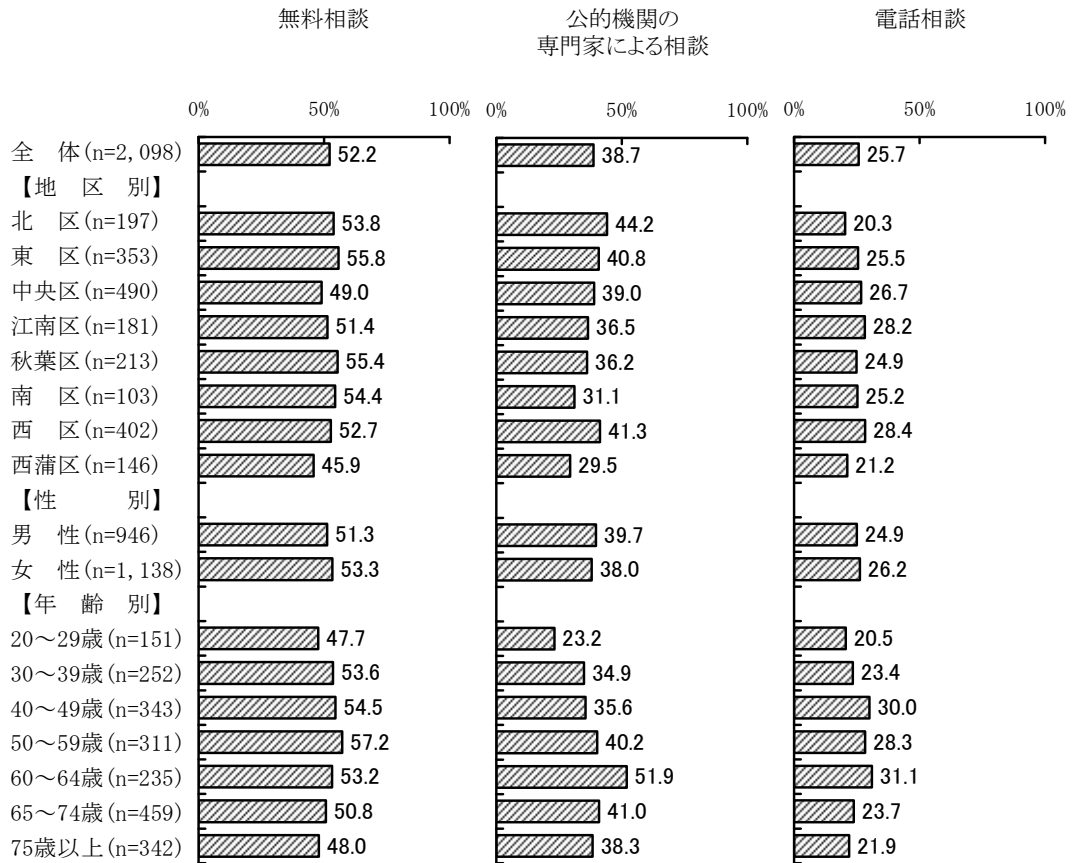
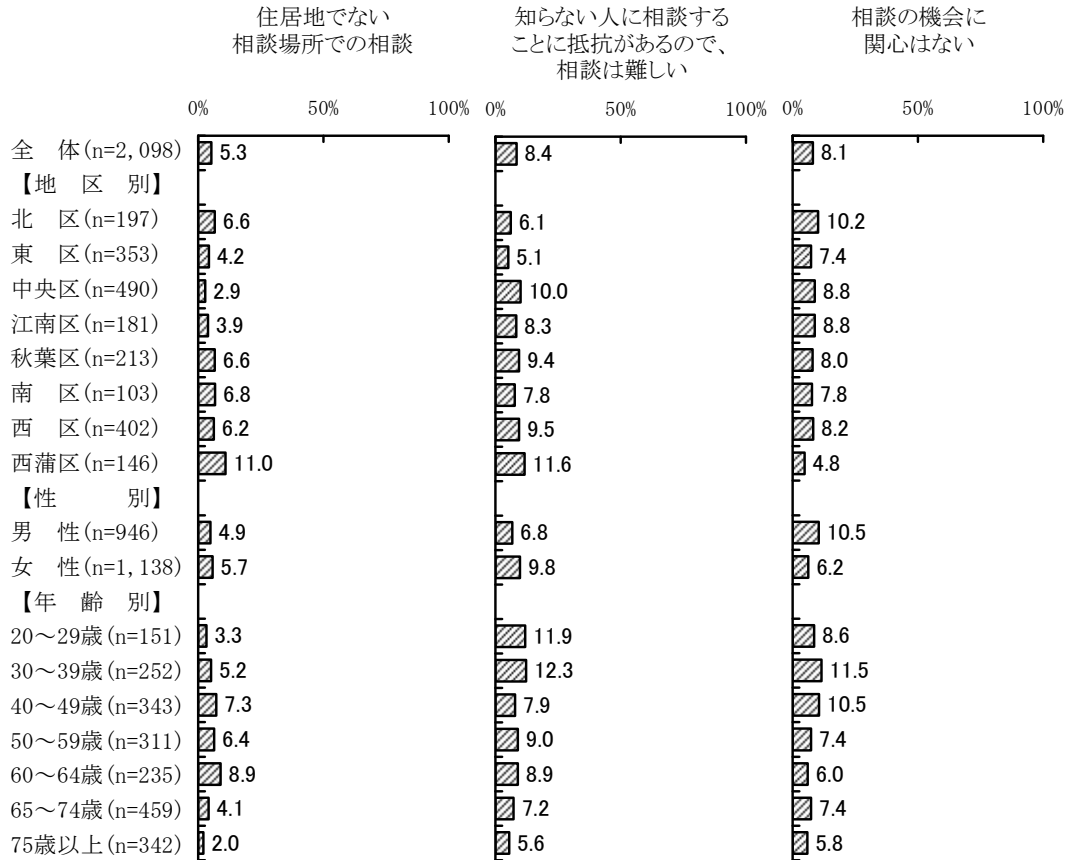


図2-7 望まれる相談の機会（地区別／性別／年齢別） 2/2

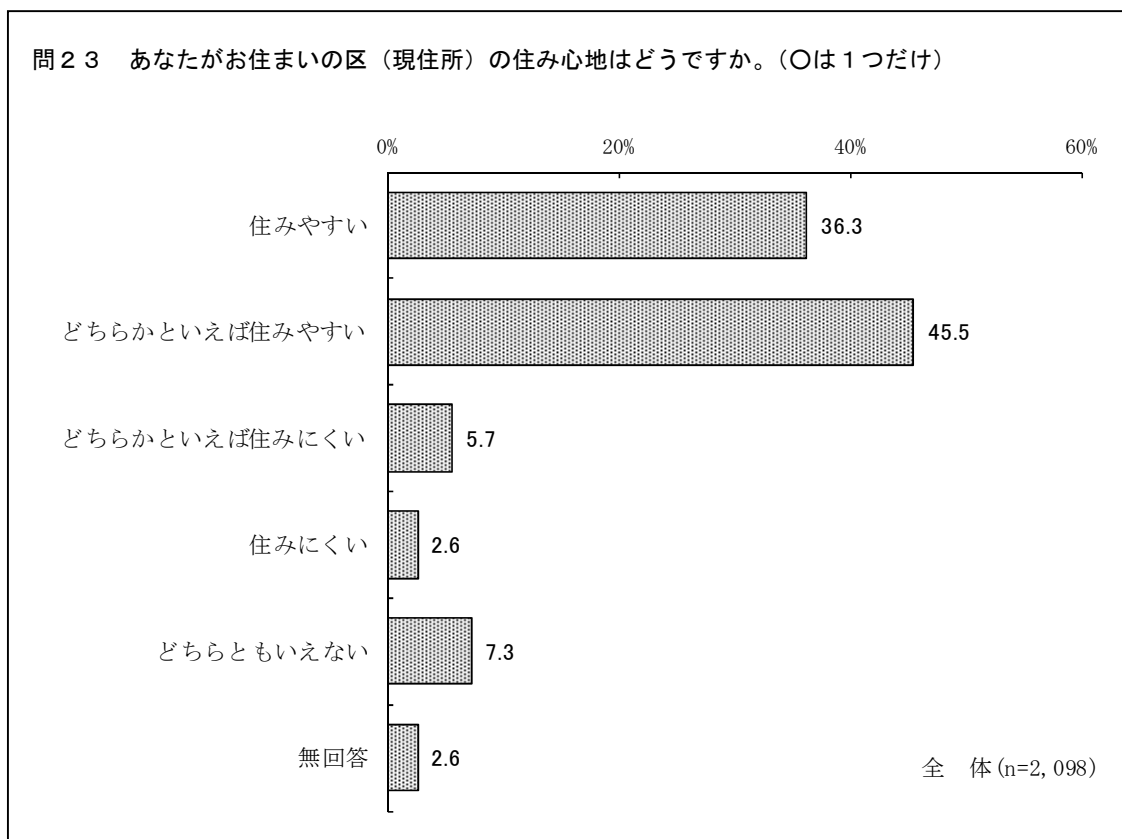


相談の機会はいらない



3. 地域生活について

(1) 現住所の住み心地



8割強が「住みやすい」と回答

【全体結果】

現住所の住み心地については、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせると81.8%となり、8割以上の方が『住みやすい』と回答している。

一方で、「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」は合わせて8.3%となり、『住みにくい』と回答した人の割合は1割に満たない。

【属性別結果】（図 3-1 参照）

① 区別

「住みやすい」については、中央区（42.7%）の割合が最も高くなっている。「住みやすい」計の割合については、中央区（89.0%）と西区（87.6%）で高く、9割弱を占めている。一方、「住みにくい」計の割合は、南区（14.5%）で高くなっている。

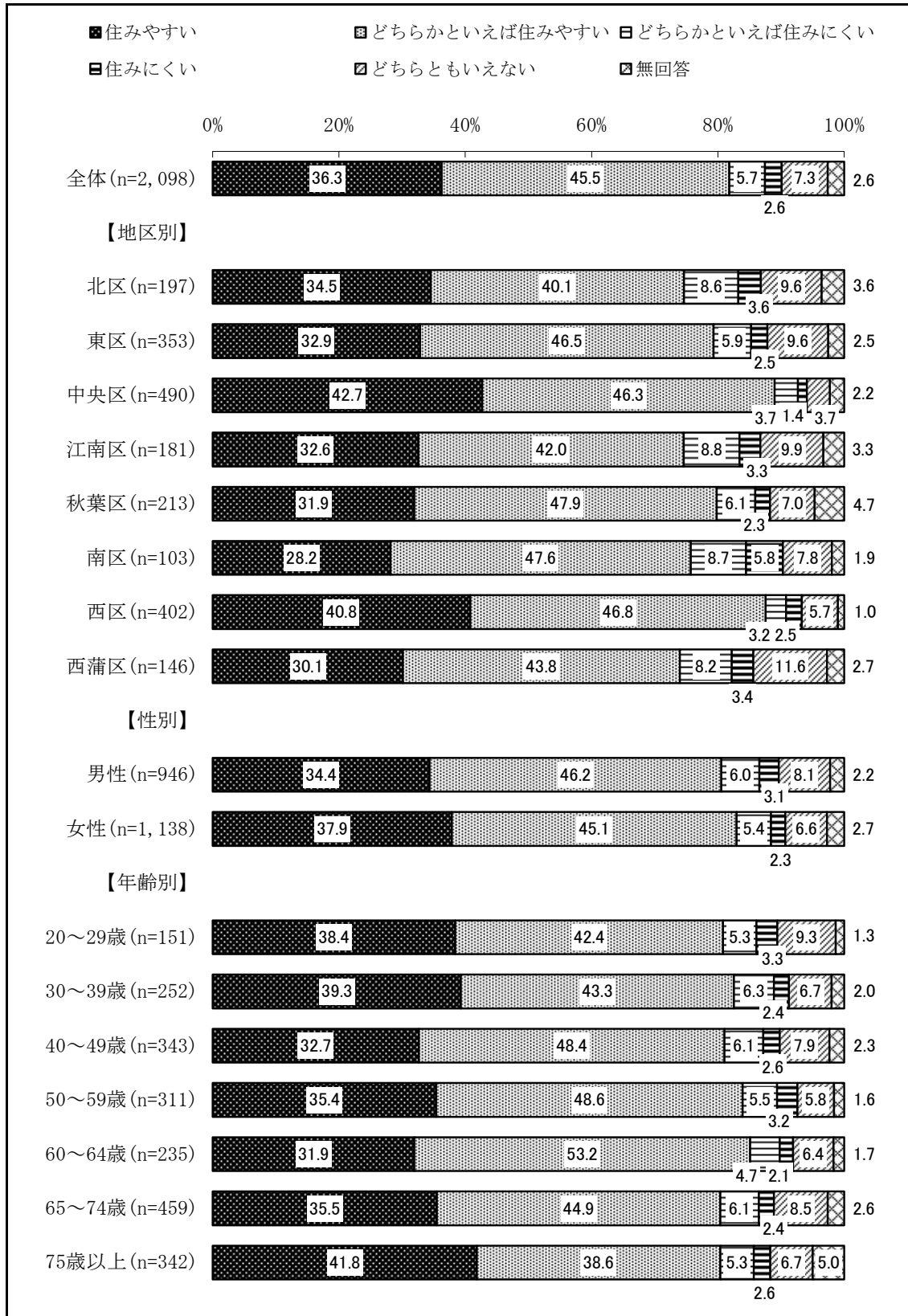
② 性別

性別では、大きな差は見られない。

③ 年齢別

「住みやすい」の割合は、75歳以上（41.8%）の割合が4割強で高くなっている。「どちらかといえば住みやすい」の割合は、60～64歳（53.2%）で高く半数を超えている。

図3-1 現住所の住み心地（地区別／性別／年齢別）



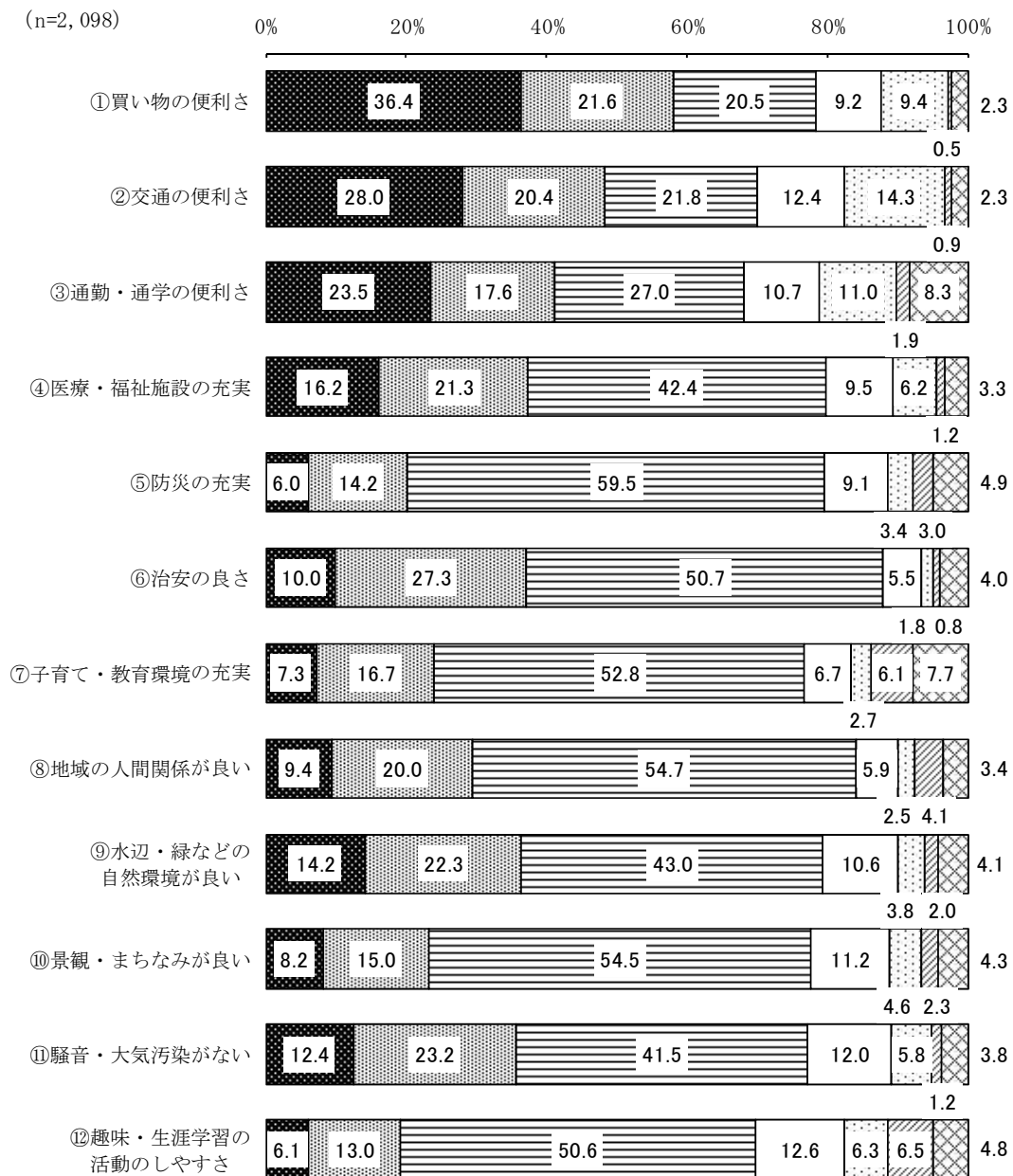
(2) 現住所についての感想

問24 あなたのお住まいの区（現住所）について、どのようにお感じですか。

それぞれの項目ごとに番号を1つ選んで、その番号に○をつけてください。

(○は①～⑫それぞれ1つずつ)

■良い ■どちらかといえば良い ■ふつう □どちらかといえば悪い □悪い ■気にしない ■無回答



【全体結果】

現住所における、各項目に対する良し悪しの感想をみると、「良い（「良い」と「どちらかといえば良い」の合計）」の割合が最も高いのは『① 買い物の便利さ』（58.0%）である。以下、『② 交通の便利さ』（48.4%）、『③ 通勤・通学の便利さ』（41.1%）、『④ 医療・福祉施設の充実』（37.5%）、『⑥ 治安の良さ』（37.3%）が続き、上位を構成している。

一方で、「悪い（「悪い」と「どちらかといえば悪い」の合計）」の割合が高いのは『② 交通の便利さ』（26.7%）、『③ 通勤・通学の便利さ』（21.7%）がそれぞれ2割台となっている。以下、『⑫ 趣味・生涯学習の活動のしやすさ』（18.9%）、『⑪ 騒音・大気汚染がない』（17.8%）などが続いている。

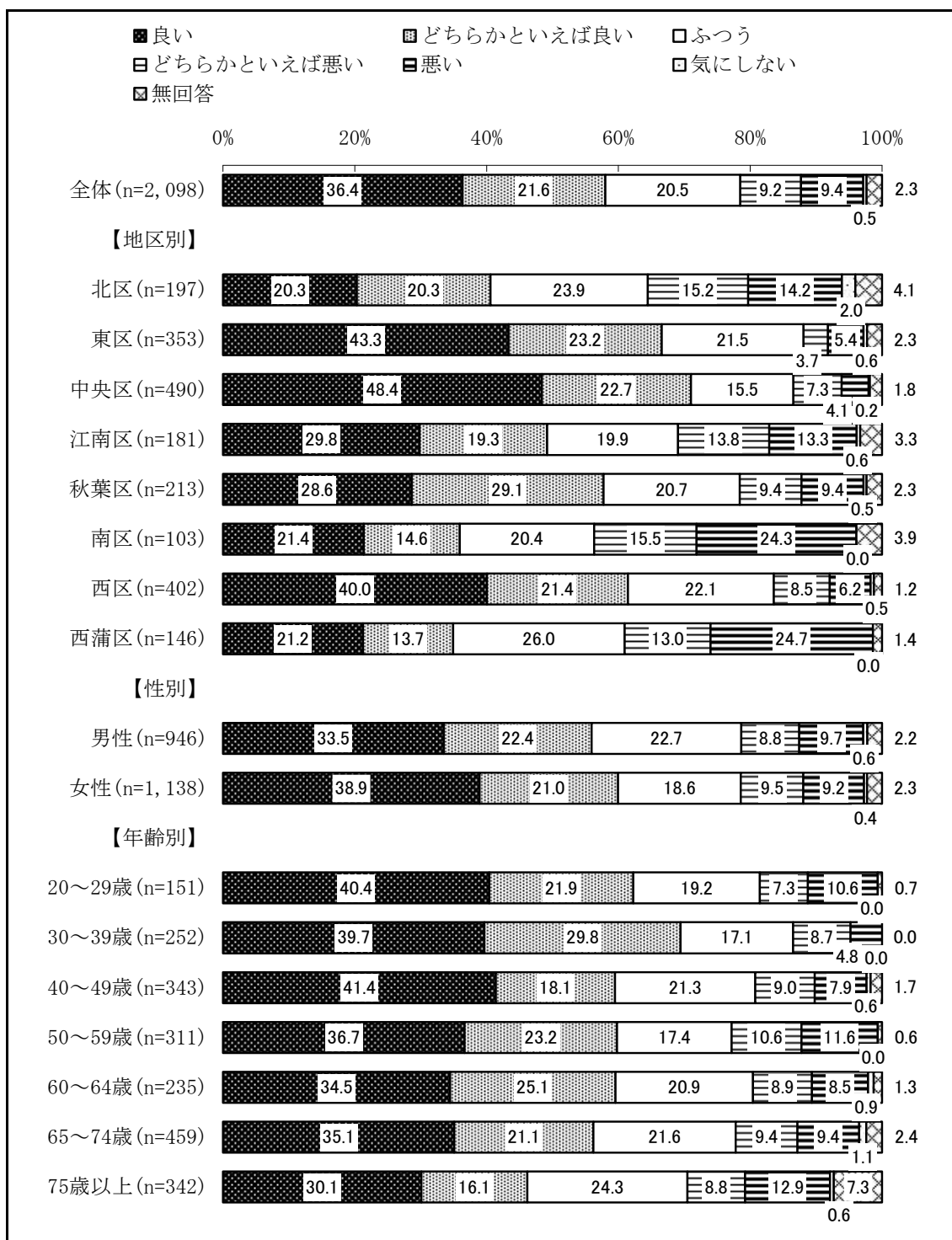
また、「ふつう」の割合が過半数を占める項目は、『⑤ 防災の充実』（59.5%）、『⑧ 地域の人間関係が良い』（54.7%）、『⑩ 景観・まちなみが良い』（54.5%）、『⑦ 子育て・教育環境の充実』（52.8%）、『⑥ 治安の良さ』（50.7%）、『⑫ 趣味・生涯学習の活動のしやすさ』（50.6%）である。

【属性別結果】

次ページ以降に地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

図3-2 現住所についての感想（地区別／性別／年齢別）

① 買い物の便利さ

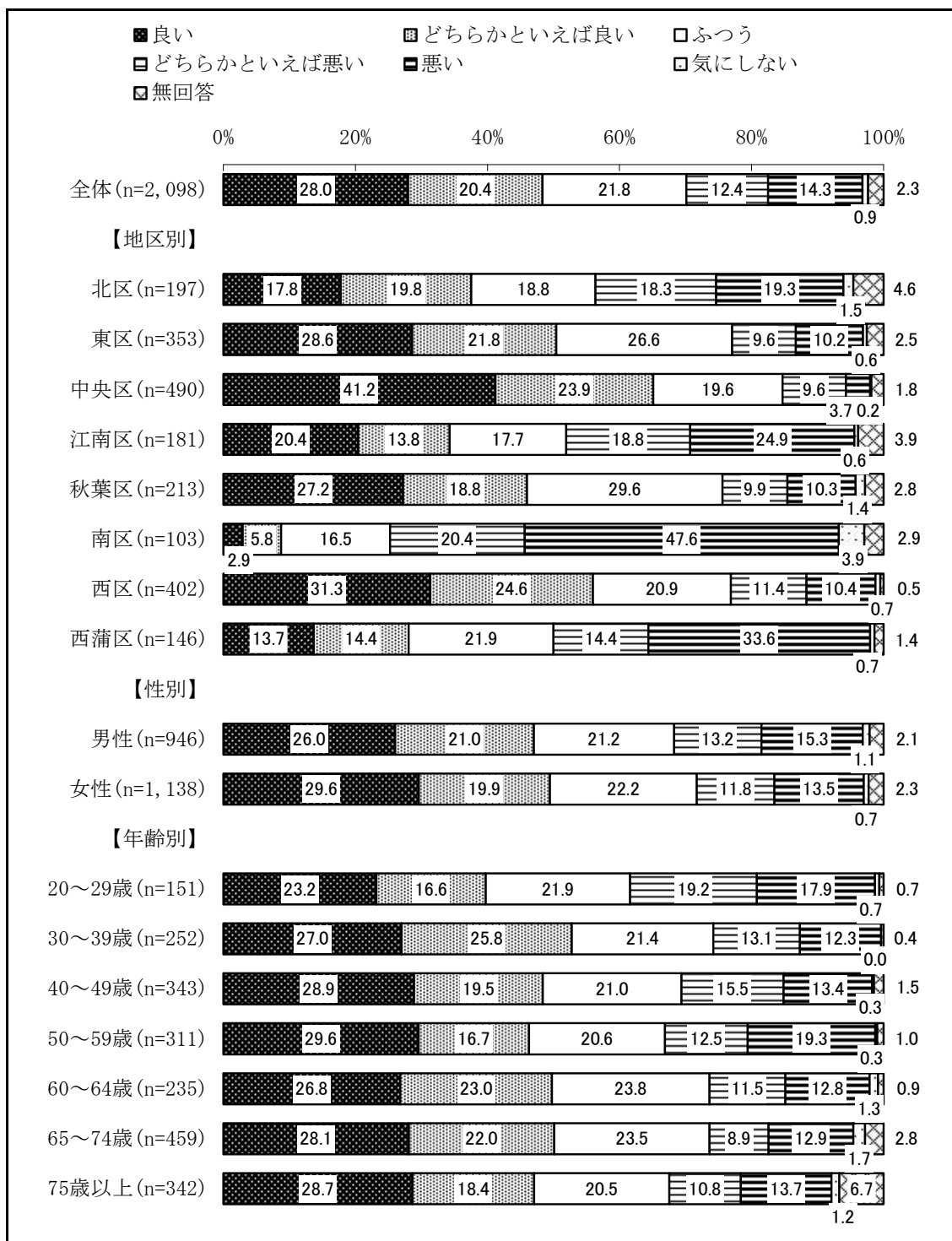


地区別では、「良い」計の割合は、東区（66.5%）と中央区（71.1%）が高く、7割前後となっている。一方、「悪い」計の割合は、北区（29.4%）と江南区（27.1%）と南区（39.8%）が高くなっている。

性別では大きな差はみられない。

年齢別では、「良い」計の割合は、30代（69.5%）が最も高く、7割弱となっている。

② 交通の便利さ

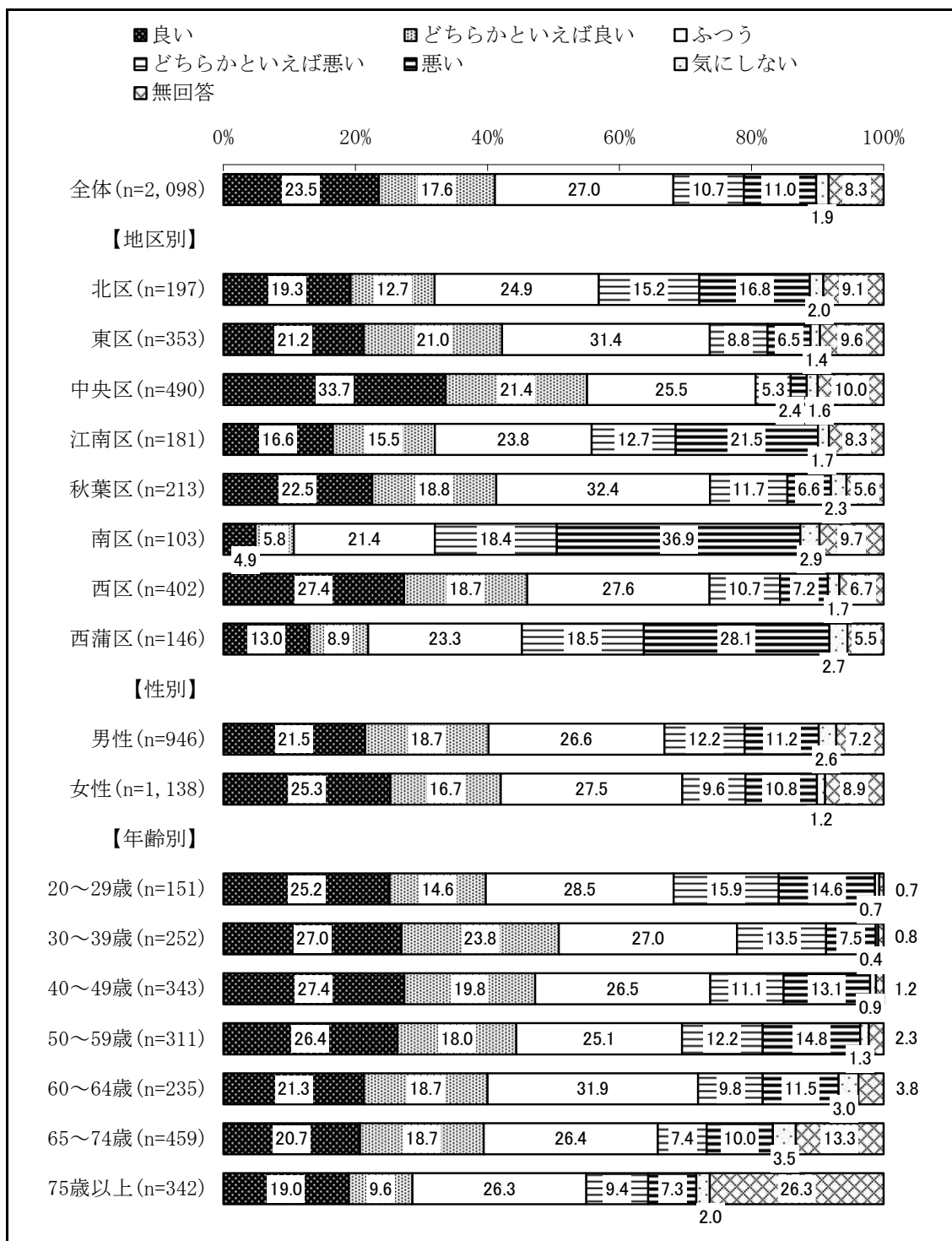


地区別では、「良い」計の割合は、中央区（65.1%）と西区（55.9%）が6割前後で高くなっている。「悪い」計の割合は、南区（68.0%）が目立って高く、7割弱を占めている。また、北区（37.6%）、江南区（43.7%）、西蒲区（48.0%）も「悪い」計の割合が高くなっている。

性別では大きな差はみられない。

年齢別では、「悪い」計の割合は、20代（37.1%）と50代（31.8%）が高くなっている。

③ 通勤・通学の便利さ

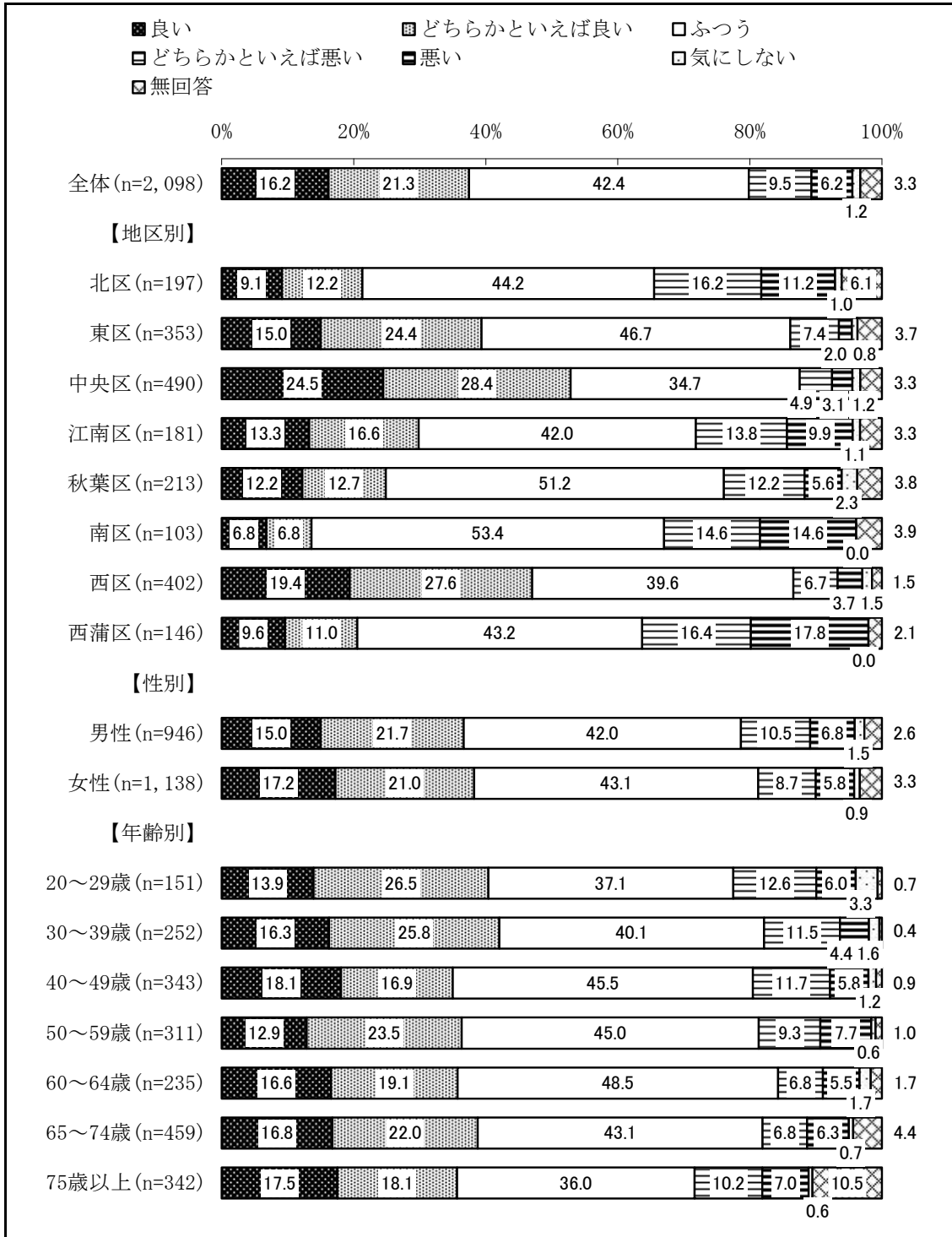


地区別では、「良い」計の割合は、中央区（55.1%）が最も高く、半数を超えている。「悪い」計の割合は、南区（55.3%）で目立って高く、半数強を占めている。また、北区（32.0%）、江南区（34.2%）、西蒲区（46.6%）も「悪い」計の割合が高くなっている。

性別で大きな差はみられない。

年齢別では、「良い」計の割合は、30代（50.8%）で最も高く、半数強を占めている。「悪い」計の割合は、20代（30.5%）と50代（27.0%）が高くなっている。

④ 医療・福祉施設の充実

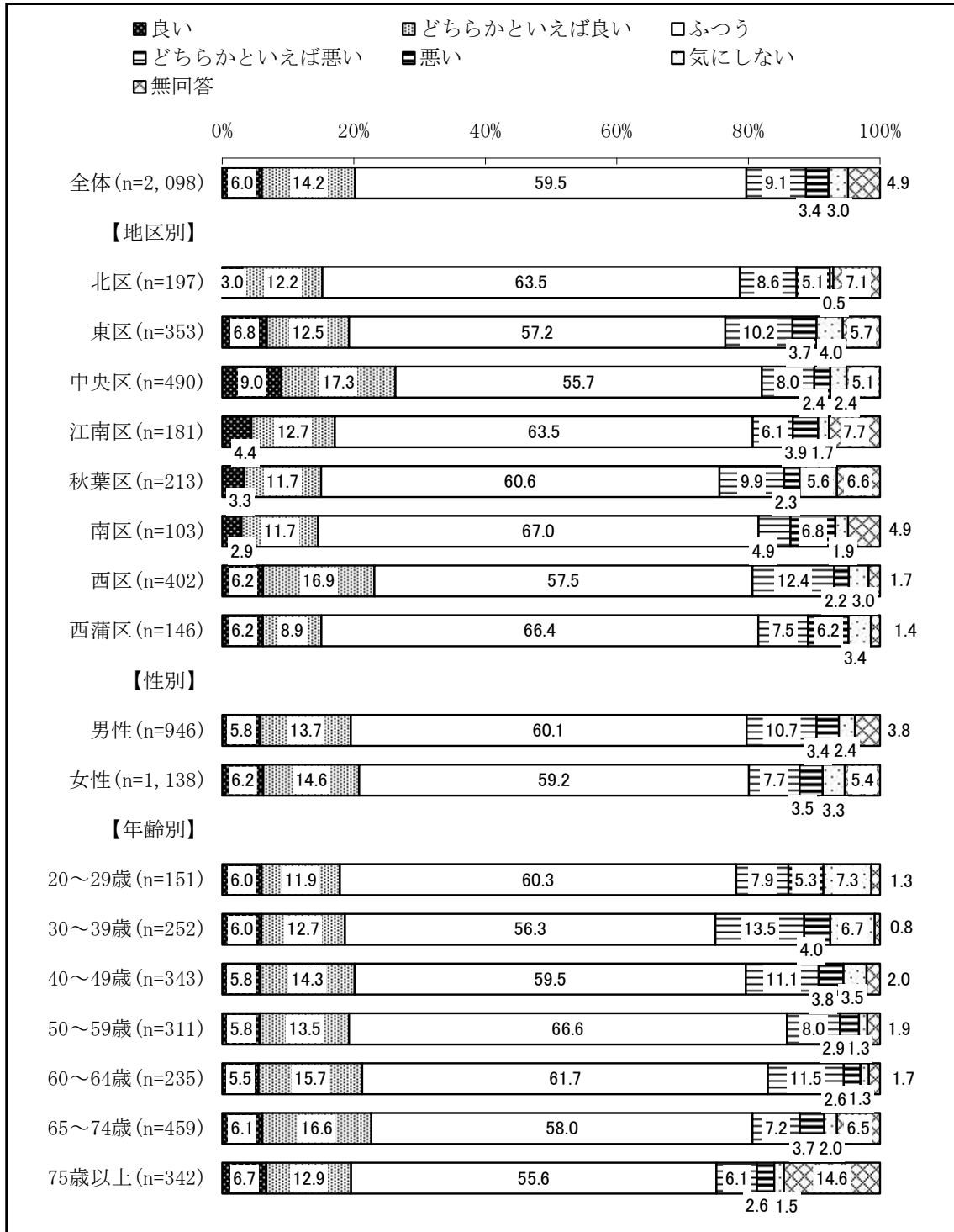


地区別では、「良い」計の割合は、中央区（52.9%）と西区（47.0%）が高くなっている。「悪い」計の割合は、北区（27.4%）、江南区（23.7%）、南区（29.2%）、西蒲区（34.2%）が高く、3割前後となっている。

性別で大きな差はみられない。

年齢別では、「良い」計の割合は、30代（42.1%）が最も高くなっている。

⑤ 防災の充実

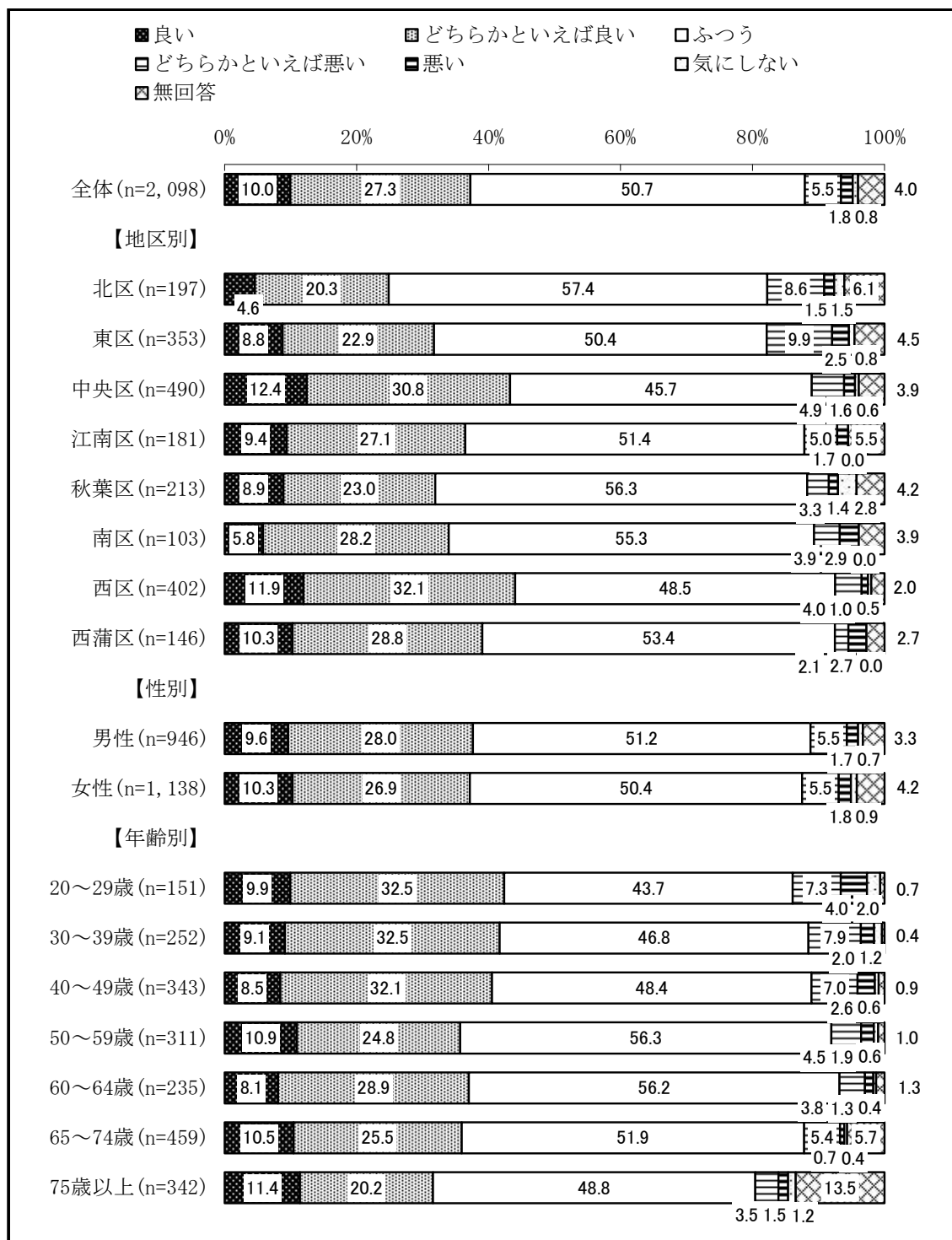


地区別では、「良い」計の割合は、中央区（26.3%）が最も高くなっている。

性別で大きな差はみられない。

年齢別では、「悪い」計の割合は、30代（17.5%）が最も高く、2割弱になっている。

⑥ 治安の良さ

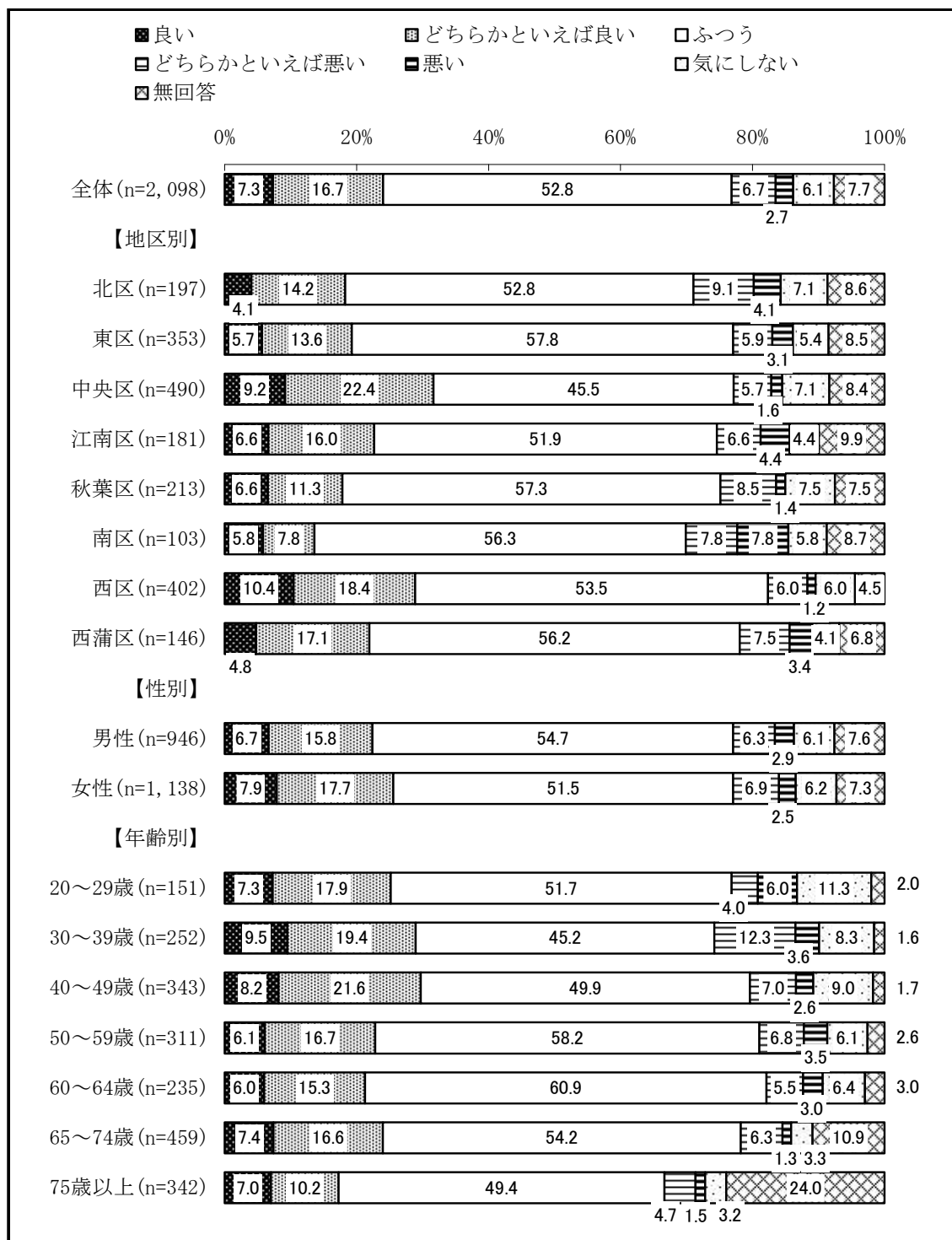


地区別では、「良い」計の割合は、中央区（43.2%）と西区（44.0%）が高く、4割強となっている。「悪い」計の割合は、東区（12.4%）が高くなっている。

性別で大きな差はみられない。

年齢別では、「良い」計の割合は、20代（42.4%）が最も高くなっている。

⑦ 子育て・教育環境の充実

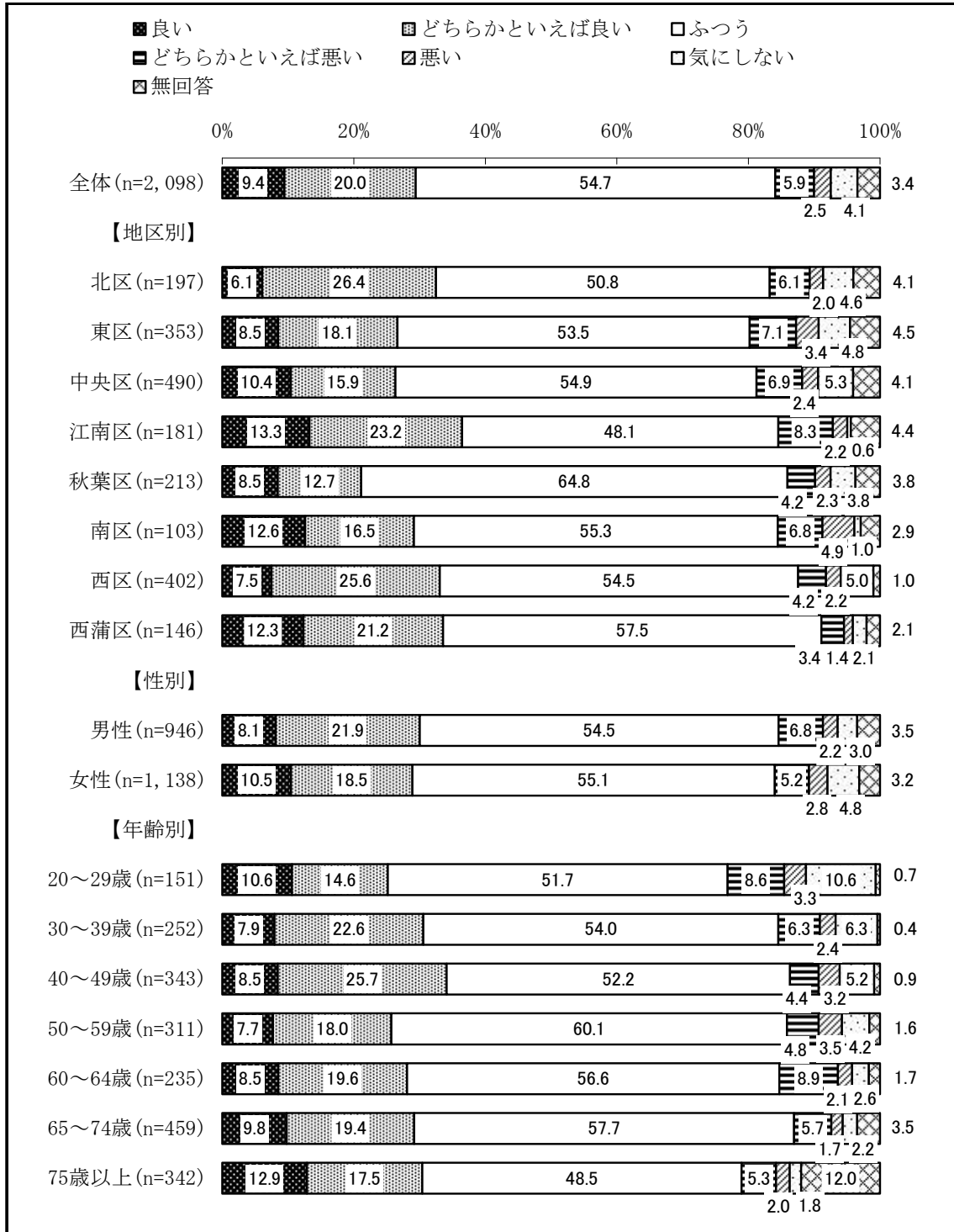


地区別では、「良い」計の割合は、中央区（31.6%）が最も高く、3割強を占めている。「悪い」計の割合は、南区（15.6%）が最も高くなっている。

性別で大きな差はみられない。

年齢別では、「良い」計の割合は、30代（28.9%）と40代（29.8%）が高く、3割程度になっている。また、30代では、「悪い」計（15.9%）の割合も最も高くなっている。

⑧ 地域の間関係が良い

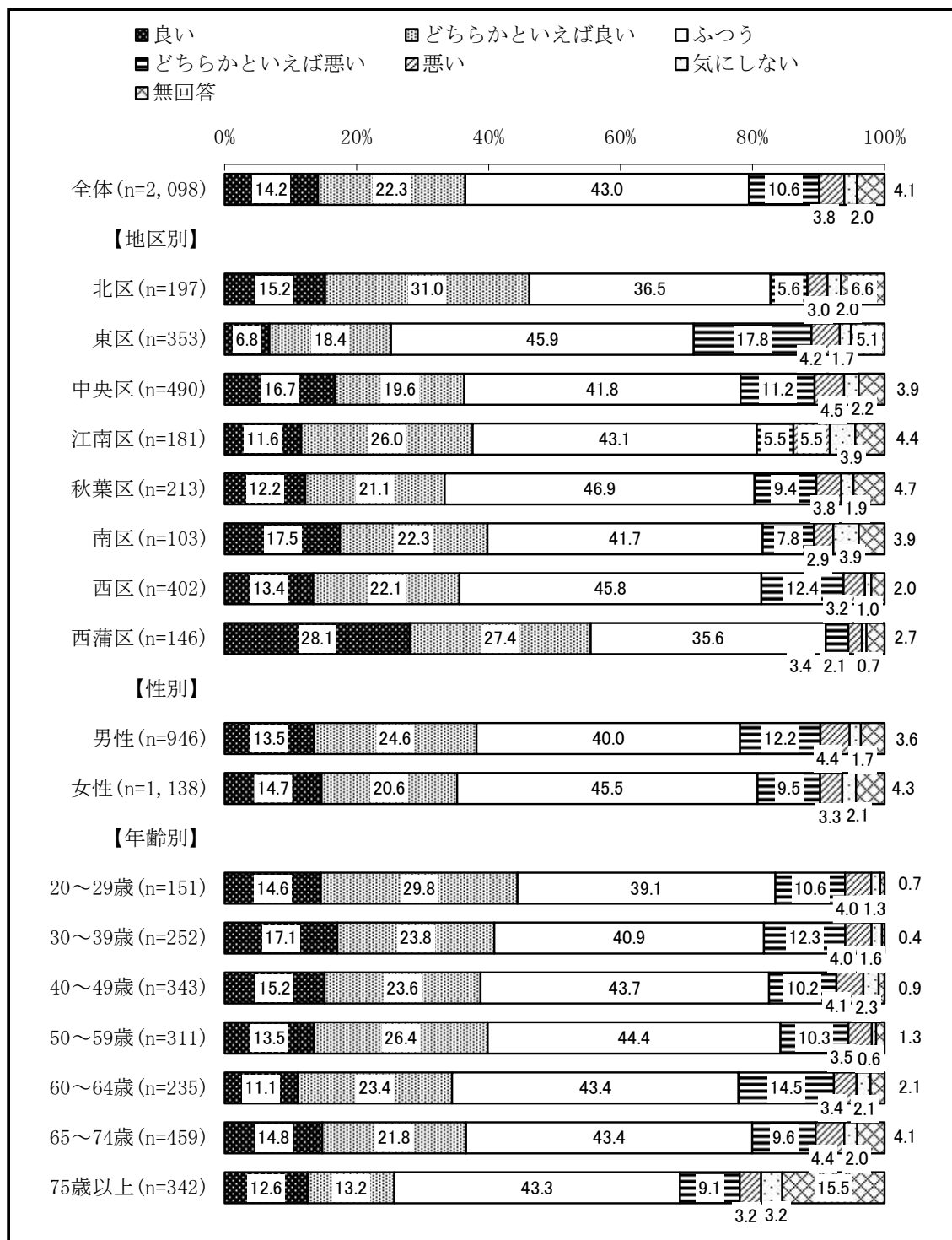


地区別では、「良い」計の割合は、江南区（36.5%）が最も高く、4割弱になっている。

性別で大きな差はみられない。

年齢別では、「良い」計の割合は、40代（34.2%）で最も高くなっている。

⑨ 水辺・緑などの自然環境が良い

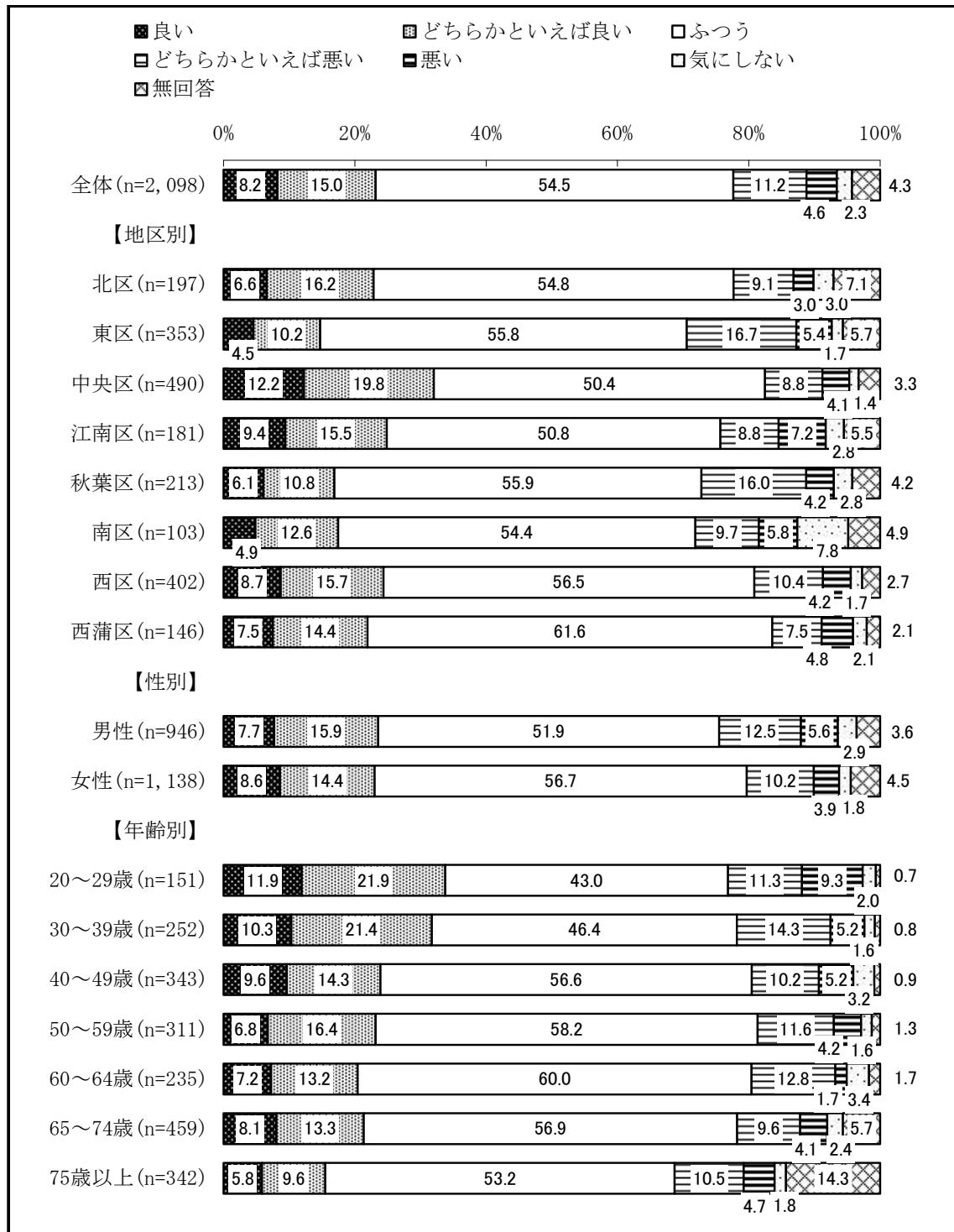


地区別では、「良い」計の割合は西蒲区 (55.5%) で目立って高く、半数強を占めている。次いで、北区 (46.2%) も半数弱と高い割合が続いている。「悪い」計の割合は、東区 (22.0%) が最も高く、2割強となっている。

性別で大きな差はみられない。

年齢別では、20代で「良い」計 (44.4%) の割合が高くなっている。

⑩ 景観・まちなみが良い

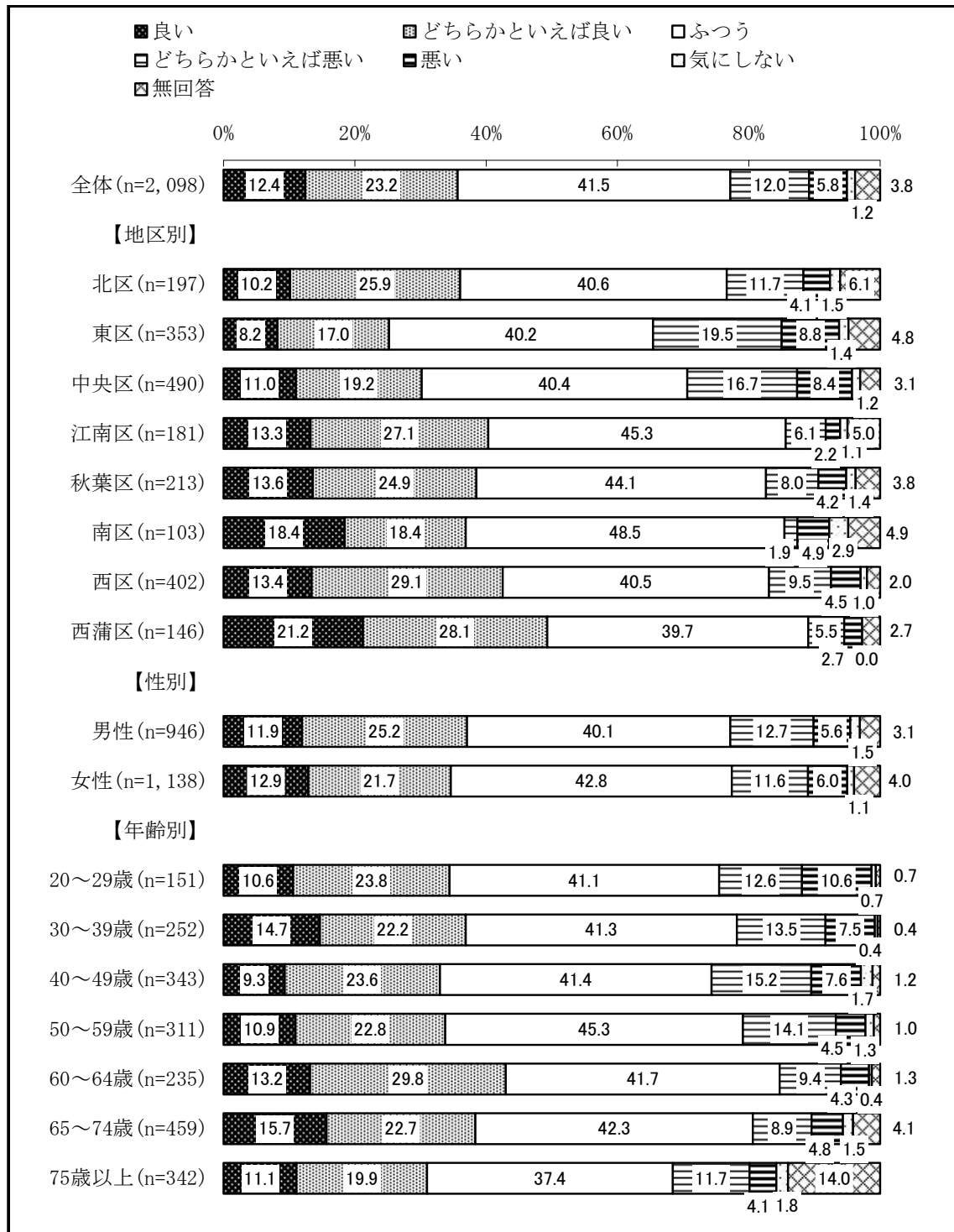


地区別では、「良い」計の割合は、中央区（32.0%）が最も高く、3割を超えている。「悪い」計の割合は、東区（22.1%）が最も高くなっている。

性別で大きな差はみられない。

年齢別では、「良い」計の割合は、30代以下で高く、20代（33.8%）では全体の3分の1を占めている。

⑪ 騒音・大気汚染がない



地区別では、「良い」計の割合は、西区（42.5%）と西蒲区（49.3%）が高くなっている。

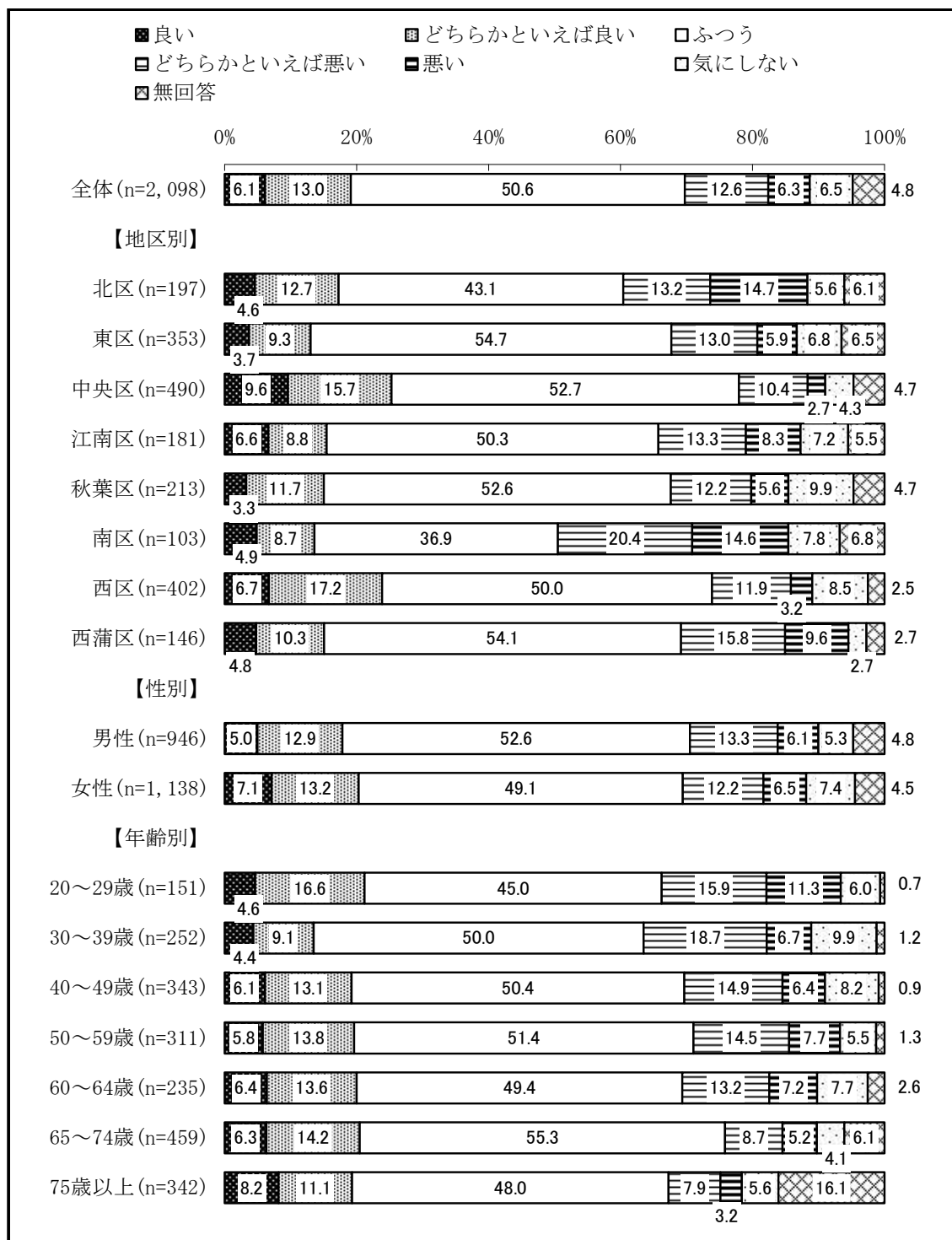
「悪い」計の割合は、東区（28.3%）と中央区（25.1%）が高くなっている。

性別で大きな差はみられない。

年齢別では、「良い」計の割合は、60～64歳（43.0%）が最も高く、4割強を占めている。

「悪い」計の割合は、20代（23.2%）が最も高くなっている。

⑫ 趣味・生涯学習の活動のしやすさ



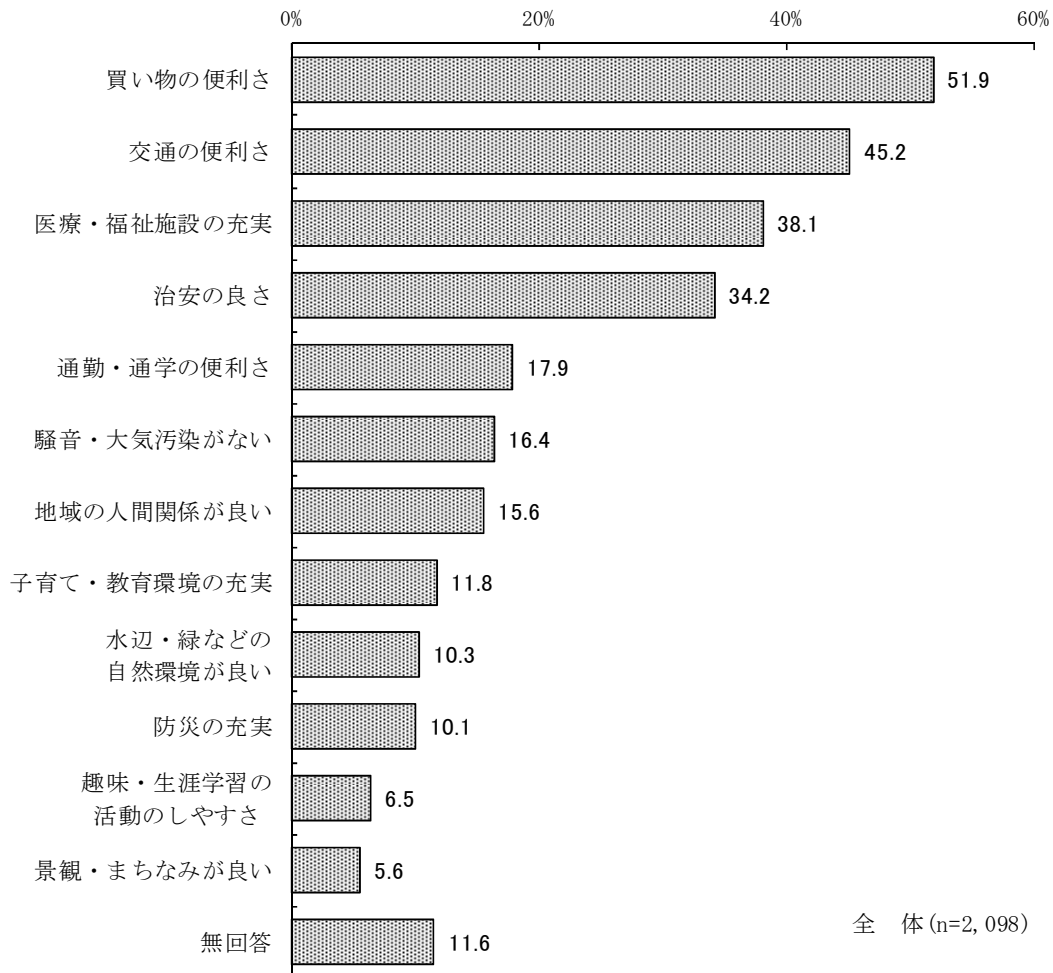
地区別では、「良い」計の割合は、中央区（25.3%）が最も高く、全体の4分の1を占めている。「悪い」計の割合は、北区（27.9%）と南区（35.0%）と西蒲区（25.4%）が高くなっている。

性別で大きな差はみられない。

年齢別では、「悪い」計の割合は、20代（27.2%）と30代（25.4%）が高くなっている。

(3) 住み心地に対して特に重要視すること

問25 上記の表の中で、あなたが住み心地に対して特に重要視する項目を3つ選んで、下の回答欄に番号(①～⑫)をご記入ください。



— 「買い物の便利さ」「交通の便利さ」「医療・福祉施設の充実」が特に重要視されている —

【全体結果】

住み心地に対して特に重要視する項目(複数回答)は、「買い物の便利さ」(51.9%)が最も高い。以下、「交通の便利さ」(45.2%)が4割台で、「医療・福祉施設の充実」(38.1%)と「治安の良さ」(34.2%)が3割台で続き、上位を構成している。

上記以外の項目は割合が1割台、もしくは1割未満である。

【属性別結果】（図 3-3 参照）

①地区別

全体結果で最も割合の高かった「買い物の便利さ」については、中央区（59.6%）の割合が高くなっている。「医療・福祉施設の充実」の割合は秋葉区（44.1%）と西蒲区（43.2%）、「通勤・通学の便利さ」の割合は北区（24.9%）、「地域の間関係が良い」と「趣味・生涯学習の活動のしやすさ」の割合は南区（それぞれ 21.4%、12.6%）が最も高くなっている。

②性別

「買い物の便利さ」と「交通の便利さ」の割合は、女性の方が男性よりも高くなっている。

③年齢別

「買い物の便利さ」と「通勤・通学の便利さ」の割合は 20 代、「治安の良さ」と「子育て・教育環境の充実」は 30 代、「交通の便利さ」は 40 代、「医療・福祉施設の充実」は 60～64 歳の割合が、それぞれ最も高くなっている。

図3-3 住み心地に対して特に重要視すること（地区別／性別／年齢別） 1/2

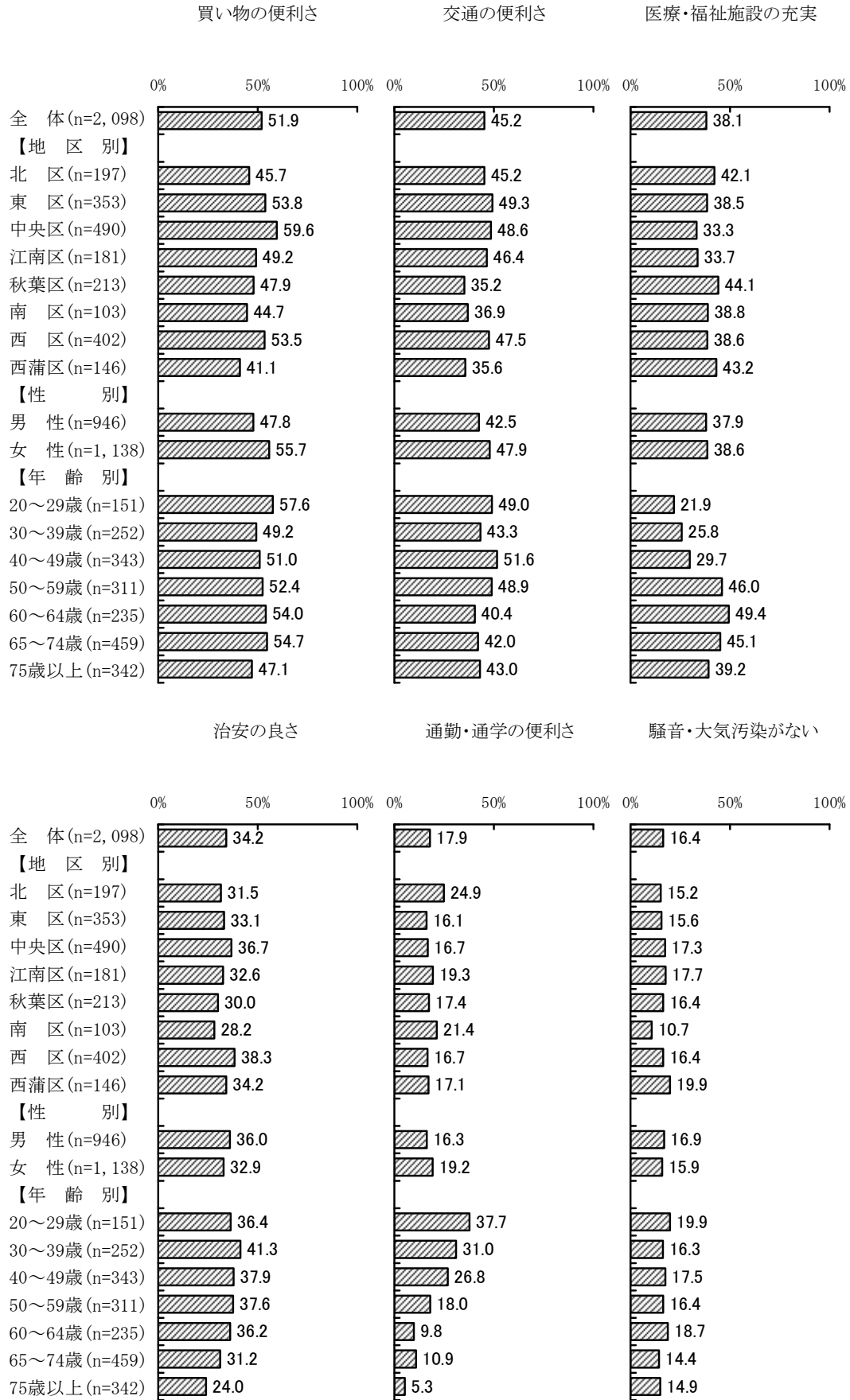
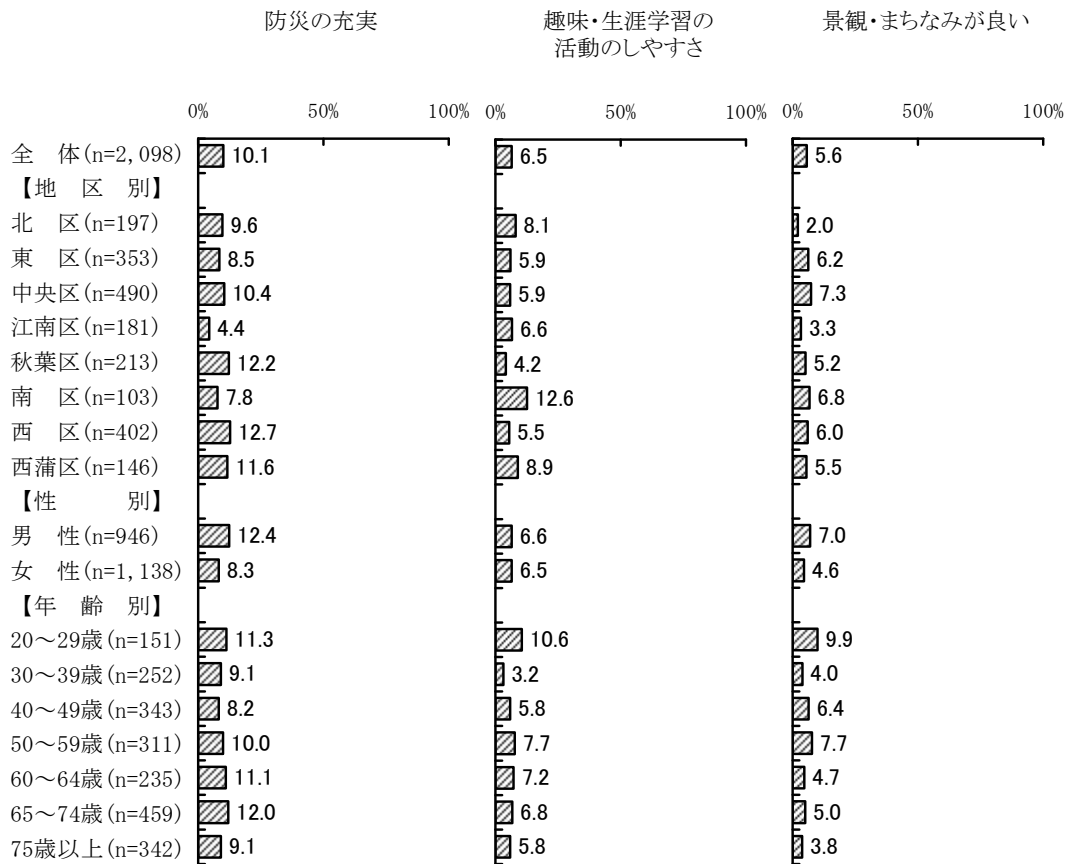
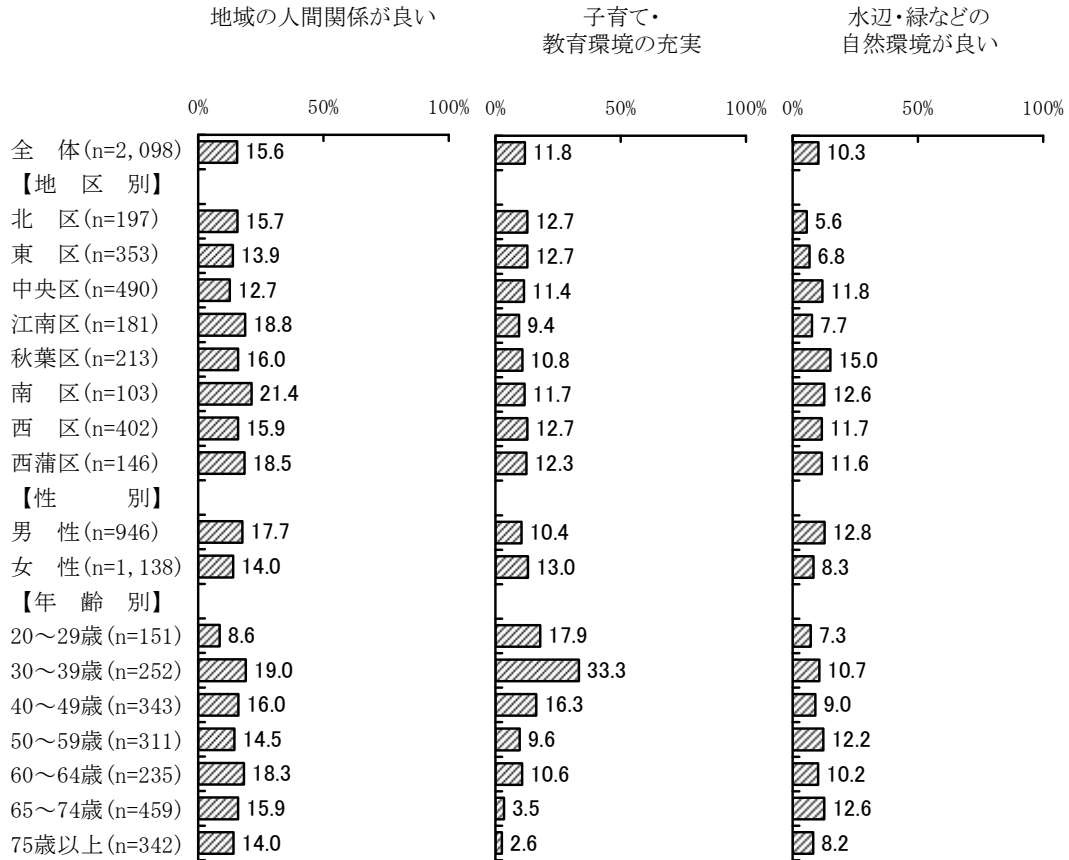
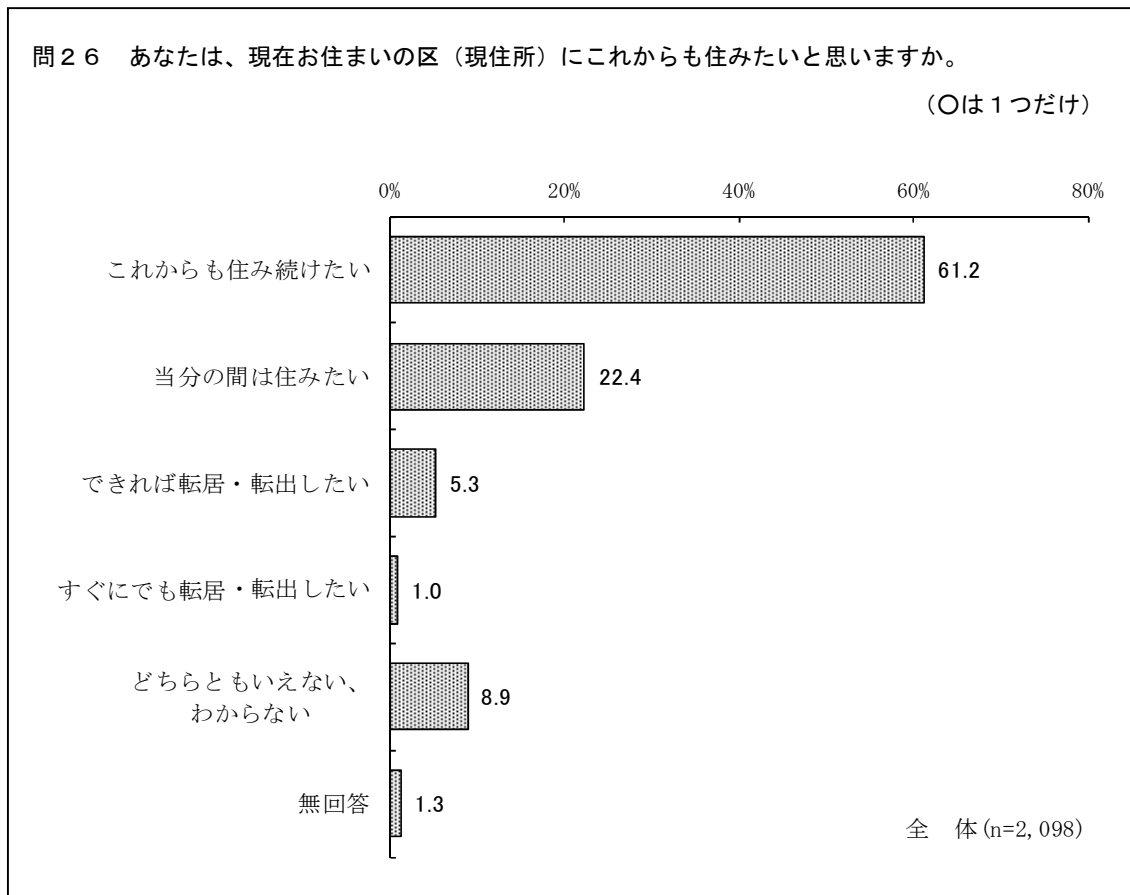


図3-3 住み心地に対して特に重要視すること（地区別／性別／年齢別） 2/2



(4) 現住所での居住継続意向



————— 現住所に「住みたい」が圧倒的に多い —————

【全体結果】

現住所にこれからも住みたいと思うかどうかについては、「これからも住みたい」(61.2%)の割合が最も高くなっている。これに「当分の間は住みたい」が2割強(22.4%)で続き、この2つを合わせた「住みたい」計は8割強(83.6%)に達する。「できれば転居・転出したい」(5.3%)や「すぐにでも転居・転出したい」(1.0%)は少ない。

【属性別結果】(図3-4参照)

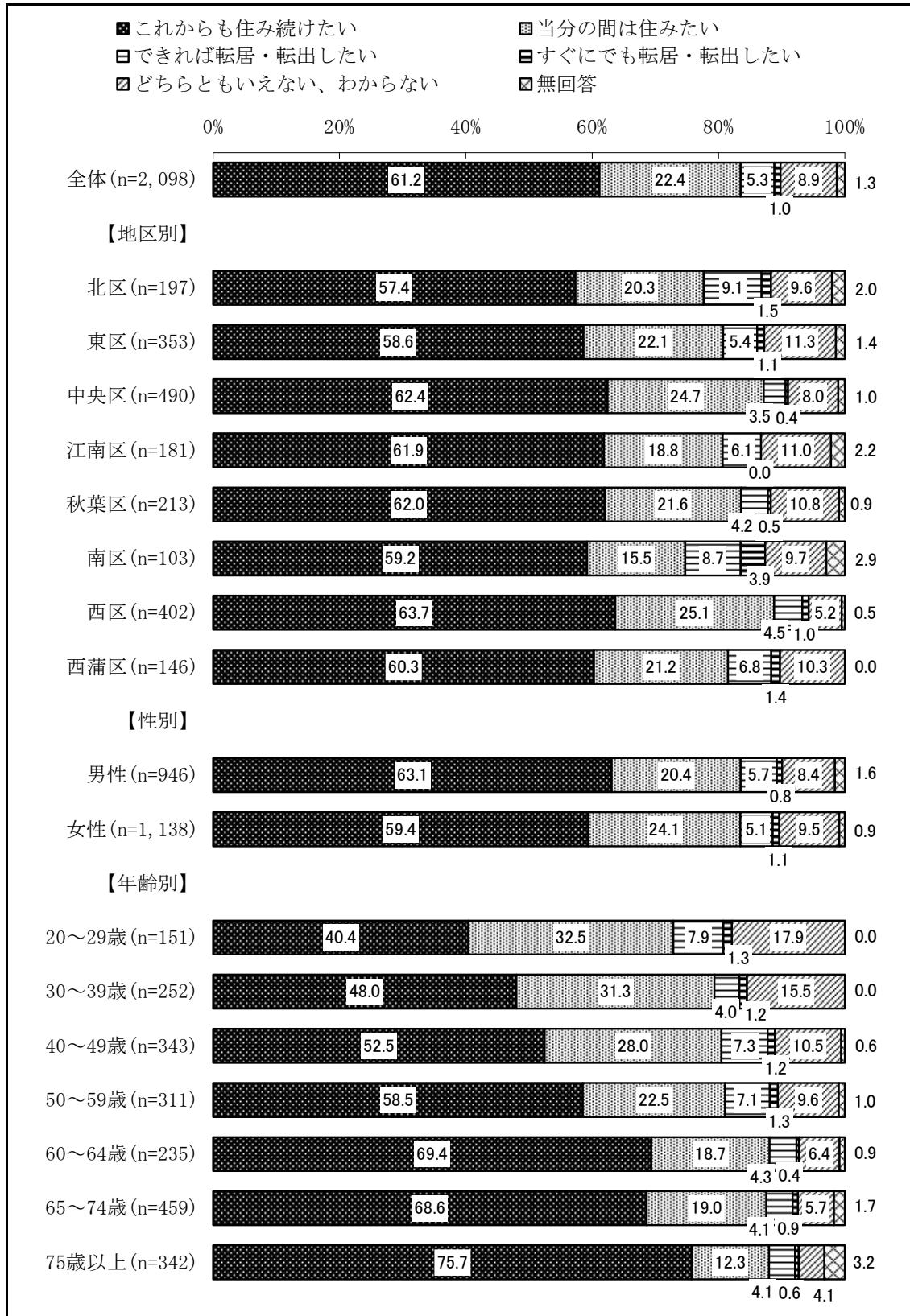
①②地区別、性別

地区別、性別では、大きな差はみられない。

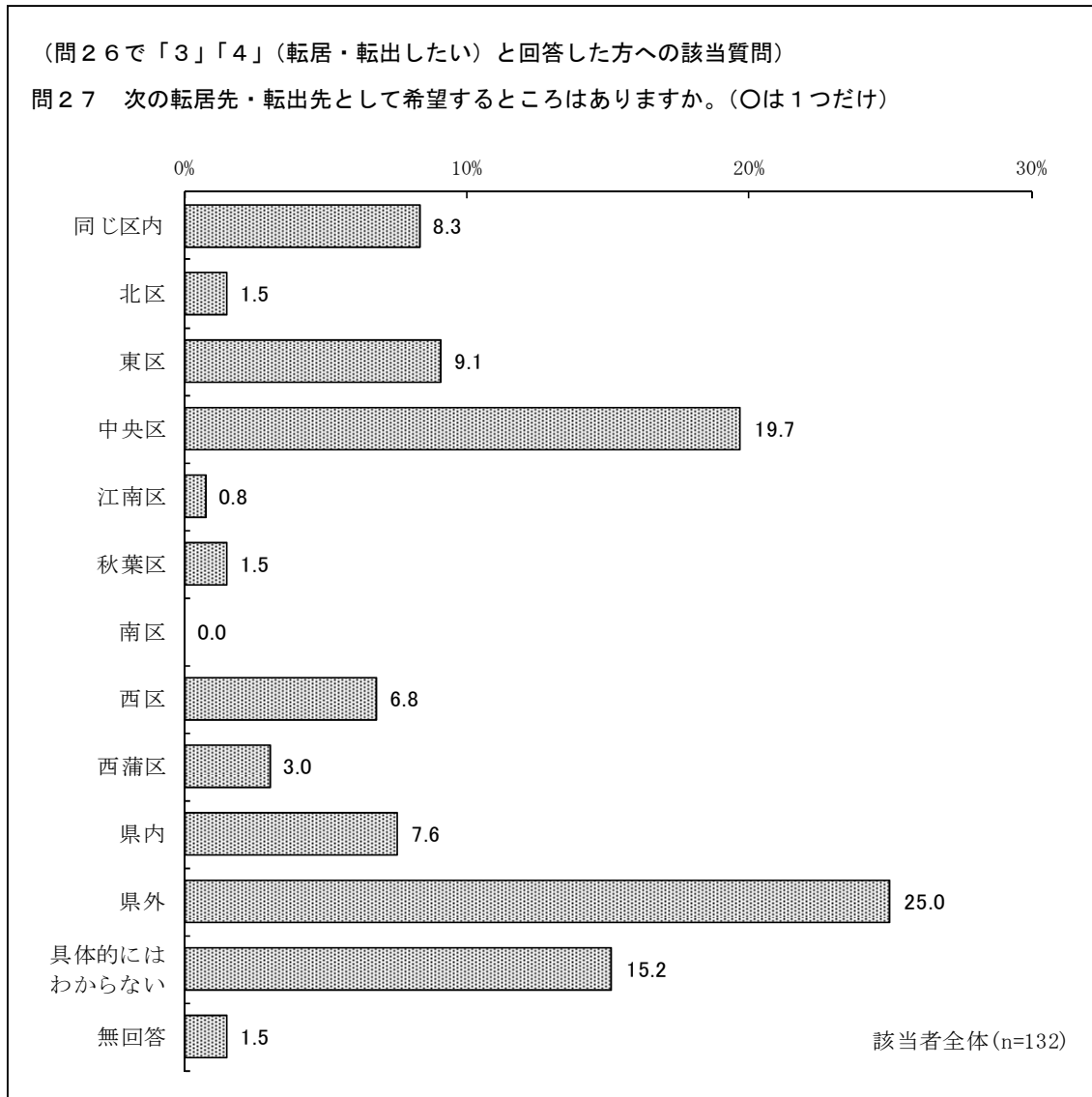
③年齢別

60代以上において、「これからも住みたい」の割合が高く、75歳以上(75.7%)では全体の4分の3を占めている。一方、40代以下では「当分の間は住みたい」の割合も高く、20代(32.5%)と30代(31.3%)では3割強となっている。また、「どちらともいえない、わからない」でも年齢が下がるにつれて割合は高くなる傾向がみられ、20代(17.9%)では2割弱となっている。

図3-4 現住所での居住継続意向（地区別／性別／年齢別）



(5) 希望する転居先・転出先



— 「県外」や「中央区」への転居・転出希望が多い —

問26で、「3」「4」(転居・転出したい)を回答した132人に対する質問である。

【全体結果】

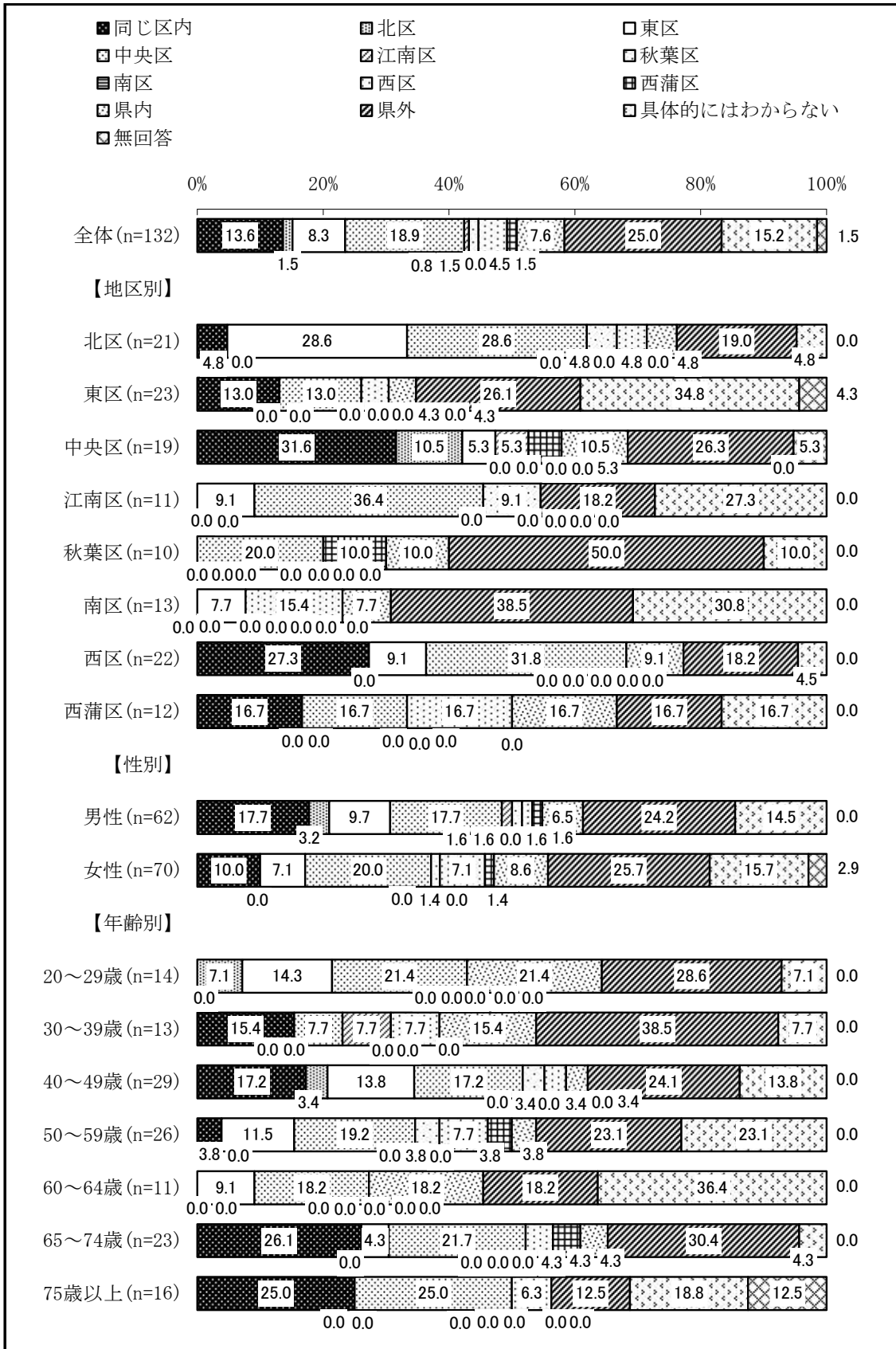
希望する転居・転出先としては「県外」(25.0%)が多く、4人に1人が回答している。以下、「中央区」(19.7%)、「東区」(9.1%)、「同じ区内」(8.3%)、「県内」(7.6%)、「西区」(6.8%)、「西蒲区」(6.8%)、「秋葉区」(1.5%)、「江南区」(0.8%)の順に続き、新潟市内が合計で半数(50.7%)を占めている。

また、「具体的にはわからない」が1割強(15.2%)みられる。

【属性別結果】(図3-5参照)

属性別のサンプル数が少ないため、分析に適さない。

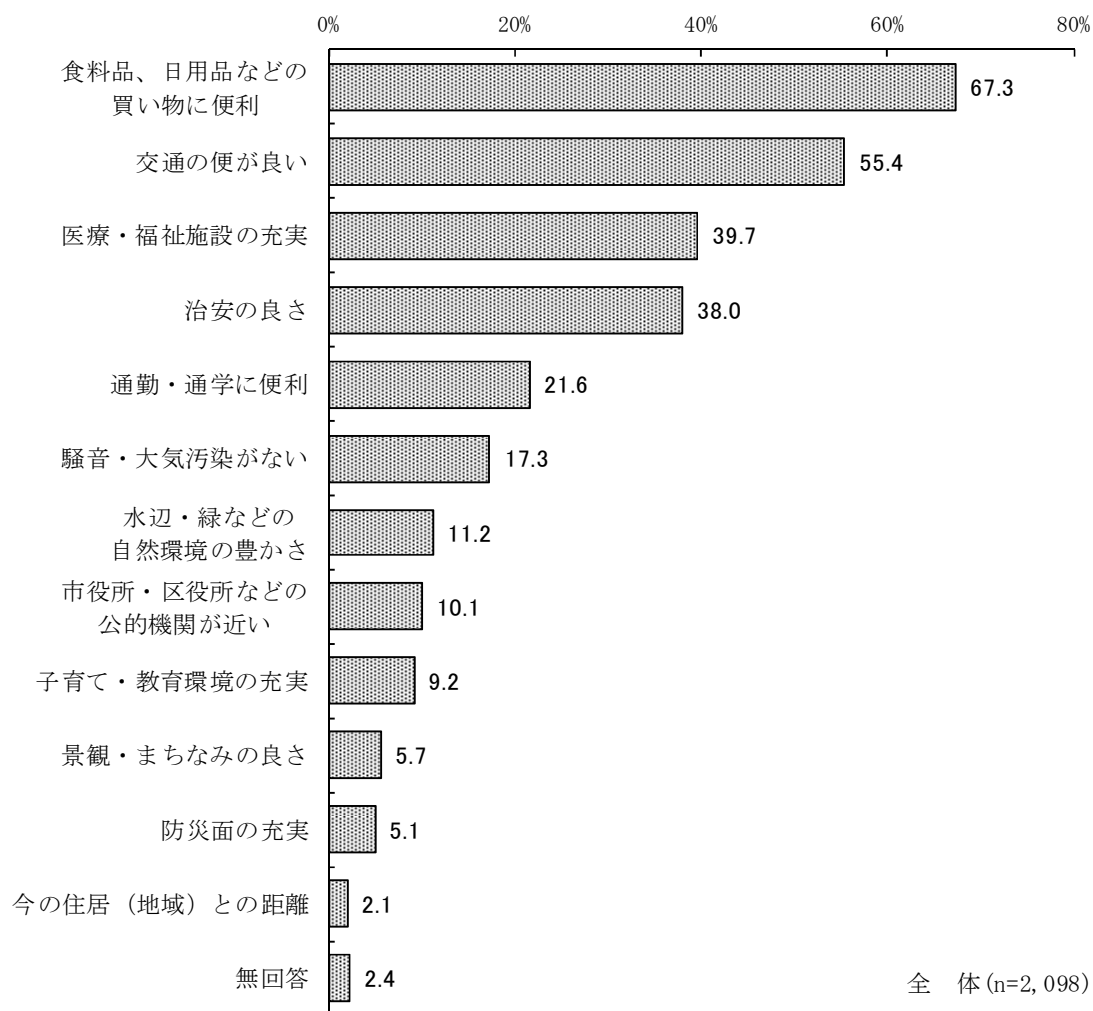
図3-5 希望する転居先・転出先（地区別／性別／年齢別）



(6) 居住地の選択の際に重視したいこと【立地条件・住環境】

問28 あなたが、居住地を選ぶ際に重視したい項目は何ですか。住み替える予定がない方でも、住み替えると仮定してお答えください。(〇は3つまで)

【立地条件・住環境】



— 7割近くが「食料品、日用品などの買い物に便利」であることを重視 —

【全体結果】

居住地を選ぶ際の、立地条件・住環境の面で重視したい項目（複数回答）については、「食料品、日用品などの買い物に便利」（67.3%）の割合が最も高くなっている。以下、「交通の便が良い」が半数強（55.4%）、「医療・福祉施設の充実」（39.7%）、「治安の良さ」（38.0%）が4割弱、「通勤・通学に便利」（21.6%）が2割台で続いている。

【属性別結果】（図 3-6 参照）

①地区別

全体結果で最も割合の高かった「食料品、日用品などの買い物に便利」については、中央区（71.4%）の割合が高くなっている。「交通の便が良い」の割合は北区（60.9%）、「医療・福祉施設の充実」と「水辺・緑などの自然環境の豊かさ」の割合は西蒲区（それぞれ 45.2%、17.8%）が最も高くなっている。

②性別

「食料品、日用品などの買い物に便利」の割合は、女性の方が男性よりも高く、「水辺・緑などの自然環境の豊かさ」の割合は、男性の方が女性よりもやや高くなっている。

③年齢別

「治安の良さ」と「通勤・通学に便利」の割合は 20 代、「子育て・教育環境の充実」は 30 代、「医療・福祉施設の充実」は 65～74 歳、「市役所・区役所などの公的機関が近い」は 75 歳以上の割合が、それぞれ最も高くなっている。

図3-6 居住地の選択の際に重視したいこと【立地条件・住環境】

(地区別/性別/年齢別) 1/2

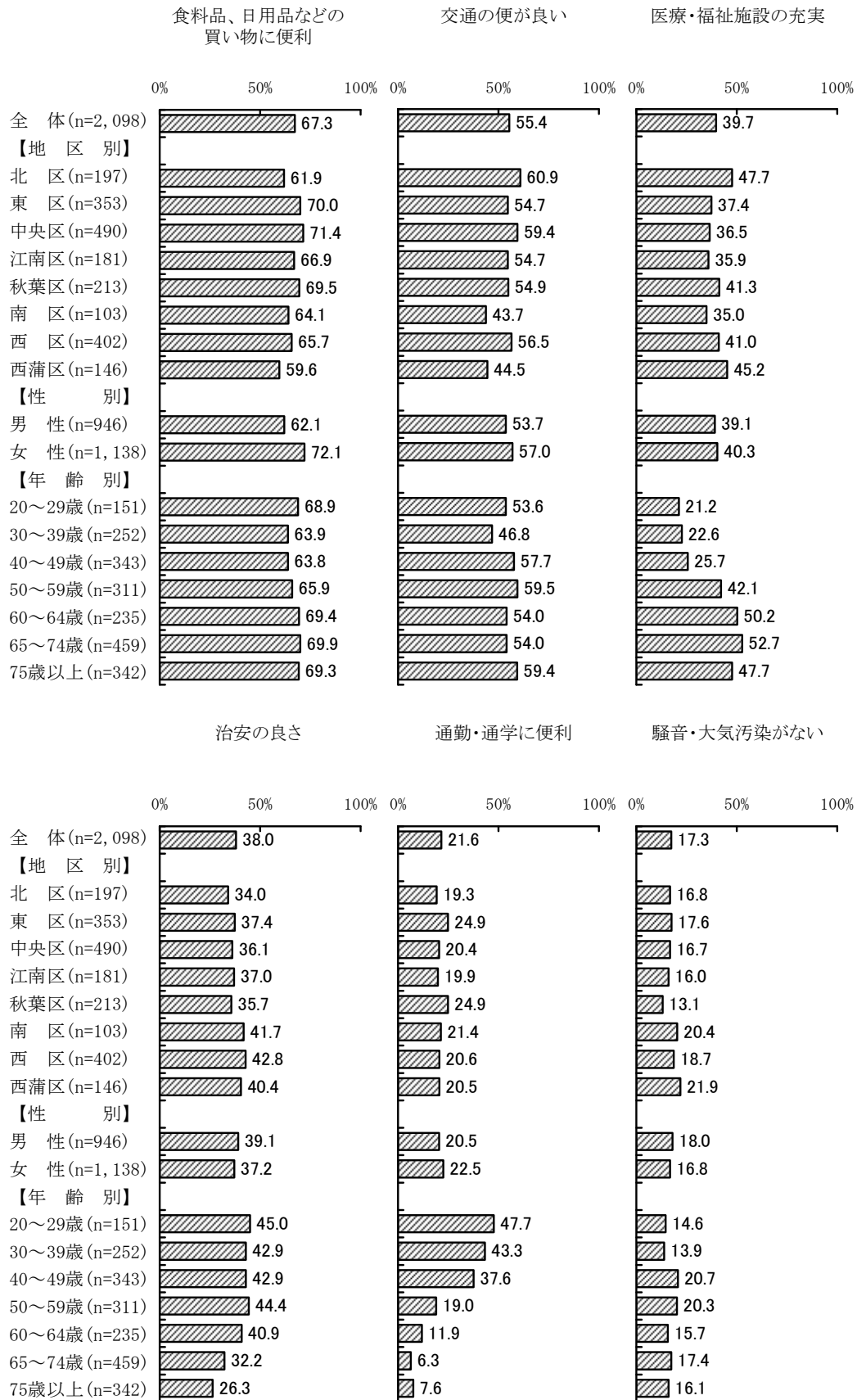
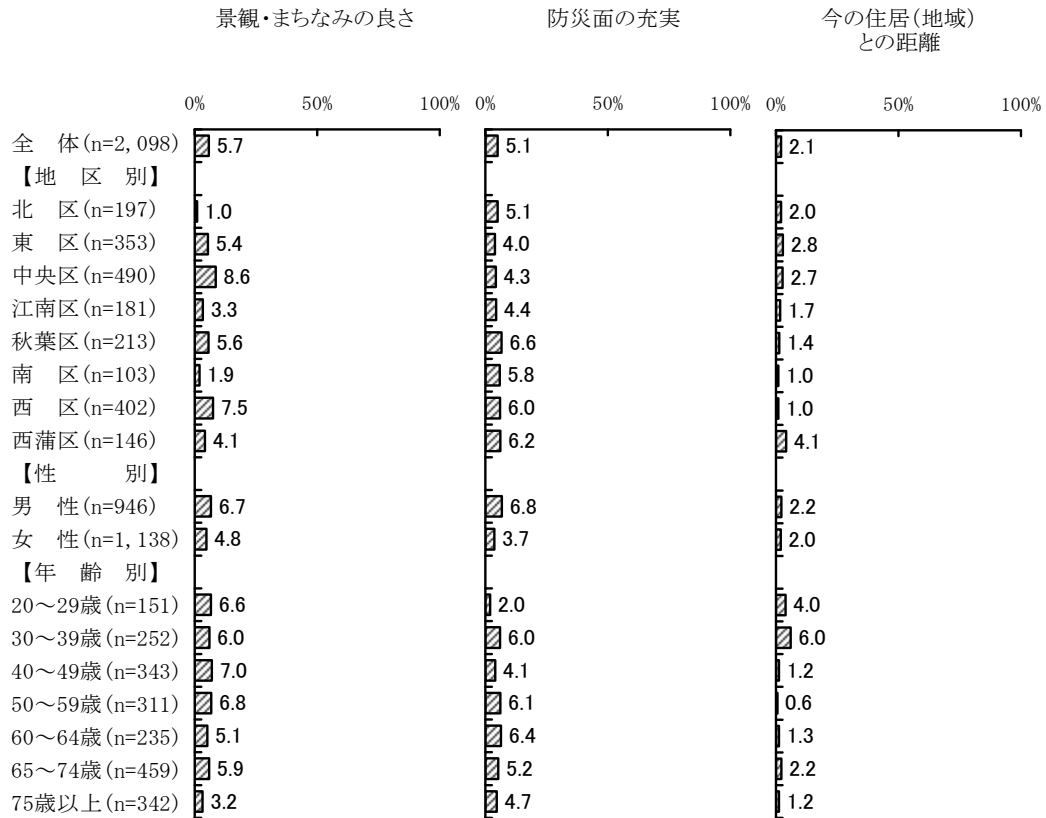
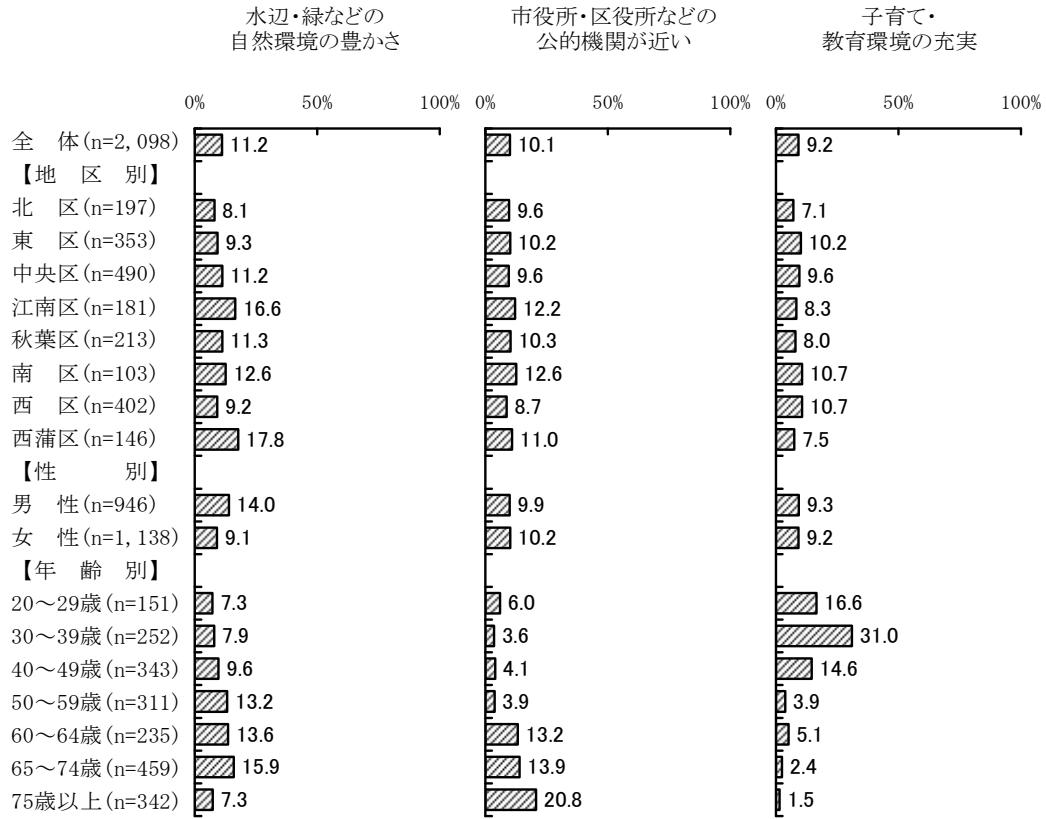


図3-6 居住地の選択の際に重視したいこと【立地条件・住環境】

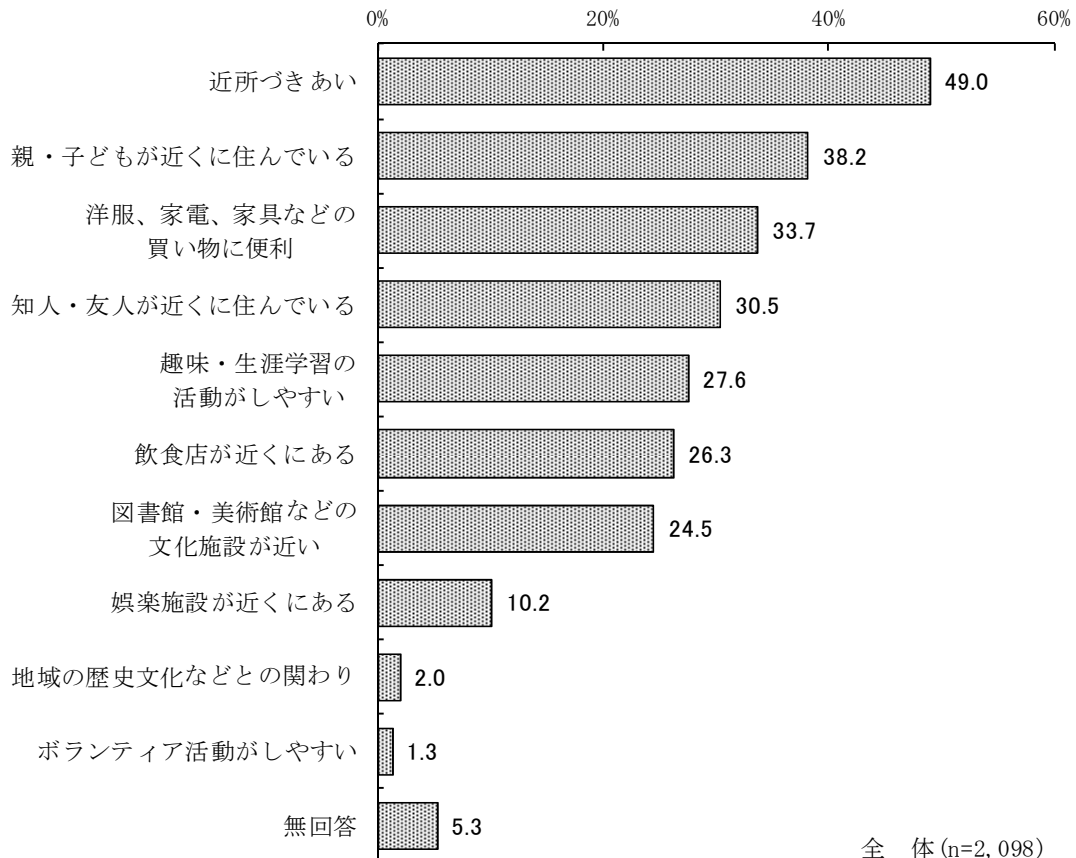
(地区別/性別/年齢別) 2/2



(7) 居住地の選択の際に重視したいこと【ライフスタイル】

問28 あなたが、居住地を選ぶ際に重視したい項目は何ですか。住み替える予定がない方でも、住み替えると仮定してお答えください。(〇は3つまで)

【ライフスタイル】



半数近くが「近所づきあい」を重視

【全体結果】

居住地を選ぶ際の、ライフスタイルの面で重視したい項目（複数回答）については、「近所づきあい」（49.0%）の割合が最も高くなっている。以下、「親・子どもが近くに住んでいる」（38.2%）、「洋服、家電、家具などの買い物に便利」（33.7%）、「知人・友人が近くに住んでいる」（30.5%）が3割台で、「趣味・生涯学習の活動がしやすい」（27.6%）、「飲食店が近くにある」（26.3%）、「図書館・美術館などの文化施設が近い」（24.5%）が2割台で続いている。

【属性別結果】（図 3-7 参照）

①地区別

全体結果で最も割合の高かった「近所づきあい」については、南区（61.2%）の割合が高くなっている。「親・子どもが近くに住んでいる」の割合は秋葉区（46.5%）、「飲食店が近くにある」の割合は中央区（32.9%）、「図書館・美術館などの文化施設が近い」の割合は西区（30.1%）が最も高くなっている。

②性別

「親・子どもが近くに住んでいる」と「知人・友人が近くに住んでいる」の割合は、女性の方が男性よりも高く、「娯楽施設が近くにある」の割合は、男性の方が女性よりも高くなっている。

③年齢別

「洋服、家電、家具などの買い物に便利」「飲食店が近くにある」「娯楽施設が近くにある」の割合は 20 代、「親・子どもが近くに住んでいる」は 30 代、「図書館・美術館などの文化施設が近い」は 50 代、「近所づきあい」「趣味・生涯学習の活動がしやすい」は 60～64 歳、「医療・福祉施設の充実」は 65～74 歳、「知人・友人が近くに住んでいる」は 75 歳以上の割合が、それぞれ最も高くなっている。

図3-7 居住地の選択の際に重視したいこと【ライフスタイル】

(地区別/性別/年齢別) 1/2

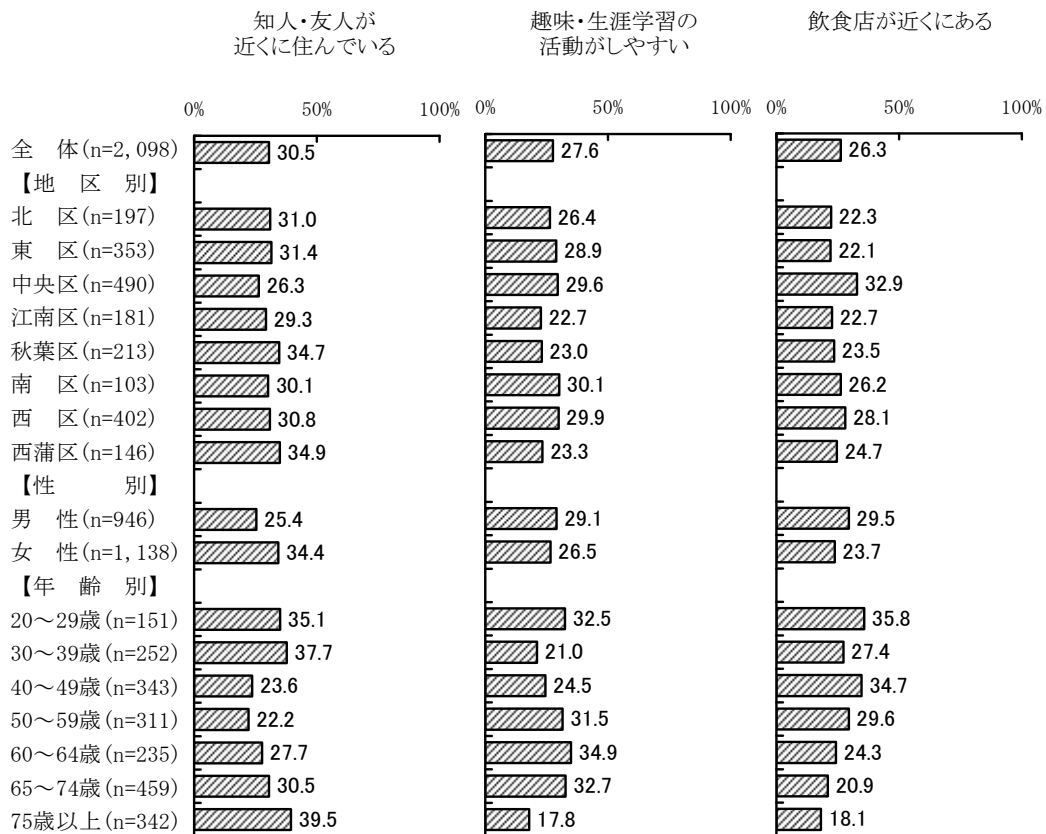
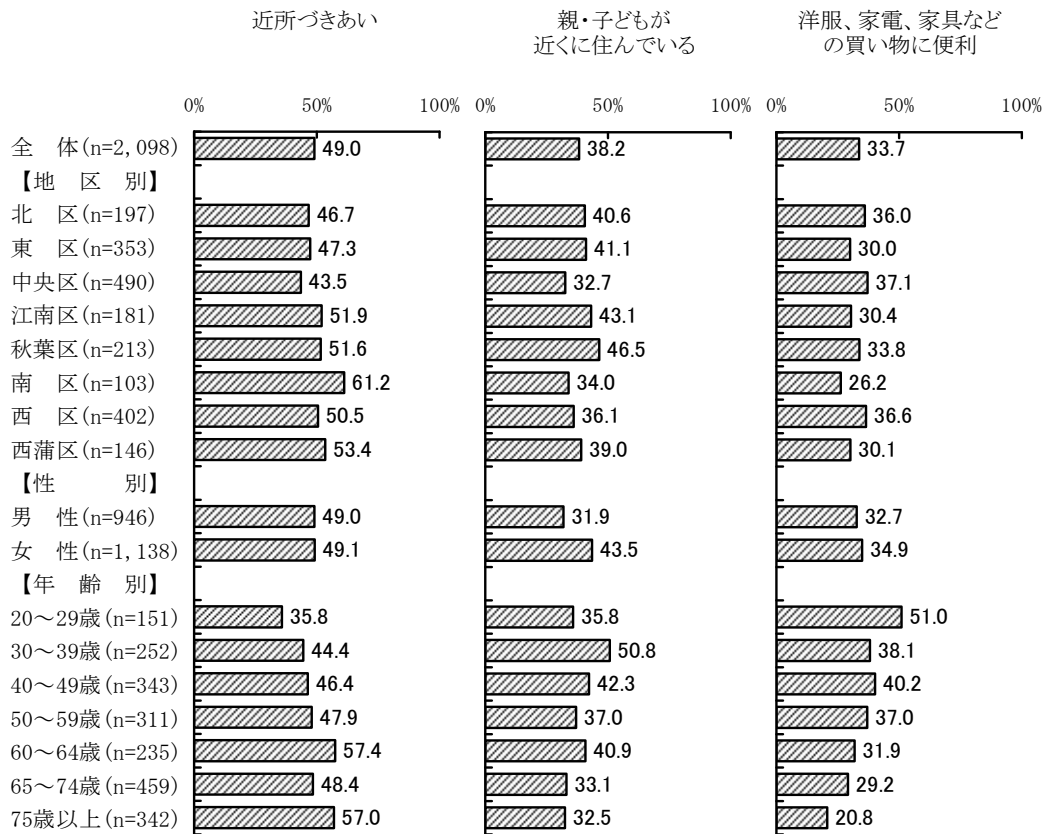
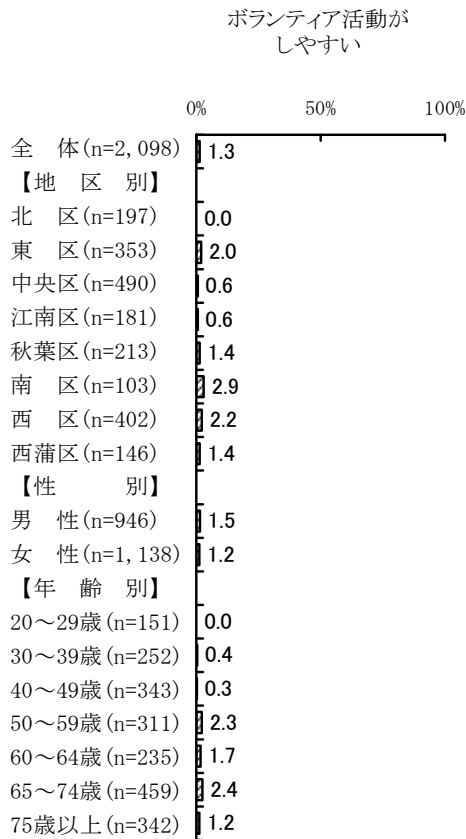
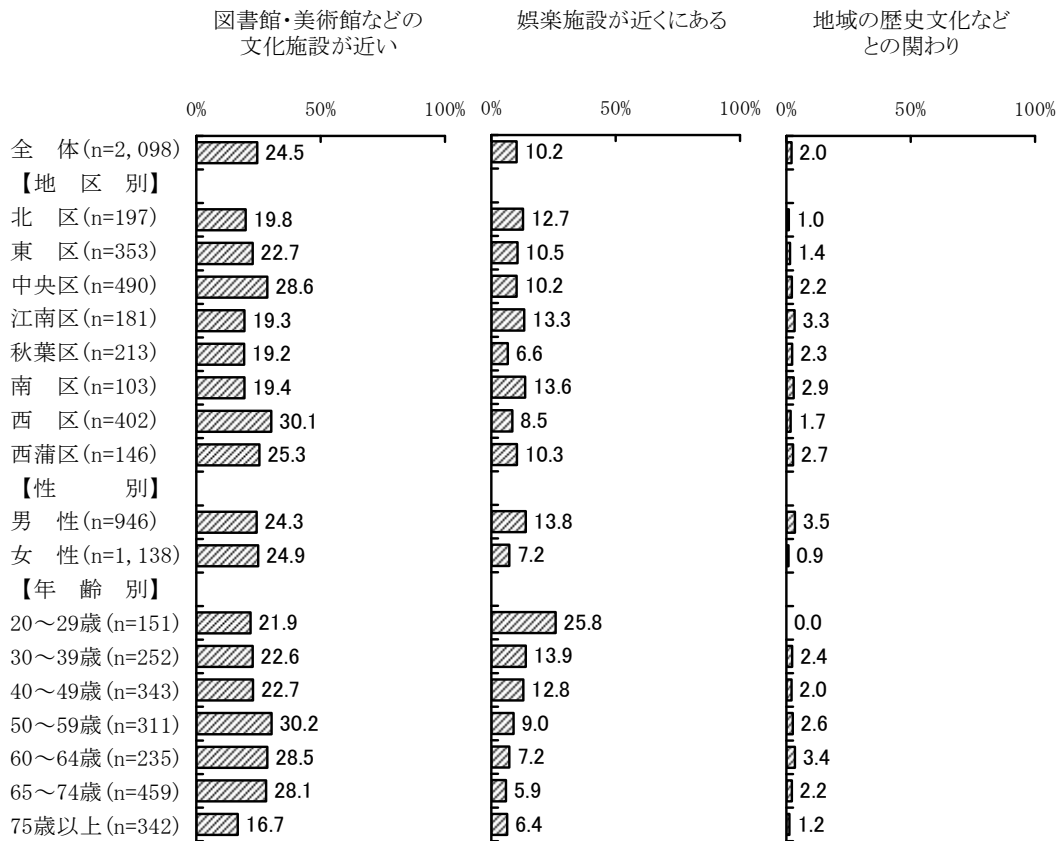


図3-7 居住地の選択の際に重視したいこと【ライフスタイル】

(地区別/性別/年齢別) 2/2



4. 市政全般と区政について

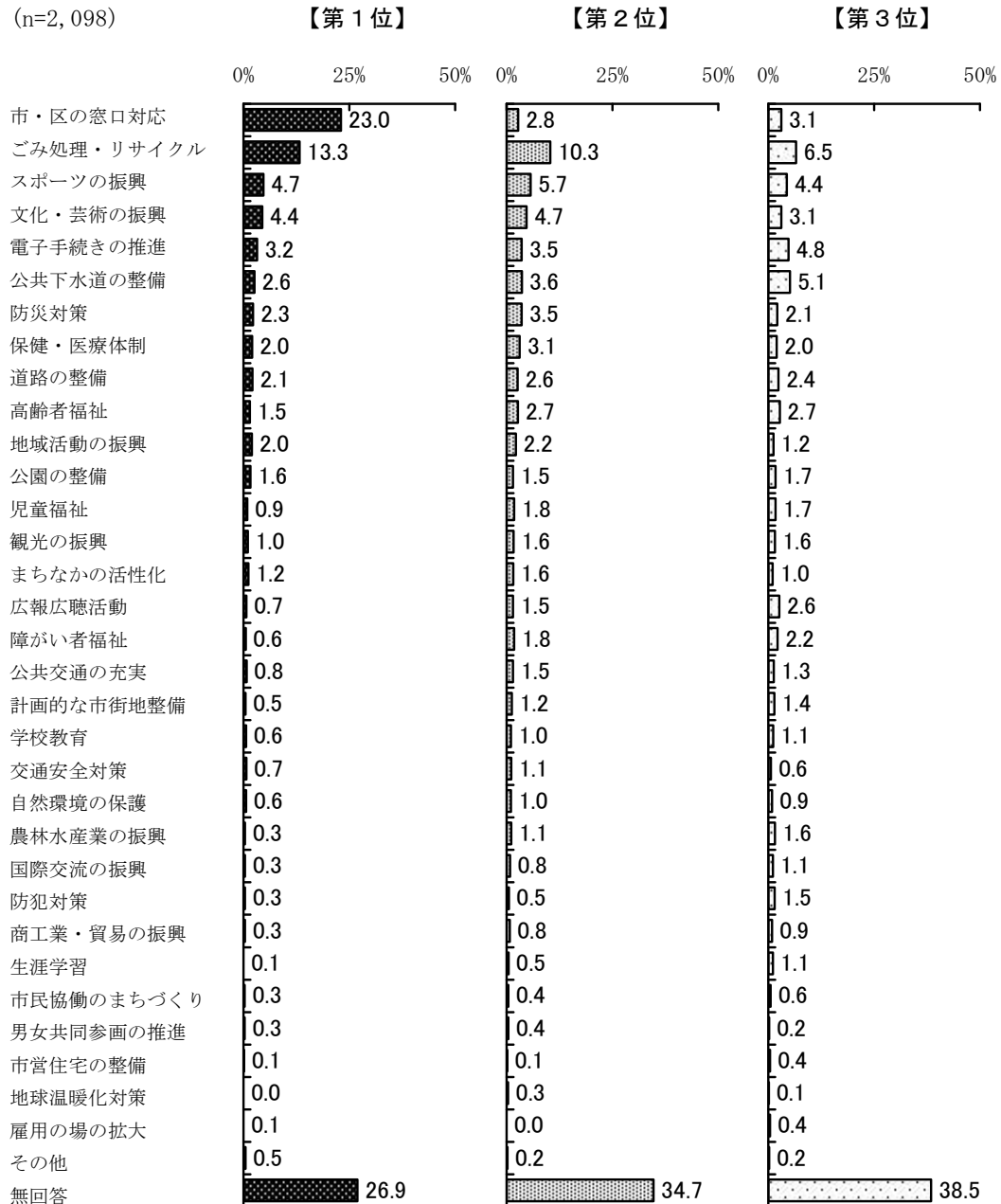
(1) 新潟市として良くなっているもの

問29 市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて

①「新潟市として良くなっているもの」を次の中からそれぞれ1位～3位までを選んで、
下の回答欄に番号（1～33）をご記入ください。

（それぞれの順位欄に番号数字を記入してください）

(n=2,098)



新潟市として良くなっているものは「市・区の窓口対応」

【全体結果】

【第1位回答】の割合は、「市・区の窓口対応」(23.0%)が最も高い。以下、「ごみ処理・リサイクル」(13.3%)、「スポーツの振興」(4.7%)と続いている。

【第2位回答】の割合は、「ごみ処理・リサイクル」(10.3%)が最も高い。以下、「スポーツの振興」(5.7%)、「文化・芸術の振興」(4.7%)と続いている。

【第3位回答】の割合も、【第2位回答】と同じく「ごみ処理・リサイクル」(6.5%)が最も高い。以下、「公共下水道の整備」(5.1%)、「電子手続きの推進」(4.8%)と続いている。

なお、「無回答」の割合は、第1位が26.9%、第2位が34.7%、第3位が38.5%で、いずれの【回答順位】においても、その割合は高い。

【第1位回答】に3ポイント、【第2位回答】に2ポイント、【第3位回答】に1ポイントを与え、『新潟市として良くなっているもの』の平均得点を算出した結果を次ページに掲載した。(図4-1参照)

平均得点が高いほど、「新潟市として良くなっている」との評価が高い施策・事業である。平均得点の算出式、算出例を以下に掲載した。

※1：平均得点の算出式
（【第1位回答】×3＋【第2位回答】×2＋【第3位回答】×1）÷n数
※2：平均得点の算出例（全体結果、「市・区の窓口対応」の場合）
（352×3＋85×2＋63×1）÷1,964≒0.66
平均得点＝0.66ポイント

【平均得点】をみると、「市・区の窓口対応」が0.78ポイントで最も高い。

以下、「ごみ処理・リサイクル」が0.67ポイント、「文化・芸術の振興」が0.30ポイント、「スポーツの振興」が0.26ポイント、「道路の整備」が0.21ポイント、「公共下水道の整備」が0.20ポイントで続いている。

なお、性別、年齢別平均得点の上位5つを102頁に掲載した。(表4-1参照)

図4-1 新潟市として良くなっているもの<平均得点> (全体)

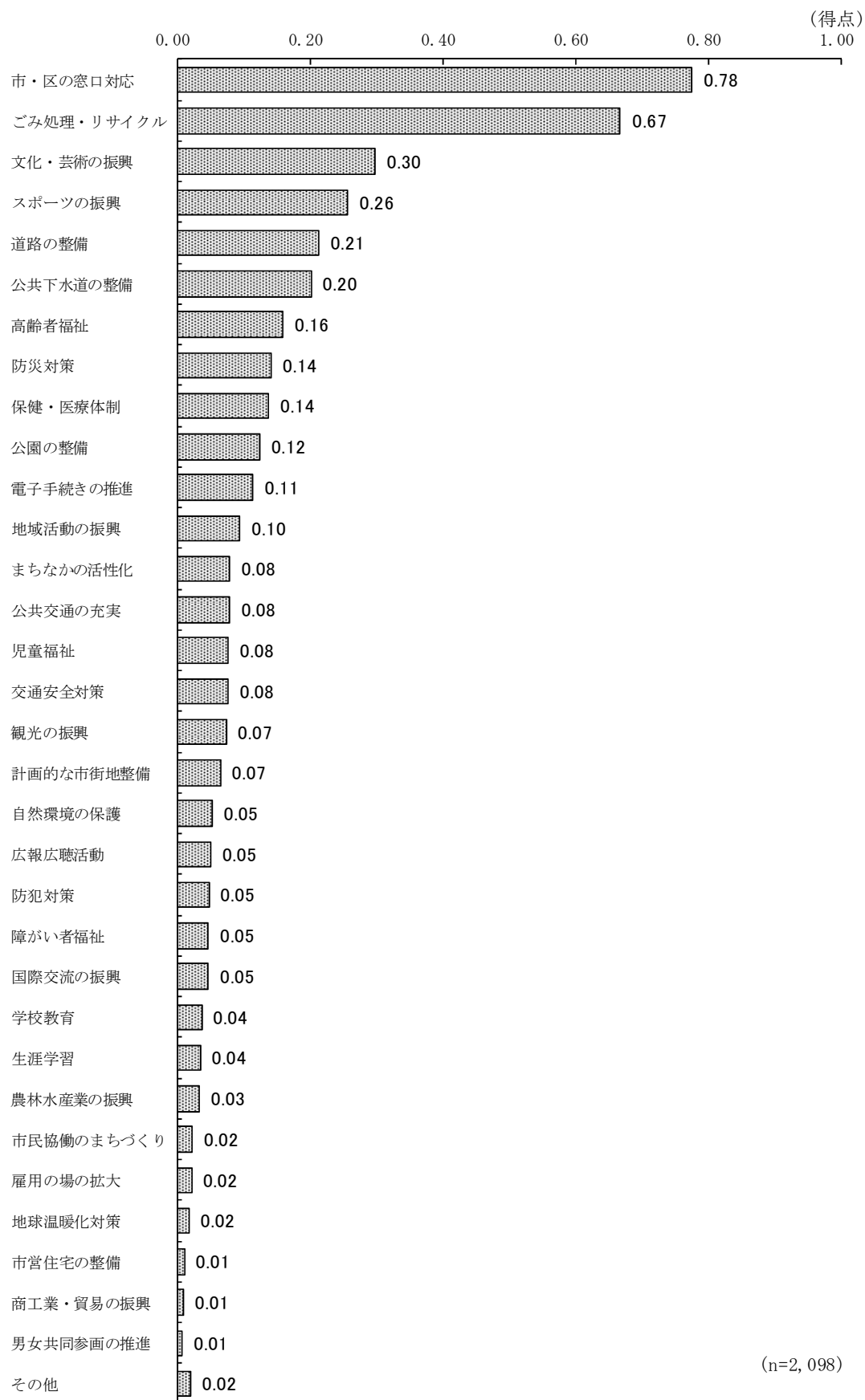


表4-1 新潟市として良くなっているもの<性別、年齢別平均得点の上位5つ>

	男性	女性	20～29歳	30～39歳	40～49歳
1位	市・区の窓口対応 (0.81ポイント)	市・区の窓口対応 (0.76ポイント)	道路の整備 (0.50ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.58ポイント)	市・区の窓口対応 (0.61ポイント)
2位	ごみ処理・リサイクル (0.62ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.72ポイント)	市・区の窓口対応 (0.47ポイント)	市・区の窓口対応 (0.57ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.60ポイント)
3位	スポーツの振興 (0.28ポイント)	文化・芸術の振興 (0.32ポイント)	文化・芸術の振興 ごみ処理・リサイクル (0.42ポイント)	文化・芸術の振興 (0.48ポイント)	文化・芸術の振興 (0.43ポイント)
4位	文化・芸術の振興 道路の整備 (0.27ポイント)	スポーツの振興 (0.25ポイント)		スポーツの振興 (0.33ポイント)	スポーツの振興 (0.36ポイント)
5位		公共下水道の整備 (0.19ポイント)	スポーツの振興 (0.40ポイント)	公園の整備 (0.25ポイント)	道路の整備 (0.34ポイント)

	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
1位	市・区の窓口対応 (0.84ポイント)	市・区の窓口対応 (0.91ポイント)	市・区の窓口対応 (0.90ポイント)	市・区の窓口対応 (0.92ポイント)
2位	ごみ処理・リサイクル (0.70ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.84ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.78ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.64ポイント)
3位	スポーツの振興 (0.32ポイント)	スポーツの振興 (0.27ポイント)	公共下水道の整備 (0.25ポイント)	高齢者福祉 (0.30ポイント)
4位	文化・芸術の振興 (0.29ポイント)	文化・芸術の振興 公共下水道の整備 (0.26ポイント)	防災対策 (0.22ポイント)	公共下水道の整備 (0.21ポイント)
5位	公共下水道の整備 電子手続きの推進 (0.20ポイント)		高齢者福祉 (0.19ポイント)	文化・芸術の振興 (0.18ポイント)

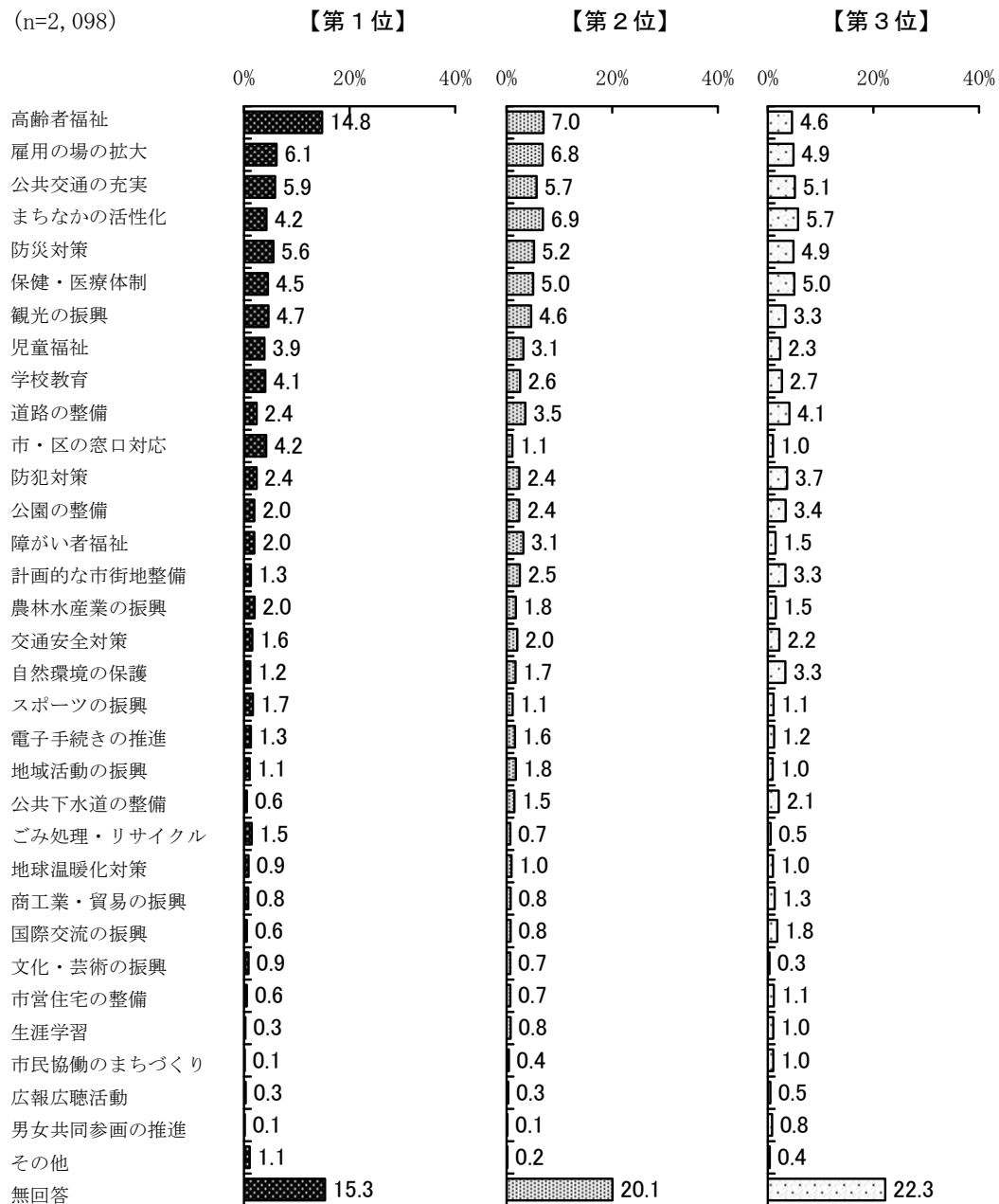
(2) 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの

問29 市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて

②「新潟市として今後、もっと力を入れてほしいもの」を次の中からそれぞれ1位～3位までを選んで、下の回答欄に番号(1～33)をご記入ください。

(それぞれの順位欄に番号数字を記入してください)

(n=2,098)



要望が最も高い施策・事業は「高齢者福祉」

【全体結果】

【第1位回答】の割合は、「高齢者福祉」(14.8%)が最も高い。以下、「雇用の場の拡大」(6.1%)、「公共交通の充実」(5.9%)、「防災対策」(5.6%)と続いている。

【第2位回答】の割合も、【第1位回答】と同じく「高齢者福祉」(7.0%)が最も高い。以下、「まちなかの活性化」(6.9%)、「雇用の場の拡大」(6.8%)、「公共交通の充実」(5.7%)、「防災対策」(5.2%)、「保健・医療体制」(5.0%)と続いている。

【第3位回答】の割合は、「まちなかの活性化」(5.7%)が最も高い。以下、「公共交通の充実」(5.1%)、「保健・医療体制」(5.0%)、「雇用の場の拡大」と「防災対策」(各4.9%)が続いている。

なお、「無回答」の割合は、第1位が15.3%、第2位が20.1%、第3位が22.3%で、いずれの【回答順位】においても、その割合が高い。

前項(1)と同様に、【第1位回答】に3ポイント、【第2位回答】に2ポイント、【第3位回答】に1ポイントを与え、『新潟市として今後、もっと力を入れてほしいもの』の平均得点を算出した結果を次ページに掲載した。(図4-2参照)

平均得点が高いほど、「新潟市として力を入れてほしい」との要望が高い施策・事業である。

【平均得点】をみると、「高齢者福祉」が0.63ポイントと最も高い。以下、「雇用の場の拡大」が0.37ポイント、「まちなかの活性化」が0.34ポイント、「保健・医療体制」と「公共交通の充実」が各0.32ポイントで続いている。

なお、性別、年齢別平均得点の上位5つを106頁に掲載した。(表4-2参照)

図4-2 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの<平均得点> (全体)

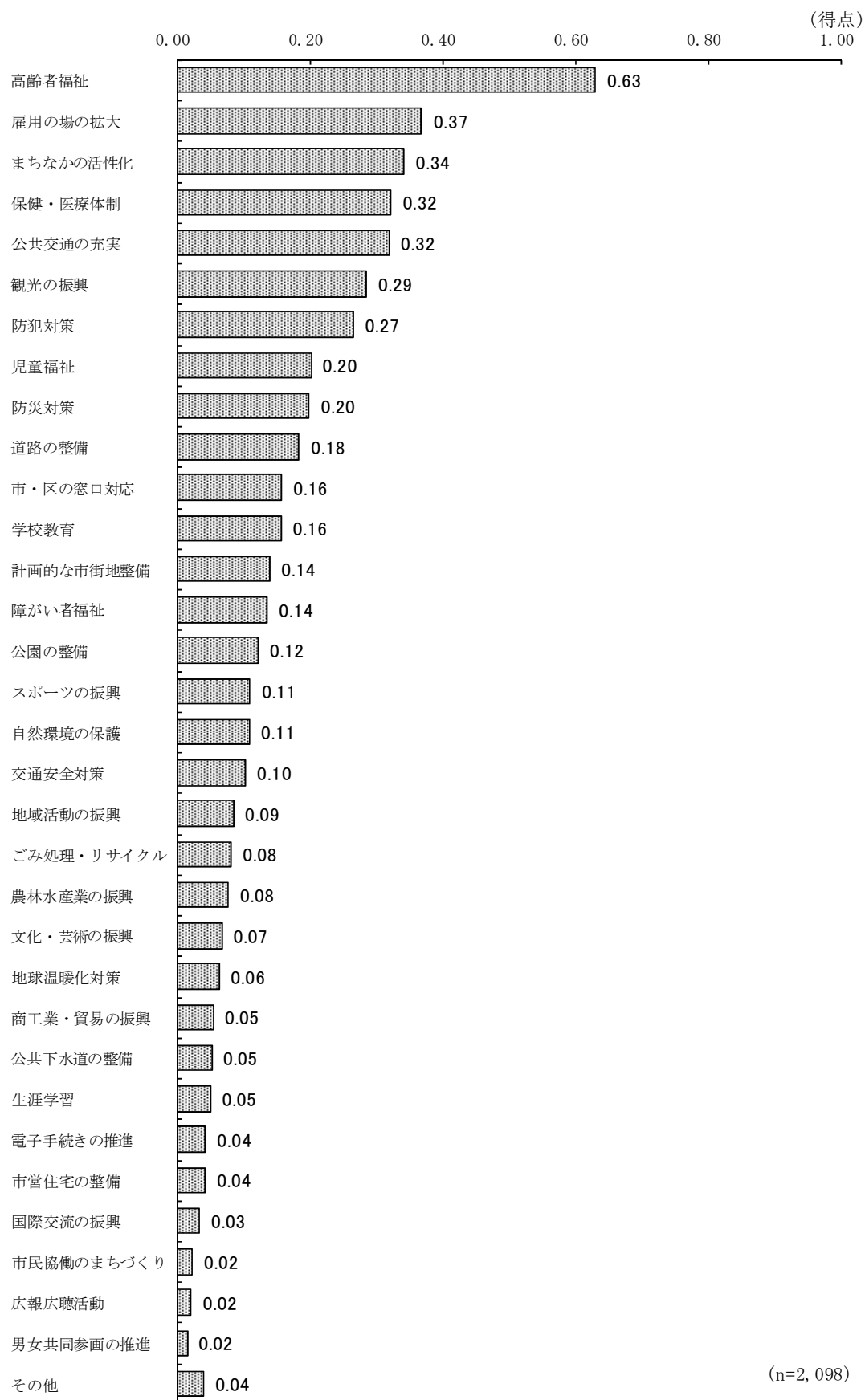


表4-2 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの
 <性別、年齢別平均得点の上位5つ>

	男性	女性	20～29歳	30～39歳	40～49歳
1位	高齢者福祉 (0.61ポイント)	高齢者福祉 (0.65ポイント)	公共交通の充実 (0.52ポイント)	児童福祉 (0.49ポイント)	雇用の場の拡大 (0.51ポイント)
2位	雇用の場の拡大 (0.39ポイント)	保健・医療体制 まちなかの活性化 雇用の場の拡大 (0.36ポイント)	観光の振興 (0.48ポイント)	公共交通の充実 (0.41ポイント)	高齢者福祉 (0.46ポイント)
3位	公共交通の充実 (0.33ポイント)		雇用の場の拡大 (0.47ポイント)	保健・医療体制 (0.40ポイント)	観光の振興 (0.36ポイント)
4位	まちなかの活性化 (0.32ポイント)		まちなかの活性化 (0.38ポイント)	観光の振興 まちなかの活性化 (0.36ポイント)	防犯対策 (0.33ポイント)
5位	防犯対策 (0.30ポイント)	公共交通の充実 (0.32ポイント)	防犯対策 (0.28ポイント)		保健・医療体制 (0.31ポイント)

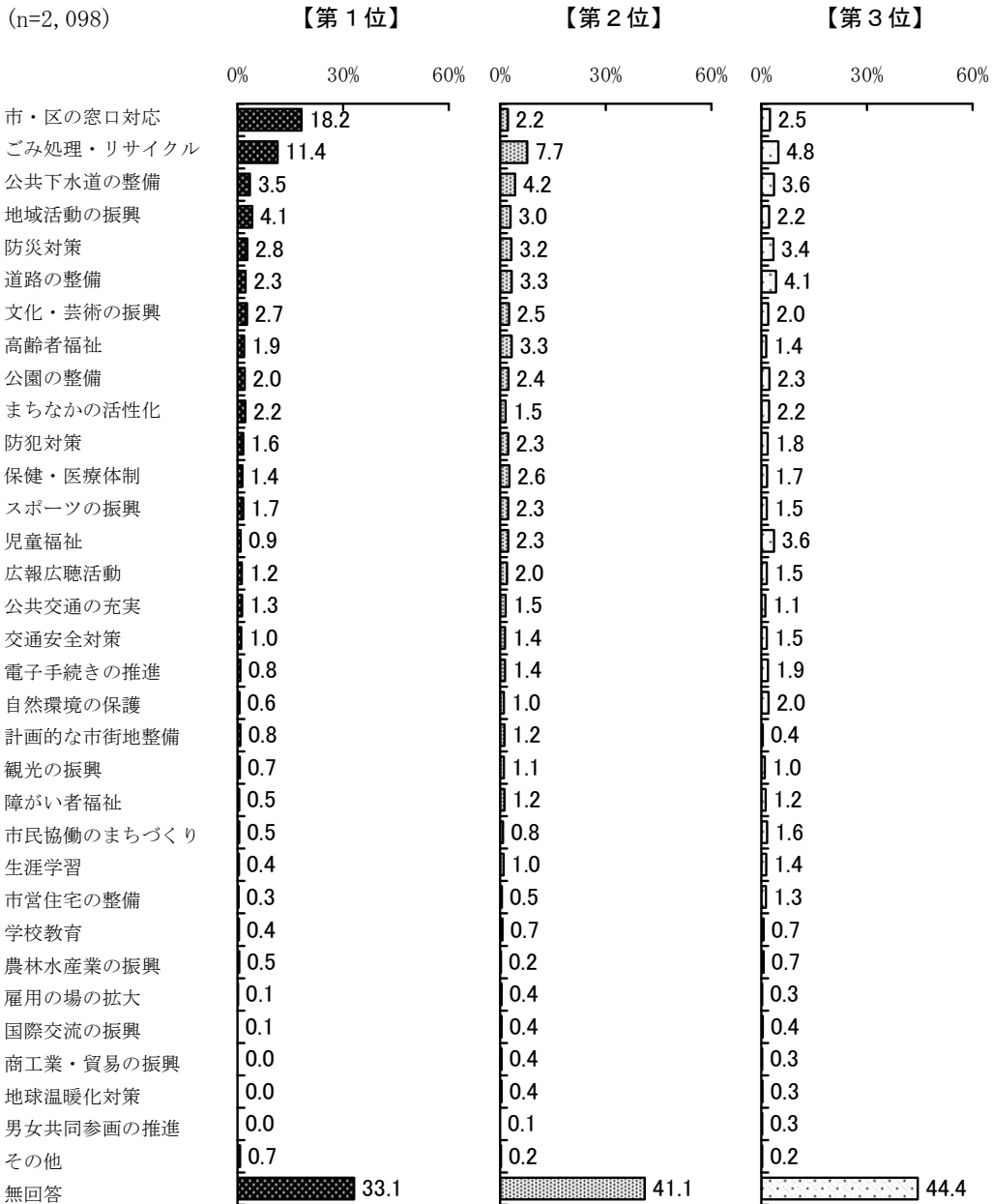
	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
1位	高齢者福祉 (0.68ポイント)	高齢者福祉 (0.73ポイント)	高齢者福祉 (0.88ポイント)	高齢者福祉 (0.74ポイント)
2位	まちなかの活性化 (0.41ポイント)	雇用の場の拡大 (0.52ポイント)	まちなかの活性化 (0.32ポイント)	まちなかの活性化 (0.29ポイント)
3位	保健・医療体制 公共交通の充実 (0.37ポイント)	まちなかの活性化 (0.40ポイント)	雇用の場の拡大 (0.30ポイント)	保健・医療体制 (0.28ポイント)
4位		保健・医療体制 (0.39ポイント)	防犯対策 (0.29ポイント)	雇用の場の拡大 (0.24ポイント)
5位	雇用の場の拡大 (0.34ポイント)	公共交通の充実 (0.37ポイント)	保健・医療体制 (0.28ポイント)	公共交通の充実 (0.23ポイント)

(3) 区として良くなっているもの

問35 市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて

③「区として良くなっているもの」を次の中からそれぞれ1位～3位までを選んで、
下の回答欄に番号(1～33)をご記入ください。

(それぞれの順位欄に番号数字を記入してください)



「市・区の窓口対応」への評価が高い

【全体結果】

【第1位回答】の割合は、「市・区の窓口対応」(18.2%)が最も高い。以下、「ごみ処理・リサイクル」(11.4%)、「地域活動の振興」(4.1%)、「公共下水道の整備」(3.5%)、「防災対策」(2.8%)と続いている。

【第2位回答】の割合は、「ごみ処理・リサイクル」(7.7%)が最も高い。以下、「公共下水道の整備」(4.2%)、「道路の整備」「高齢者福祉」(各3.3%)、「防災対策」(3.2%)、「地域活動の振興」(3.0%)と続いている。

【第3位回答】の割合も、【第2位回答】と同じく「ごみ処理・リサイクル」(4.8%)が最も高い。以下、「道路の整備」(4.1%)、「児童福祉」「公共下水道の整備」(各3.6%)、「防災対策」(3.4%)と続いている。

なお、「無回答」の割合は、第1位が33.1%、第2位が41.1%、第3位が44.4%で、いずれの【回答順位】においても、その割合は高い。

前項(1)と同様に、【第1位回答】に3ポイント、【第2位回答】に2ポイント、【第3位回答】に1ポイントを与え、『区として良くなっているもの』の平均得点を算出した結果を次ページに掲載した。(図4-3参照)

平均得点が高いほど、「区として良くなっている」との評価が高い施策・事業である。

【平均得点】をみると、「市・区の窓口対応」(0.61ポイント)や「ごみ処理・リサイクル」(0.54ポイント)が高い。以下、「道路の整備」が0.23ポイント、「地域活動の振興」が0.21ポイント、「公園の整備」「公共下水道の整備」が各0.18ポイントで続いている。

なお、性別、年齢別、区別平均得点の上位5つを110～111頁に掲載した。(表4-3～表4-4参照)

図4-3 区として良くなっているもの<平均得点> (全体)

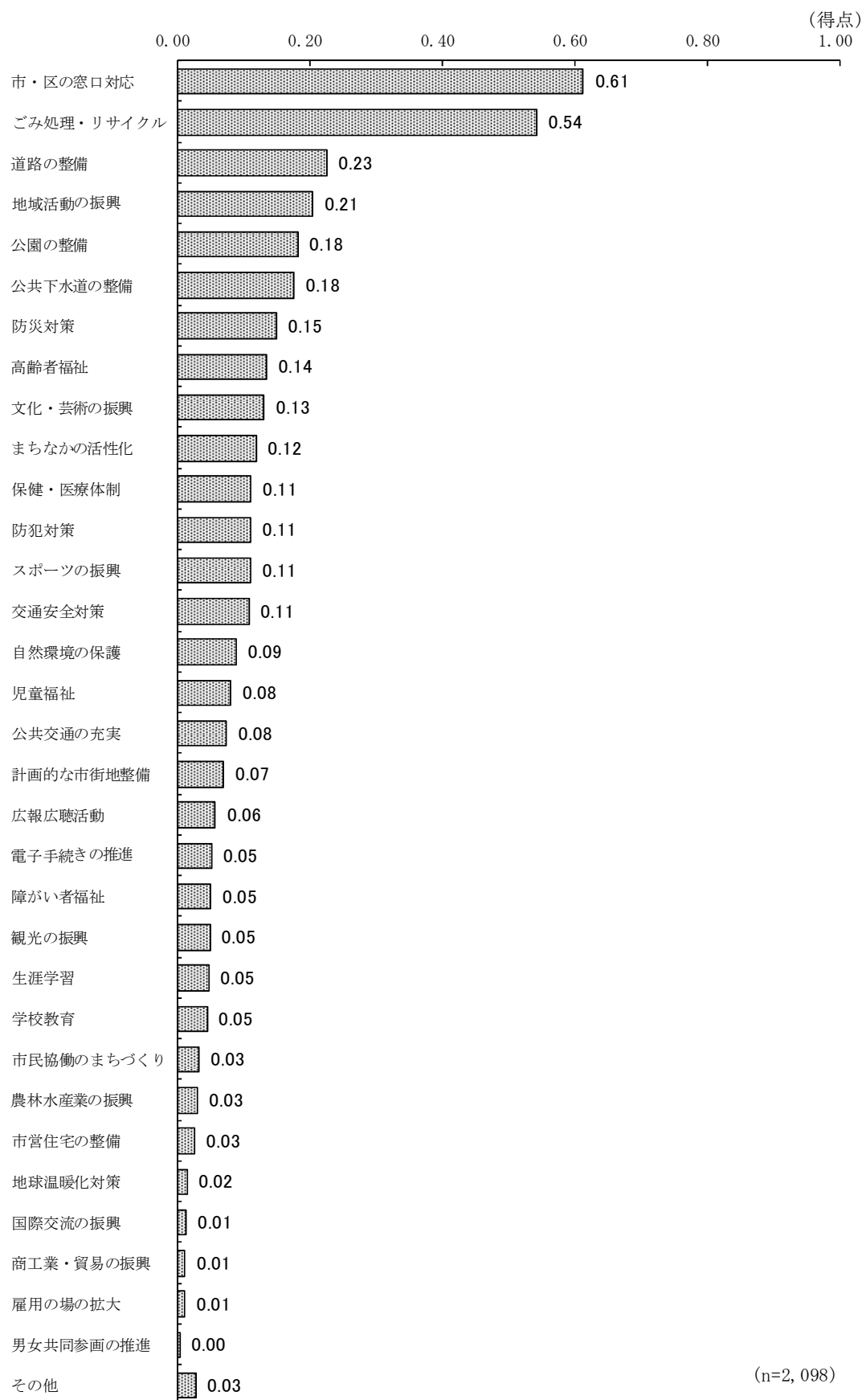


表4-3 区として良くなっているもの<性別、年齢別平均得点の上位5つ>

	男性	女性	20～29歳	30～39歳	40～49歳
1位	市・区の窓口対応 (0.66ポイント)	市・区の窓口対応 (0.59ポイント)	道路の整備 (0.52ポイント)	市・区の窓口対応 (0.48ポイント)	市・区の窓口対応 (0.64ポイント)
2位	ごみ処理・リサイクル (0.54ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.55ポイント)	市・区の窓口対応 (0.44ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.42ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.54ポイント)
3位	道路の整備 (0.26ポイント)	地域活動の振興 公園の整備 (0.21ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.36ポイント)	公園の整備 道路の整備 (0.27ポイント)	地域活動の振興 (0.26ポイント)
4位	地域活動の振興 (0.21ポイント)		まちなかの活性化 (0.31ポイント)		道路の整備 (0.24ポイント)
5位	公共下水道の整備 (0.19ポイント)	道路の整備 (0.20ポイント)	交通安全対策 (0.23ポイント)	文化・芸術の振興 (0.24ポイント)	防災対策 (0.18ポイント)

	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
1位	市・区の窓口対応 (0.70ポイント)	市・区の窓口対応 (0.86ポイント)	市・区の窓口対応 (0.66ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.57ポイント)
2位	ごみ処理・リサイクル (0.58ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.62ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.59ポイント)	市・区の窓口対応 (0.46ポイント)
3位	地域活動の振興 (0.25ポイント)	公共下水道の整備 (0.31ポイント)	地域活動の振興 (0.21ポイント)	高齢者福祉 道路の整備 (0.20ポイント)
4位	防災対策 公共下水道の整備 (0.20ポイント)	防災対策 (0.23ポイント)	公園の整備 (0.20ポイント)	
5位		地域活動の振興 (0.22ポイント)	道路の整備 公共下水道の整備 (0.19ポイント)	公共下水道の整備 (0.14ポイント)

表4-4 区として良くなっているもの<区別平均得点の上位5つ>

	北区	東区	中央区	江南区
1位	ごみ処理・リサイクル (0.60ポイント)	市・区の窓口対応 (0.80ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.56ポイント)	市・区の窓口対応 (0.61ポイント)
2位	市・区の窓口対応 (0.44ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.49ポイント)	市・区の窓口対応 (0.48ポイント)	公園の整備 (0.43ポイント)
3位	地域活動の振興 (0.34ポイント)	地域活動の振興 (0.25ポイント)	道路の整備 (0.23ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.36ポイント)
4位	道路の整備 (0.26ポイント)	道路の整備 (0.23ポイント)	文化・芸術の振興 (0.17ポイント)	高齢者福祉 (0.22ポイント)
5位	公共下水道の整備 (0.25ポイント)	交通安全対策 防災対策 (0.17ポイント)	公園の整備 防災対策 (0.14ポイント)	道路の整備 (0.21ポイント)

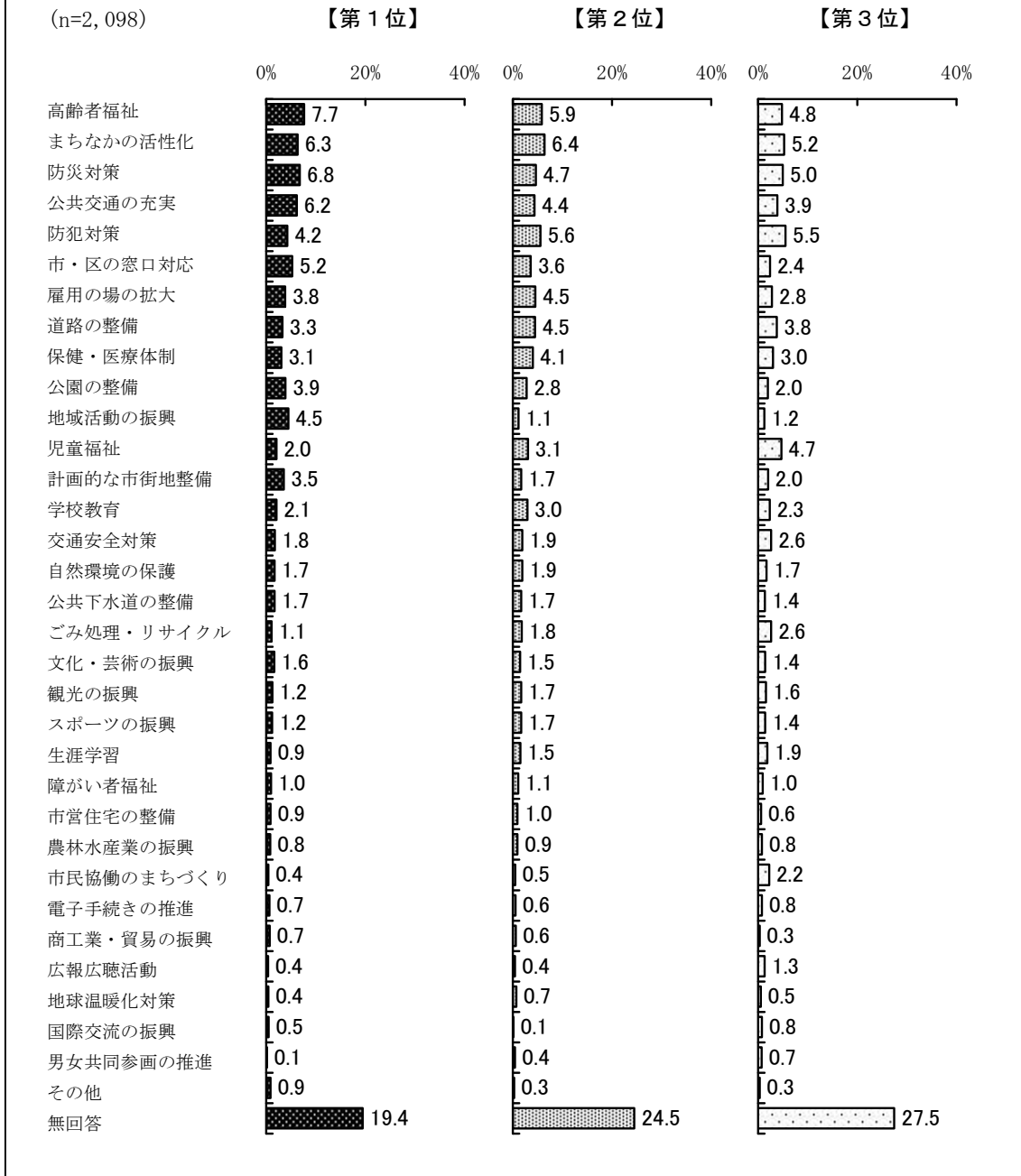
	秋葉区	南区	西区	西蒲区
1位	ごみ処理・リサイクル (0.61ポイント)	市・区の窓口対応 (0.45ポイント)	市・区の窓口対応 (0.86ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.68ポイント)
2位	市・区の窓口対応 (0.58ポイント)	道路の整備 (0.33ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.61ポイント)	市・区の窓口対応 (0.40ポイント)
3位	文化・芸術の振興 (0.31ポイント)	ごみ処理・リサイクル (0.30ポイント)	公共下水道の整備 (0.27ポイント)	地域活動の振興 (0.27ポイント)
4位	道路の整備 (0.22ポイント)	地域活動の振興 (0.25ポイント)	地域活動の振興 (0.24ポイント)	公園の整備 (0.20ポイント)
5位	まちなかの活性化 公共下水道の整備 (0.17ポイント)	保健・医療体制 (0.23ポイント)	道路の整備 (0.22ポイント)	高齢者福祉 (0.19ポイント)

(4) 区として今後もっと力を入れてほしいもの

問29 市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて

④「区として今後もっと力を入れてほしいもの」を次の中からそれぞれ1位～3位までを選んで、下の回答欄に番号(1～33)をご記入ください。

(それぞれの順位欄に番号数字を記入してください)



要望が最も高い施策・事業は「高齢者福祉」

【全体結果】

【第1位回答】の割合は、「高齢者福祉」(7.7%)が最も高い。以下、「防災対策」(6.8%)、「まちなかの活性化」(6.3%)、「公共交通の充実」(6.2%)、「市・区の窓口対応」(5.2%)と続いている。

【第2位回答】の割合は、「まちなかの活性化」(6.4%)が最も高い。以下、「高齢者福祉」(5.9%)、「防犯対策」(5.6%)、「防災対策」(4.7%)、「雇用の場の拡大」「道路の整備」(各4.5%)と続いている。

【第3位回答】の割合は、「防犯対策」(5.5%)が最も高い。以下、「まちなかの活性化」(5.2%)、「防災対策」(5.0%)、「高齢者福祉」(4.8%)、「児童福祉」(4.7%)と続いている。

なお、「無回答」の割合は、第1位が19.4%、第2位が24.5%、第3位が27.5%で、いずれの【回答順位】においても、その割合は高い。

前項(1)と同様に、【第1位回答】に3ポイント、【第2位回答】に2ポイント、【第3位回答】に1ポイントを与え、『区として今後もっと力を入れてほしいもの』の平均得点を算出した結果を次ページに掲載した。(図4-4参照)

平均得点が高いほど、「区として力を入れてほしい」との要望が高い施策・事業である。

【平均得点】をみると、「高齢者福祉」(0.40ポイント)が高い。以下、「防犯対策」が0.37ポイント、「まちなかの活性化」が0.35ポイント、「公共交通の充実」が0.31ポイント、「保健・医療体制」が0.29ポイントで続いている。

なお、性別、年齢別、区別平均得点の上位5つを115~116頁に掲載した。(表4-5~表4-6参照)

図4-4 区として今後もっと力を入れてほしいもの<平均得点> (全体)

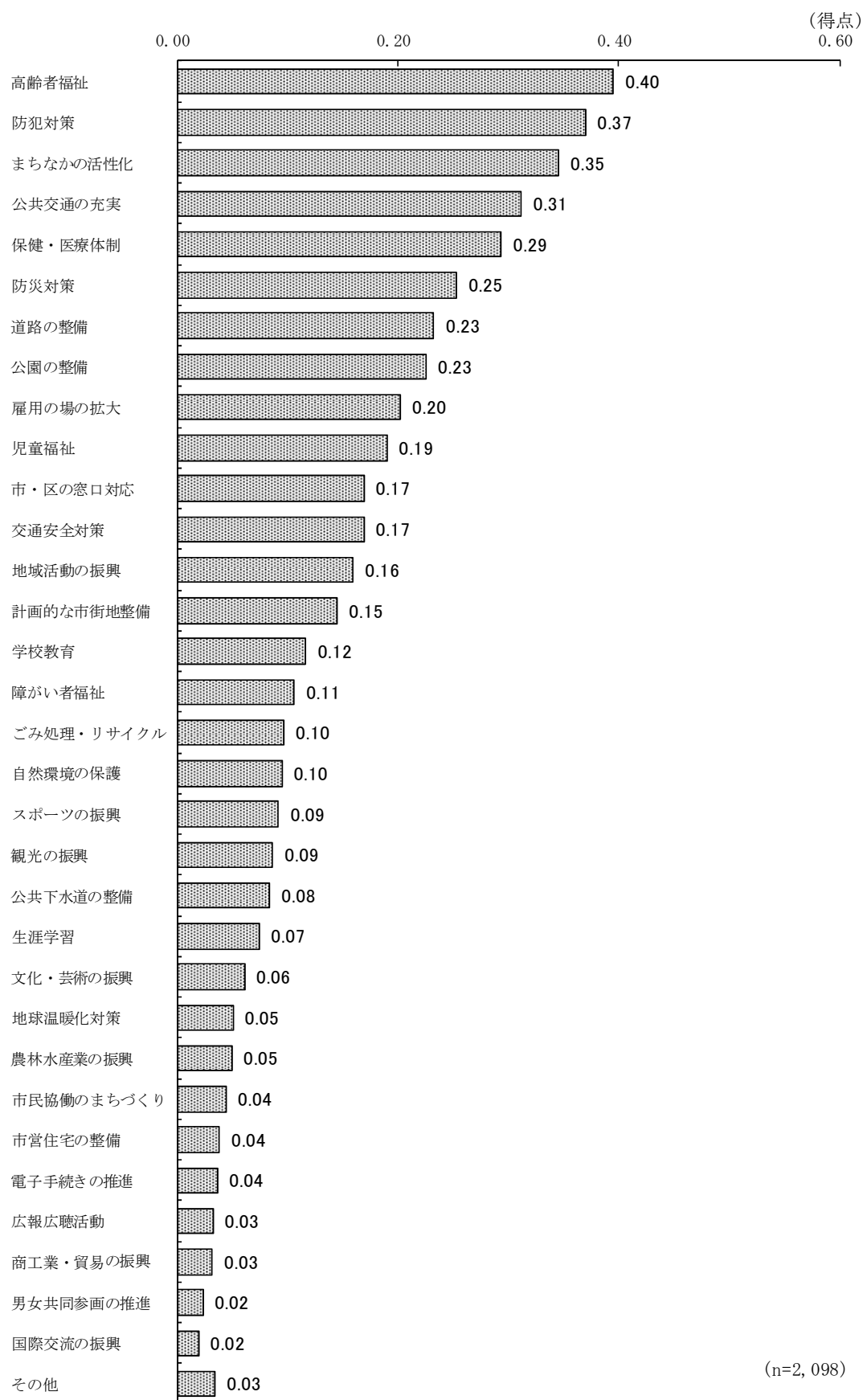


表4-5 区として今後もっと力を入れてほしいもの
 <性別、年齢別平均得点の上位5つ>

	男性	女性	20～29歳	30～39歳	40～49歳
1位	防災対策 (0.39ポイント)	高齢者福祉 (0.42ポイント)	公共交通の充実 (0.55ポイント)	防犯対策 公園の整備 (0.45ポイント)	防犯対策 (0.47ポイント)
2位	高齢者福祉 (0.37ポイント)	防犯対策 まちなかの活性化 (0.36ポイント)	防犯対策 (0.40ポイント)		公共交通の充実 (0.40ポイント)
3位	まちなかの活性化 (0.33ポイント)		道路の整備 (0.32ポイント)	児童福祉 公共交通の充実 (0.43ポイント)	まちなかの活性化 高齢者福祉 (0.36ポイント)
4位	公共交通の充実 (0.29ポイント)	公共交通の充実 (0.33ポイント)	まちなかの活性化 (0.31ポイント)		
5位	防災対策 (0.27ポイント)	保健・医療体制 (0.32ポイント)	雇用の場の拡大 (0.30ポイント)	まちなかの活性化 (0.36ポイント)	保健・医療体制 (0.32ポイント)

	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
1位	まちなかの活性化 (0.45ポイント)	高齢者福祉 (0.59ポイント)	高齢者福祉 (0.48ポイント)	高齢者福祉 (0.40ポイント)
2位	高齢者福祉 (0.44ポイント)	まちなかの活性化 (0.37ポイント)	防犯対策 (0.34ポイント)	まちなかの活性化 (0.26ポイント)
3位	防犯対策 (0.41ポイント)	保健・医療体制 (0.35ポイント)	防犯対策 (0.32ポイント)	防災対策 防犯対策 (0.25ポイント)
4位	保健・医療体制 (0.40ポイント)	防犯対策 道路の整備 (0.32ポイント)	保健・医療体制 (0.29ポイント)	
5位	公共交通の充実 (0.29)		防災対策 (0.26ポイント)	保健・医療体制 (0.22ポイント)

表4-6 区として今後もっと力を入れてほしいもの<区別平均得点の上位5つ>

	北区	東区	中央区	江南区
1位	保健・医療体制 (0.45ポイント)	防犯対策 (0.47ポイント)	まちなかの活性化 (0.49ポイント)	公共交通の充実 (0.46ポイント)
2位	高齢者福祉 (0.43ポイント)	高齢者福祉 (0.35ポイント)	防犯対策 (0.40ポイント)	高齢者福祉 (0.43ポイント)
3位	まちなかの活性化 (0.38ポイント)	保健・医療体制 公共交通の充実 (0.29ポイント)	高齢者福祉 (0.34ポイント)	防犯対策 (0.33ポイント)
4位	防犯対策 公共交通の充実 (0.31ポイント)		防災対策 保健・医療体制 (0.25ポイント)	道路の整備 (0.26ポイント)
5位		公園の整備 (0.27ポイント)		防災対策 (0.25ポイント)

	秋葉区	南区	西区	西蒲区
1位	まちなかの活性化 (0.45ポイント)	公共交通の充実 (0.56ポイント)	防犯対策 (0.48ポイント)	公共交通の充実 (0.42ポイント)
2位	高齢者福祉 (0.42ポイント)	高齢者福祉 (0.55ポイント)	高齢者福祉 (0.42ポイント)	高齢者福祉 (0.36ポイント)
3位	保健・医療体制 (0.28ポイント)	まちなかの活性化 (0.49ポイント)	防災対策 (0.38ポイント)	まちなかの活性化 (0.29ポイント)
4位	雇用の場の拡大 (0.27ポイント)	防犯対策 (0.35ポイント)	保健・医療体制 公園の整備 (0.32ポイント)	保健・医療体制 (0.28ポイント)
5位	公共交通の充実 (0.25ポイント)	保健・医療体制 (0.27ポイント)		地域活動の振興 (0.24ポイント)

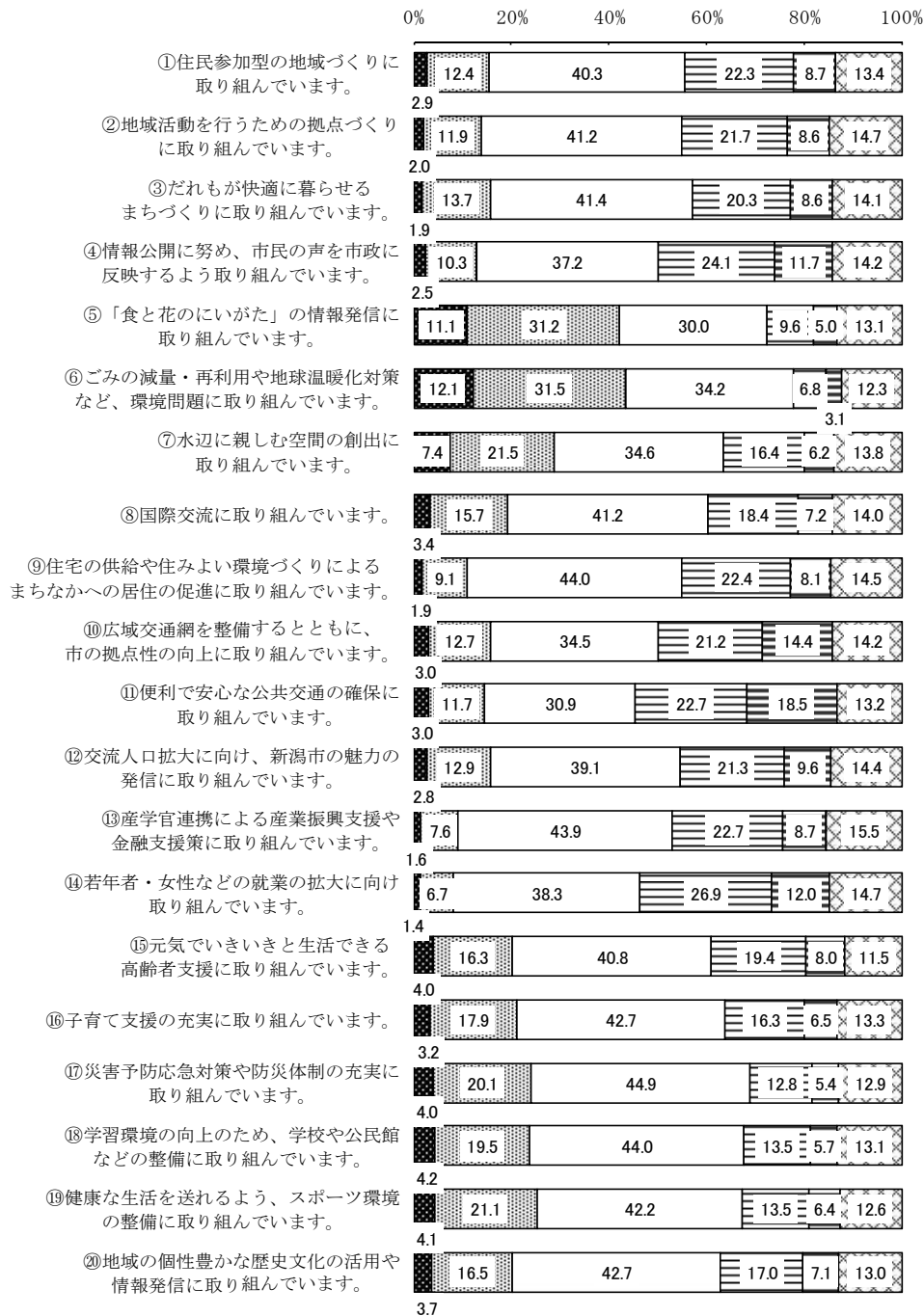
5. 市の取り組みに対する感想・満足度

(1) 市の取り組みに対する感想

問30 政令市に移行した平成19年度から平成26年度までの8年間、「新・新潟市総合計画」によるまちづくりを進めてきました。
この計画に基づき進めてきた、おもな取り組みについて、あなたの感想をお聞かせください。
それぞれの項目ごとに番号と記号を1つずつ選んで、○をつけてください。

(n=2,098)

■ 思う □ ある程度思う □ 普通 □ あまり思わない □ そう思う 思わない □ 無回答



— 「環境問題への取り組み」「食と花のにいがた」が高い評価を得ている —

【全体結果】

『市の取り組み状況』への評価（感想）について、「そう思う」の割合は、「⑥ごみの減量・再利用や地球温暖化対策など、環境問題に取り組んでいます。」（12.1%）が最も高い。以下、「そう思う」の割合は、「⑤「食と花のにいがた」の情報発信に取り組んでいます。」（11.1%）、「⑦水辺に親しむ空間の創出に取り組んでいます。」（7.4%）の順で高くなっている。

一方、「そう思わない」の割合は、「⑪便利で安心な公共交通の確保に取り組んでいます。」（18.5%）が最も高い。以下、「⑩広域交通網を整備するとともに、市の拠点性の向上に取り組んでいます。」（14.4%）、「⑭若年者・女性などの就業の拡大に向け取り組んでいます。」（12.0%）、「④情報公開に努め、市民の声を市政に反映するよう取り組んでいます。」（11.7%）の順で高くなっている。

また、評価（感想）について、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合、及び、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合の結果は次のとおりである。

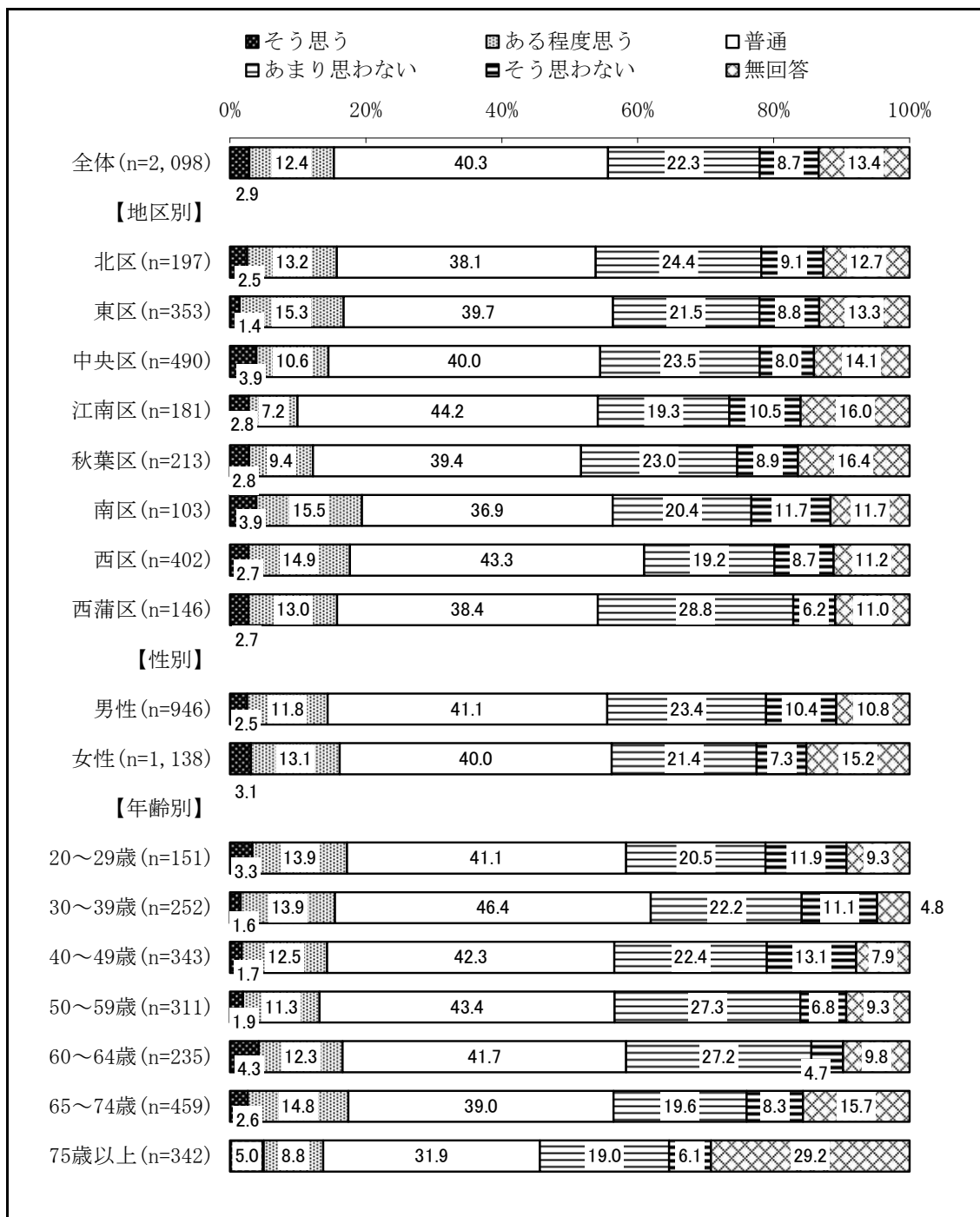
「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合についてみると、「⑥ごみの減量・再利用や地球温暖化対策など、環境問題に取り組んでいます。」（43.6%）、「⑤「食と花のにいがた」の情報発信に取り組んでいます。」（42.3%）の割合が高い。以下、「⑦水辺に親しむ空間の創出に取り組んでいます。」（28.9%）、「⑲健康な生活を送れるよう、スポーツ環境の整備に取り組んでいます。」（25.2%）、「⑰災害予防応急対策や防災体制の充実に取り組んでいます。」（23.3%）、「⑱学習環境の向上のため、学校や公民館などの整備に取り組んでいます。」（23.7%）が2割台で続いている。

一方で、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合についてみると、「⑪便利で安心な公共交通の確保に取り組んでいます。」（41.2%）が最も高い。以下、「⑭若年者・女性などの就業の拡大に向け取り組んでいます。」（38.9%）、「④情報公開に努め、市民の声を市政に反映するよう取り組んでいます。」（35.8%）、「⑩広域交通網を整備するとともに、市の拠点性の向上に取り組んでいます。」（35.6%）が3割台で続いている。

【属性別結果】

次ページ以降に取り組みごとの地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

① 住民参加型の地域づくりに取り組んできました。

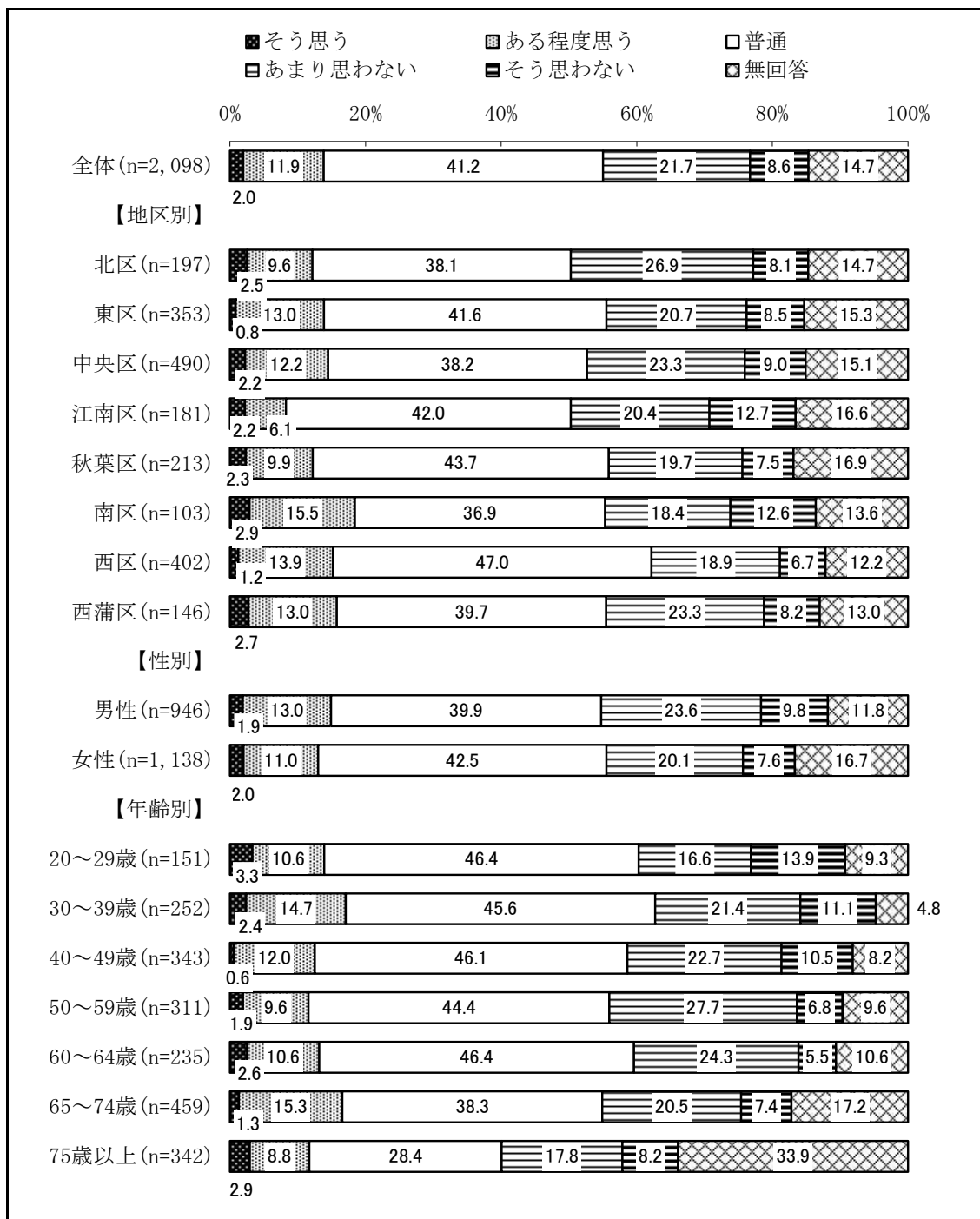


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合についてみると、地区別は、西蒲区（35.0%）が最も高くなっている。性別は、男性（33.8%）の方が女性（28.7%）よりも高くなっている。年齢別は、40代（35.5%）が高くなっている。

一方、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合については、すべての属性において2割未満となっている。

② 地域活動を行うための拠点づくりに取り組んできました。

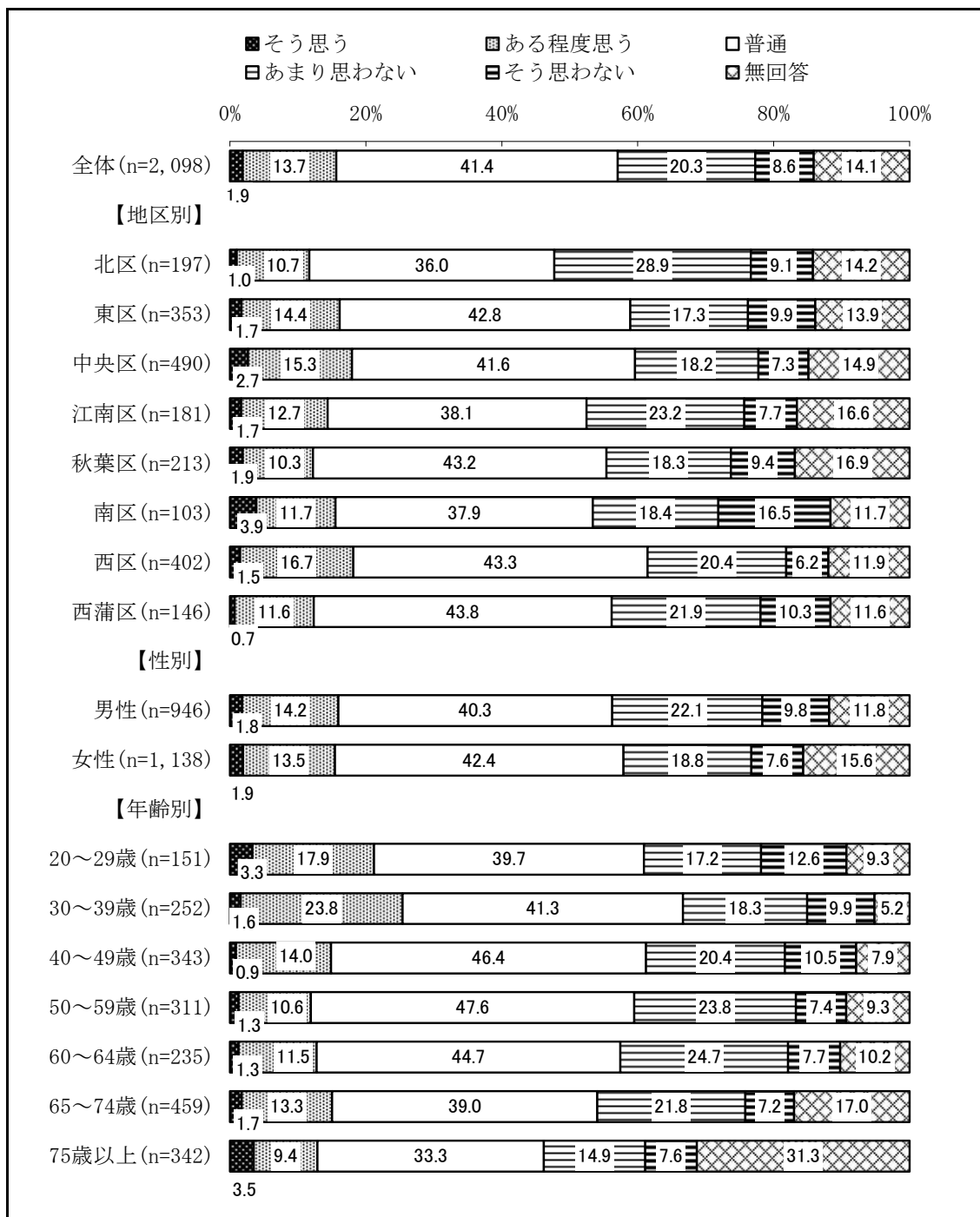


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合についてみると、地区別は、北区（35.0%）が最も高くなっている。性別は、男性（33.4%）の方が女性（27.7%）よりも高くなっている。年齢別は、50代（34.5%）が最も高くなっている。

一方、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合については、すべての属性において2割未満となっている。

③ だれもが快適に暮らせるまちづくりに取り組んできました。

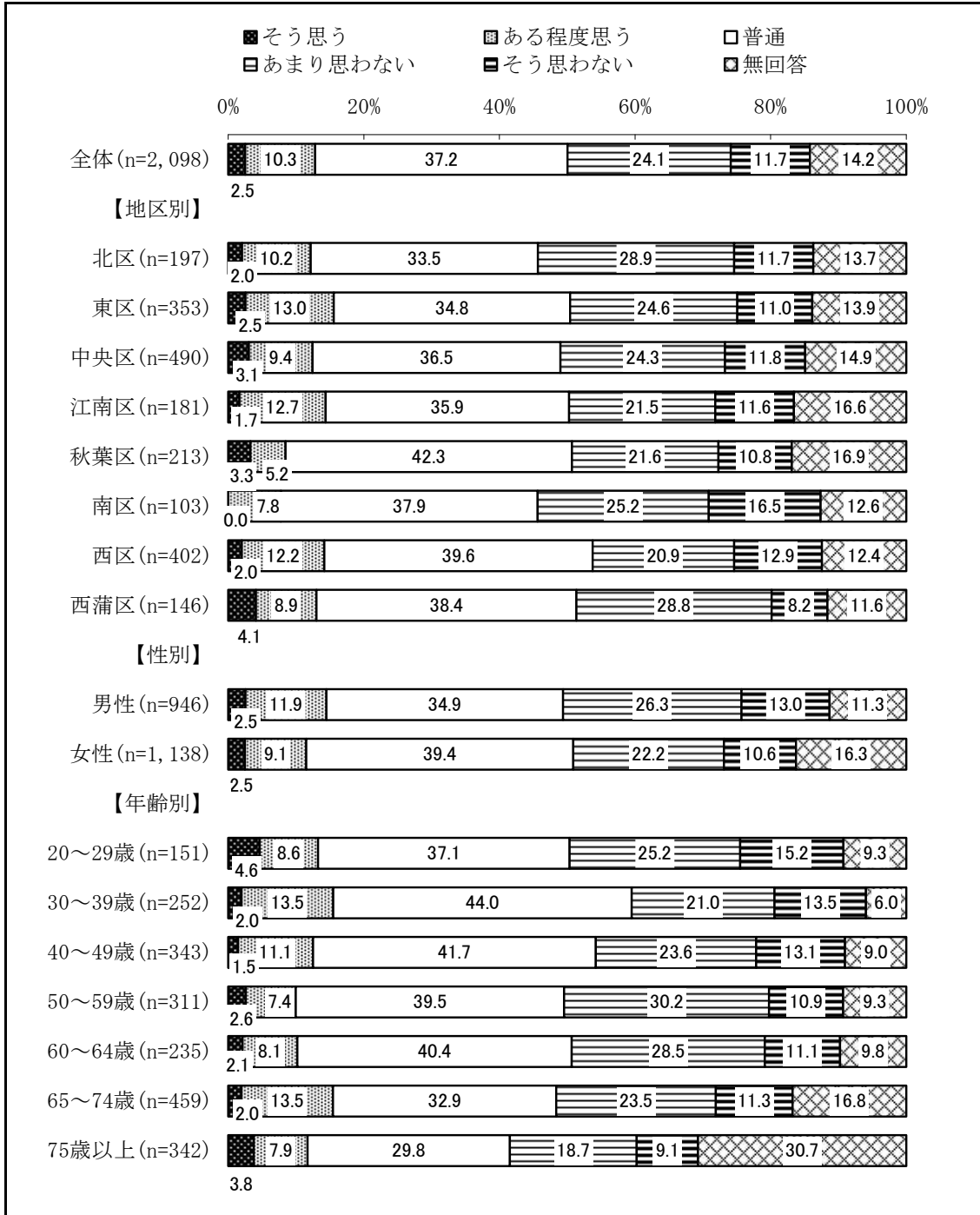


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合についてみると、地区別は、北区（38.0%）と南区（34.9%）が高くなっている。性別は、男性（31.9%）の方が女性（26.4%）よりも高くなっている。年齢別は、60～64歳（32.4%）が最も高くなっている。

一方、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合については、20代（21.2%）と30代（25.4%）が高くなっている。

④ 情報公開に努め、市民の声を市政に反映するよう取り組んできました。

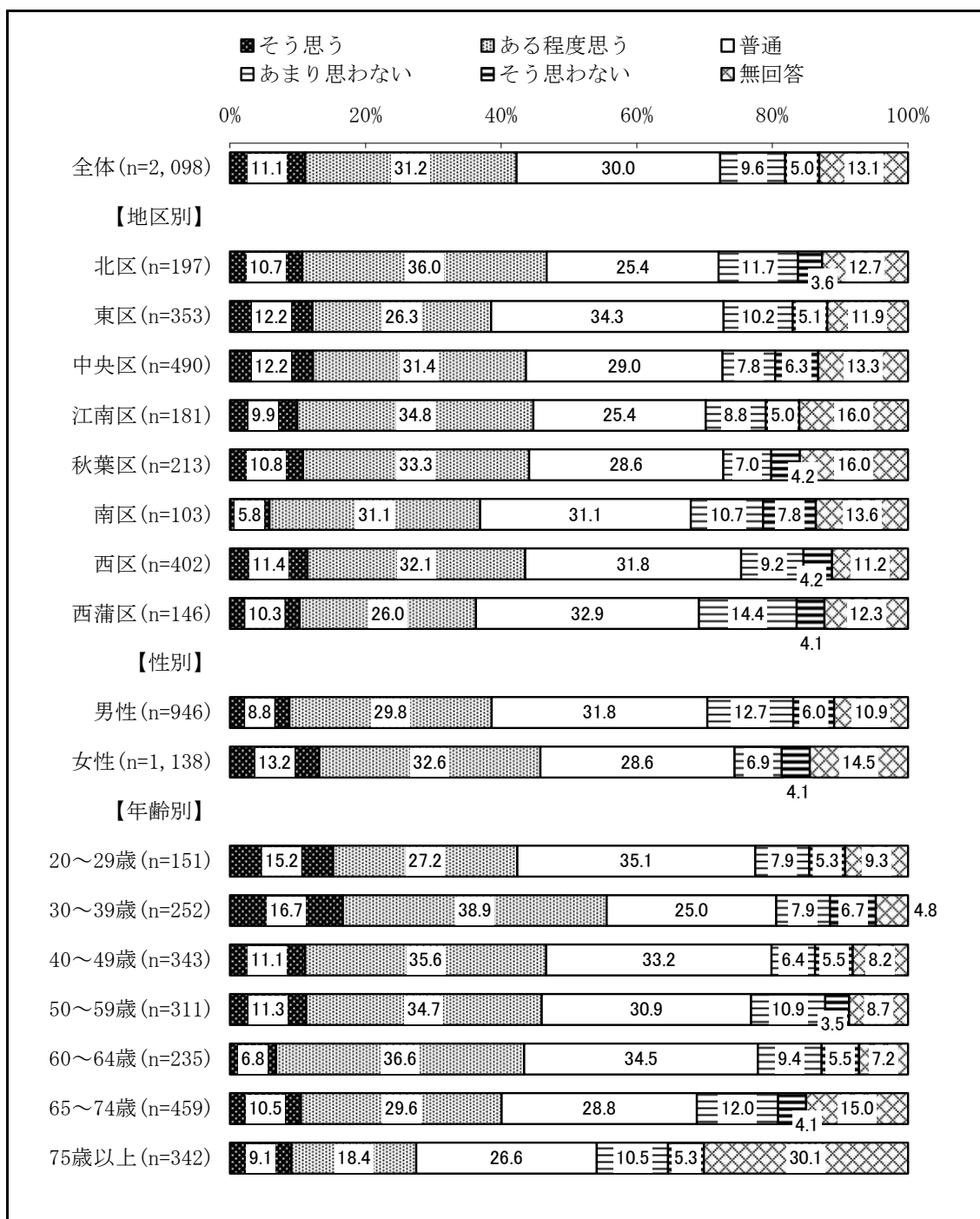


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合についてみると、地区別は、南区（41.7%）が最も高くなっている。性別は、男性（39.3%）の方が女性（32.8%）よりも高くなっている。年齢別は、50代（41.1%）が最も高くなっている。

一方、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合については、すべての属性において2割未満となっている。

⑤ 「食と花のにいがた」の情報発信に取り組んできました。

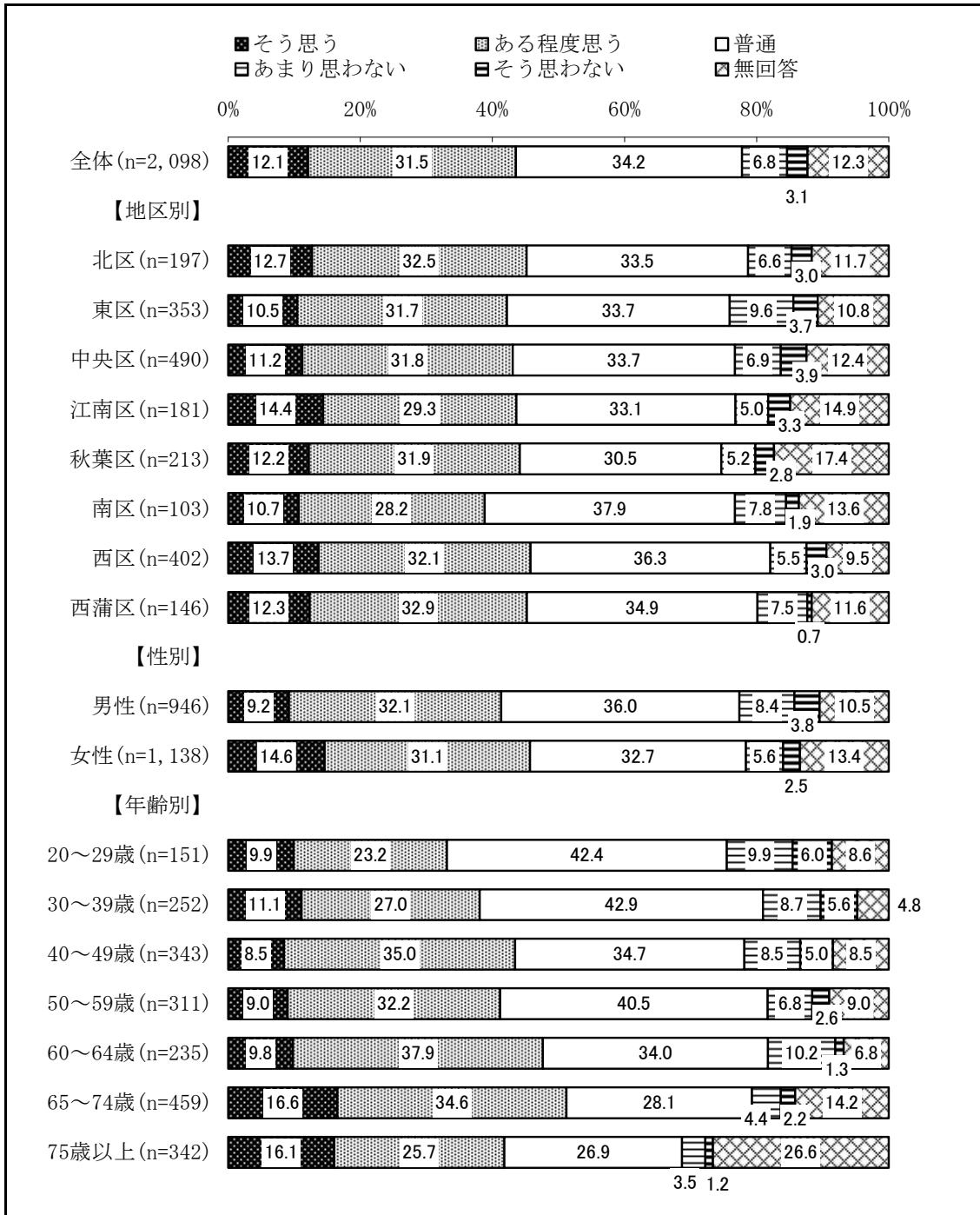


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合が、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合についてみると、地区別は、北区(46.7%)が最も高くなっている。性別は、女性(45.8%)の方が男性(38.6%)よりも高くなっている。年齢別は、30代(55.6%)が目立って高くなっている。

一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合については、南区、西蒲区(各18.5%)で比較的高くなっている。

⑥ ごみの減量・再利用や地球温暖化対策など、環境問題に取り組んできました。

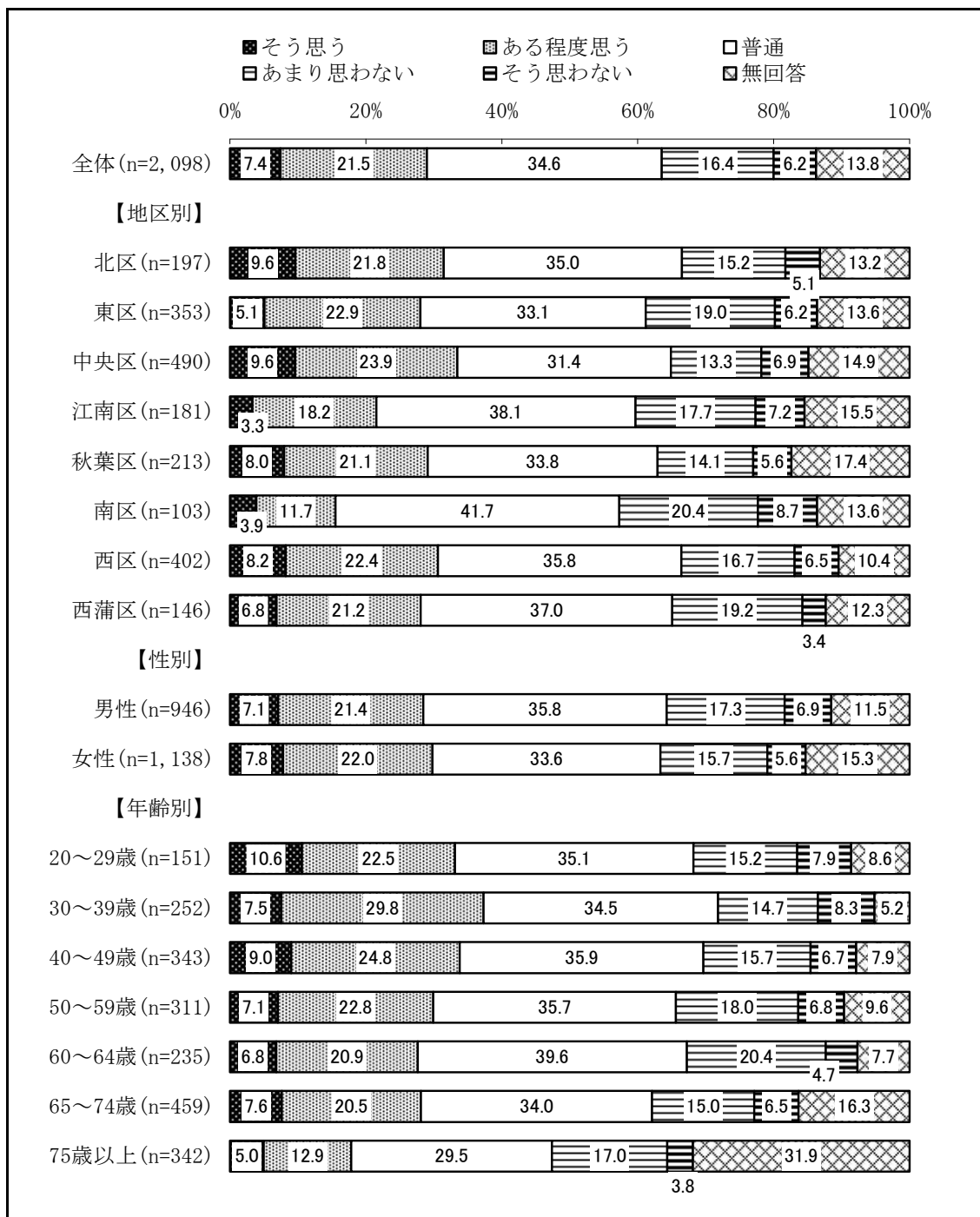


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合が、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合についてみると、地区別は、西区(45.8%)が最も高くなっている。性別は、女性(45.7%)の方が男性(41.3%)よりも比較的高くなっている。年齢別は、65～74歳(51.2%)が最も高くなっている。地区別では南区、年齢別では30代以下を除いた属性で、4割を超えている。

一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合については、すべての属性において2割未満となっている。

⑦ 水辺に親しむ空間の創出に取り組んできました。

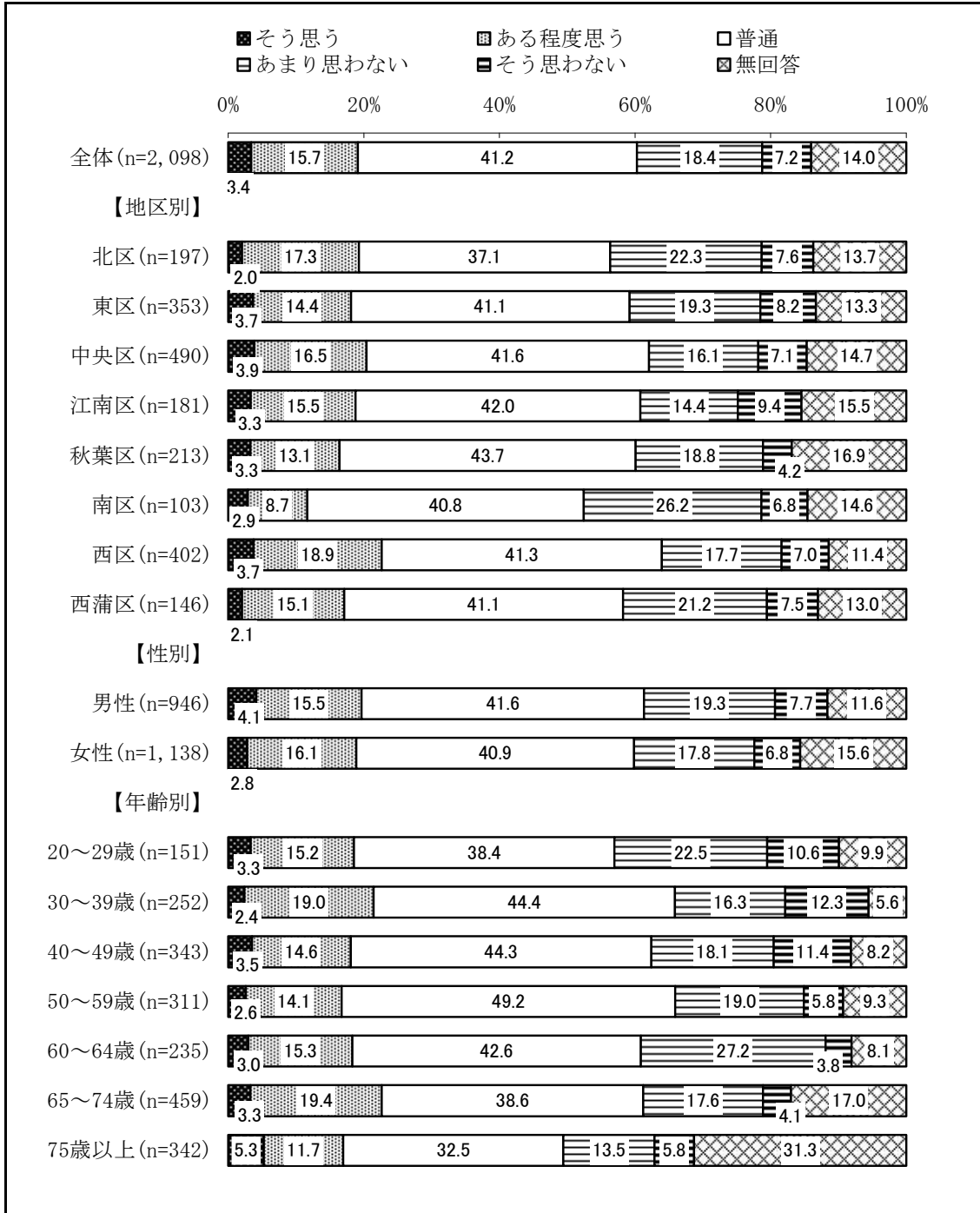


地区別では江南区と南区、年齢別では75歳以上を除く属性において、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合が、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合についてみると、地区別は、中央区(33.5%)が最も高くなっている。性別は、男女差がみられない。年齢別は、30代(37.3%)が最も高くなっている。

一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合については、南区(29.1%)が3割弱となっている。

⑧ 国際交流に取り組んできました。

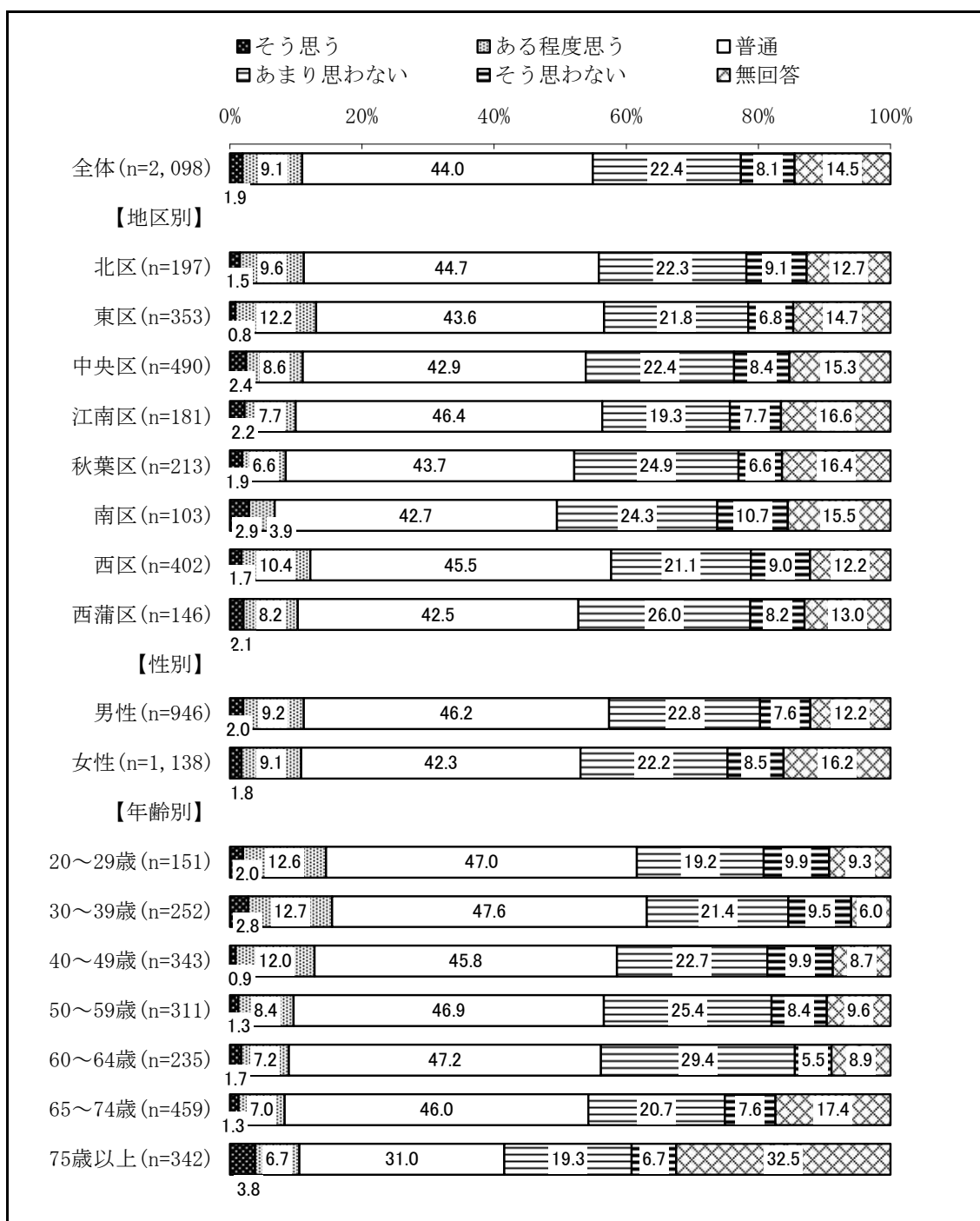


65～74歳を除く属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合についてみると、地区別は、南区(33.0%)が最も高くなっている。性別は、大きな男女差がみられない。年齢別は、20代(33.1%)と60～64歳(31.0%)が高くなっている。

一方、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合については、中央区(20.4%)、西区(22.6%)、30代(21.4%)、65～74歳(22.7%)で2割を超えている。

⑨ 住宅の供給や住みよい環境づくりによるまちなかへの居住の促進に取り組んできました。

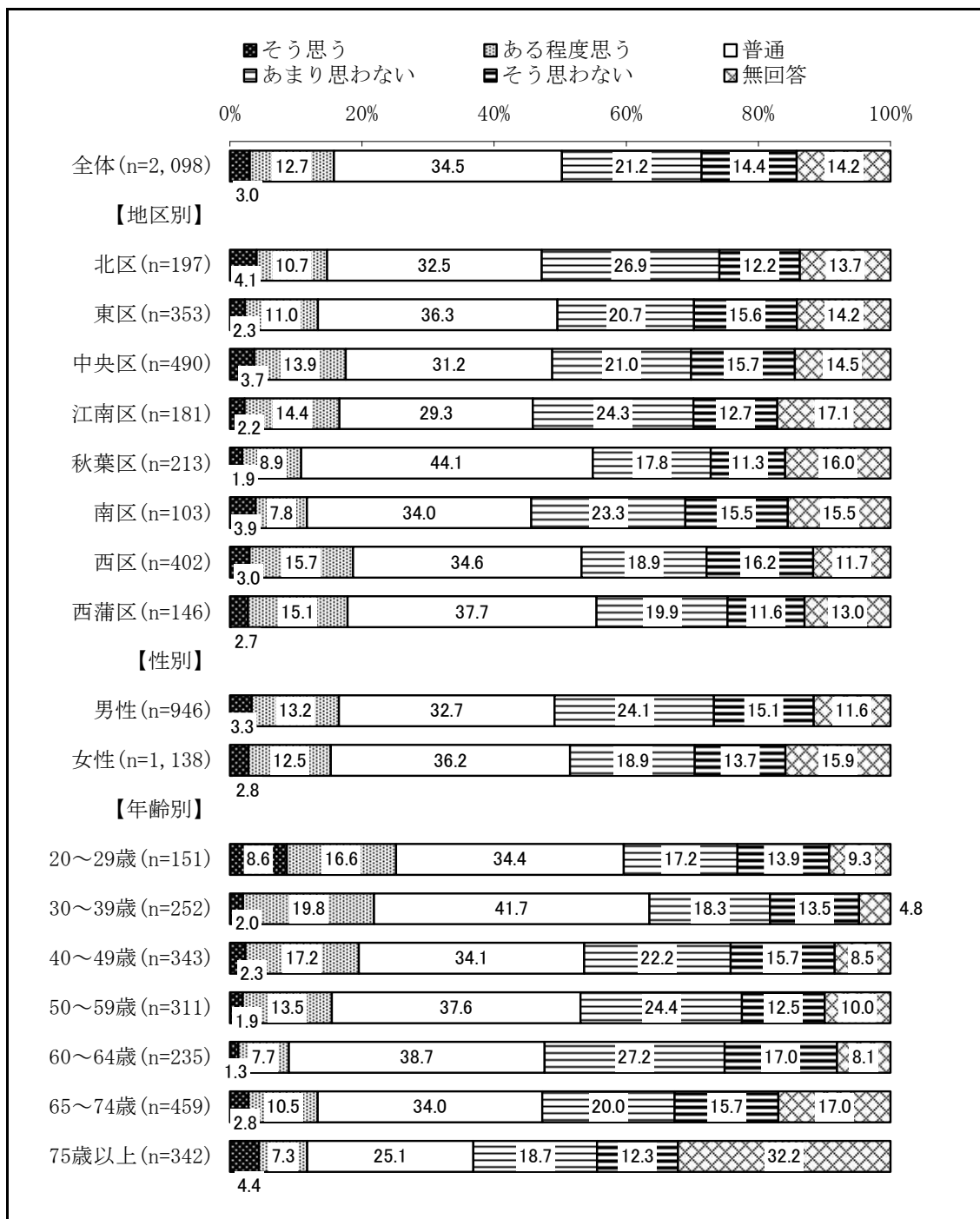


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合についてみると、地区別は、南区（35.0%）が最も高くなっている。性別は、男女差がみられない。年齢別は、60～64歳（34.9%）が最も高くなっている。

一方、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合については、すべての属性において2割未満となっている。

⑩ 広域交通網を整備するとともに、市の拠点性の向上に取り組んできました。

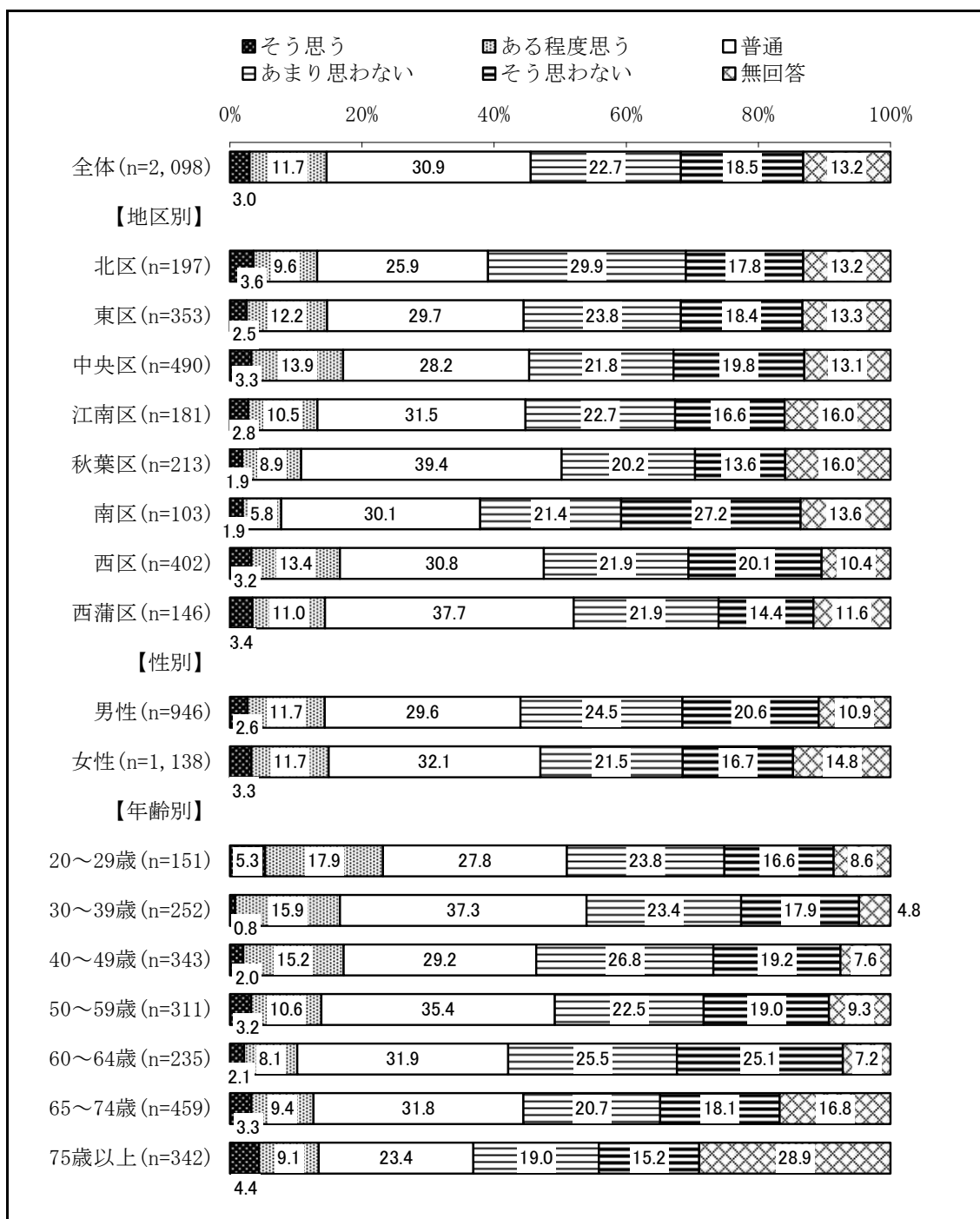


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合についてみると、地区別は、北区（39.1%）が最も高くなっている。性別は、男性（39.2%）の方が女性（32.6%）よりも高くなっている。年齢別は、60～64歳（44.2%）が高く、4割を超えている。

一方、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合については、20代（25.2%）と30代（21.8%）で2割を超えている。

⑪ 便利で安心な公共交通の確保に取り組んできました。

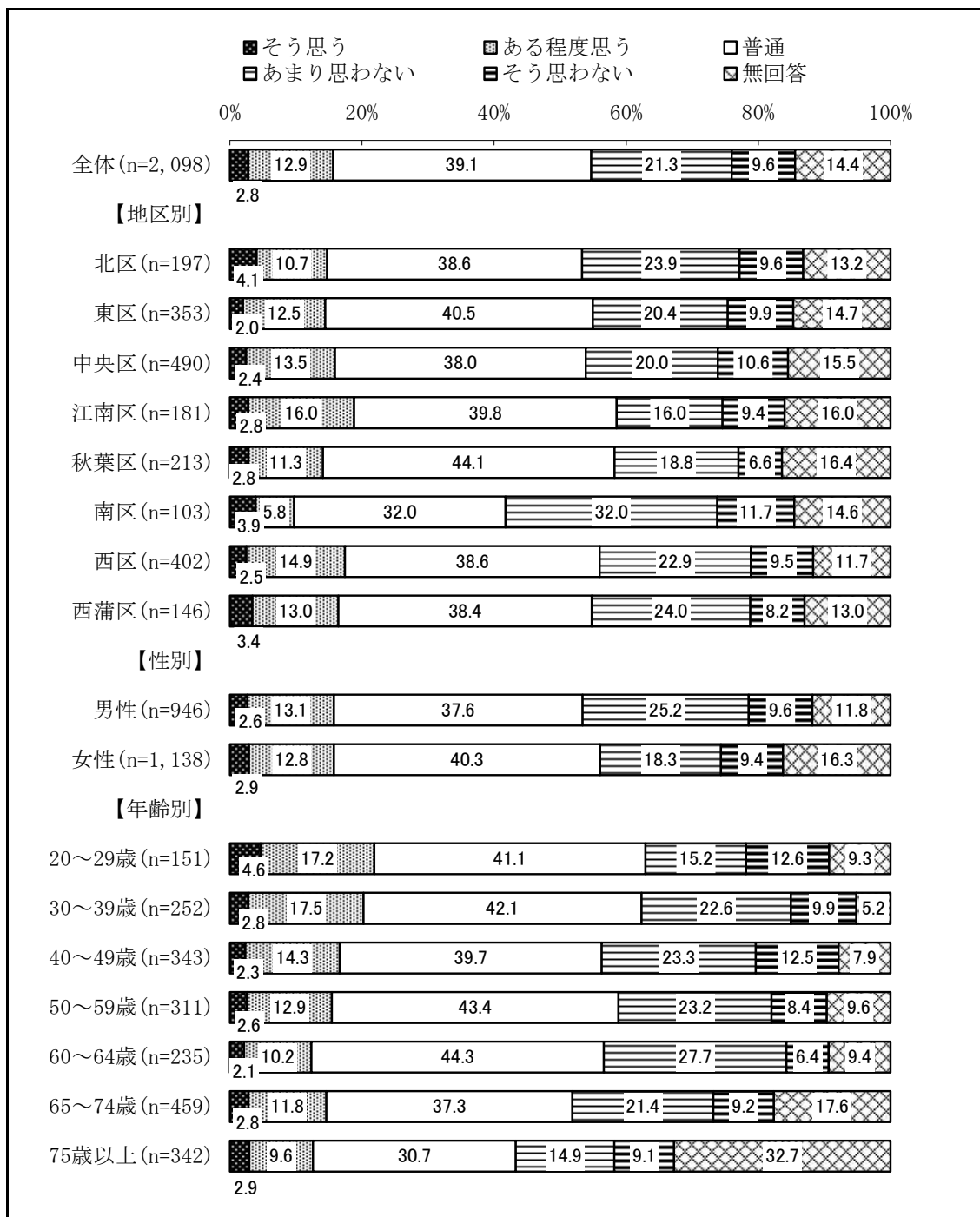


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合についてみると、地区別は、北区（47.7%）と南区（48.6%）が高くなっている。性別は、男性（45.1%）の方が女性（38.2%）よりも高くなっている。年齢別は、60～64歳（50.6%）が最も高く、5割を超えている。

一方、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合についてみると、20代（23.2%）を除く属性において2割未満となっている。

⑫ 交流人口拡大に向け、新潟市の魅力の発信に取り組んできました。

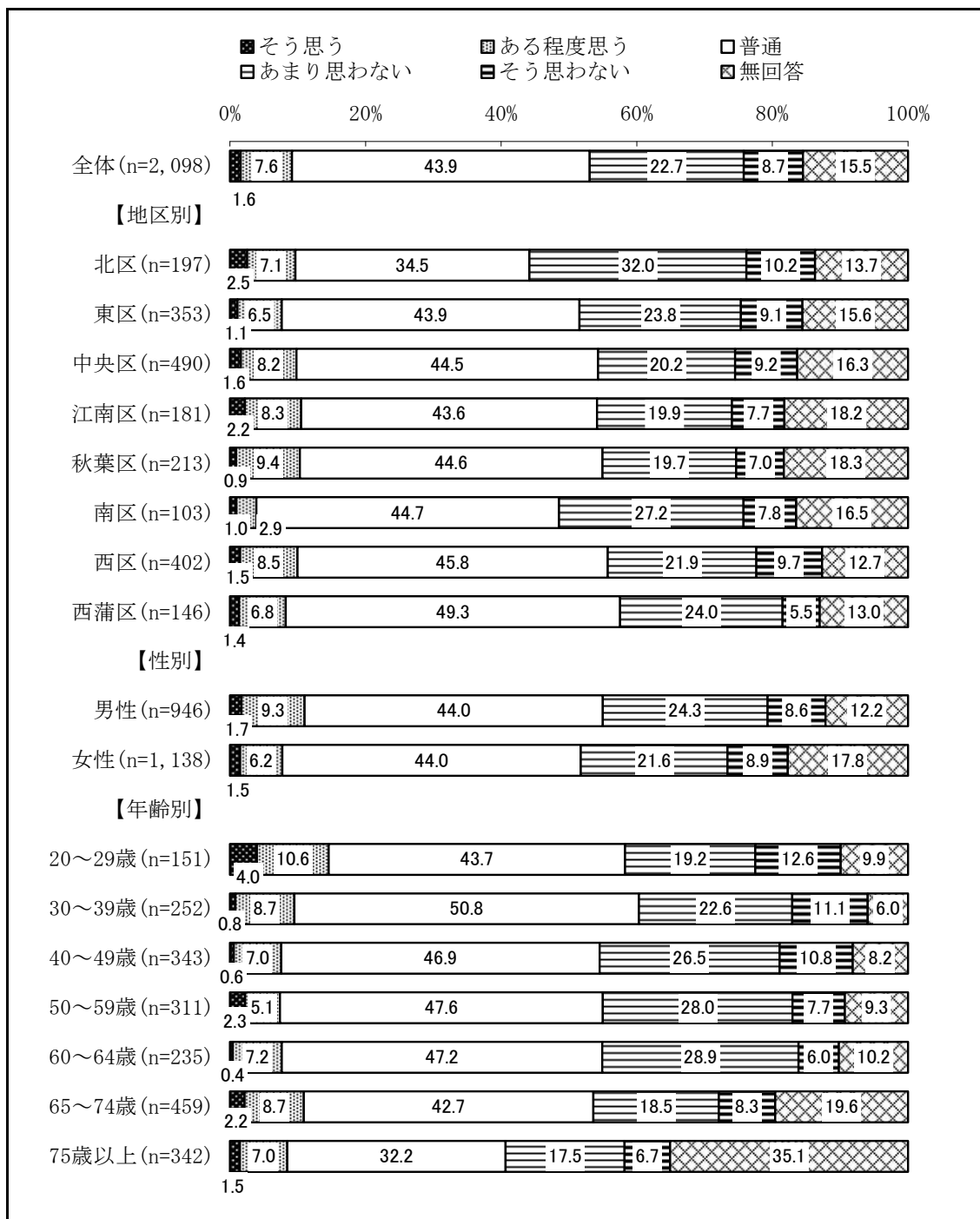


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合についてみると、地区別は、南区（43.7%）が最も高く、4割を超えている。性別は、男性（34.8%）の方が女性（27.7%）よりも高くなっている。年齢別は、40代（35.8%）が最も高くなっている。

一方、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合についてみると、20代（21.8%）と30代（20.3%）を除く属性において2割未満となっている。

⑬ 産学官連携による産業振興支援や金融支援策に取り組んできました。

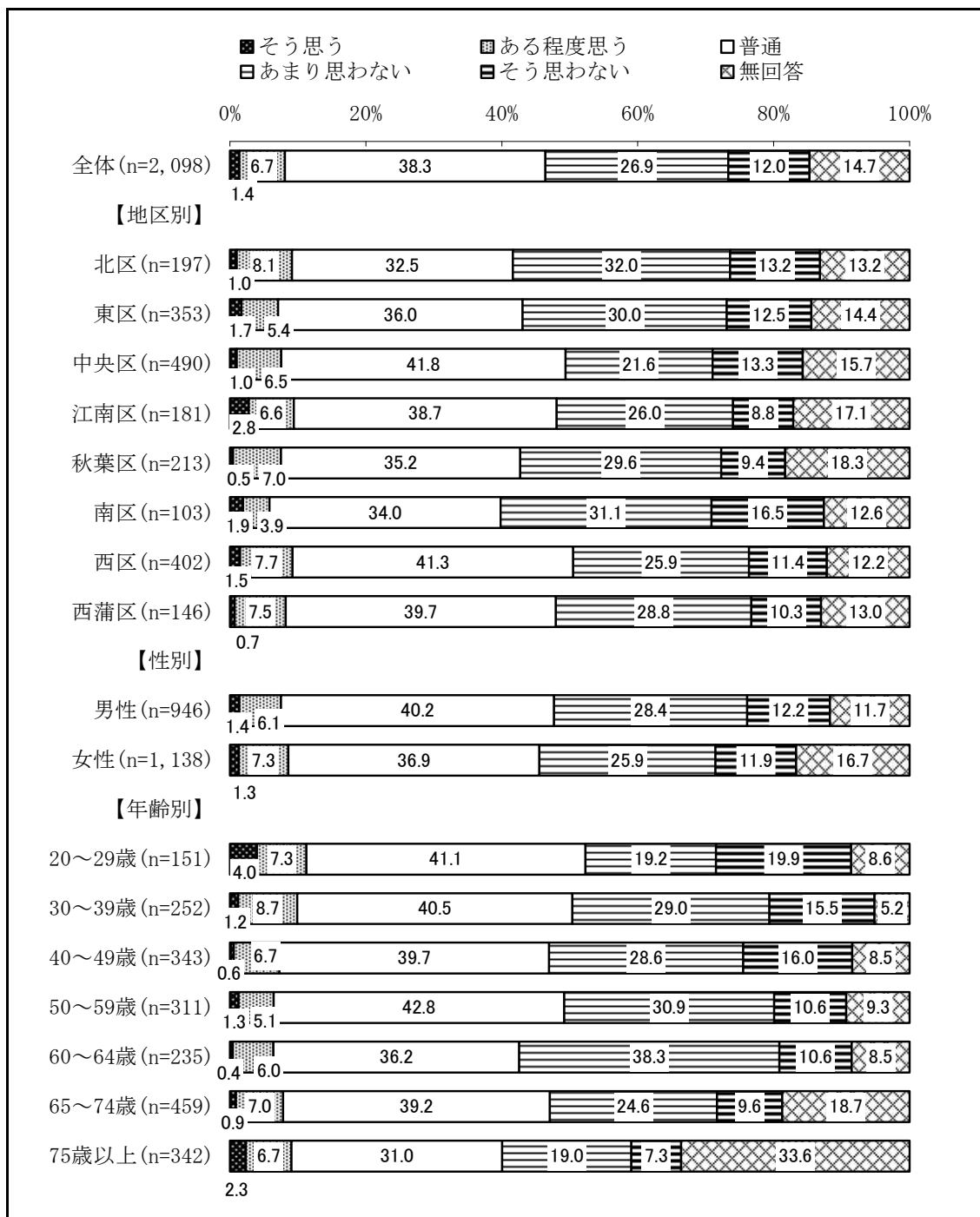


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合についてみると、地区別は、北区（42.2%）が最も高くなっている。性別は、男女差がみられない。年齢別は、40代（37.3%）が最も高くなっている。

一方、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合については、すべての属性において1割前後となっている。

⑭ 若年者・女性などの就業の拡大に向け取り組んできました。

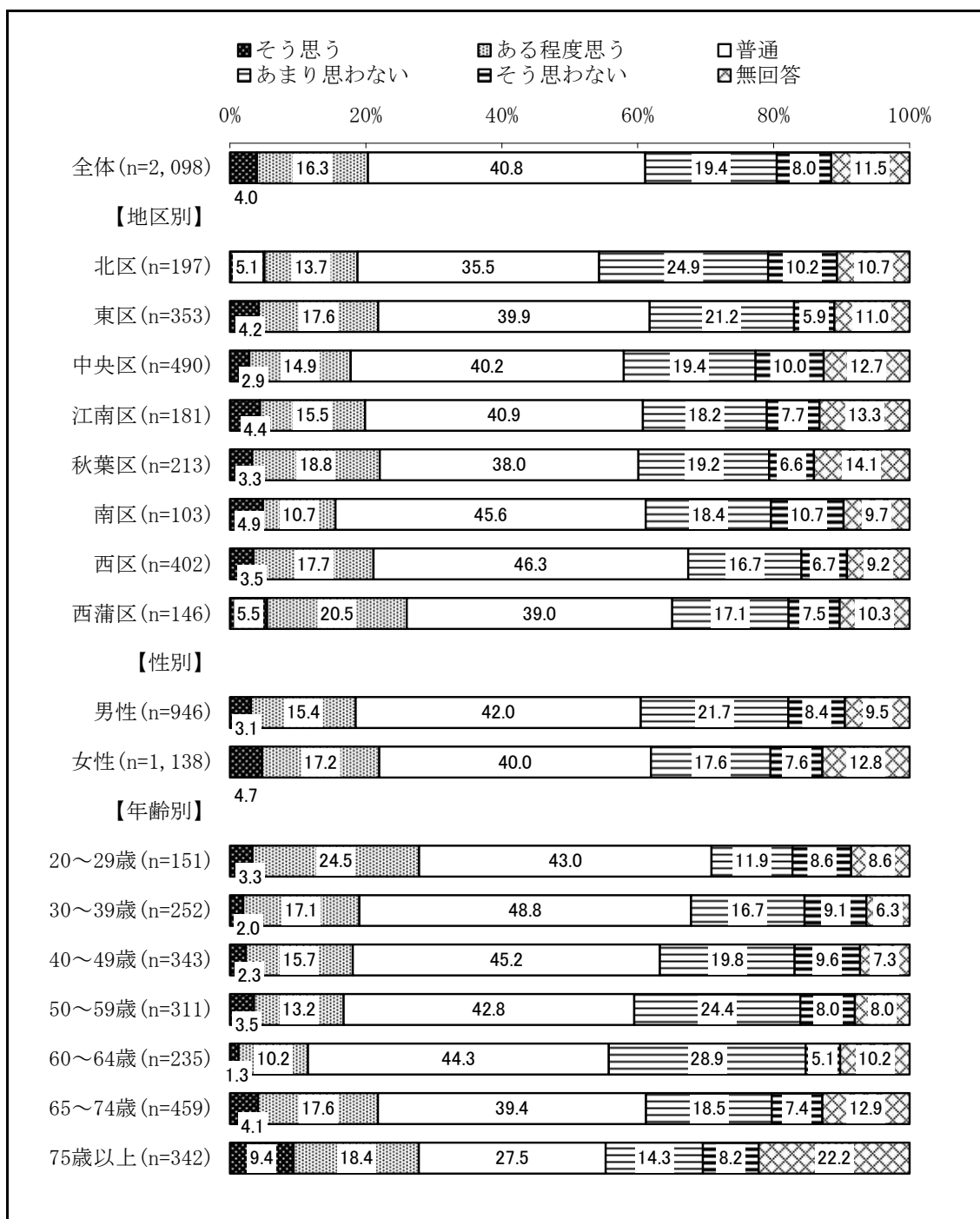


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合についてみると、地区別は、北区（45.2%）と南区（47.6%）が高くなっている。性別は、大きな男女差がみられない。年齢別は、30代（44.5%）と40代（44.6%）と60～64歳（48.9%）が高くなっている。

一方、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合については、すべての属性において1割前後となっている。

⑮ 元気でいきいきと生活できる高齢者支援に取り組んできました。

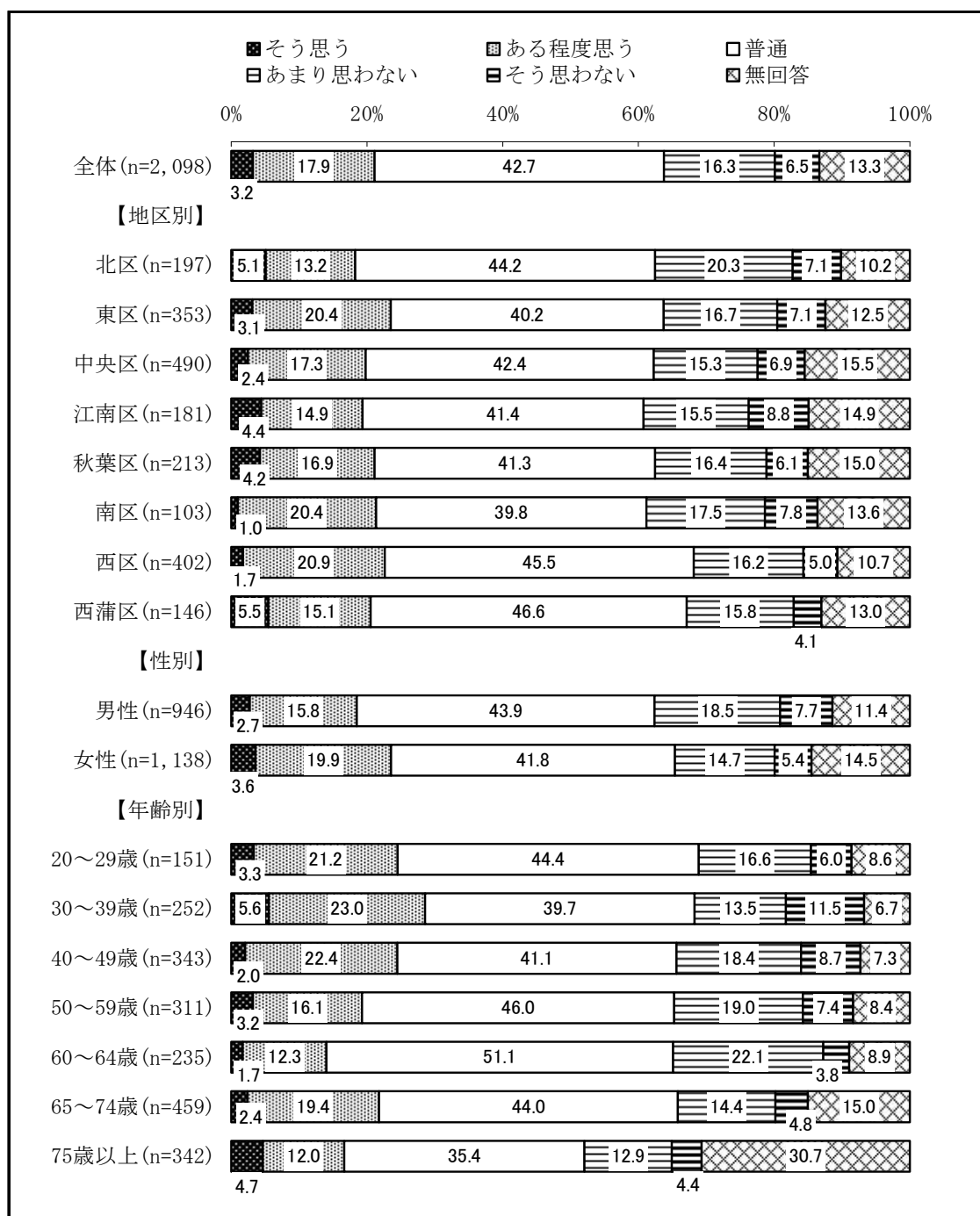


地区別では西蒲区、年齢別では20代、75歳以上を除く属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合についてみると、地区別は、北区（35.1%）が最も高くなっている。性別は、男性（30.1%）の方が女性（25.2%）よりも高くなっている。年齢別は、50代（32.4%）と60～64歳（34.0%）が高くなっている。

一方、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合については、西蒲区（26.0%）と20代（27.8%）と75歳以上（27.8%）が3割弱を占めている。

⑩ 子育て支援の充実に取り組んできました。

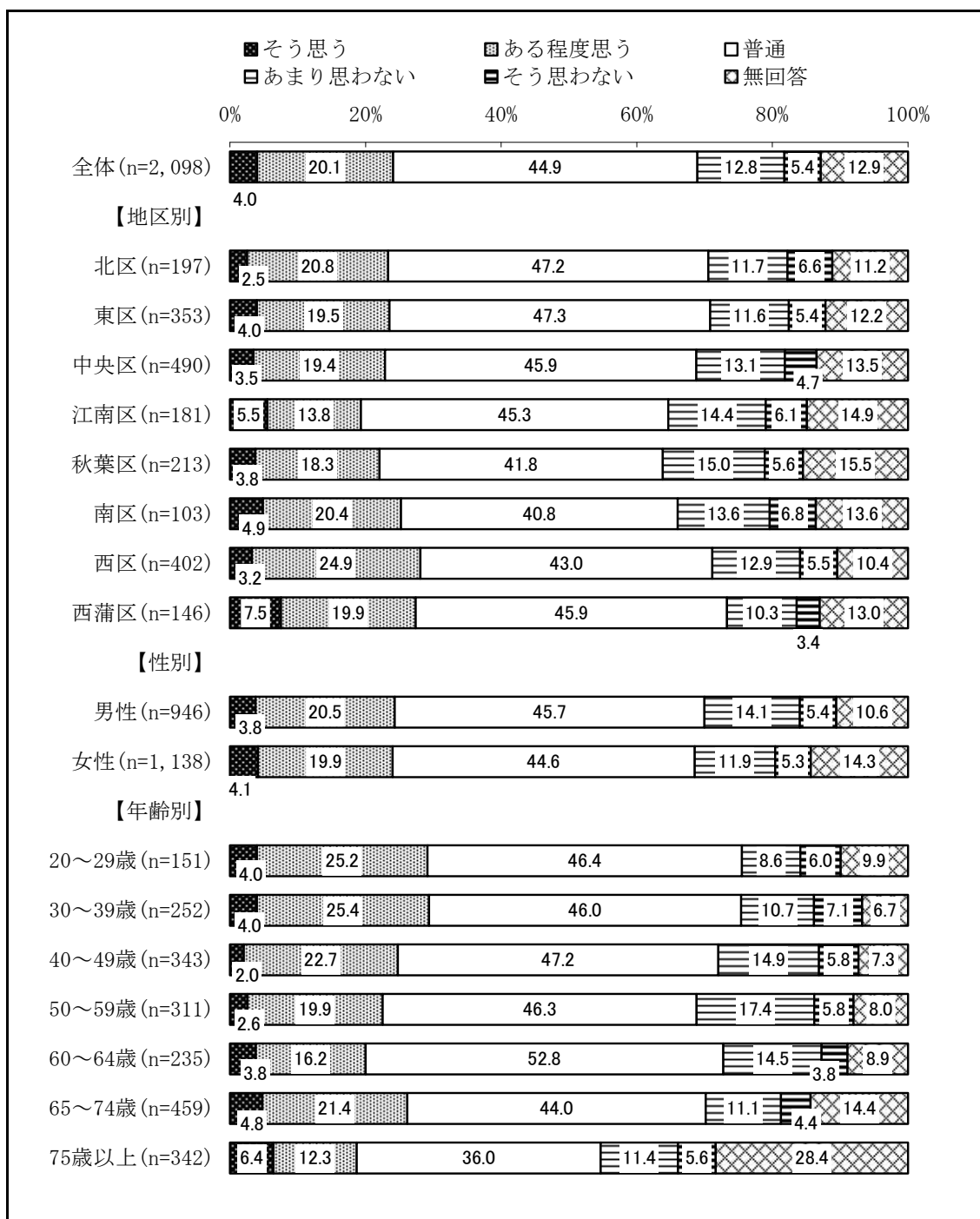


地区別では西区と西蒲区、性別では女性、年齢別では30代以下、65～74歳を除く属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合についてみると、地区別では北区（27.4%）が最も高くなっている。性別は、男性（26.2%）の方が女性（20.1%）よりも高くなっている。年齢別は、40代（27.1%）が最も高くなっている。

一方、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合については、地区別は、東区（23.5%）が最も高くなっている。性別は、女性（23.5%）の方が男性（18.5%）よりも高くなっている。年齢別は、30代（28.6%）が最も高くなっている。

⑰ 災害予防応急対策や防災体制の充実に取り組んできました。

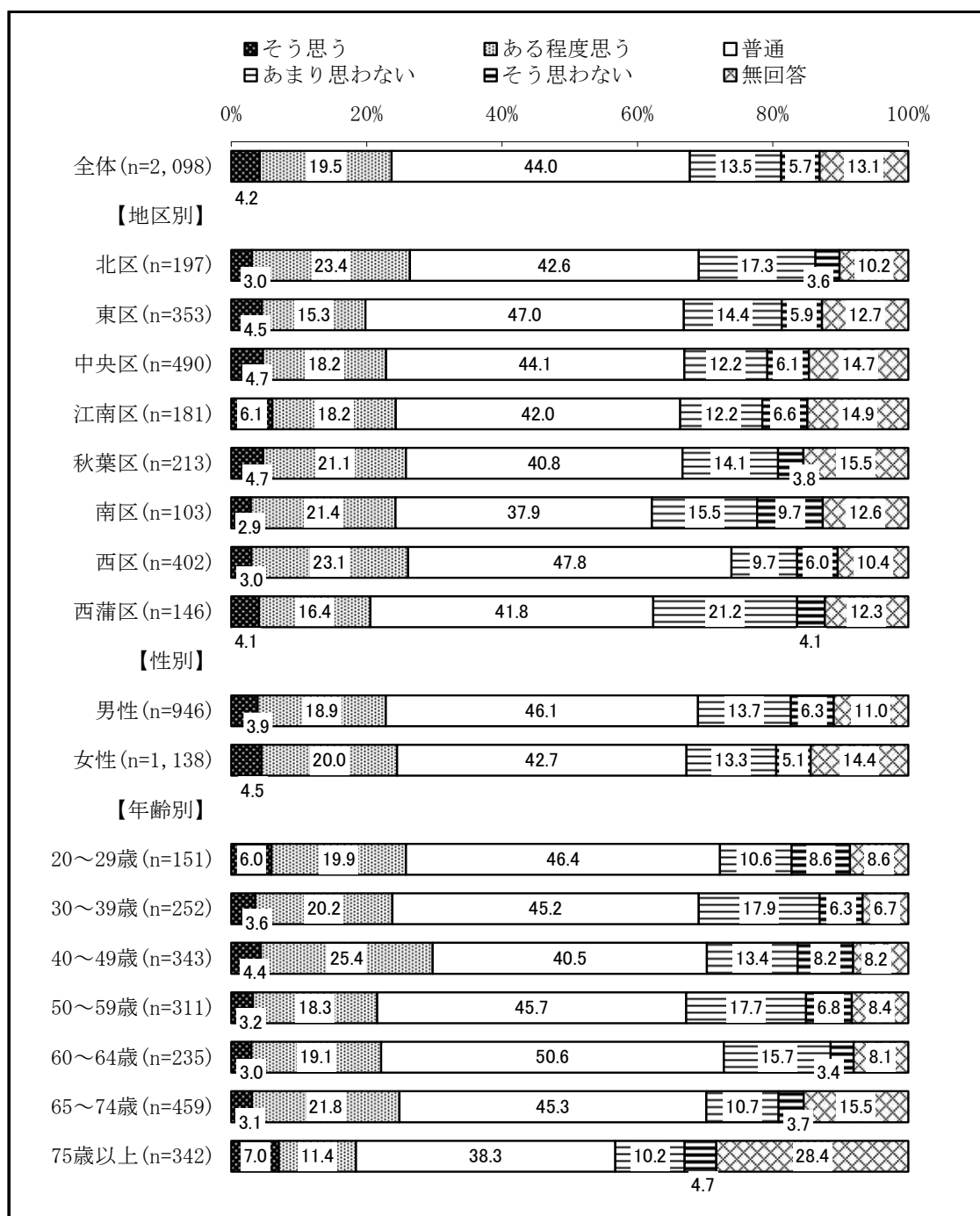


地区別では江南区、年齢別では50代を除く属性において、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合が、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合についてみると、地区別は、西区(28.1%)が最も高くなっている。性別は、男女差がみられない。年齢別は、20代(29.2%)と30代(29.4%)が高くなっている。

一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合については、50代(23.2%)が最も高くなっている。

⑱ 学習環境の向上のため、学校や公民館などの整備に取り組んできました。

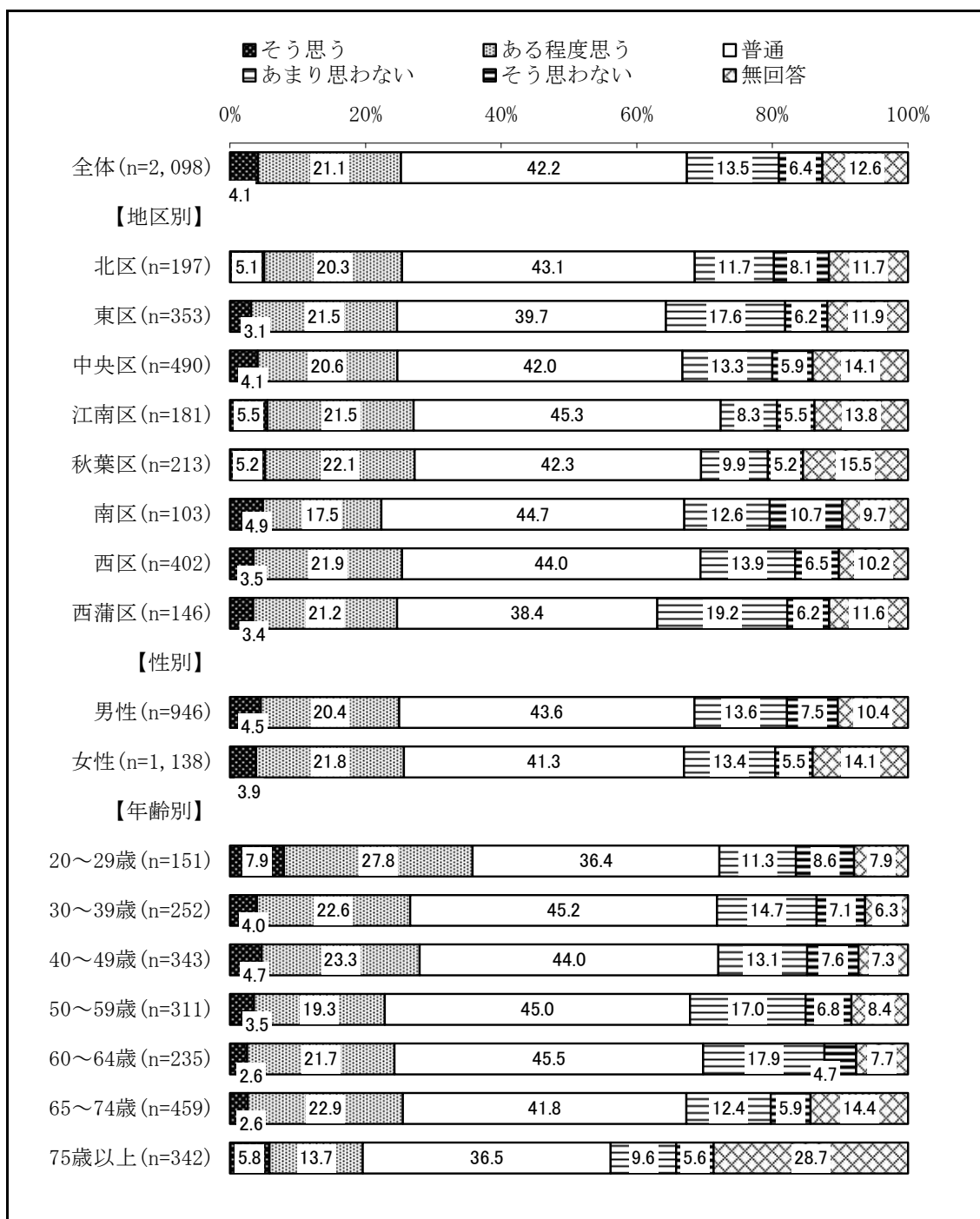


地区別では東区、南区、西蒲区、年齢別では30代、50代を除く属性において、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合が、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合についてみると、地区別は北区(26.4%)が最も高くなっている。性別は男女差がみられない。年齢別は40代(29.8%)が最も高くなっている。

一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合については、地区別は、南区(25.2%)と西蒲区(25.3%)が高くなっている。年齢別は、30代(24.2%)と50代(24.5%)が高くなっている。

⑱ 健康な生活を送れるよう、スポーツ環境の整備に取り組んできました。

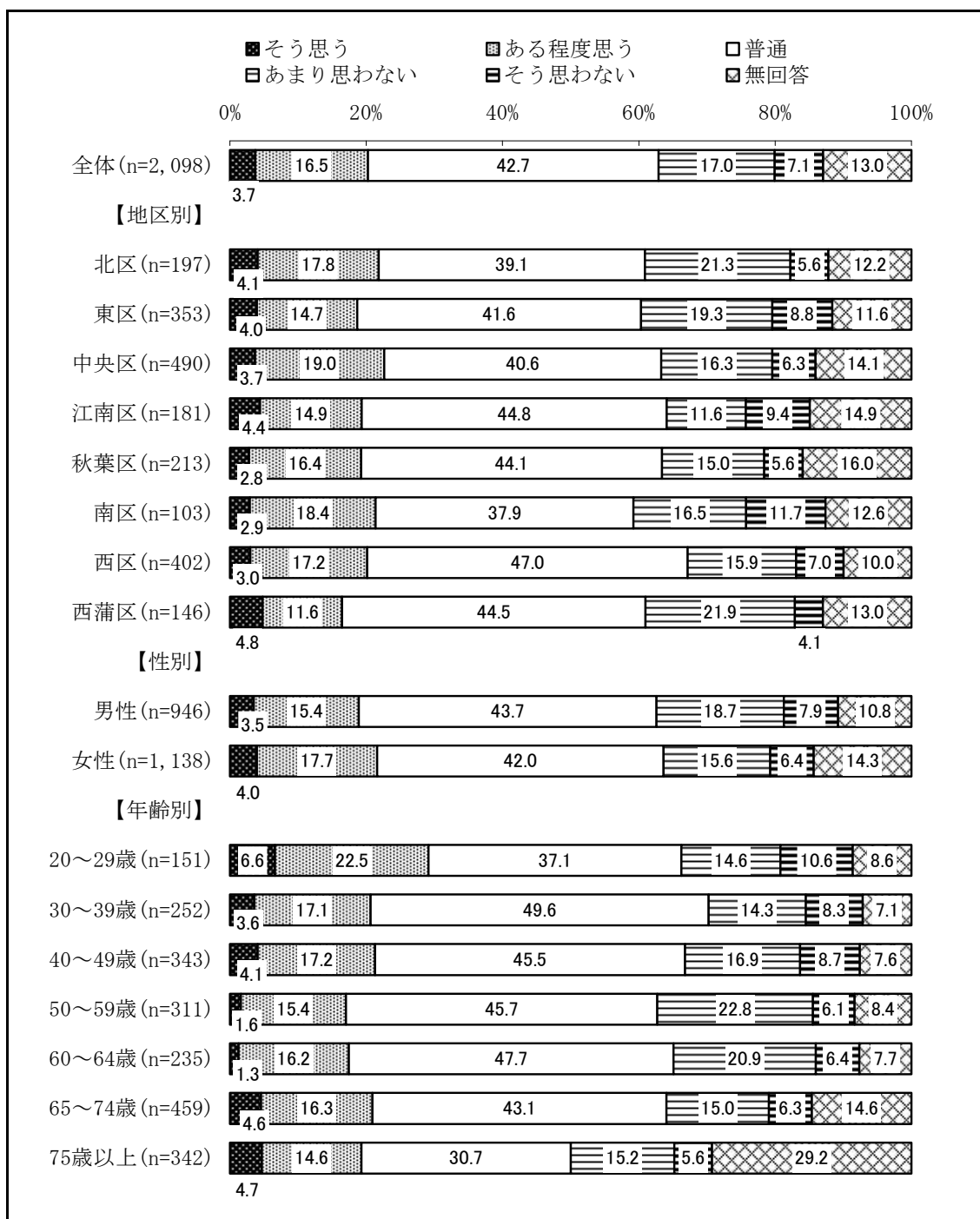


地区別では南区と西蒲区、年齢別では50代を除く属性において、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合が、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合についてみると、地区別は秋葉区(27.2%)が最も高くなっている。性別は男女差がみられない。年齢別は20代(35.8%)が最も高く、3割を超えている。

一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合についてみると、地区別は西蒲区(25.3%)が最も高くなっている。年齢別は50代(23.8%)が最も高くなっている。

⑳ 地域の個性豊かな歴史文化の活用や情報発信に取り組んできました。



地区別では中央区、年齢別では20代を除く属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合よりも高くなっている。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合についてみると、地区別は南区（28.2%）が最も高くなっている。性別は男性（26.6%）の方が女性（22.0%）よりも高くなっている。年齢別は50代（28.9%）が最も高くなっている。

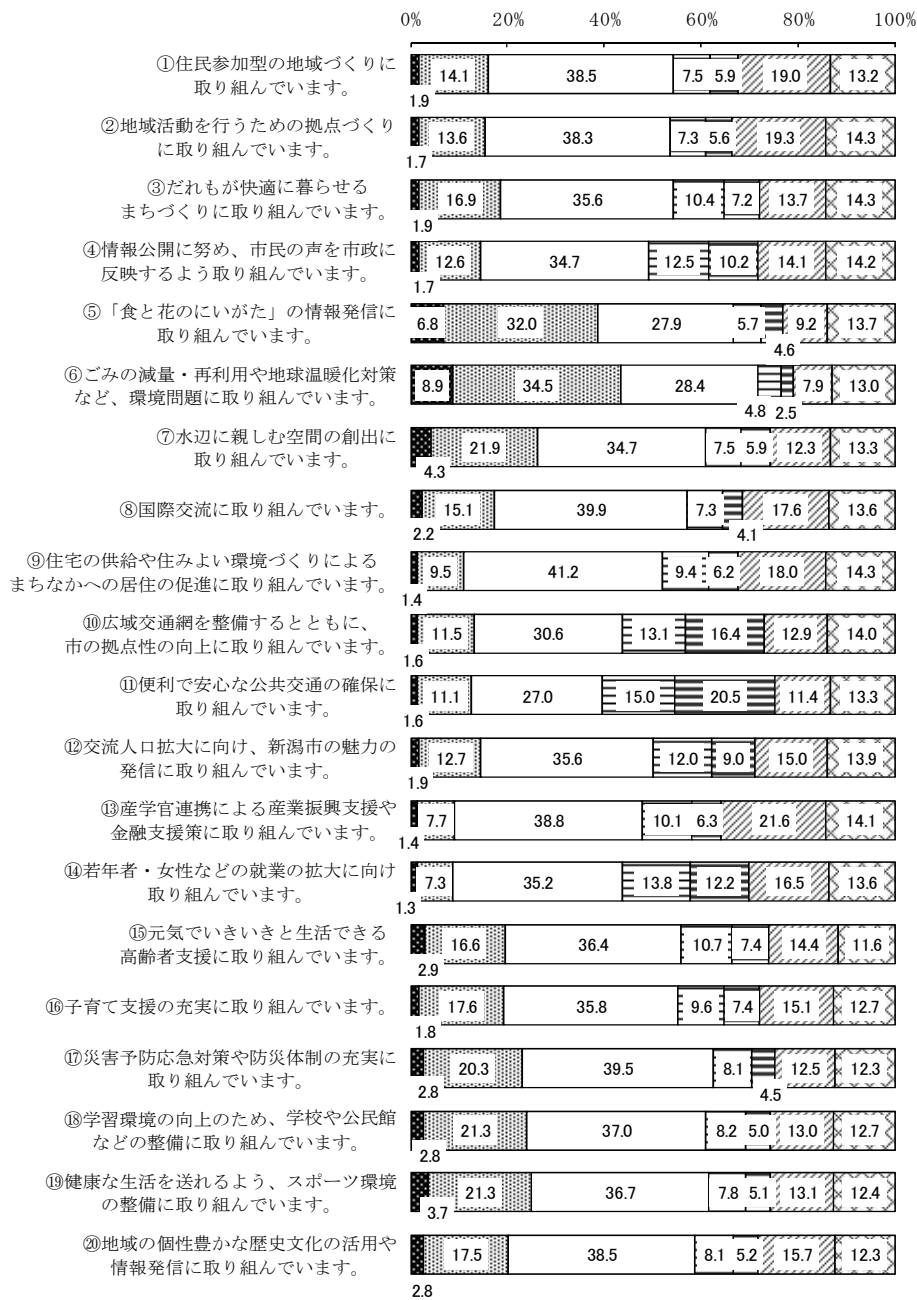
一方、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合については、20代（29.1%）で3割弱を占めている。

(2) 市の取り組みに対する満足度

問30 政令市に移行した平成19年度から平成26年度までの8年間、「新・新潟市総合計画」によるまちづくりを進めてきました。この計画に基づき進めてきた、おもな取り組みについて、あなたの満足度をお聞かせください。それぞれの項目ごとに番号と記号を1つずつ選んで、○をつけてください。

(n=2,098)

満足している ある程度満足している どちらともいえない
やや不満 不満 わからない
無回答



【全体結果】

『市の取り組み状況』への満足度について、「満足している」の割合は、「⑥ごみの減量・再利用や地球温暖化対策など、環境問題に取り組んでいます。」(8.9%)が最も高く、次いで「⑤「食と花のにいがた」の情報発信に取り組んでいます。」(6.8%)が高い。以下、「⑦水辺に親しむ空間の創出に取り組んでいます。」(4.3%)、「⑱健康な生活を送れるよう、スポーツ環境の整備に取り組んでいます。」(3.7%)の順に高くなっている。

一方、「不満」の割合は、「⑩便利で安心な公共交通の確保に取り組んでいます。」(20.5%)が最も高い。以下、「⑩広域交通網を整備するとともに、市の拠点性の向上に取り組んでいます。」(16.4%)、「⑭若年者・女性などの就業の拡大に向け取り組んでいます。」(12.2%)、「④情報公開に努め、市民の声を市政に反映するよう取り組んでいます。」(10.2%)の順で高くなっている。

また、満足度について、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合、及び、「やや不満」と「不満」を合わせた割合の結果は次のとおりである。

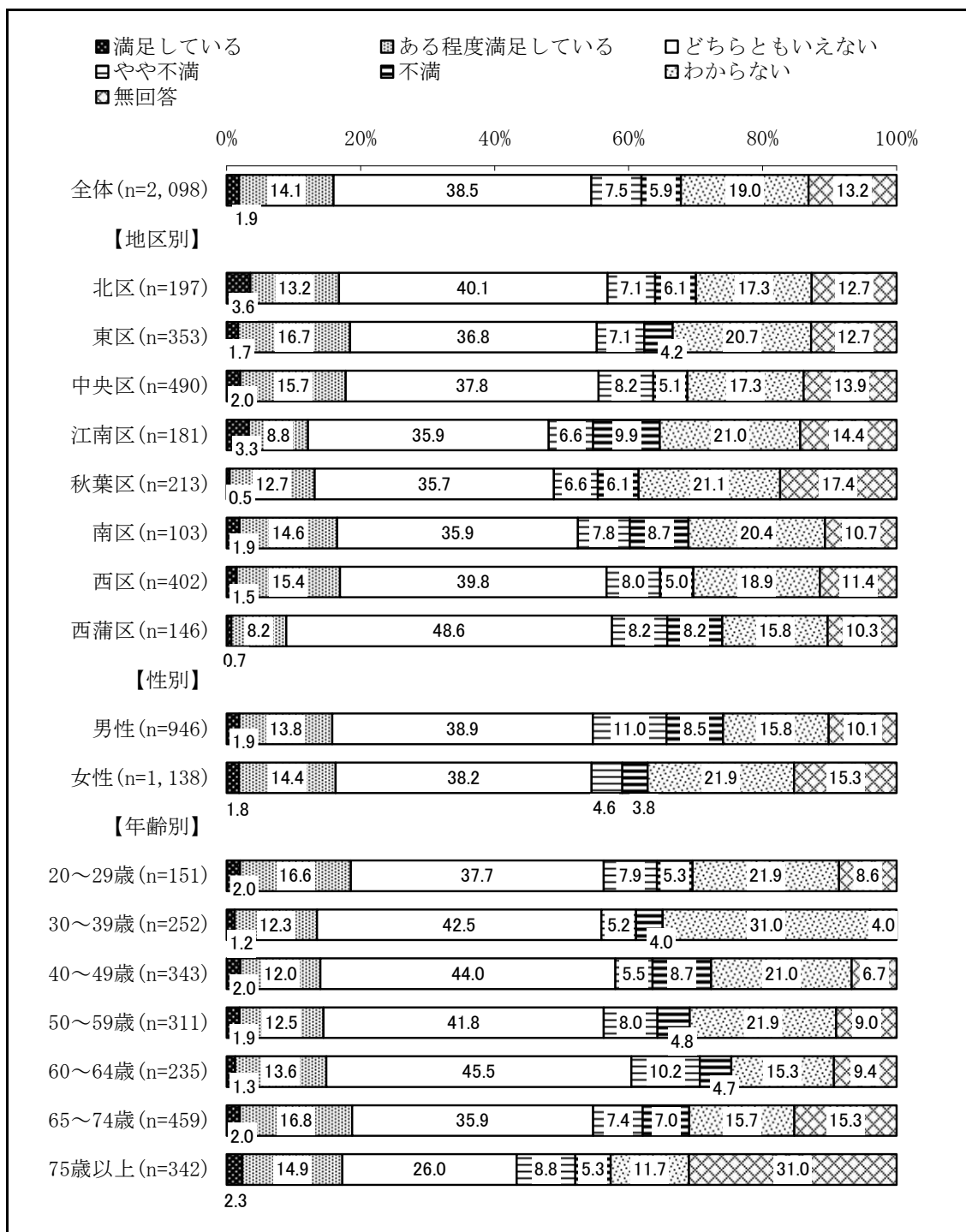
「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合についてみると、「⑥ごみの減量・再利用や地球温暖化対策など、環境問題に取り組んでいます。」(43.4%)が最も高く、次いで「⑤「食と花のにいがた」の情報発信に取り組んでいます。」が3割台(38.8%)で続く。以下、「⑦水辺に親しむ空間の創出に取り組んでいます。」(26.2%)、「⑱健康な生活を送れるよう、スポーツ環境の整備に取り組んでいます。」(25.0%)などが2割台で続いている。

一方で、「やや不満」と「不満」を合わせた割合についてみると、「⑩便利で安心な公共交通の確保に取り組んでいます。」(35.5%)が最も高い。以下、「⑩広域交通網を整備するとともに、市の拠点性の向上に取り組んでいます。」(29.5%)、「⑭若年者・女性などの就業の拡大に向け取り組んでいます。」(26.0%)、「④情報公開に努め、市民の声を市政に反映するよう取り組んでいます。」(22.7%)の順で高くなっている。

【属性別結果】

次ページ以降に取り組みごとの地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

① 住民参加型の地域づくりに取り組んできました。

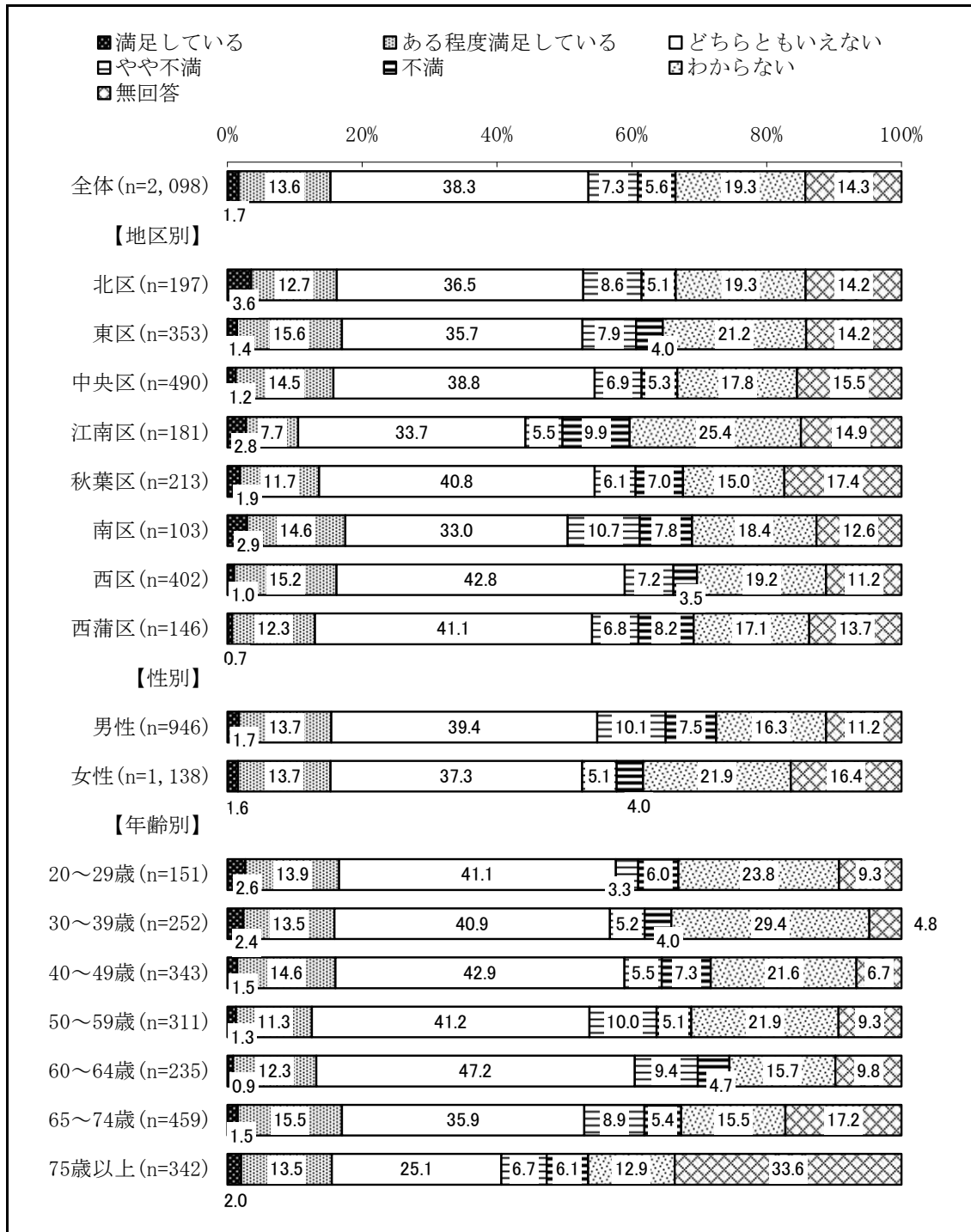


地区別では江南区、西蒲区、性別では男性、年齢別では40代、60～64歳を除く属性において、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が、「不満」と「やや不満」を合わせた割合よりも高くなっている。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合についてみると、地区別は西蒲区（8.9%）が最も低く、1割未満になっている。性別は男女差がみられない。年齢別は65～74歳（18.8%）が最も高くなっている。

一方、「不満」と「やや不満」を合わせた割合については、男性（19.5%）が高く2割弱となっている。

② 地域活動を行うための拠点づくりに取り組んできました。

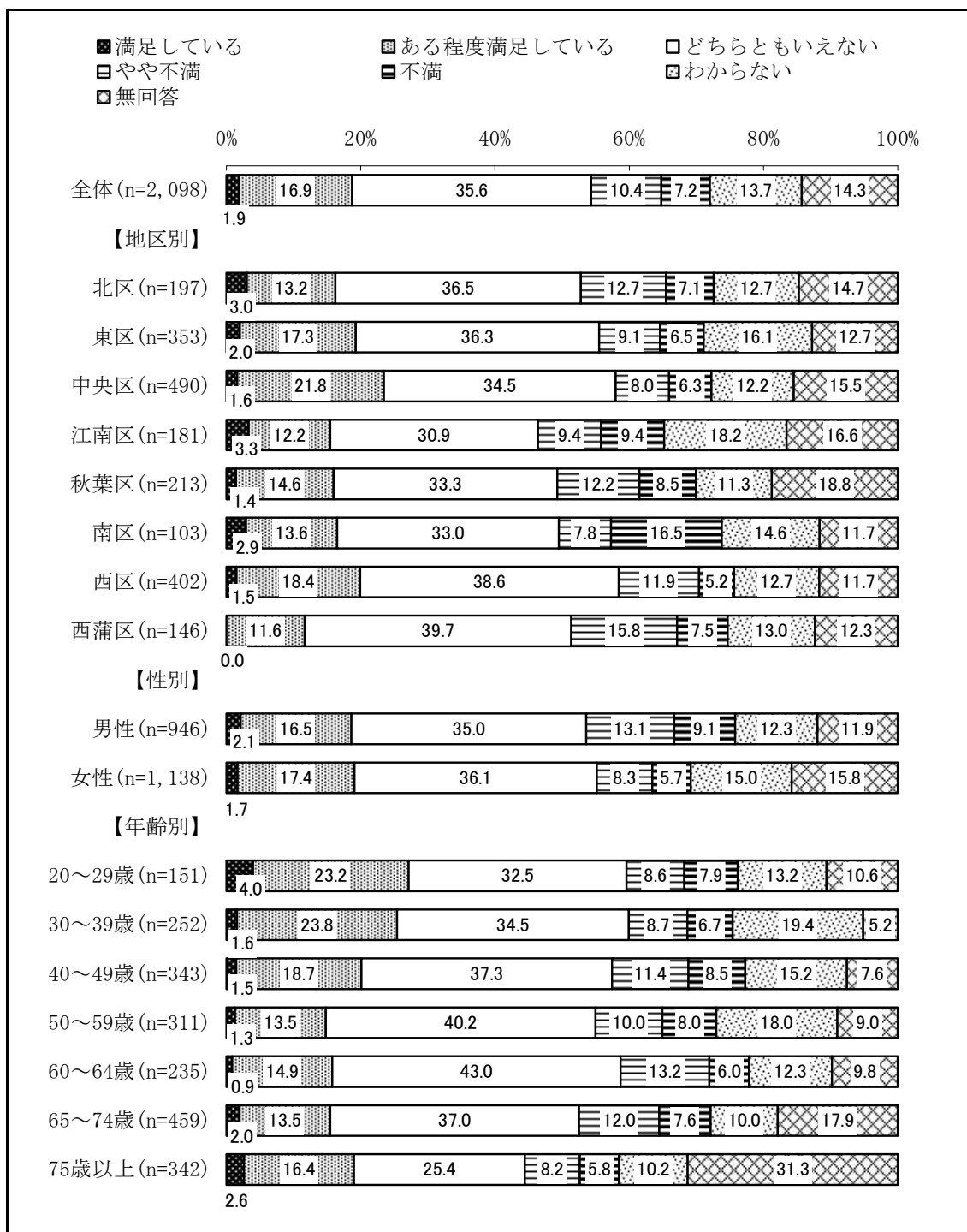


地区別では江南区、南区、西蒲区、性別では男性、年齢別では50代を除く属性において、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が、「不満」と「やや不満」を合わせた割合よりも高くなっている。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合についてみると、地区別は江南区（10.5%）が最も低くなっている。性別、年齢別では大きな差はみられない。

一方、「不満」と「やや不満」を合わせた割合については、南区（18.5%）が最も高く、2割弱となっている。

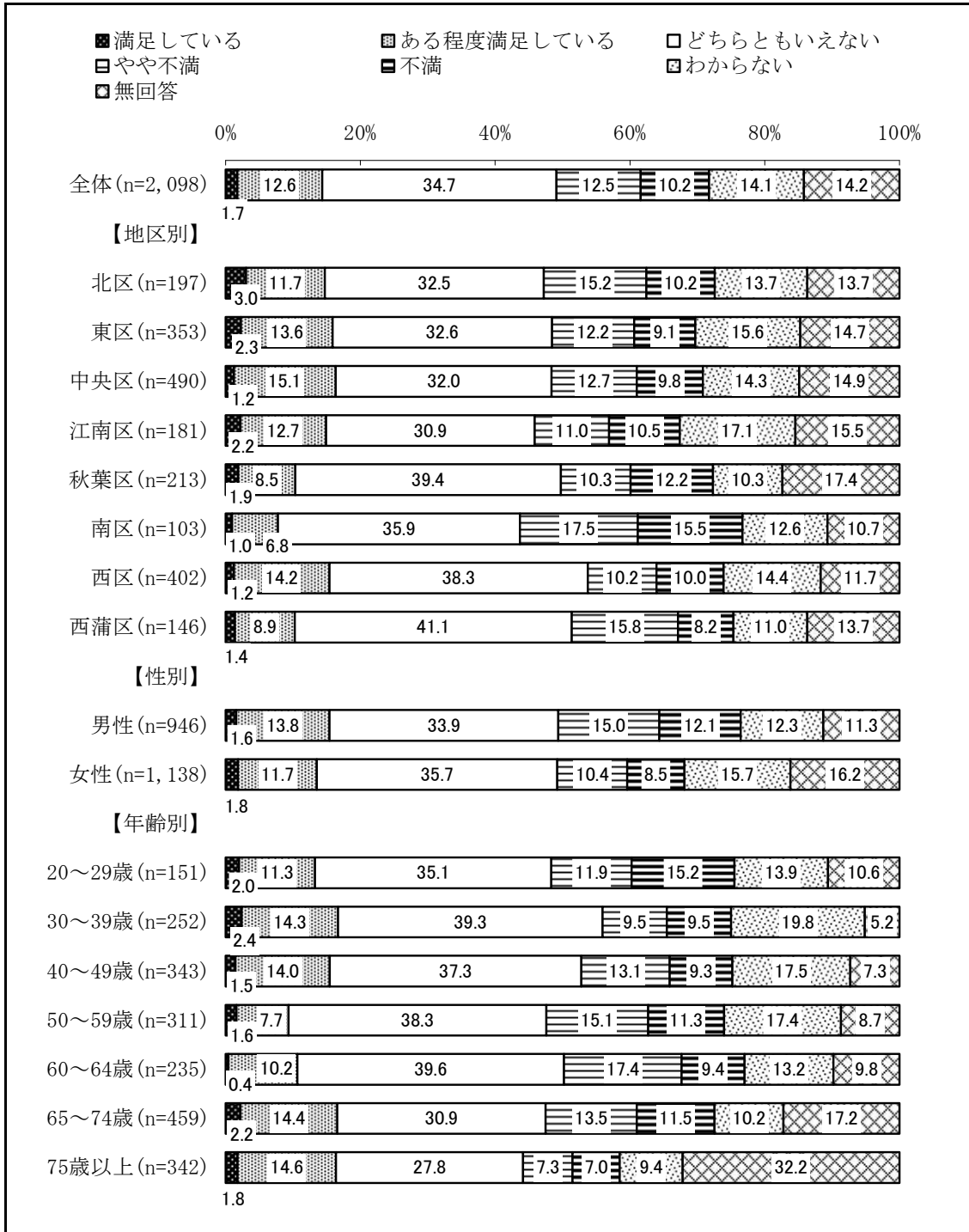
③ だれもが快適に暮らせるまちづくりに取り組んできました。



「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合についてみると、地区別は中央区(23.4%)が最も高くなっている。性別は男女差がみられない。年齢別は20代(27.2%)と30代(25.4%)が高くなっている。

一方、「不満」と「やや不満」を合わせた割合については、地区別では南区(24.3%)と西蒲区(23.3%)で高くなっている。性別は男性(22.2%)の方が女性(14.0%)よりも高くなっている。

④ 情報公開に努め、市民の声を市政に反映できるよう取り組んできました。

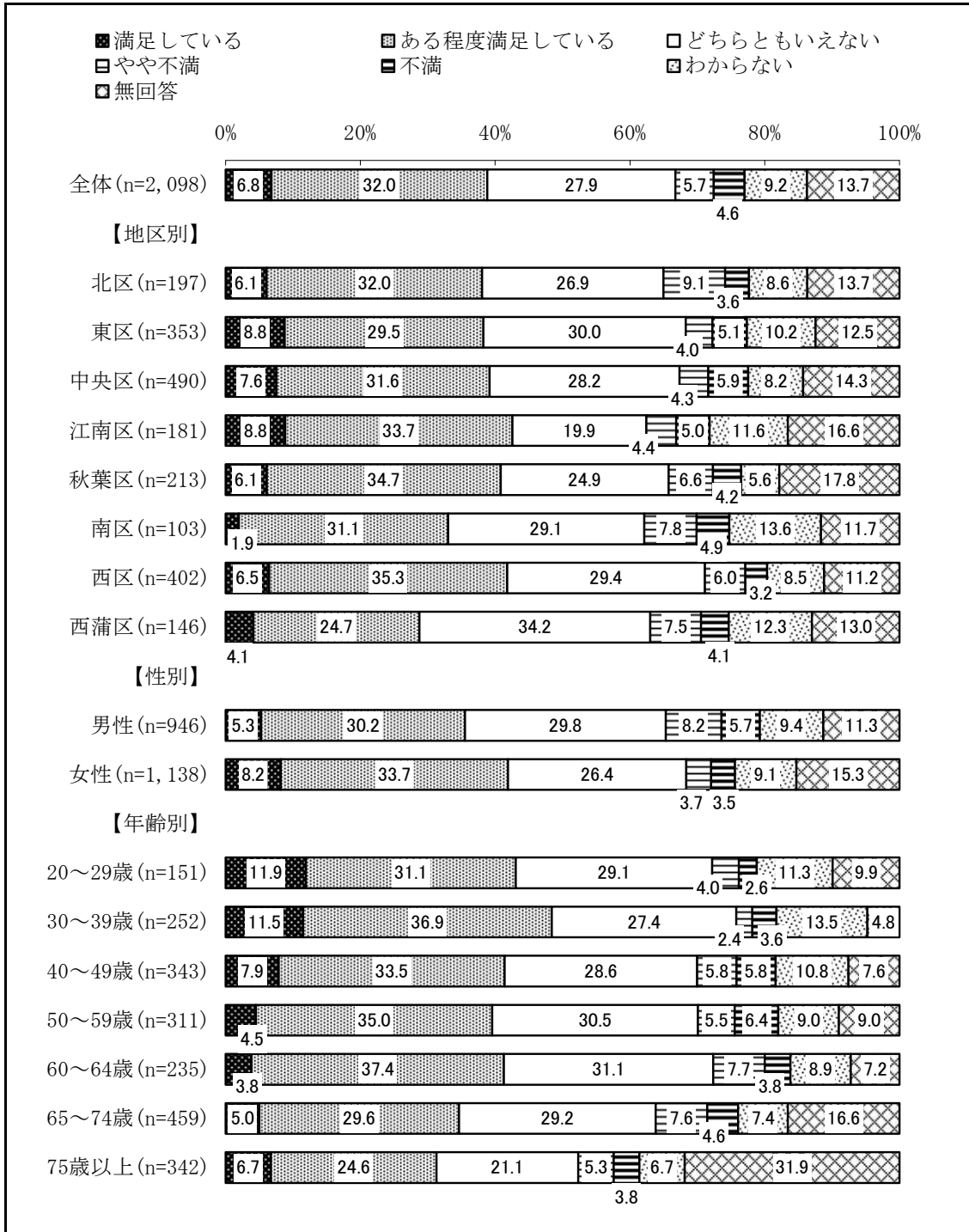


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「不満」と「やや不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合よりも高くなっている。

「不満」と「やや不満」を合わせた割合についてみると、地区別は南区（33.0%）が最も高く、3割を超えている。性別は男性（27.1%）の方が女性（18.9%）よりも高くなっている。年齢別は20代（27.1%）が最も高くなっている。

一方、「満足している」と「ある程度満足している」については、すべての属性において2割未満となっている。

⑤ 「食と花のにいがた」の情報発信に取り組んできました。

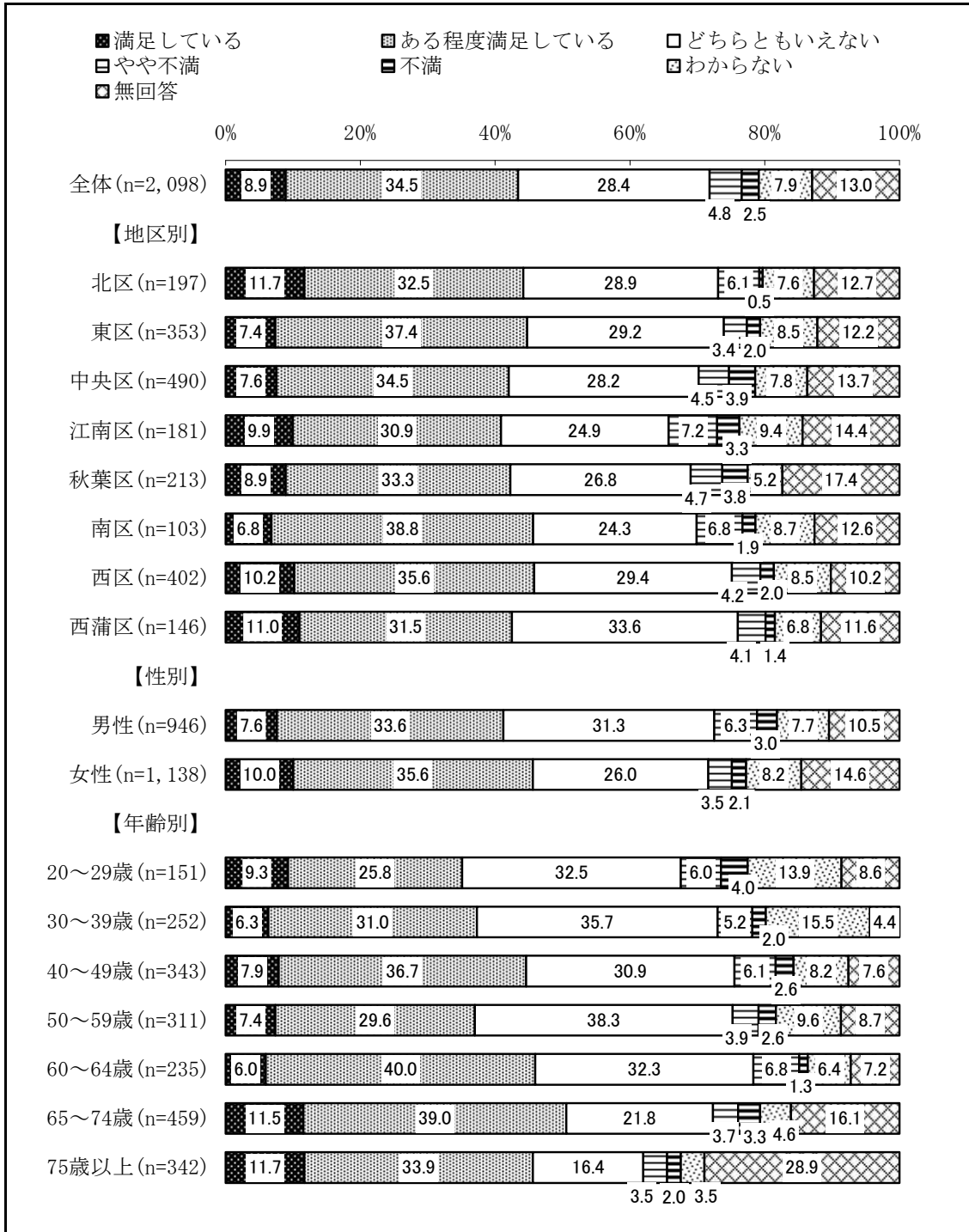


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が、「不満」と「やや不満」を合わせた割合よりも高くなっている。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合についてみると、地区別は、江南区（42.5%）が最も高くなっている。性別は、女性（41.9%）の方が男性（35.5%）よりも高くなっている。年齢別は、30代（48.4%）が最も高くなっている。

一方、「不満」と「やや不満」を合わせた割合については、すべての属性において1割前後となっている。

⑥ ごみの減量・再利用や地球温暖化対策など、環境問題に取り組んできました。

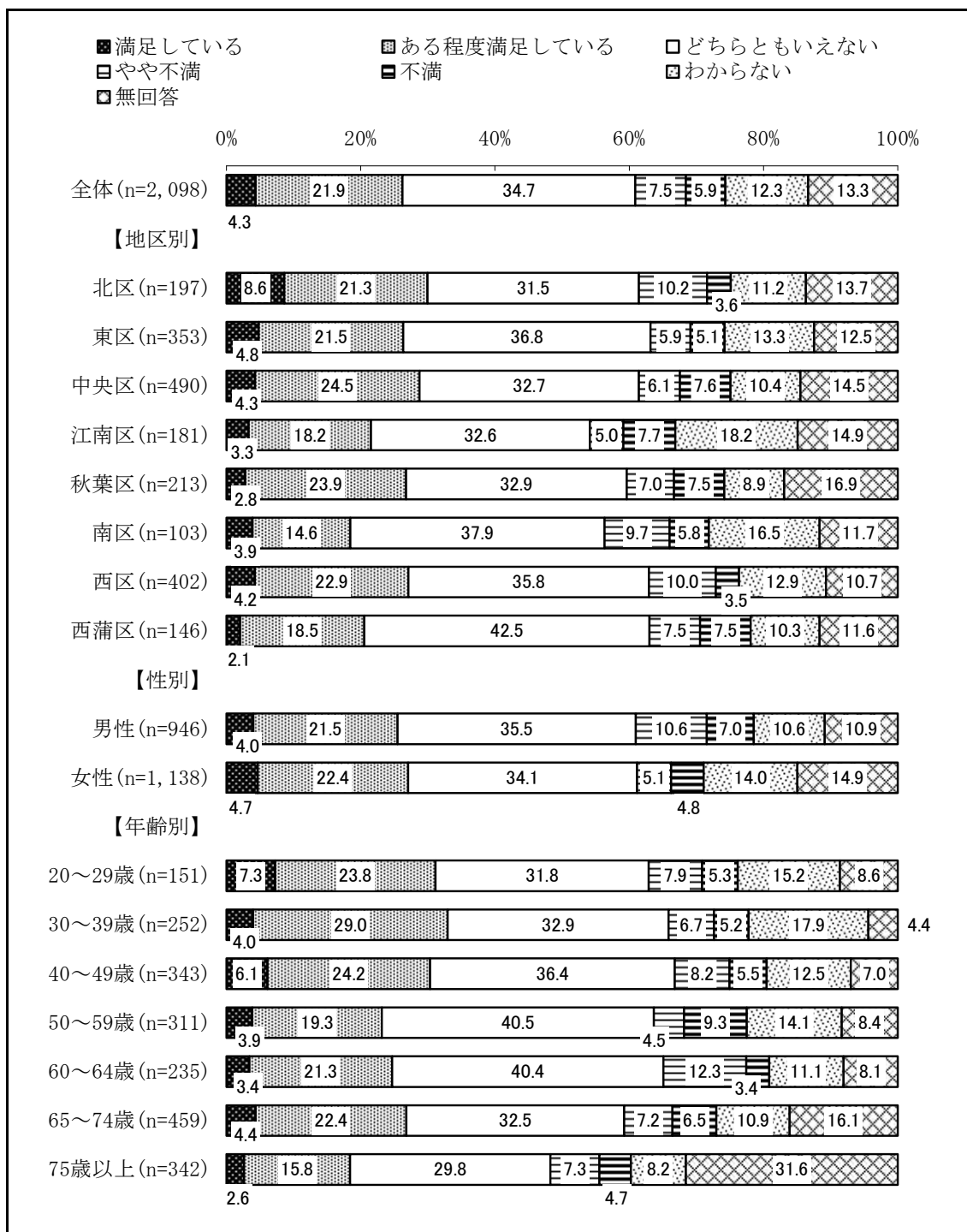


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が、「不満」と「やや不満」を合わせた割合よりも高くなっている。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合についてみると、地区別は西区（45.8%）が最も高くなっている。性別は女性（45.6%）の方が男性（41.2%）よりも比較的高くなっている。年齢別は65～74歳（50.5%）が最も高く、5割を超えている。

一方、「不満」と「やや不満」を合わせた割合については、すべての属性において1割前後となっている。

⑦ 水辺に親しむ空間の創出に取り組んできました。

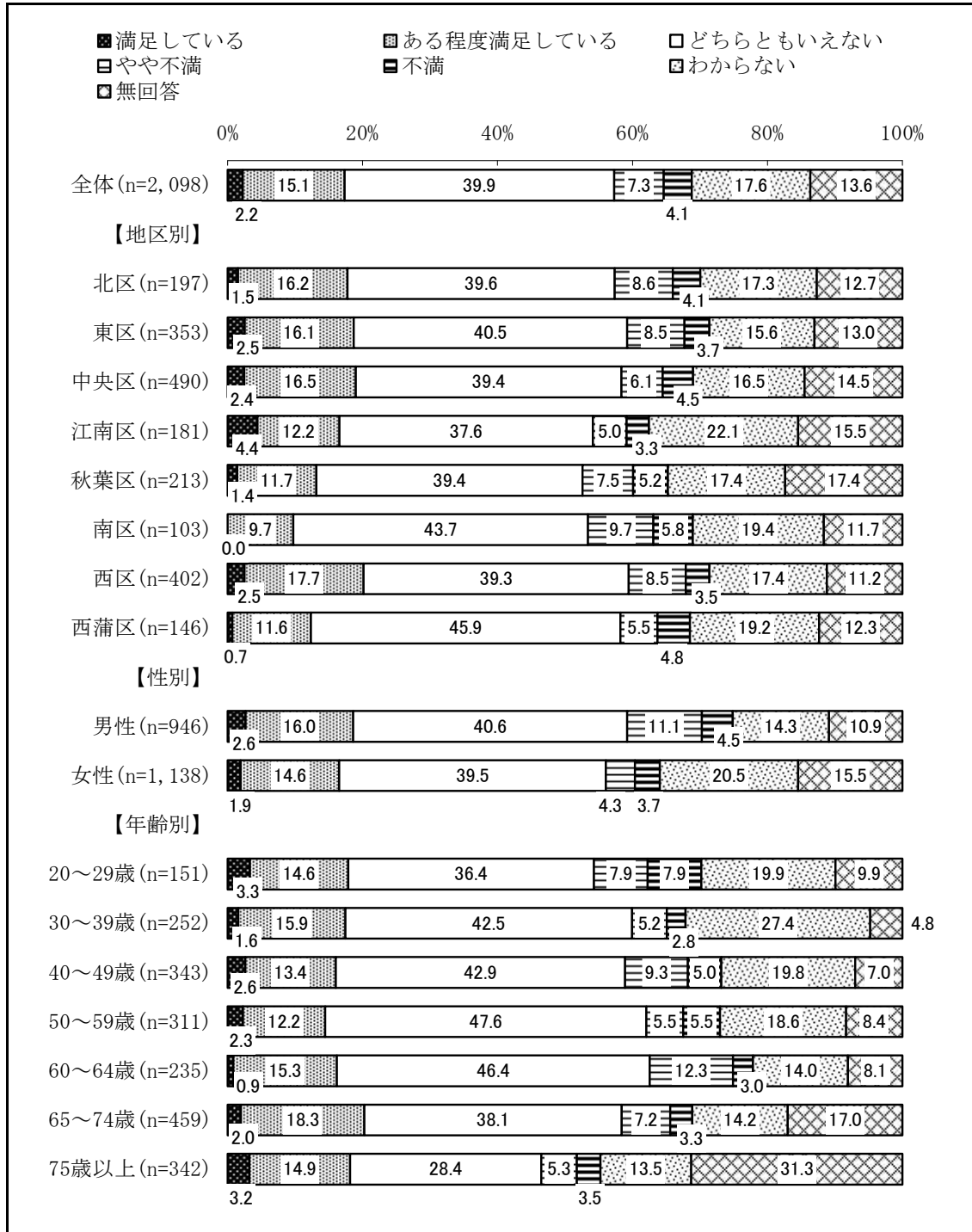


地区別では南区、西蒲区、年齢別では60～64歳を除く属性において、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が、「不満」と「やや不満」を合わせた割合よりも高くなっている。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合についてみると、地区別は北区(29.9%)が最も高くなっている。性別は男女差がみられない。年齢別は20代(31.1%)と30代(33.0%)が高く、3割を超えている。

一方、「不満」と「やや不満」を合わせた割合については、性別で男性(17.6%)の方が女性(9.9%)よりも高くなっているが、すべての属性において2割未満となっている。

⑧ 国際交流に取り組んできました。

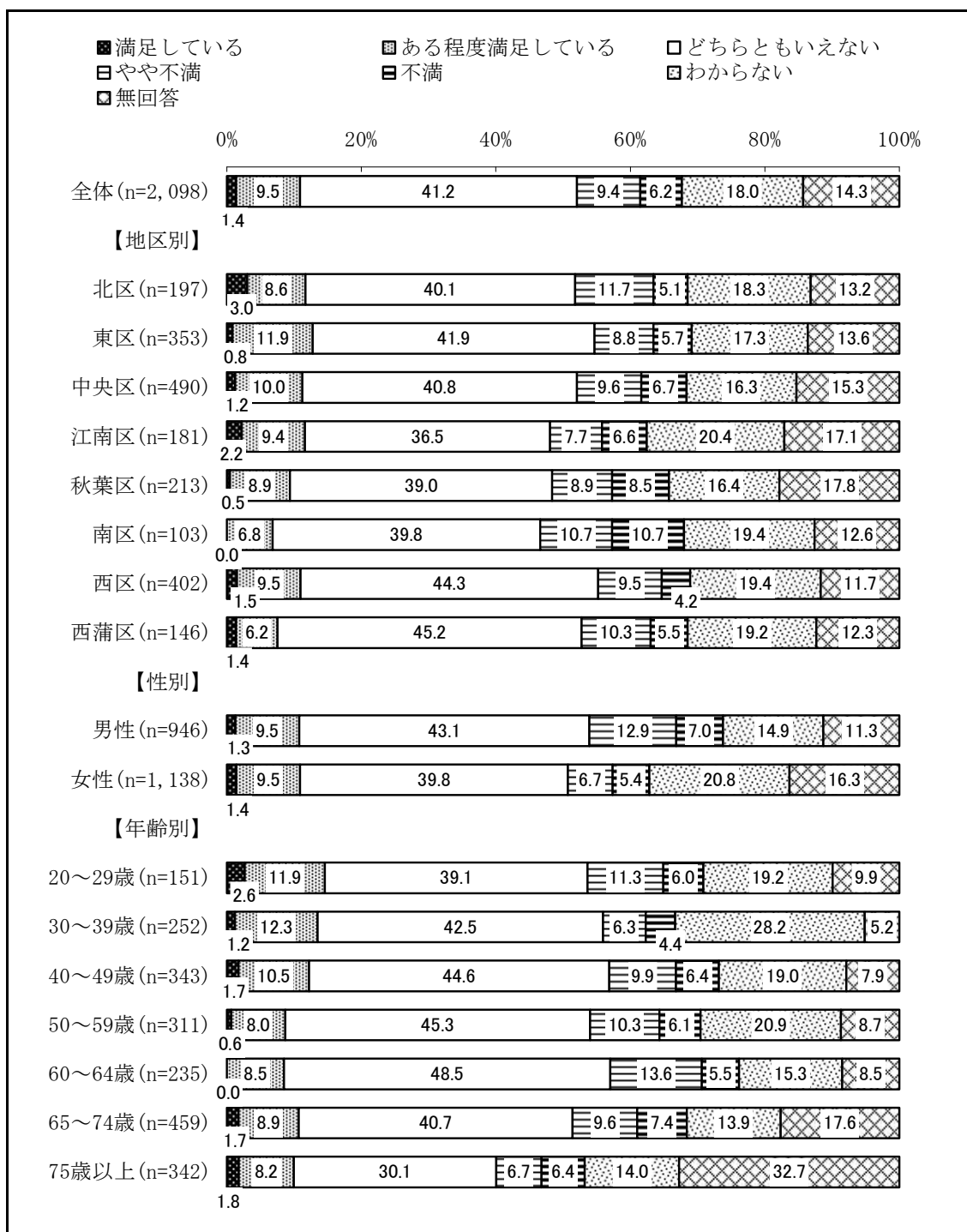


75歳以上を除く属性において、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が、「不満」と「やや不満」を合わせた割合よりも高くなっている。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合についてみると、地区別は西区 (20.2%) が最も高くなっている。性別は男性 (19.9%) が女性 (12.1%) よりもやや高くなっている。年齢別は65～74歳 (20.3%) が最も高く、2割を超えている。

一方、「不満」と「やや不満」を合わせた割合については、性別で男性 (15.6%) の方が女性 (8.0%) よりも高くなっているが、すべての属性において2割未満となっている。

⑨ 住宅の供給や住みよい環境づくりによるまちなかへの居住の促進に取り組んできました。

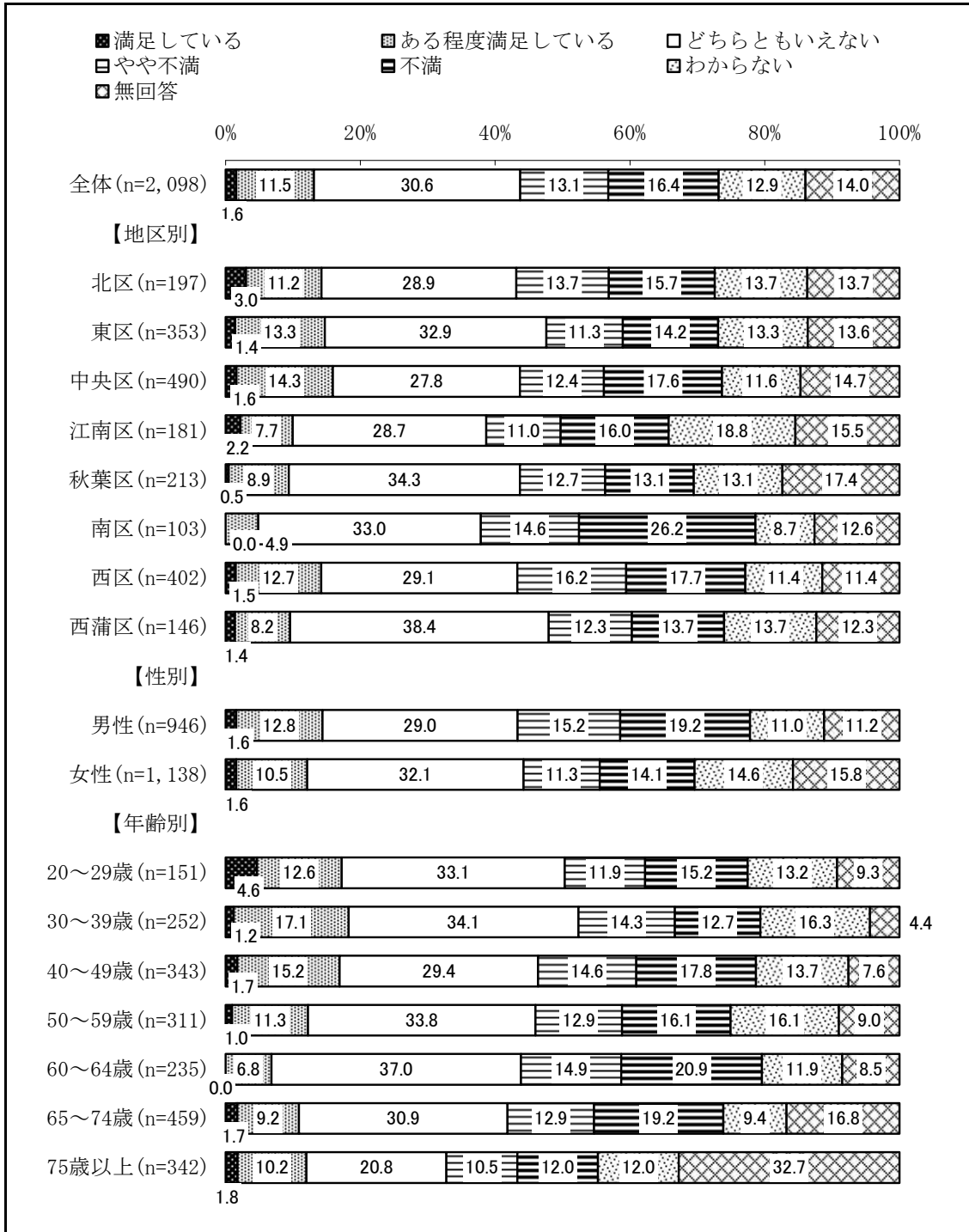


30代を除く属性において、「不満」と「やや不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合よりも高くなっている。

「不満」と「やや不満」を合わせた割合についてみると、地区別は東区（12.7%）が最も高くなっている。性別は男女差がみられない。年齢別は20代（14.5%）が最も高くなっている。

一方、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合については、南区（21.4%）を除く属性において2割未満となっている。

⑩ 広域交通網を整備するとともに、市の拠点性の向上に取り組んできました。

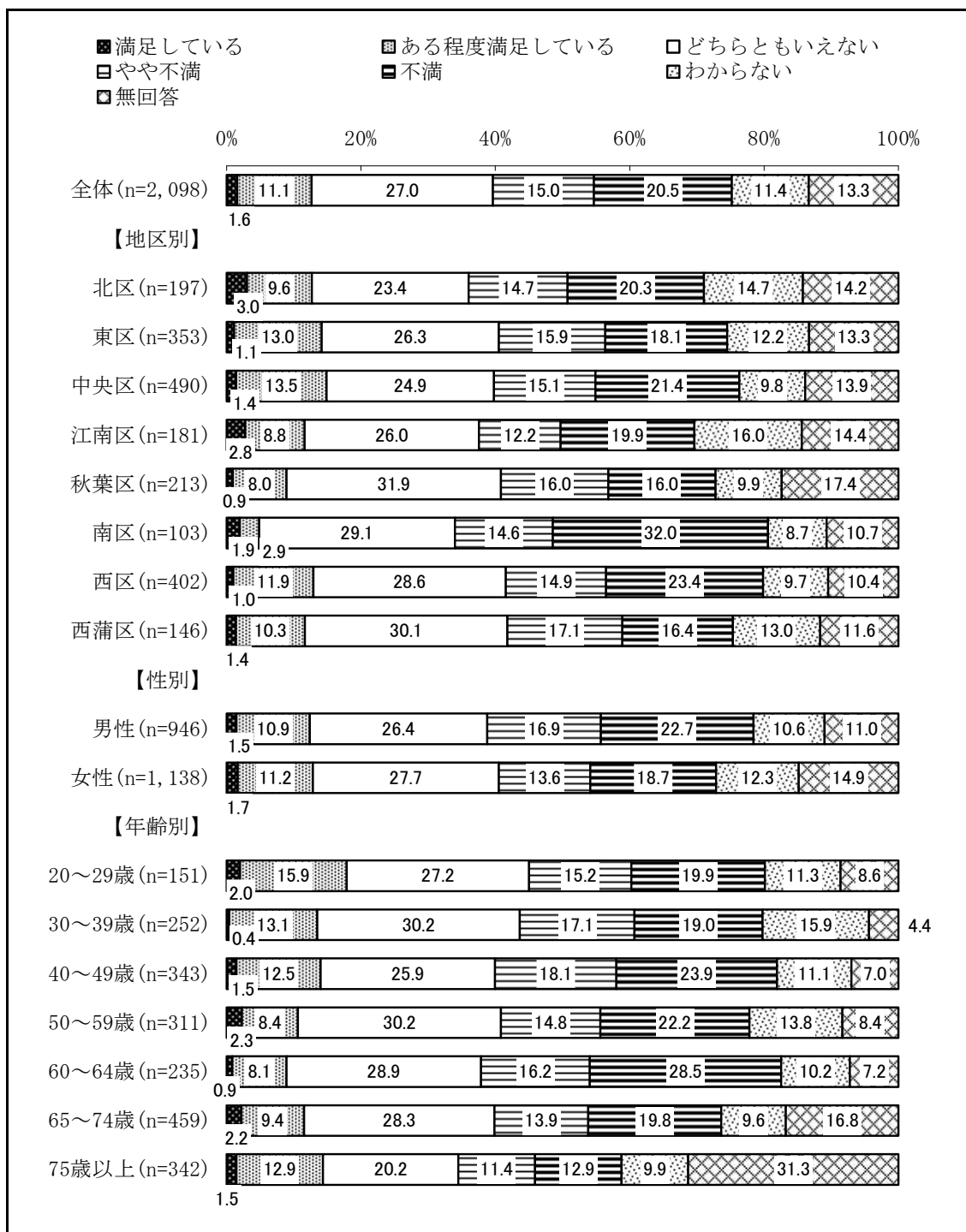


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「不満」と「やや不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合よりも高くなっている。

「不満」と「やや不満」を合わせた割合についてみると、地区別は南区（40.8%）が最も高く、4割を超えている。性別は男性（34.4%）の方が女性（25.4%）よりも高くなっている。年齢別は60～64歳（35.8%）が最も高くなっている。

一方、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合については、すべての属性において2割未満となっている。

⑪ 便利で安心な公共交通の確保に取り組んできました。

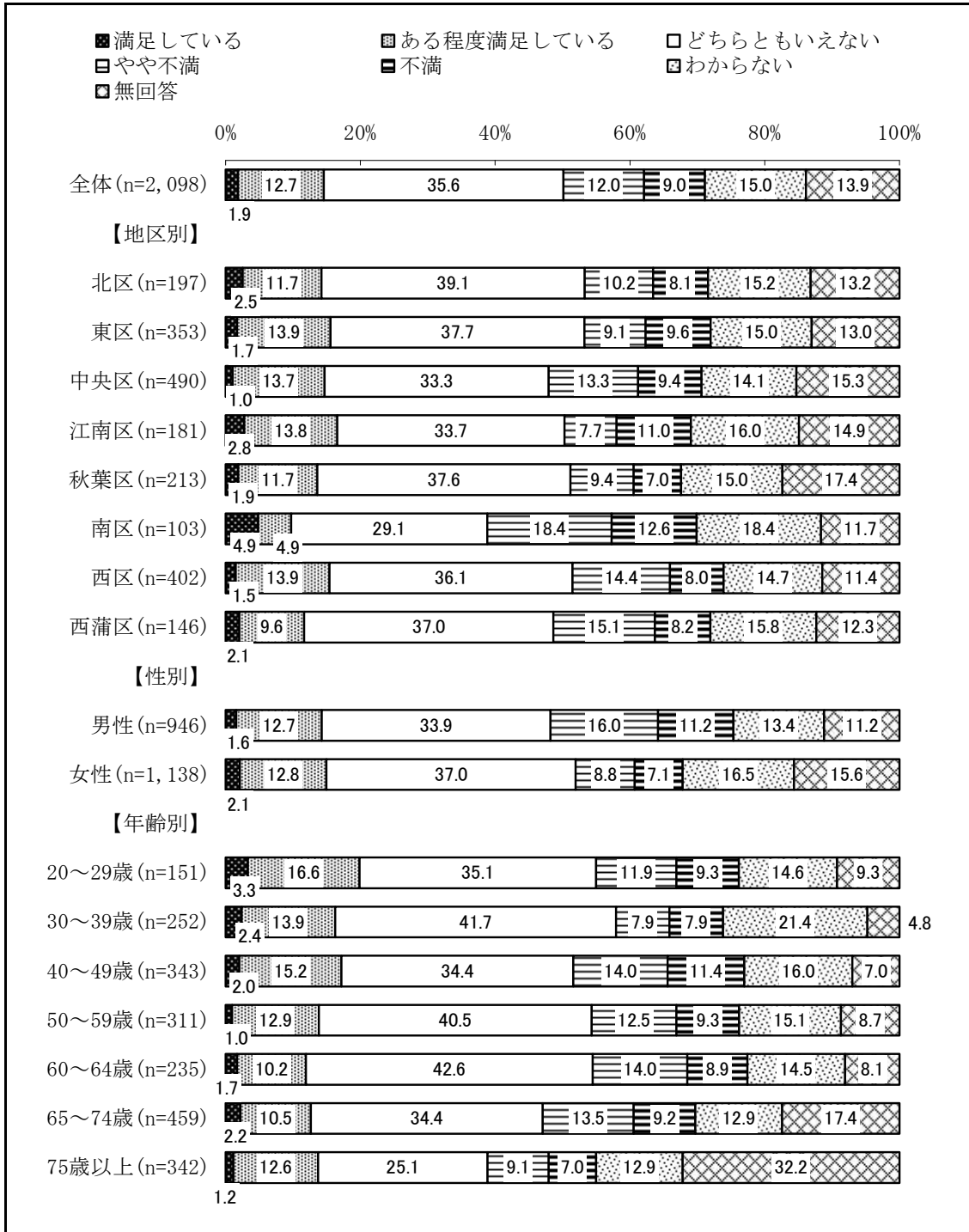


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「不満」と「やや不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合よりも高くなっている。

「不満」と「やや不満」を合わせた割合についてみると、地区別は南区（46.6%）が最も高く5割弱となっている。性別は男性（39.6%）の方が女性（32.3%）よりも高くなっている。年齢別は40代（42.0%）と60～64歳（44.7%）が高く、4割を超えている。

一方、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合についてみると、すべての属性において1割前後となっている。

⑫ 交流人口拡大に向け、新潟市の魅力の発信に取り組んできました。

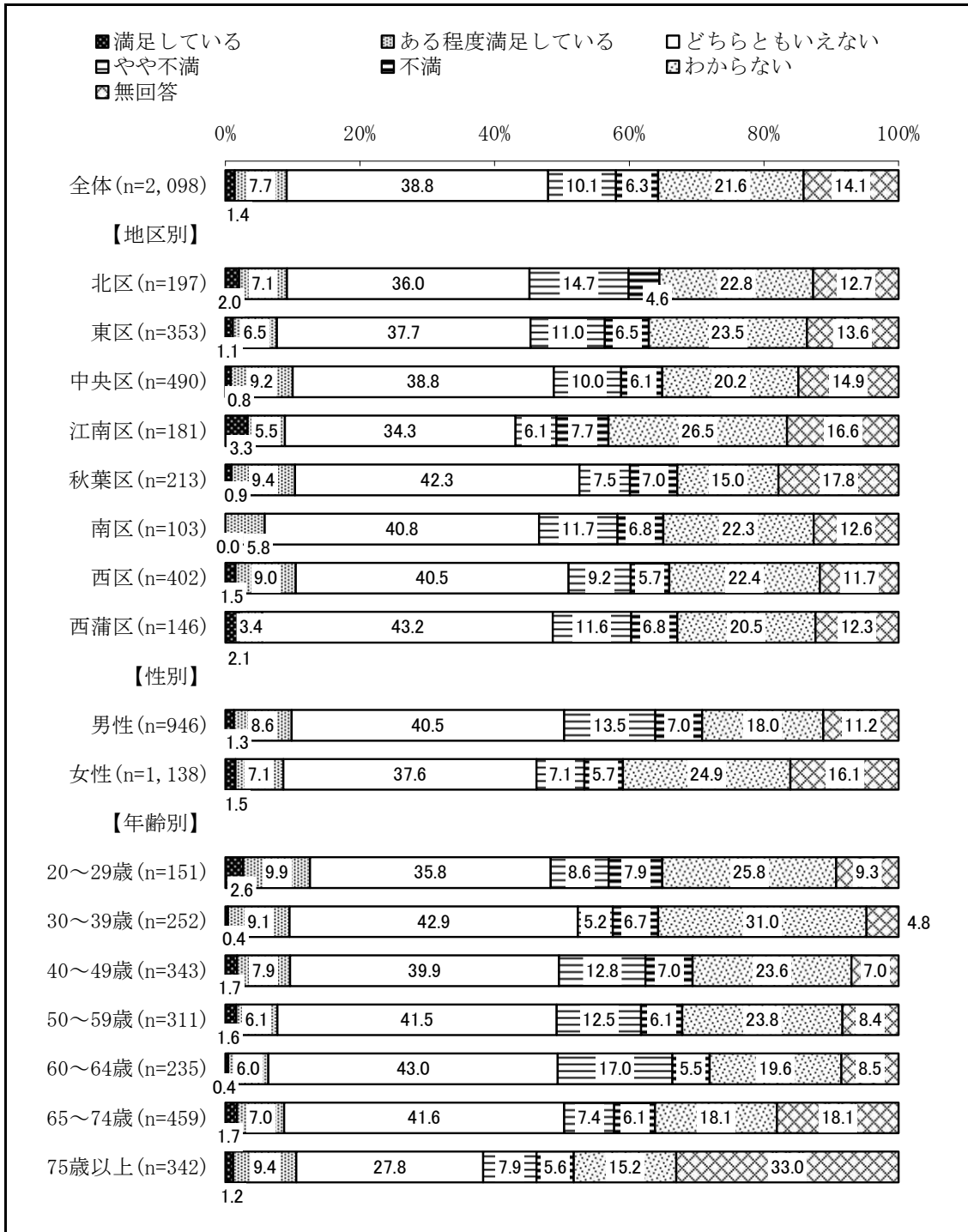


30代を除く属性において、「不満」と「やや不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合よりも高くなっている。

「不満」と「やや不満」を合わせた割合についてみると、地区別は南区（31.0%）が最も高く、3割を超えている。性別は男性（27.2%）の方が女性（15.9%）よりも高くなっている。年齢別は40代（25.4%）が最も高くなっている。

一方、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合についてみると、20代（19.9%）で最も高くなっているが、すべての属性において2割未満となっている。

⑬ 産学官連携による産業振興支援や金融支援策に取り組んできました。

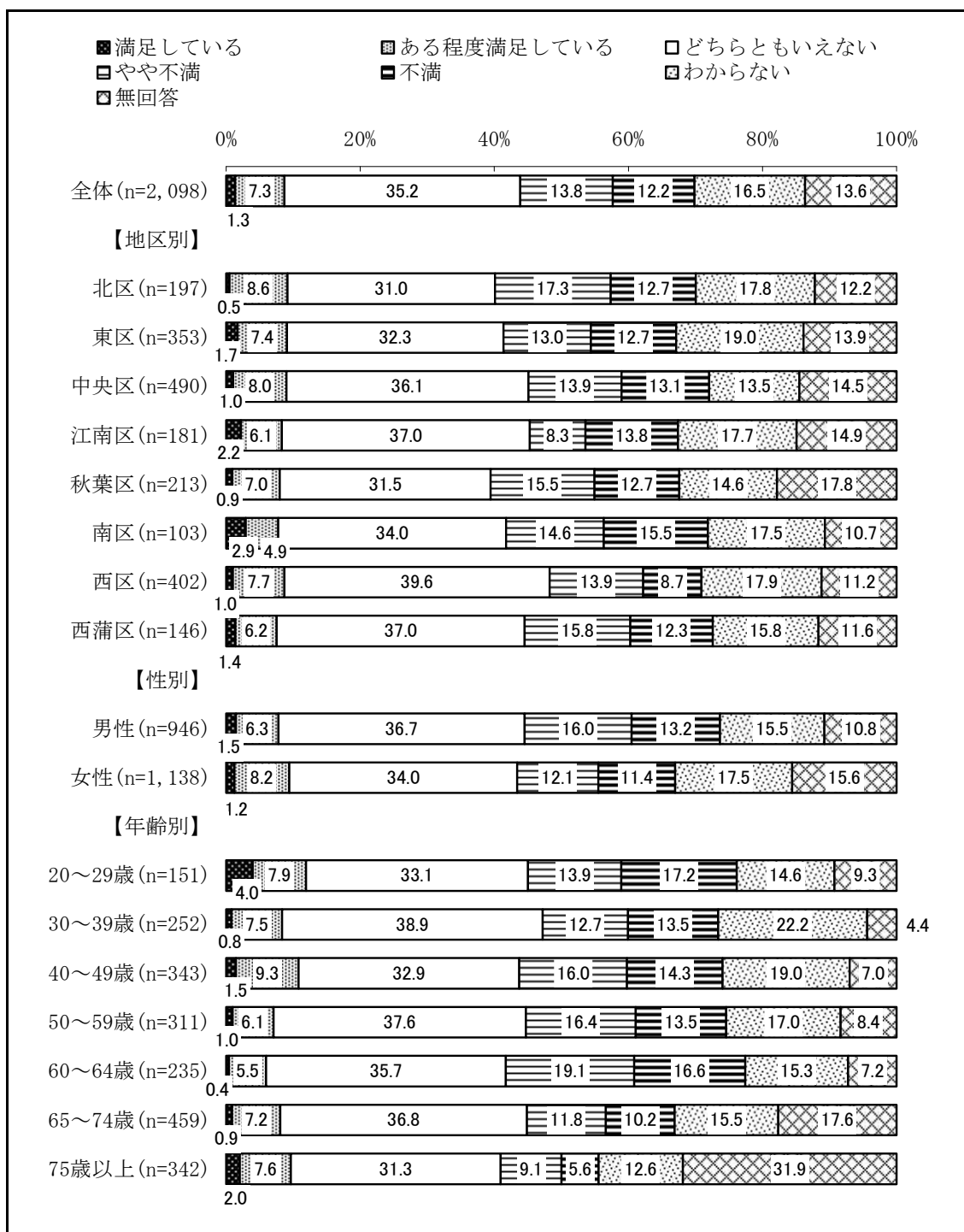


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「不満」と「やや不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合よりも高くなっている。

「不満」と「やや不満」を合わせた割合についてみると、地区別は北区（19.3%）が最も高くなっている。性別は男性（20.5%）の方が女性（12.8%）よりも高くなっている。年齢別は60～64歳（22.5%）が最も高く、2割を超えている。

一方、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合については、すべての属性において1割前後となっている。

⑭ 若年者・女性などの就業の拡大に向け取り組んできました。

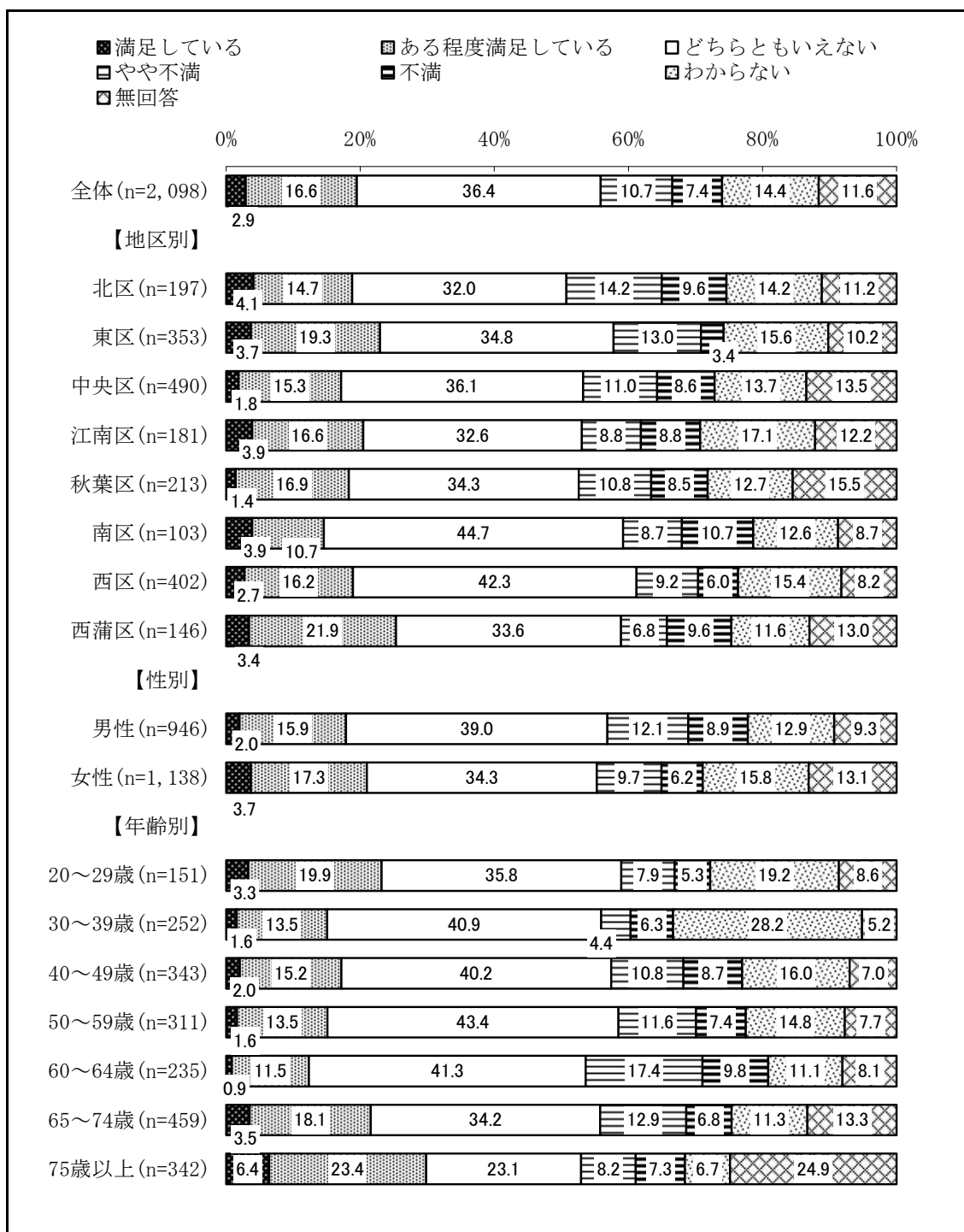


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「不満」と「やや不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合よりも高くなっている。

「不満」と「やや不満」を合わせた割合についてみると、地区別は、南区（30.1%）が最も高くなっている。性別は、男性（29.2%）の方が女性（23.5%）よりも高くなっている。年齢別は、20代（31.1%）と60～64歳（35.7%）が高くなっている。

一方、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合については、すべての属性において1割前後となっている。

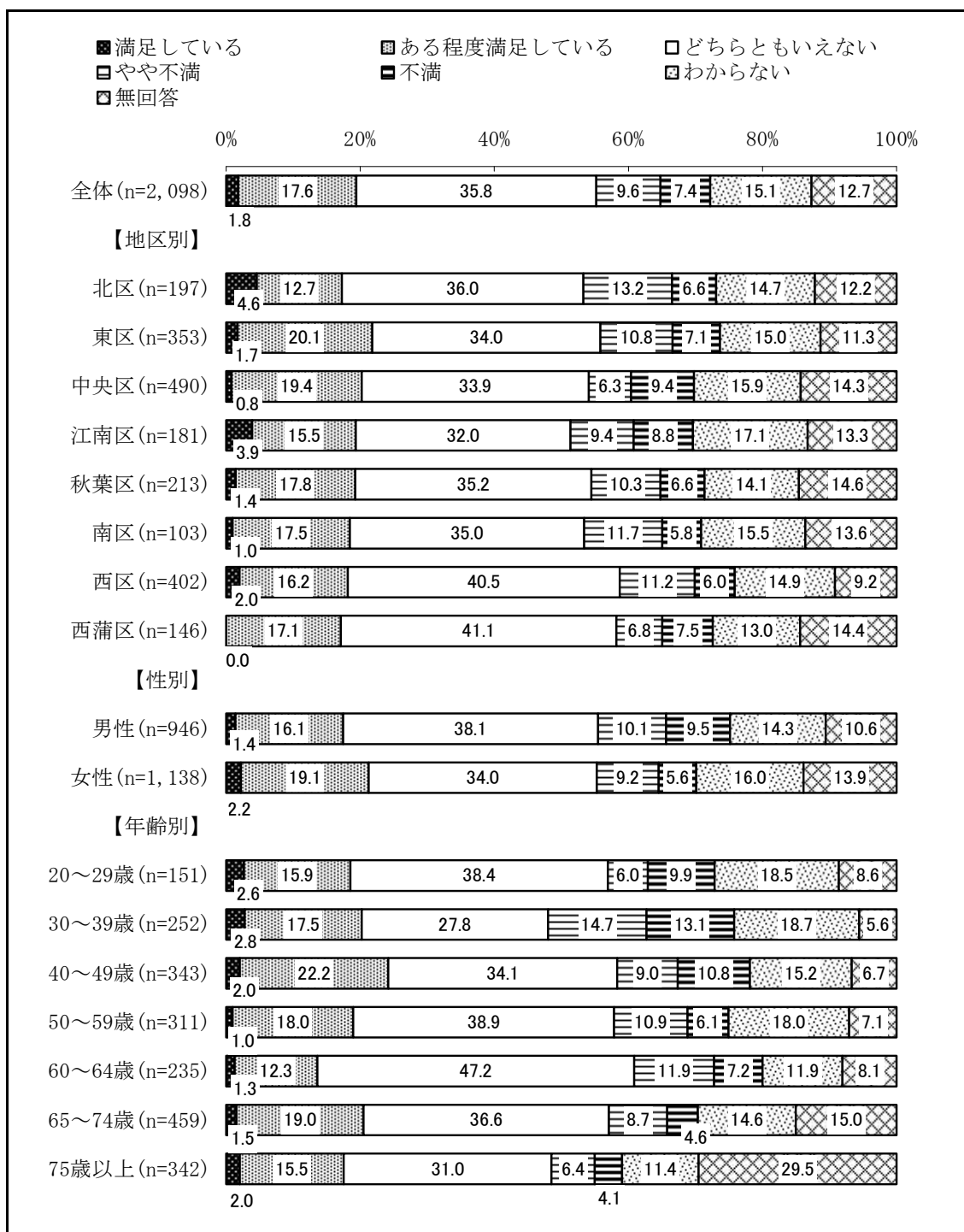
⑮ 元気でいきいきと生活できる高齢者支援に取り組んできました。



「不満」と「やや不満」を合わせた割合についてみると、地区別は北区（23.8%）が最も高くなっている。性別は男性（21.0%）が女性（15.9%）に比べやや高い。年齢別は60～64歳（27.2%）が最も高く、3割弱となっている。

一方、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合については、地区別は西蒲区（25.3%）が最も高くなっている。性別は女性（21.0%）が男性（17.9%）をやや上回る。年齢別は、75歳以上（29.8%）が最も高く、3割程度となっている。

⑩ 子育て支援の充実に取り組んできました。

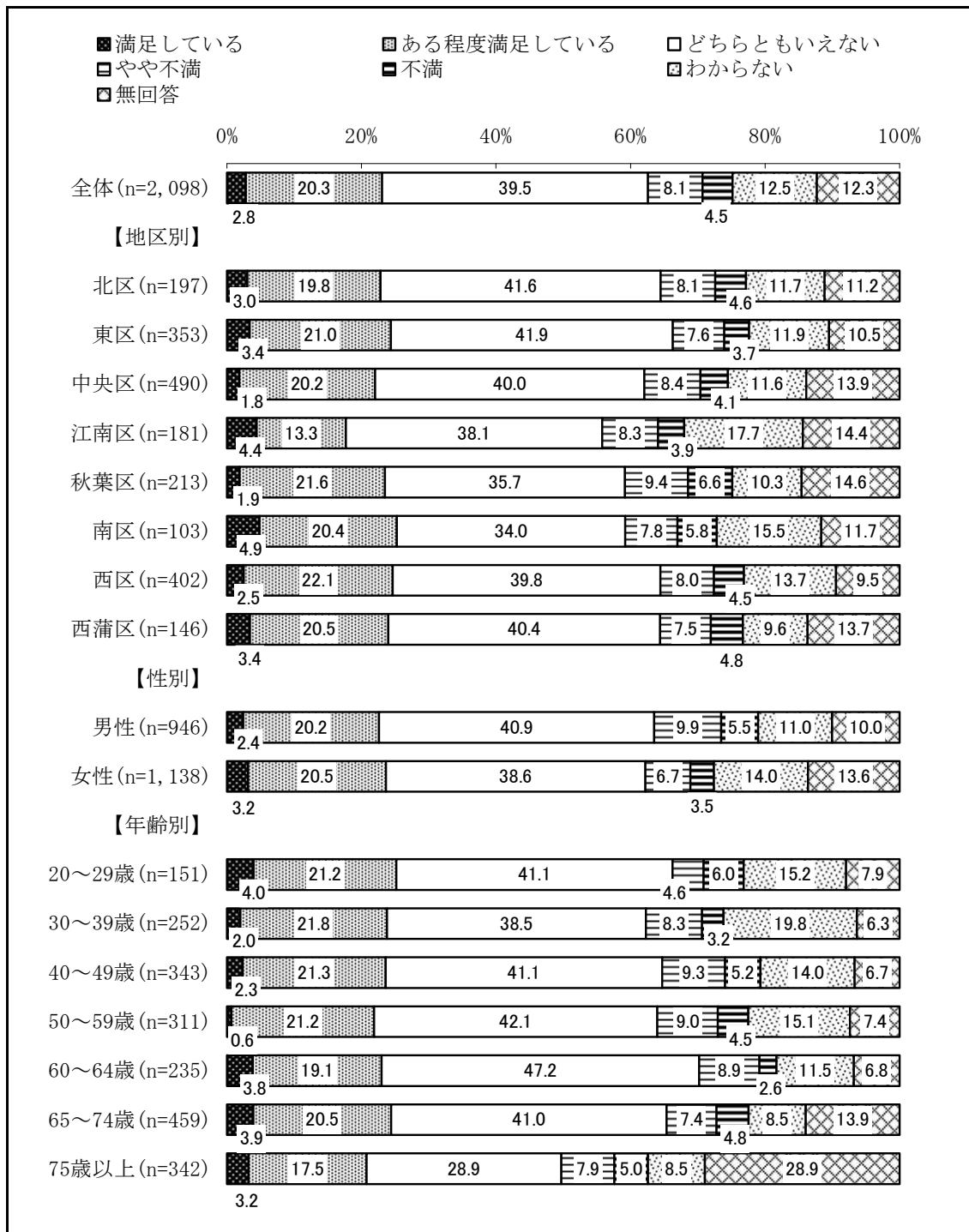


地区別では北区、性別では男性、年齢別では30代、60～64歳を除く属性において、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が、「不満」と「やや不満」を合わせた割合よりも高くなっている。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合についてみると、地区別は東区（21.8%）が最も高くなっている。性別は女性（21.3%）の方が男性（17.5%）よりも比較的高くなっている。年齢別は40代（24.2%）が最も高くなっている。

一方、「不満」と「やや不満」を合わせた割合については、30代（27.8%）が最も高く、3割弱になっている。

⑰ 災害予防応急対策や防災体制の充実に取り組んできました。

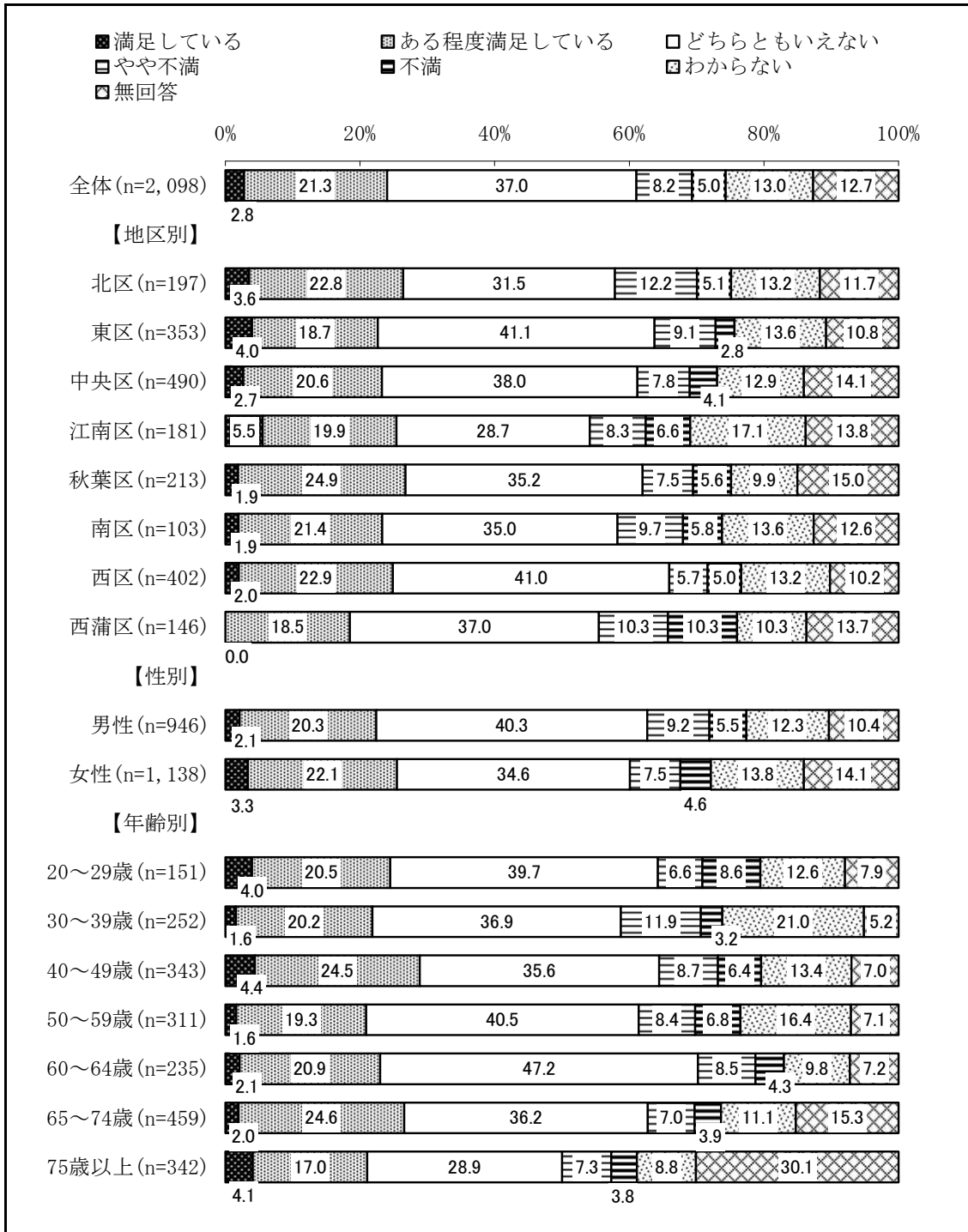


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が、「不満」と「やや不満」を合わせた割合よりも高くなっている。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合についてみると、地区別は南区(25.3%)が最も高くなっている。性別は男女差がみられない。年齢別は20代(25.2%)が最も高くなっている。

一方、「不満」と「やや不満」を合わせた割合については、秋葉区(16.0%)、男性(15.4%)が高くなっているが、すべての属性において2割未満となっている。

⑱ 学習環境の向上のため、学校や公民館などの整備に取り組んできました。

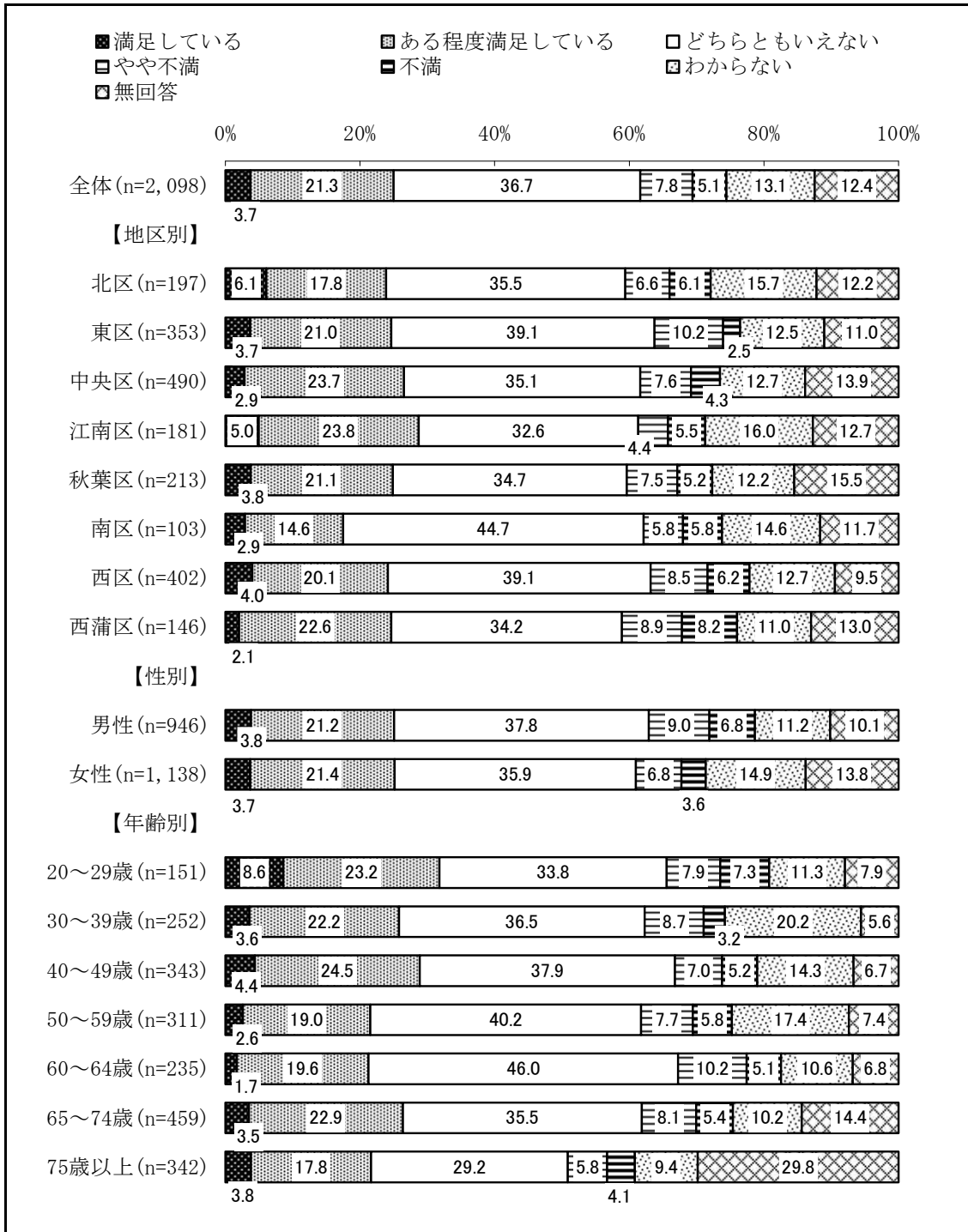


西蒲区を除く属性において、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が、「不満」と「やや不満」を合わせた割合よりも高くなっている。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合についてみると、地区別は秋葉区（26.8％）が最も高くなっている。性別は大きな男女差がみられない。年齢別は40代（28.9％）が最も高くなっている。

一方、「不満」と「やや不満」を合わせた割合については、西蒲区（20.6％）を除く属性において2割未満となっている。

⑱ 健康な生活を送れるよう、スポーツ環境の整備に取り組んできました。

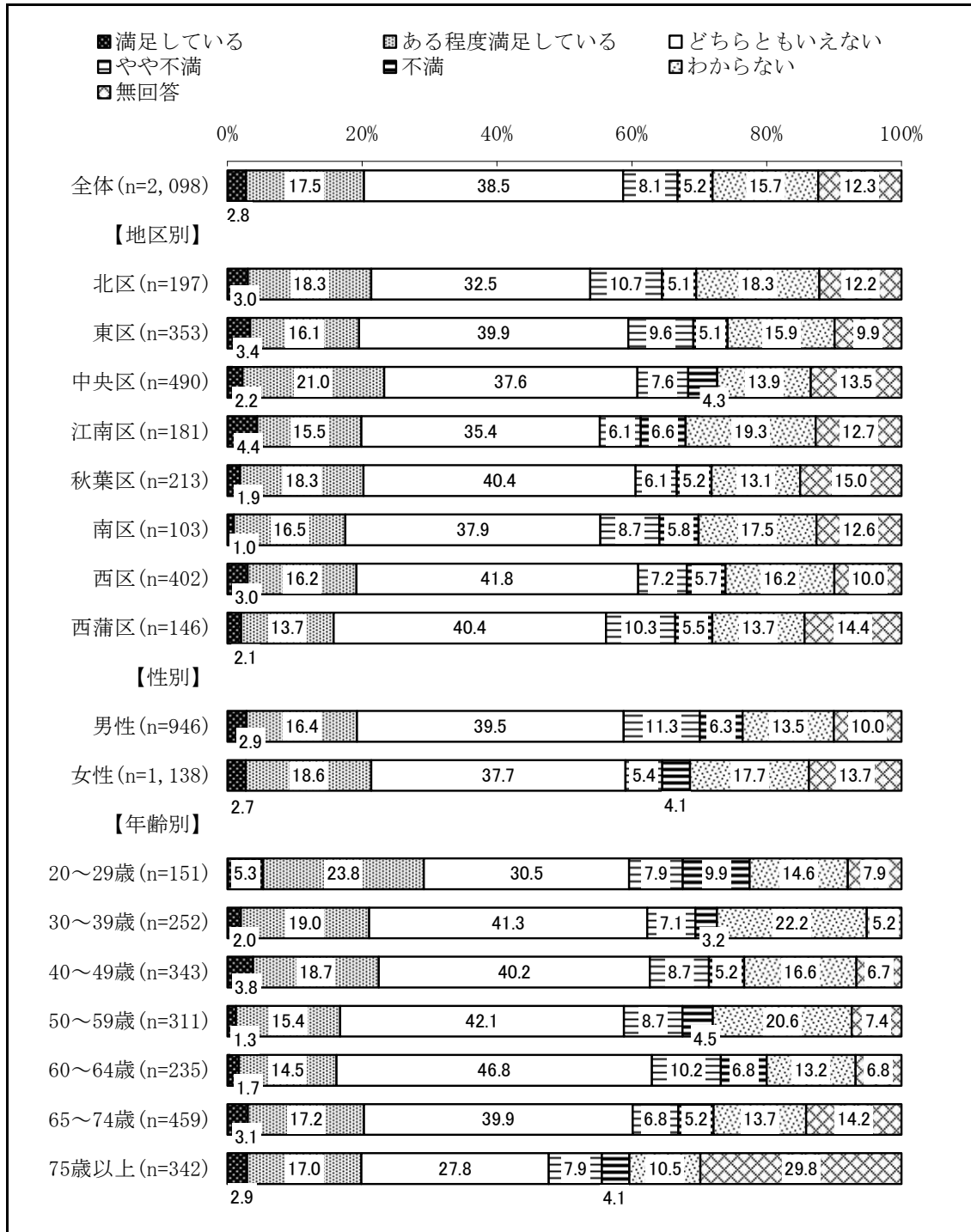


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が、「不満」と「やや不満」を合わせた割合よりも高くなっている。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合についてみると、地区別は江南区(28.8%)が最も高くなっている。性別は男女差がみられない。年齢別は20代(31.8%)が最も高く、3割を超えている。

一方、「不満」と「やや不満」を合わせた割合についてみると、男性(15.8%)の方が女性(10.4%)よりも高くなっているが、すべての属性において2割未満となっている。

⑳ 地域の個性豊かな歴史文化の活用や情報発信に取り組んできました。



地区別では西蒲区、年齢別では60～64歳を除く属性において、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合が、「不満」と「やや不満」を合わせた割合よりも高くなっている。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合についてみると、地区別は中央区（23.2%）が最も高くなっている。性別は大きな男女差がみられない。年齢別は20代（29.1%）が最も高く、3割弱になっている。

一方、「不満」と「やや不満」を合わせた割合については、すべての属性において2割未満となっている。

Ⅲ 調査票様式

平成27年度 第42回市政世論調査

「新潟市政に関する世論調査」ご協力をお願い

市民の皆さまには、日頃より市政に対してのご理解とご協力をいただき、厚くお礼申しあげます。新潟市では、市民の皆さまが日常生活の中で市政に対しどのようなお考えやご要望をお持ちになっているかを伺い、市政の参考としていくために「市政世論調査」を実施しております。

この調査は、新潟市内にお住まいの満20歳以上の方の中から無作為に4,000人の方をお選びし、実施するもので、このたびあなた様をお願いすることになりました。

お伺いした内容はプライバシーに配慮し、コンピューターで統計的に処理しますので、個人のお名前、ご住所などが公表されることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、この調査票にご記入のうえ、返信用封筒で **平成27年8月3日（月）まで** にご投函いただきますよう、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

平成27年7月17日

新潟市長 篠田 昭

ご記入にあたってのお願い

1. 回答は、**あて名のご本人がご記入**ください。
(無記名式ですので、氏名・住所の記入の必要はありません。)
2. 特にことわりのない限り、全ての質問にお答えください。
該当者にだけお答えいただく質問もあります。その場合は、案内が示してありますので、それに従ってお答えください。
3. 回答は、あてはまる項目の**番号に○**をつけてください。
「その他」を選んだ場合には具体的な内容をご記入ください。
4. 質問文の後に**(○は1つだけ)** **(○は3つまで)** などのことわり書きがあります。これはお答えいただく数を意味します。
5. この調査は、回答者を無作為で抽出しているため、あて名のご本人の様子がわかりません。万一、ご病気などでお答えいただけない場合は、回答の必要はございません。
6. 調査内容で不明な点などがございましたら、以下にお問い合わせください。
新潟市 市民生活部 広聴相談課 電話025-226-2094 (直通)

ご記入がおわりましたら…



◎ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて **平成27年8月3日（月）まで** ご投函ください。切手は不要です。また、お名前を記入する必要もありません。

【1 あなたご自身のことについてお聞きします。】

問1 あなたの性別を教えてください。(○は1つだけ)

- | | |
|------|------|
| 1. 男 | 2. 女 |
|------|------|

問2 あなたの年齢を教えてください。(○は1つだけ)

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1. 20～29歳 | 4. 50～59歳 | 7. 75歳以上 |
| 2. 30～39歳 | 5. 60～64歳 | |
| 3. 40～49歳 | 6. 65～74歳 | |

問3 あなたのご職業を教えてください。(○は1つだけ)

※複数の職業をお持ちの方は、おもなものを一つだけお選びください。

- | | |
|----------------------|--|
| 1. 事務職・管理職・公務員 | 6. 販売・サービス・保安職
(卸売業、小売業、宿泊業、飲食業を含む) |
| 2. 農業・林業・漁業職 | |
| 3. 建設・輸送・労務職 | 7. その他 ※具体的な職業をご記入ください。
() |
| 4. 製造職 | |
| 5. 専門・技術職 (医療・福祉職含む) | 8. 無職 (主婦、家事専業、学生を含む) |

(問3で「1」～「6」と答えた方は問3-2へ、「7」「8」と答えた方は問4へ)

問3-2 問3でご職業が「1」～「6」の方にお聞きします。

あなたの雇用形態は次のうちどれですか。

(○は1つだけ)

- | |
|----------------------------|
| 1. 正規の社員・職員・従業員 (役員を含む) |
| 2. 自営業 (家族従業者、家庭内職者を含む) |
| 3. 契約社員・嘱託社員・労働者派遣事業所の派遣社員 |
| 4. パート・アルバイト |
| 5. その他の有期雇用社員・職員・従業員 |
| 6. その他 () |

(問4へ)

(ここからはすべての方へ)

問4 あなたのお住まいは何区ですか。(〇は1つだけ)

1. 北区	3. 中央区	5. 秋葉区	7. 西区
2. 東区	4. 江南区	6. 南区	8. 西蒲区

問5 あなたは新潟市に通算して何年くらい住んでいますか。(〇は1つだけ)

※合併前の市町村での居住年数も含めてお答えください。

1. 2年未満	3. 5～9年	5. 20年以上
2. 2～4年	4. 10～19年	

問6 あなたの世帯の家族構成は、次のうちどれにあたりますか。(〇は1つだけ)

1. 単身	4. 3世代世帯(親と子と孫)
2. 夫婦	5. その他
3. 2世代世帯(親と子)	()

問7 あなたの婚姻状況は、次のうちどれにあたりますか。

届出の有無に関わりなくお答えください。(〇は1つだけ)

1. 未婚	2. 配偶者あり	3. 配偶者なし(離別または死別)
-------	----------	-------------------



【2 地域の防犯についてお聞きします。】

問8 あなたは、現在の新潟市は治安が良く、安全で安心して暮らせるまちだと思いますか。
(○は1つだけ)

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. そう思う | 4. そう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 5. どちらともいえない |
| 3. あまりそう思わない | 6. わからない |

問9 近年、あなた自身や家族が犯罪に遭うかもしれないという不安を感じる事が多くなってきていますか、少なくなってきていますか。
(○は1つだけ)

- | | |
|------------------------|----------------|
| 1. 多くなってきたと思う | 4. 少なくなってきたと思う |
| 2. どちらかといえば多くなってきたと思う | 5. どちらともいえない |
| 3. どちらかといえば少なくなってきたと思う | 6. わからない |

問10 あなたは、防犯に関する新潟市からの広報は十分だと思いますか。
(○は1つだけ)

- | | |
|----------------------|------------|
| 1. 十分だと思う | 4. 不十分だと思う |
| 2. どちらかといえば十分だと思う | 5. わからない |
| 3. どちらかといえば十分ではないと思う | |

問11 「防犯カメラ」の設置について、あなたはどのように思いますか。
※特に道路、駅、広場などの街頭に、防犯を目的として設置するもの
(○は1つだけ)

- | |
|--|
| 1. 防犯を最優先し、積極的に設置すべきである |
| 2. 防犯とプライバシーへの配慮のバランスを考えて、設置すべきである |
| 3. 防犯のためというのは理解できるが、プライバシーに問題があるため、設置は最小限にすべきである |
| 4. プライバシーに問題があり、監視社会を助長するため設置すべきではない |
| 5. わからない |

問12 あなたが、地域の安全のために、特に必要だと思う防犯対策はどれですか。
(○は2つまで)

- | |
|----------------------------|
| 1. 特殊詐欺(振り込め詐欺)対策 |
| 2. 空き巣や自転車盗などの盗難対策 |
| 3. 子どもの連れ去りや誘拐対策 |
| 4. パソコンや携帯電話などのインターネット犯罪対策 |
| 5. 危険ドラッグ対策 |
| 6. 万引き対策 |
| 7. 痴漢(ちかん)や盗撮対策 |
| 8. 繁華街における客引きやスカウト行為対策 |
| 9. その他() |

問13 あなたが、地域の安全を守るために、特に力を入れてほしいと思う市役所の取り組みはどれですか。
(○は2つまで)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 防犯講習会の開催 |
| 2. 防犯に関する情報提供や広報活動 |
| 3. 即時性のある犯罪発生情報の発信 |
| 4. 地域を巡回する防犯パトロール活動への支援 |
| 5. 通学路における、子どもの保護や誘導などの見守り活動への支援 |
| 6. 公用車を活用した防犯広報活動 |
| 7. 自宅周辺や街路などの防犯診断 |
| 8. その他() |

問14 あなたは、地域の安全を守るために防犯活動に参加したいと思いますか。
(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|-----------------------|
| 1. すでに参加している | 4. 参加したいが参加する方法がわからない |
| 2. 今後は参加したい | 5. 参加したいと思わない |
| 3. 機会があれば参加したい | 6. わからない |

(問14で「1~4」(参加している・参加したい)と答えた方は問15へ、
「5」「6」(参加したいと思わない・わからない)と答えた方は問16へ)

問15 問14で「1～4」と答えた人にお聞きします。あなたは、どのような内容の防犯活動に参加していますか。また、参加したいと思いますか。
(〇はいくつでも)

1. 地域を巡回する防犯パトロール
2. 通学路における子どもの保護や誘導などの見守り活動
3. 街頭などにおける防犯チラシや啓発品の配布
4. 暗がりなど地域における防犯上危険な場所の点検
5. 地域の防犯マップの作成
6. 防犯に関する内容を記載したチラシや広報誌の作成
7. 講習会などにおける防犯活動に役立つ知識の指導や防犯に関する相談を受ける活動
8. 落書き消去などの環境の浄化活動
9. その他 ()

(問16へ)



【3 こころの健康についてお聞きします。】

問16 あなたは、現在、日常生活が充実していると感じますか。

(○は1つだけ)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 充実している | 3. あまり充実していない |
| 2. まあまあ充実している | 4. 充実していない |

問17 あなたは、この1か月の間に、日常生活で悩みやストレスを感じたことがありましたか。

(○は1つだけ)

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. 大いにあった | 3. あまりなかった |
| 2. 多少あった | 4. まったくなかった |

(問17で「1」「2」(大いにあった・多少あった)と答えた方は問18へ、
「3」「4」(あまりなかった・まったくなかった)と答えた方は問19へ)

問18 問17で「1」「2」と答えた人にお聞きします。

悩みやストレスは、どのような事柄が原因ですか。

(○はいくつでも)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 健康問題 (自分の身体の悩み、心の悩みなど) |
| 2. 家庭問題 (家族関係の不和、子育て、家族の介護・看病など) |
| 3. 経済的な問題 (借金、失業、事業不振など) |
| 4. 勤務問題 (転勤、仕事の不振、職場の人間関係、長時間労働など) |
| 5. 学校の問題 (自身もしくは子どもの学業不振、人間関係、いじめなど) |
| 6. 男女関係の問題 (恋愛、結婚をめぐる悩みなど) |

(問19へ)

(ここからはすべての方へ)

問19 あなたは、不安や悩みなどがあるとき、誰に相談しますか。

(○はいくつでも)

1. 同居の家族や親族	9. カウンセラー
2. 同居していない家族や親族	10. インターネットやメールでの相談
3. 友人	11. 民間のボランティア相談員
4. 近所の知人・コミュニティ	12. 民生委員
5. 会社の上司や同僚	13. だれにも相談しない
6. 学校の先生	14. だれに相談したらよいかわからない
7. 専門の医師	15. その他
8. 公的機関の相談員	()

(問19で「13」「14」(相談しない・わからない)に○をつけた方は問20へ、
○をつけていない方は問21へ)

問20 問19で「13」「14」に○をつけた方にお聞きします。

不安や悩みがあるとき、だれにも相談しない、だれに相談したらよいかわからないのは、どのような理由からですか。

(○はいくつでも)

1. 家族や親族などに心配をかけたくないから
2. 家族や親族などに知られたくないから
3. 相談する機関や人が信用できるか分からないから
4. 相談する機関や人についての情報が分からないから
5. 相談することが恥ずかしいから
6. 相談した経験があるが、その対応が適切でなかったから
7. その他 ()

(問21へ)

(ここからはすべての方へ)

問21 あなたは、不安や悩みの相談機関などを知っていますか。

あなたの知っている相談機関を教えてください。

(〇はいくつでも)

1. 各区役所の相談窓口	11. 新潟市ころといのちのホットライン
2. 各区地域保健福祉センター	12. 新潟県ころの相談ダイヤル
3. アルザにいがた相談室	13. 新潟いのちの電話
4. まちなか健康相談	14. 新潟市発達障がい支援センターJOIN (ジョイン)
5. 地域包括支援センター	15. 新潟市くらしとこころの総合相談会
6. 新潟市児童相談所	16. 新潟市社会福祉協議会 子育てなんでも相談センター きらきら
7. 新潟市教育相談センター	17. 新潟市社会福祉協議会 心配ごと相談所
8. 新潟市児童発達支援センター	18. 全部知らない
9. 新潟市若者支援センター「オール」	19. その他 ()
10. 新潟市ころの健康センター	

問22 あなたは、どのような相談の機会があればよいと思いますか。

(〇はいくつでも)

1. 無料相談	7. 同じ悩みなどを抱える人たちの集まり
2. 公的機関の専門家による相談	8. 知らない人に相談することに 抵抗があるので、相談は難しい
3. 電話相談	9. 相談の機会に関心はない
4. 面接相談	10. 相談の機会は必要ない
5. 住居地でない相談場所での相談	
6. インターネット上での相談	

【4 地域生活についてお聞きします。】

問23 あなたがお住まいの区（現住所）の住み心地はどうか。

（○は1つだけ）

1. 住みやすい	4. 住みにくい
2. どちらかといえば住みやすい	5. どちらともいえない
3. どちらかといえば住みにくい	

問24 あなたのお住まいの区（現住所）について、どのようにお感じですか。

それぞれの項目ごとに番号を1つ選んで、その番号に○をつけてください。

（○は①～⑫それぞれ1つずつ）

	良い	どちらか といえば 良い	ふつう	どちらか といえば 悪い	悪い	気にしない
① 買い物の便利さ	1	2	3	4	5	6
② 交通の便利さ	1	2	3	4	5	6
③ 通勤・通学の便利さ	1	2	3	4	5	6
④ 医療・福祉施設の充実	1	2	3	4	5	6
⑤ 防災の充実	1	2	3	4	5	6
⑥ 治安の良さ	1	2	3	4	5	6
⑦ 子育て・教育環境の充実	1	2	3	4	5	6
⑧ 地域の人間関係が良い	1	2	3	4	5	6
⑨ 水辺・緑などの自然環境が良い	1	2	3	4	5	6
⑩ 景観・まちなみが良い	1	2	3	4	5	6
⑪ 騒音・大気汚染がない	1	2	3	4	5	6
⑫ 趣味・生涯学習の活動のしやすさ	1	2	3	4	5	6

問25 上記の表の中で、あなたが住み心地に対して特に重要視する項目を3つ選んで、

下の回答欄に番号（①～⑫）をご記入ください。

--	--	--

問26 あなたは、現在お住まいの区（現住所）にこれからも住みたいと思いますか。
 (〇は1つだけ)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. これからも住みたい | 4. すぐにでも転居・転出したい |
| 2. 当分の間は住みたい | 5. どちらともいえない、わからない |
| 3. できれば転居・転出したい | |

(問26で「1」「2」「5」(住みたい・わからない)と答えた方は問28へ、
 「3」「4」(転居・転出したい)と答えた方は問27へ)

問27 問26で「3」「4」と答えた人にお聞きします。
 次の転居先・転出先として希望するところがありますか。
 (〇は1つだけ)

- | | |
|---------|----------------------|
| 1. 同じ区内 | 7. 南区 |
| 2. 北区 | 8. 西区 |
| 3. 東区 | 9. 西蒲区 |
| 4. 中央区 | 10. 県内(例:長岡市、新発田市など) |
| 5. 江南区 | 11. 県外(例:東京、大阪、海外など) |
| 6. 秋葉区 | 12. 具体的にはわからない |

(問28へ)

(ここからはすべての方へ)

問28 あなたが、居住地を選ぶ際に重視したい項目は何ですか。住み替える予定がない方でも、住み替えると仮定してお答えください。
 「立地条件・住環境」「ライフスタイル」別に教えてください。

(〇はそれぞれ3つまで)

- | | | |
|----------|----------------------|---------------------|
| 立地条件・住環境 | 1. 食料品、日用品などの買い物に便利 | 7. 治安の良さ |
| | 2. 交通の便が良い | 8. 子育て・教育環境の充実 |
| | 3. 通勤・通学に便利 | 9. 景観・まちなみの良さ |
| | 4. 市役所・区役所などの公的機関が近い | 10. 水辺・緑などの自然環境の豊かさ |
| | 5. 医療・福祉施設の充実 | 11. 騒音・大気汚染がない |
| | 6. 防災面の充実 | 12. 今の住居(地域)との距離 |

- | | | |
|---------|----------------------|----------------------|
| ライフスタイル | 1. 近所づきあい | 6. 趣味・生涯学習の活動がしやすい |
| | 2. 親・子どもが近くに住んでいる | 7. 娯楽施設が近くにある |
| | 3. 知人・友人が近くに住んでいる | 8. 図書館・美術館などの文化施設が近い |
| | 4. 飲食店が近くにある | 9. ボランティア活動がしやすい |
| | 5. 洋服、家電、家具などの買い物に便利 | 10. 地域の歴史文化などとの関わり |

【5 市政全般と区政についてお聞きします。】

問29 市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて

- ①「新潟市として良くなっているもの」
- ②「新潟市として今後、もっと力を入れてほしいもの」
- ③「区として良くなっているもの」
- ④「区として今後もっと力を入れてほしいもの」を

次の中からそれぞれ1位～3位までを選んで、下の回答欄に番号（1～33）をご記入ください。（それぞれの順位欄に番号数字を記入してください）

1. 市・区の窓口対応	13. スポーツの振興	25. 交通安全対策
2. 電子手続きの推進	14. 文化・芸術の振興	26. 学校教育
3. 地域活動の振興	15. 農林水産業の振興	27. 生涯学習
4. 防災対策	16. 商工業・貿易の振興	28. 市営住宅の整備
5. 防犯対策	17. 雇用の場の拡大	29. 広報広聴活動
6. 児童福祉	18. 観光の振興	30. 国際交流の振興
7. 高齢者福祉	19. まちなかの活性化	31. 市民協働のまちづくり
8. 障がい者福祉	20. 公共交通の充実	32. 男女共同参画の推進
9. 保健・医療体制	21. 計画的な市街地整備	33. その他
10. ごみ処理・リサイクル	22. 公園の整備	()
11. 地球温暖化対策	23. 道路の整備	
12. 自然環境の保護	24. 公共下水道の整備	

回答欄 （1～33までの番号を記入してください）

	1位	2位	3位
① 新潟市として良くなっているもの			
② 新潟市として今後、もっと力を入れてほしいもの			
③ 区として良くなっているもの			
④ 区として今後もっと力を入れてほしいもの			



【6 市の取り組みについてお聞きします。】

- 問30 政令市に移行した平成19年度から平成26年度までの8年間、「新・新潟市総合計画」によるまちづくりを進めてきました。
この計画に基づき進めてきた、おもな取り組みについて、あなたの感想をお聞かせください。また、これらの取り組みについての満足度をお聞かせください。
それぞれの項目ごとに番号と記号を1つずつ選んで、○をつけてください。

(○は①～⑭の市の取り組みへの感想1～5と満足度A～Fにそれぞれ1つずつ)

	取り組みへの感想					取り組みへの満足度					
	1 そう思う	2 ある程度思う	3 普通	4 あまり思わない	5 そう思わない	A 満足している	B ある程度満足している	C どちらともいえない	D やや不満	E 不満	F わからない
① 住民参加型の地域づくりに取り組んできました。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
② 地域活動を行うための拠点づくりに取り組んできました。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
③ だれもが快適に暮らせるまちづくりに取り組んできました。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
④ 情報公開に努め、市民の声を市政に反映するよう取り組んできました。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑤ 「食と花のにいがた」の情報発信に取り組んできました。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑥ ごみの減量・再利用や地球温暖化対策など、環境問題に取り組んできました。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑦ 水辺に親しむ空間の創出に取り組んできました。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑧ 国際交流に取り組んできました。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑨ 住宅の供給や住みよい環境づくりによるまちなかへの居住の促進に取り組んできました。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑩ 広域交通網を整備するとともに、市の拠点性の向上に取り組んできました。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑪ 便利で安心な公共交通の確保に取り組んできました。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑫ 交流人口拡大に向け、新潟市の魅力の発信に取り組んできました。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑬ 産学官連携による産業振興支援や金融支援策に取り組んできました。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑭ 若年者・女性などの就業の拡大に向け取り組んできました。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F

(次ページへつづく)

	取り組みへの感想					取り組みへの満足度					
	1 そう思う	2 ある程度思う	3 普通	4 あまり思わない	5 そう思わない	A 満足している	B ある程度満足している	C どちらともいえない	D やや不満	E 不満	F わからない
⑮ 元気でいきいきと生活できる高齢者支援に取り組んできました。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑯ 子育て支援の充実に取り組んできました。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑰ 災害予防応急対策や防災体制の充実に取り組んできました。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑱ 学習環境の向上のため、学校や公民館などの整備に取り組んできました。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑲ 健康な生活を送れるよう、スポーツ環境の整備に取り組んできました。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑳ 地域の個性豊かな歴史文化の活用や情報発信に取り組んできました。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F

(○は①～⑳の市の取り組みへの感想1～5と満足度A～Fにそれぞれ1つずつ)

調査は以上で終了です
ご協力ありがとうございました



ご記入がおわりましたら…



◎ご記入いただいた調査票は、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて

平成27年8月3日(月)まで、お近くの郵便ポストにご投函ください。

切手は不要です。また、お名前を記入する必要もありません。

ご協力のほどよろしくお願いたします。

平成 27 年度 第 42 回市政世論調査

発 行 平成 27 年 10 月

調査主体 新潟市市民生活部広聴相談課
新潟市中央区学校町通一番町 602 番地 1
電話 025-228-1000 (代表)

調査実施 株式会社 I T スクエア IT サービス部
新潟市中央区万代 3 丁目 1 番 1 号
メディアシップ 13F
電話 025-242-0633 (IT サービス部直通)